平　成　26　年　度

専門科目教育要項

東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科
口腔保健工学専攻

ま　え　が　き

この教育要項は、歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻の授業を受ける学生の皆さんに、平成 26 年度に行われる予定の専門教育科目を示し、それらの授業計画および授業内容の概要を知らせるためのものです。

学生の皆さんが、本学における口腔保健工学専攻教育の内容を把握すると共に、充実した履修が行えるよう本要項を有意義に活用されることを希望します。

平成 26 年 4 月

歯学部口腔保健学科教育委員会

※本教育要項の授業計画は今年度当初予定で立案されているものであり、今後の授業進行等で変更となる可能性があります。最新の情報については、本学教育支援システム（DreamCampus 教務システム）内のシラバス情報、もしくは e-learning システム（WebClass）等を利用した教員からの連絡によりご確認ください。

口腔保健学科

基本的理念

温かく豊かな人間性を有し、口腔保健・福祉の立場から、人々の健康で幸せな生活の実現のため、専門的知識および技術をもって広く社会貢献し、指導的役割を果たすことのできる人材を育成する。

一般教育目標

口腔保健学科では、次のような一般教育目標の基に教育を行っています。

１．生命の尊厳と基本的な科学原理・概念を理解し、生命科学の知識を修得する。

２．基本的人権を尊重し、相手の心情と行動を理解して人と接する能力を身につける。

３．社会における口腔保健・福祉の果たす役割とその重要性を理解する。

４．心身の様々な状態を理解し、口腔保健に関する知識および技術を修得する。

５．科学的探究心と問題解決能力を身につけ、生涯学習への意欲を培う。

６．保健・医療・福祉等の関連職種と連携して活動できる能力を身につける。

７．口腔保健の立場から国際貢献ができる能力を修得する。

８．深い人間理解と医療人としての高い倫理観、豊かな感性を身につける。

９．QOLの向上に関わるものつくりの専門家として、自らの高度な知識と技術を社会に還元する意欲を養う。

口腔保健学科のディプロマポリシー

口腔保健学科では、教養部および各専攻における、基礎から臨床、実践に統合する体系的学習を行い、進級要件（東京医科歯科大学全学共通科目履修規則及び東京医科歯科大学専門科目履修規則）を満たし、卒業までに、所定の単位を修得し、以下の要件を満たしている者に学位を授与する。

１．幅広い教養と豊かな感性

全学共通科目から専門の臨床・臨地実習に至る全教育課程を通して、口腔保健・医療・福祉領域の専門職に必要とされる幅広い教養ならびに人々の心情と行動を理解できる豊かな感性と高い倫理観を身につけている。

２．問題提起、解決能力

口腔保健・医療の急速な進歩ならびに口腔保健・医療・福祉への多様なニーズに対応できるよう、科学的根拠に基づいた論理的思考力と、主体的に問題を提起、解決する能力を有している。

３．国際性

口腔保健・医療・福祉分野における国際貢献への高い関心を有し、国際活動・協力を実践するための基礎力を備えている。

歯科衛生および歯科技工の領域において指導的役割を担えるよう、専門職としての高度な知識と技能を有していることが求められる。また、近年は関連多職種と連携した口腔保健の実践が求められており、チームとしての保健・医療・福祉活動に専門職として参加できる基礎力を修得していることが必須である。

口腔保健工学専攻のカリキュラムポリシー

東京医科歯科大学の教育理念、および歯学部口腔保健学科の教育理念に基づき、口腔保健工学専攻の教育目標をふまえて、ディプロマ・ポリシーを実現するためのカリキュラムの策定方針を以下の通り定める。

１．全学共通科目の人文・社会科学、専門科目の技術倫理、コミュニケーション論、PBL テュートリアルで行うヘルスプロモーション等の履修を通して、歯科医療人としての倫理観ならびにコミュニケーション能力を育てる。

２．全学共通科目の自然科学、専門課程の基礎歯科医学を学び、さらに統合力を必要とする卒業研究、再建工学包括臨床実習等の履修を通して、学際的科学的視点と問題提起、解決能力を育成する。

３．歯科医療の進歩に応じた歯科技工に関する知識と技術を基礎から応用まで段階的に学ぶことにより、最新の情報工学を駆使した歯科技工物製作の理論と実際への理解を深め、新たな技術開発への基礎力を培う。

４．口腔リハビリテーション工学等の履修を通して、疾患により失われた機能回復を促し、患者の QOL 向上に寄与できる能力を育成するとともに、人々の健康を支援する使命感を養う。

５．全学共通科目の外国語、専門科目の科学英語等の履修により、国際協力に関心をもち、海外の文化、社会への理解を深め、国際貢献への姿勢と能力を培う。

歯学部長あいさつ

歯学部長　　森山　啓司

口腔保健学科口腔保健工学専攻では、「造形と製作加工の技術を科学的に裏付けされた匠の技として発展させ、人々の健康に寄与する」ことを謳っています。口腔保健工学専攻は、平成23年4月に歯学部附属歯科技工士学校を改組して新設されました。新時代の歯科技工士の未来を拓く、世界のリーダーとなりうる人材の輩出を目指し、歯科技工の技術だけに偏るのではなく、幅広い知識と専門的技能を有し、多方面で活躍できる人材の育成を図っています。

本専攻の歴史は、昭和４年、本学の前身である東京高等歯科医学校に設置された技工士養成科にまで遡ります。この間、多くの人材を輩出し、国内はもとより、国際的に活躍する諸先輩も多く、歯科技工士養成校として本学は高く評価されています。皆さんはすでに業界での地位の確立された大学に入学し、専門教育を受けるのですから、卒業時には当然、皆さんに対する社会的な期待も大きなものになります。その期待にこたえるべく、教育内容は十分に検討したものです。世界中どこと比較しても、胸を張れる教員組織、環境、設備、そして教育内容です。ひとつひとつの科目に真剣に取り組み、達成すべき項目をすべて修得すれば、本学科の卒業生として、どこに出ても自信を持って活躍できるはずです。

グローバル化する社会においても、皆さんに対する期待は増すばかりです。社会の期待にこたえて専門職業人として、歯科医療に貢献する、歯科保健工学に貢献する、そして業界のリーダーとして、業界の未来を築いていってくれることを願っています。皆さんの将来は輝かしい可能性に満ちています。どうか先生方を信頼し、同胞とともに助けあいながら、力いっぱい勉学に励み、自分の人生を切り開く基盤を形成してください。

目　　次

まえがき
基本的理念
一般教育目標
口腔保健学科のディプロマポリシー
口腔保健工学専攻のカリキュラムポリシー
歯学部長あいさつ
東京医科歯科大学学部専門科目履修規則…… 1
東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科専門科目履修内規…… 8
東京医科歯科大学試験規則…… 9
東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科試験内規…… 12
学生周知事項等
　歯科技工士国家試験について…… 13
　学生周知事項…… 15
　台風等の自然災害や交通機関運休による休講措置（湯島地区）…… 19
　学生・女性支援センター（５号館３階）について…… 20
　保健管理センター（５号館２階）について…… 20
　図書館について…… 21
　国立美術館キャンパスメンバーズについて…… 22
　１号館・２号館・７号館の管理、使用について…… 22
　歯学部附属病院の機構…… 26
　湯島キャンパス案内…… 28
１号館西６～８階平面図…… 29
２号館平面図…… 30
７号館平面図…… 31
１号館の配置…… 32
２号館の配置…… 33
７号館の配置…… 33
10号館の配置…… 34
M&Dタワーの配置 …… 34
３号館の配置…… 35
歯科棟の配置…… 35
平成26年度歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻専門課程科目授業計画表…… 36
歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻科目責任者連絡先一覧…… 37
歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻平成26年度第1年次専門科目授業時間割 …… 38
歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻平成26年度第2年次科目授業時間割 …… 39
歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻平成26年度第3年次科目授業時間割 …… 40
歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻平成26年度第4年次科目授業時間割 …… 41

第１学年履修科目・ユニット

口腔保健工学概論A …… 43
早期臨床体験実習…… 45
技術倫理…… 46
形態認識造形学…… 48
形態認識造形学実習A …… 49
メディア情報学基礎…… 51
口腔保健材料力学A …… 53
人体の構造と機能Ⅰ …… 55

第２学年履修科目・ユニット

口腔保健工学概論B …… 57
感染予防…… 59
形態認識造形学実習B …… 61
コミュニケーション論…… 63
科学英語Ⅰ …… 64
ヘルスプロモーション…… 65
人体の構造と機能Ⅱ …… 67
口腔保健理工学…… 70
口腔保健理工学実習…… 72
精密鋳造学…… 75
精密鋳造学実習…… 76
咬合学…… 79
咬合学実習…… 81
全部床義歯工学…… 83
部分床義歯工学…… 85
全部床義歯工学実習…… 87
部分床義歯工学実習A …… 91
保存修復工学…… 96
歯冠修復工学A …… 97
歯冠修復工学実習A …… 99
プロセスデバイス工学…… 102

第３学年履修科目・ユニット

口腔保健材料力学B …… 105
口腔保健材料力学実習…… 107
科学英語Ⅱ …… 109
咬合学実習…… 110
部分床義歯工学実習B …… 112
欠損再建工学…… 115

歯冠修復工学B …… 117
歯冠修復工学実習B …… 119
CAD/CAMシステム工学 …… 122
CAD/CAMシステム工学実習 …… 124
先進修復工学実習…… 126
セラミック加工学…… 128
セラミック加工学実習…… 129
口腔外科工学…… 131
人間工学デザイン論…… 133
バイオデザイン学…… 134
発育口腔工学…… 135
小児歯科工学…… 136
小児歯科工学実習…… 138
矯正歯科工学…… 140
矯正歯科工学実習…… 142
顎補綴工学…… 144
顎補綴工学実習…… 146
口腔リハビリテーション工学…… 148
キャリアマネージメント学…… 150
再建工学包括臨床実習A …… 151

第４学年履修科目・ユニット

画像解析学概論…… 155
画像解析学概論実習…… 157
オーラルインストゥルメント工学…… 159
スポーツ歯科工学…… 160
オーラルアプライアンス工学…… 162
特論Ⅰ（卒業研究）…… 163
特論Ⅱ（卒業作品）…… 165
再建工学包括臨床実習B …… 167

東京医科歯科大学学部専門科目履修規則

（平成２２年３月３０日
規　則　第　４　１　号）

（趣旨）

第１条　東京医科歯科大学における専門に関する教育科目（以下「専門科目」という。）の履修に関しては、東京医科歯科大学学則(平成１６年規程第４号。以下「学則」という。)に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

（専門科目の履修）

第２条　専門科目の履修については、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て別表１に定めるとおりとする。

（授業）

第３条　専門科目の授業は、講義、演習若しくは実習により行い、必修、選択必修又は選択とする。

（１単位当たりの授業時間）

第４条　学則第３６条に定める１単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

(1)　講義　　１５時間
(2)　演習　　３０時間
(3)　実習　　４５時間

２　前項第３号の規定にかかわらず、医学部保健衛生学科の臨地実習の１単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

(1)　看護学専攻　　４５時間
(2)　検査技術学専攻　３０時間

（編入学者、転入学者の単位認定）

第５条　学則第１２条から第１８条の２までの規定により編入学及び転入学の許可をするときは、既修得単位を全学共通科目及び専門科目に相当する単位として、一部又は全部を認定するものとする。

２　前項の認定は、全学共通科目に相当する科目については教養部において、専門科目に相当する科目については、当該学生が在籍する学部（以下「在籍学部」という。）におい

て行うものとする。
３　在籍学部は、入学を許可する学年及び履修方法等について、教養部と協議するものとする。

（再入学の単位認定）
第６条　学則第１９条の規定により再入学を許可された者の当該学部における既修得単位は、全学共通科目及び当該学部専門科目の単位として、一部または全部を認定する。

（編入学者、転入学者、再入学者の在学年限）
第７条　学則第１２条から第１９条の規定により、編入学、転入学及び再入学を許可された者の在学年限は、学則第３２条第１項に定める在学年限から入学を許可されたまでの経過学年数を減じた年数とする。

（試験及び単位）
第８条　履修した授業科目については、試験を行う。ただし、試験を行うことが困難な授業科目等については、試験によらず、学修の成果をもって、又は指定した課題についての報告をもって試験に替えることがある。
２　前項の試験に合格したときは、所定の単位を与える。
３　実習を伴わない授業科目については、試験に合格したときは所定の単位を与える。ただし、一授業科目の試験を分割して実施する科目については、そのすべての試験に合格しなければ単位を修得することができない。
４　実習を伴う授業科目については、試験に合格し、かつ、その授業科目の実習修了の認定が行われなければ所定の単位を修得することができない。
５　学習の評価は、別表２のとおりとする。
６　単位の認定は、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て当該学部長がこれを行う。
７　試験の方法に関しては別に定める。

（進級要件）
第９条　学生は、別表３に示す要件を満たさなければ、進級又は所定の授業科目の履修をすることができない。
２　医学部医学科にあっては、休学期間を除き、同一学年の在籍は２年までとし、なお成業の見込みがないと認められたときは、学則第３３条第１号の規定により退学を命ずる。

（卒業認定）
第１０条　学生の卒業認定は、学則第３９条により行うものとする。

（補足）

第１１条　この規則に定めるもののほか履修に関し必要な事項は各学部教授会の議を経て別に定める。

附　則

１　この規則は、平成２２年４月１日から施行する。

２　東京医科歯科大学医学部履修規則（平成１６年規則第２０１号）は、廃止する。

３　東京医科歯科大学歯学部履修規則（平成１６年規則第２１３号）は、廃止する。

４　平成２２年３月３１日において現に医学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２２年４月１日以降在学者の属する学年に再入学，転入学するものについては，改正後の別表の規程にかかわらず，なお従前の東京医科歯科大学医学部履修規則の例による。

５　平成２２年３月３１日において現に歯学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２２年４月１日以降在学者の属する学年に再入学，転入学する者については，改正後の別表の規程にかかわらず，なお従前の東京医科歯科大学歯学部履修規則の例による。

附　則（平成２３年３月４日規則第１５号）

１　この規則は、平成２３年４月１日から施行する。

２　平成２３年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２３年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２４年２月３日規則第１９号）

１　この規則は、平成２４年４月１日から施行する。

２　平成２４年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２４年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２４年３月３０日規則第６０号）

１　この規則は、平成２４年４月１日から施行する。

２　平成２４年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２４年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附　則（平成２５年３月２９日規則第５６号）

１　この規則は、平成２５年４月１日から施行する。

２　平成２５年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２５年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表１（３）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

（６）口腔保健学科（口腔保健工学専攻）教育課程

区分		授業科目	単位数		履修学年							
					１年		２年		３年		４年	
			必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
口腔保健基礎工学	口腔基礎科学	人体の構造と機能Ⅰ	2			○						
		人体の構造と機能Ⅱ	5				○	○				
		メディア情報学基礎	1			○						
		科学英語Ⅰ	1					○				
		科学英語Ⅱ	1						○			
		技術倫理	1			○						
	口腔保健工学統合学	口腔保健工学概論	2		○		○					
		キャリアマネージメント学	1						○			
		形態認識造形学	1			○						
		形態認識造形学実習	2			○	○	○				
		コミュニケーション論	1				○					
		ヘルスプロモーション(PBL)	2				○					
		人間工学デザイン論		1						○		
	口腔臨床科学	口腔外科工学	1						○			
		発育口腔工学	1							○		
		保存修復工学	1				○					
		欠損再建工学	1						○			
		口腔リハビリテーション工学	1							○		
		口腔保健理工学	3				○					
		口腔保健理工学実習	2				○					
		早期臨床体験実習（共）	1		○	○						
		感染予防	1				○					
口腔保健機材工学	情報歯科医療工学	口腔保健材料力学	2			○				○		
		口腔保健材料力学実習	1							○		
		画像解析学概論		1							○	
		画像解析学概論実習		1							○	

		CAD/CAM システム工学	1						○			
		CAD/CAM システム工学実習	1						○			
	生体材料加工学	オーラルインストゥルメント工学		1							○	
		バイオデザイン学		1						○		
		プロセスデバイス工学		2				○				
		精密鋳造学	1				○					
		精密鋳造学実習	1				○					
口腔保健再建工学	歯冠修復技工学	咬合学	1				○					
		咬合学実習	1					○	○			
		小児歯科工学	1							○		
		小児歯科工学実習	1							○		
		セラミック加工学	1						○			
		セラミック加工学実習	1						○			
		歯冠修復工学	4					○	○			
		歯冠修復工学実習	8					○	○			
		先進修復工学実習	1						○			
	口腔機能再建技工学	矯正歯科工学	2							○		
		矯正歯科工学実習	1							○		
		有床義歯工学	4				○	○				
		有床義歯工学実習	8				○	○	○			
		スポーツ歯科工学	1								○	
		顎補綴工学	1							○		
		顎補綴工学実習	1							○		
		オーラルアプライアンス工学	1								○	
		再建工学包括臨床実習	14							○	○	○
		特論Ⅰ（卒業研究）	3								○	○
		特論Ⅱ（卒業作品）	3								○	○
計			97	7								

※　選択科目から３単位以上修得する。

別表２

成績区分	評価区分	単位認定
１００～９０点	秀	合　格
８９～８０点	優	
７９～７０点	良	
６９～６０点	可	
５９～０点	不可	不合格

（５）口腔保健学科（口腔保健工学専攻）

（１）第１学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第２学年に進級することができない。 人体の構造と機能Ⅰ、メディア情報学基礎、技術倫理、形態認識造形学、早期臨床体験実習（共）、 （第１学年次に実施される授業を対象とする）口腔保健工学概論、形態認識造形学実習、口腔保健材料力学
（２）第２学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第３学年に進級することができない。 人体の構造と機能Ⅱ、科学英語Ⅰ、口腔保健工学概論、形態認識造形学実習、コミュニケーション論、ヘルスプロモーション（PBL）、保存修復工学、口腔保健理工学、口腔保健理工学実習、感染予防、精密鋳造学、精密鋳造学実習、咬合学、有床義歯工学、 （第２学年次に実施される授業を対象とする）咬合学実習、歯冠修復工学、歯冠修復工学実習、有床義歯工学実習
（３）第３学年の前期までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第３学年後期以降の授業科目を履修することができない。 CAD/CAM システム工学実習、咬合学実習、セラミック加工学実習、歯冠修復工学実習、先進修復工学実習、有床義歯工学実習
（４）第３学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第４学年に進級することができない。 科学英語Ⅱ、口腔外科工学、発育口腔工学、欠損再建工学、口腔リハビリテーション工学、口腔保健材料力学、口腔保健材料力学実習、CAD/CAM システム工学、小児歯科工学、小児歯科工学実習、セラミック加工学、歯冠修復工学、矯正歯科工学、矯正歯科工学実習、顎補綴工学、顎補綴工学実習

東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科専門科目履修内規

（平成２３年１２月７日
歯 学 部 長 制 定）

（趣旨）

第１条　この内規は、東京医科歯科大学学部専門科目履修規則（平成２２年規則第４１号。以下「履修規則」という。）第１１条に基づき、歯学部口腔保健学科における専門に関する教育科目の履修に関し、必要な事項を定めるものとする。

（学習の評価）

第２条　定期試験及び追試験の成績については、担当教員が１００点満点で採点し、授業科目ごとに履修規則別表２のとおり学習の評価を行う。

２　第１項の学習の評価に、平常の学習の成果を加味することができる。

（必修科目及び仮進級）

第３条　履修規則別表３(4)(5)に掲げる科目は、必修科目とする。

２　必修科目に係る試験の不合格者については、仮進級を認めない。

（ＧＰ）

第４条　ＧＰ（Grade Point）で成績を評価する場合は次のとおりとする。

成績評価	秀	優	良	可	不可
ＧＰ	4.0	3.0	2.0	1.0	0
成績区分	90 点以上	89～80 点	79～70 点	69～60 点	59 点以下

２　選択科目の履修を届け出た後、単位を認定されなかった科目については、未履修科目とし、ＧＰＡ（Grade Point Average）の計算式には算入しない。

（補則）

第５条　この内規に定めるもののほか、履修に関し必要な事項は各専攻において別に定めることができる。

附　則

１　この内規は、平成２３年１２月７日から施行し、平成２３年４月１日から適用する。

２　平成２３年３月３１日において現に歯学部口腔保健学科に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成２３年４月１日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、この内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

東京医科歯科大学試験規則

（平成２３年４月１日
規則第１号）

（趣旨）

第１条　この規則は、東京医科歯科大学における全学に共通する教育科目及び専門に関する教育科目（以下「授業科目」という。）の試験に関して、東京医科歯科大学学則（平成１６年規程第４号。以下「学則」という。）、東京医科歯科大学全学共通科目履修規則（平成１６年規則第２１７号。）及び東京医科歯科大学学部専門科目履修規則（平成２２年規則第４１号。）に定めるもののほか、必要な事項を定める。

（試験の種類）

第２条　試験は、本試験、追試験及び再試験とする。

（試験の方法）

第３条　試験は、筆答試験、コンピュータ活用試験、口答試験及び実地試験のいずれかによって行う。

（本試験）

第４条　本試験は、定期試験及び共用試験をいう。

２　共用試験は、医学部医学科及び歯学部歯学科において行う。

（定期試験）

第５条　定期試験とは、履修した授業科目について行う試験をいう。

２　定期試験の実施日時は、試験実施日の２週間前までに公示する。

３　定期試験を受験することのできる者は原則として次のとおりとする。

(1) 講義及び演習　　当該授業科目の授業時間数の３分の２以上履修した者

(2) 実習　　当該授業科目の授業時間数の４分の３以上履修した者

４　定期試験の結果は、公示する。

５　第３項に定めるもののほか、定期試験の受験資格に関し必要な事項は、医学部、歯学部又は教養部（以下「部局」という。）において別に定めることができる。

（共用試験）

第６条　共用試験とは、知識・問題解決能力を主として評価する多肢選択形式のコンピュータ活用試験（ＣＢＴ）及び技能・態度を主として評価する客観的臨床能力試験（ＯＳＣＥ）をいう。

２　共用試験の実施日時は、試験実施日の２週間前までに公示する。

３　共用試験を受験することのできる者は医学部医学科及び歯学部歯学科において

別に定める。
４　共用試験の結果は、公示する。

（追試験）
第７条　追試験とは、病気、その他止むを得ない理由により本試験を受験できなかった者に対して行う試験をいう。ただし、追試験は原則として１回限りとする。
２　追試験を受験しようとする者（以下「追試験申請者」という。）は、所定の受験申請書に医師の診断書等の証明書類を添えて、本試験終了後原則として５日以内に医学部長、歯学部長又は教養部長（以下「学部長等」という。）に願い出て、許可を受けなければならない。
３　学部長等は、前項の申請について、教育委員会又は教務委員会と協議のうえ、その可否を決定し、追試験申請者に通知するものとする。
４　追試験受験決定が否の場合は、本試験を不合格とする。
５　試験の結果は、公示する。
６　第２項に定めるもののほか、追試験の申請に関し必要な事項は、部局において別に定めることができる。

（再試験）
第８条　再試験とは、本試験又は追試験を受験し、不合格となった者に対し行う試験をいう。ただし、再試験は、原則として１回限りとする。
２　再試験の実施日時は、指定の期日までに公示する。
３　再試験は当該学部長等の判断により、受験を許可しないことがある。
４　再試験受験決定が否の場合は、当該授業科目を不合格とする。
５　試験の結果は、公示する。
６　第３項に定めるもののほか、再試験の許可に関し必要な事項は、部局において別に定めることができる。

（試験の成績）
第９条　本試験及び追試験による成績については、科目責任者が１００点満点で採点し、６０点以上を合格とする。
２　再試験の成績については、科目責任者が採点する。ただし成績は、６０点を上限とする。
３　共用試験の成績については、前２項の規定にかかわらず、医学部医学科及び歯学部歯学科において別に定める。

（成績の報告）
第１０条　科目責任者は、本試験、追試験及び再試験について所定の用紙に採点結果を記入し、指定の期日までに当該学部長等に報告しなければならない。
２　医学科教育委員会委員長又は歯学科教育委員会委員長は、共用試験について所定の用紙に採点結果を記入し、指定の期日までに当該学部長に報告しなければならない。

（罰則）

第１１条　試験において不正行為があったときは、学則第５８条の規定による懲戒の手続きをとるものとする。

（補則）

第１２条　この規則に定めるもののほか、試験に関し必要な事項は別に定める。

附　則

１　この規則は、平成２３年４月１日から施行する。

２　東京医科歯科大学医学部試験規則（平成１６年規則２０２号）は廃止する。

３　東京医科歯科大学歯学部試験規則（平成１６年規則２１４号）は廃止する。

４　この規則は、平成23年3月31日において現に医学部または歯学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降在学者が所属する学年に再入学、転入学するものについては、改正後の規則にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学医学部試験規則または東京医科歯科大学歯学部試験規則の例による。

東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科試験内規

（平成２３年１２月７日
歯　学　部　長　制　定）

（趣旨）
第１条　この内規は、東京医科歯科大学試験規則（平成２３年規則第１号。以下「試験規則」という。）第１２条に基づき、歯学部口腔保健学科における専門に関する教育科目の試験に関し、必要な事項を定めるものとする。

（試験の種類）
第２条　試験規則第５条に規定する定期試験とは、期末試験及び中間試験とする。

（期末試験及び中間試験）
第３条　期末試験とは、履修を修了した授業科目及び授業科目を構成するユニット（以下「ユニット」という。）について定期的に行う試験をいう。
２　中間試験とは、履修中の授業科目及びユニットについて適宜行う試験をいう。
３　期末試験及び中間試験の実施時期については、口腔保健衛生学専攻及び口腔保健工学専攻（以下、「各専攻」という。）において別に定める。

（追試験）
第４条　追試験は、原則として定期試験の実施期間に行う。

（再試験）
第５条　定期試験に係る再試験は、原則として定期試験の実施期間に行う。

（補則）
第６条　この内規に定めるもののほか、試験に関し必要な事項は各専攻において別に定めることができる。

附　則
１．この内規は、平成２３年１２月７日から施行し、平成２３年４月１日から適用する。
２．東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科に平成２３年３月３１日に在学し、引き続き本学科の在学者となった者（以下「在学者」という。）及び平成２３年４月１日以後在学者の属する学年に再入学、転入学及び編入学する者に係る試験については、この内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

学生周知事項等

歯科技工士国家試験について

東京都歯科技工士国家試験（東京都福祉保健局）

[試験の概要]

(試験科目)

（1）学説試験

歯科理工学、歯の解剖学、顎口腔機能学、有床義歯技工学、歯冠修復技工学、矯正歯科技工学、小児歯科技工学、関係法規

（2）実地試験

歯科技工実技

(受験資格)

（1）文部科学大臣の指定した歯科技工士学校を卒業した者

（2）厚生労働大臣の指定した歯科技工士養成校を卒業した者

（3）歯科医師国家試験又は歯科医師国家試験予備試験を受けることができる者

（4）外国の歯科技工士学校若しくは歯科技工士養成所を卒業し、又は外国で歯科技工士の免許を受けた者で、厚生労働大臣が前記（1）（2）（3）に揚げる者と同等以上の知識及び技能を有すると認めた者（出願前に東京都に申し出る必要があります。）

(試験期日)

例年、2月の第2週に行われます。

平成26年の東京都歯科技工士国家試験は、学説試験が平成26年2月10日（月）午後1時から午後5時まで、実地試験が2月13日（木）又は2月14日（金）のうち指定するいずれかの日の午前9時から午後4時30分まで行われました。

(試験手数料)

受験手数料の額は36,000円です。

ただし、東京都福祉保健局関係手数料条例（平成12年東京都条例第87号）第5条に基づき、次のアに掲げる者については試験手数料を免除、イに掲げる者については試験手数料の２分の１の額を減額されます。

ア　生活保護法（昭和25年法律第144号）による扶助を受けている者

イ　身体障害者福祉法（昭和24年法律第383号）による身体障害者手帳を受けている者

該当する場合は、所定の様式に当該事項を証する書類の写しを添付して申請し、出願の際には原本を持参し、照合を受ける必要があります。

(受験手続)

1．必要書類

ア　受験願書

イ　受験資格を証する書類（受験資格の（1）、（2）に該当する者は卒業証明書、卒業見込証明書）

ウ　受験写真用台紙（写真貼付）および受験票（領収証書貼付）

エ　連絡用住所・氏名シール

2．出願について

大学で必要書類をとりまとめ、東京都福祉保健局に提出します。

なお、出願に必要な書類は、東京都福祉保健局から毎年 12 月に各学校・養成所に送付されます。

(その他)

1．視覚、聴覚、音声機能又は言語機能に障害を有する者で受験を希望するものは、例年 11 月末までに東京都福祉保健局まで申し出る必要があります。申し出た者については、受験の際にその障害の状態に応じて必要な配慮を講じることがあります。

2．書類作成のために、戸籍抄本の写しが必要です。

学生周知事項

1．掲示について

学生への告知、通知、連絡はすべて掲示板に掲示します。掲示の見落としがないよう十分注意すると共に、1日に1度は掲示を見て不利益をこうむらないように心がけましょう。

（口腔保健工学専攻掲示板は2号館2階にあります。）

2．学生証について

（1）学生証は常に携帯すること。

（2）学生証を紛失または破損等したときは、学務企画課（1号館西1階）に届け出て再交付の手続きをしてください。再交付費用（1,000円）は学生本人の負担とします。

（3）学生証は卒業、退学または除籍のときには直ちに学務企画課へ返納すること。返却できない場合は、費用を負担することとします。

3．学生旅客運賃割引証

（1）課外活動または帰省等でJR線を利用し、乗車区間が片道100kmを超える場合、旅客運賃の割引（2割）を受けることができます。

（2）学割証の不正使用（第三者への貸与等）は絶対にしないこと。

（3）年間使用限度枚数は1人10枚（1回につき2枚まで）です。

（4）私鉄、バス等の利用において通学証明書を必要とする場合は、所定の用紙をもらい、学務企画課企画調査掛（1号館西1階）に問い合わせてください。

（5）学割証が必要なときは5号館4階談話室にある証明書自動発行機を使用すること。利用日時:月曜日～金曜日、8：30～21：00

問い合わせ先：学務企画課企画調査掛（内線5075）

4．証明書等

証明書等は、教務課および証明書自動発行機にて発行します。

http://www.tmd.ac.jp/campuslife/procedure/shigaku/index.html

（1）次に掲げるものは、教務課歯学系教務掛（1号館西1階）で発行します。歯学部証明書交付願を記入し提出してください。（受付時間　8：30～17：15）

（①～③の交付は、原則として交付願を受理した日から1週間程度要します。）

①成績証明書

②調査書

③英文の在学証明書

（2）次に掲げるものは、5 号館 4 階談話室にある自動発行機で発行します。

（利用日時：月曜日～金曜日、8：30～21：00）

（問い合わせ先：学務企画課企画調査掛（内線 5075））

①在学証明書

②卒業見込証明書（第 4 学年在学者のみ）

（3）次に掲げるものは、学務企画課企画調査掛（1 号館西 1 階）で発行します。

①通学証明書（交通機関から請求された場合に限る）

通学証明書が必要な場合は、企画調査掛に問い合わせてください。

鉄道やバスの通学定期券を購入する場合は、住居の最寄り駅または大学の最寄り駅にて学生証を提示し、直接購入してください。

5．住所・氏名等の変更について

本人または保証人の住所、氏名、電話、本籍等（電話番号を含む）に変更が生じたときには、速やかに教務掛へ申し出て所定の手続きをしてください。

6．欠席、休学、復学、退学

（1）授業の欠席

病気その他の事由により欠席した場合は、欠席届を教務課歯学系教務掛（1 号館西 1 階）へ提出すること。（病気の場合は、必ず医師の診断書を添付すること。）

（2）休学

病気その他の事由により、引き続き 3 か月以上休学する場合は、休学願（保証人連署）を歯学系教務掛へ提出し、学長の許可を得ること。（病気の場合は、必ず医師の診断書を添付すること。）

休学を許可される期間は、通算して 2 年以内です。（特別の事情があるときは、さらに 1 年以内の休学が許可されることがあります。）

（3）復学

休学している学生が、休学許可期間の途中または満了時に復学を希望する場合は、復学願（保証人連署）を歯学系教務掛へ提出し、学長の許可を得ること。（病気を理由に休学した場合は、復学可能である旨の医師の診断書を添付すること。）

（4）退学

病気その他の事由により、学業を継続することが困難となり、退学しようとする場合は、退学願（保証人連署）を歯学系教務掛へ提出し、学長の許可を得ること。

なお、退学するにあたっては、事前に担任教員等と面談し、退学事由等について十分相談すること。

7．　ネームプレート着用について

歯学部学生であることを明示するために、歯学部・同附属病院実習中は必ずネームプレートを着用すること。

プレートは貸与とし、紛失または破損した場合は、再交付を受けるものとします。この場合は実費を負担すること。

学科専攻名と氏名の間のスペースに学年を表示するシール（例「OE2」）を貼ること。シールは歯学系教務掛で配布しているので、汚損したら適宜貼りかえること。

8．　授業中（大学行事、課外授業を含む。）の事故等

入学時に加入した「学校教育災害傷害保険」（学研災）および「医学生教育研究賠償責任保険」（医学陪）の対象となります。（詳細は「学生生活の手引き」を参照してください。）

問い合わせ先：学生支援課（5 号館 3 階）内線（5077）

http://www.tmd.ac.jp/campuslife/support/insurance-regime/index.html

9．　遺失物および拾得物

学内での遺失物に関する問い合わせまたは拾得物の届け出は、下記のとおりです。

（1）講義室、実習室、ロッカー室：学務部教務課（1 号館西 1 階：内線 5411）

学部防災センター（歯科棟北 1 階）

口腔保健工学専攻事務室（2 号館 2 階：内線 5780）

（2）上記（1）以外：歯学部総務課（歯科棟南 2 階：内線 5406）

10. 授業料の払込について

金融機関の預金口座振替により、授業料が引き落とされます。

前期分授業料は 4 月中に、後期分授業料は 10 月中に納付すること。

11. 湯島キャンパスにおける講義受講に際しての注意事項

（1）**授業中のパーソナルコンピュータ、スマートフォンなどの機器使用の制限について**

授業中におけるパーソナルコンピュータ、タブレット端末、スマートフォンなどの携帯電話等の使用に関して以下のように定められています。

1）当該授業に関係のない機器を使用することを禁止します。

2）授業担当者あるいは授業補助者が、学生が当該授業に関係のない機器を使用していると認めたときは、次のように使用を制限することができます。

① 当該機器の電源を強制的に OFF にする。

② 当該授業終了時まで授業担当者あるいは授業補助者が当該機器を保管することができる。

③ 当該学生を退出させる。再入室にあたっては当該機器を持ち込んでいないことを条件とする。

（2）**カードリーダーの設置について**

各講義室及び実習室、リフレッシュルーム等には、カードリーダーが設置されています。

各授業の出席については、原則的にこれらに学生証をタッチすることで登録を行いますので、学生証を必ず忘れないようにすること。

なお、授業によりこの装置を使用しないことがあります。その場合は担当教員の指示に従ってください。

また、万が一、学生証を忘れた場合、教務掛でその日限りの貸出カードを一時的に貸与しますので申し出てください。

（3）平日の午前8時30分から午後5時まで歯学部附属病院玄関から出入りすることを原則禁止します。

（4）歯学部建物内へは、以下のように出入りすること。

1）聖門⇔1号館、2号館、7号館

2）正門⇔1号館、2号館、7号館

3）御茶ノ水門あるいは丸の内線出口⇔1号館、2号館、歯学部附属病院防災センター（歯学部時間外通用門）

（5）白衣または実習着を着用していない学生は、歯学部附属病院の聖橋側エレベーターを使用すること。

（6）臨床実習履修中の学生以外がやむを得ない理由で歯学部附属病院内を移動するときは、私語を慎むこと。

（7）白衣または実習着を着用したまま学外に出ないこと。

（8）校舎内は禁煙です。

12. 附属病院内での注意事項

（1）附属病院内の通行に際しては、特に患者さんに配慮すること。

（2）附属病院内の患者待合室での休憩は禁止します。

（3）附属病院内では、つっかけ・スリッパ等の使用を禁止します。

13. その他

（1）クラブ、サークル等宛の郵便物等は、学生支援課の窓口で保管しているので、責任者は適宜確認してください。

なお、個人宛の郵便物等は、大学に配達されることがないようにお願いします。

（2）事務の窓口

教務事務：学務部教務課歯学系教務掛（1号館西1階、内線5411）

授業料の納入：財務施設部財務管理課収入管理掛（1号館西3階、内線5048）

奨学金、授業料免除：学務部学生支援課学生支援総括掛（5号館3階、内線5077）

奨学金： http://www.tmd.ac.jp/campuslife/scholarship/index.html

授業料免除：http://www.tmd.ac.jp/campuslife/exemption/index.html

台風等の自然災害や交通機関運休による休講措置（湯島地区）

台風等の自然災害や交通機関運休に伴う湯島地区で行う授業の休講、試験の延期の措置等を決定した場合は、下記により本学のホームページ「学部・大学院」ニュース欄に掲載します。

URL: http://www.tmd.ac.jp/faculties/index.html

○台風などで首都圏に直接災害が予想される場合

・午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、午前6時30分までに公示する。

・午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、午前10時までに公示する。

・夜間（午後6時以降）の授業を休講、夜間（午後6時以降）の試験を延期とする場合は、午後4時までに公示する。

○首都圏における交通機関（JRおよび大手私鉄・地下鉄など）が全面的に運転を休止している場合

・午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、午前6時30分までに公示する。

・午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、午前10時までに公示する。

・夜間（午後6時以降）の授業を休講、夜間（午後6時以降）の試験を延期とする場合は、午後4時までに公示する。

学生支援・保健機構について

学生・女性支援センターについて

1．場所：5 号館 3 階

2．開室時間：9：00～17：00

3．主な業務：生活、修学、就職、メンタルヘルス及びハラスメントに関することなど、キャンパスライフ全般にわたり全学的に支援を行い、学生支援活動の充実を図ることを目的として設置されています。

- 生活に関する相談…家族の問題・経済的な問題・恋愛問題など
- 修学に関する相談…勉強の進捗状況・進学・研究室の人間関係など
- 就職に関する相談…卒業後の進路・就職活動など
- メンタルヘルスに関する相談…健康の問題・ストレス・心の問題・対人関係など
- ハラスメントに関する相談…アカデミックハラスメント・パワーハラスメント・セクシャルハラスメントなど

4．個別相談時間： 10:30～17:00（ご予約ください。予約なしでも可能な限り対応します。）

5．就職・キャリア支援に関する情報の提供（学務部学生支援課と共同企画・運営）

ホームページ：http://www.tmd.ac.jp/campuslife/career/index.html

6．問い合わせ先：内線 4959

ホームページ： http://www.tmd.ac.jp/cmn/stdc/index.html

保健管理センターについて

1．場所：5 号館 2 階

2．利用可能時間：8：45～12：00、13：00～17：00

3．主な業務：（詳細は「保健管理センター案内」を参照してください。）

- 健康相談、処置（担当医による相談：10：00～12：00、13：00～15：00）
- 健康診断書の発行：事前申し込みが必要です。必ず学生一般定期健康診断を受けていなければなりません。保健管理センター窓口で相談してください。
- 健康診断（5 月）と各種検査、ワクチン接種（年間予定により実施）

4．問い合わせ先：内線 5081

ホームページ： http://www.tmd.ac.jp/cmn/hsc/hsc.htm

図書館について

１．場所：M&D タワー3 階（カウンター、閲覧席等）、4 階（閲覧席、情報検索室等）

２．利用可能時間：

開館時間　　平日	8：30～22：00
土日祝	8：30～17：00
（情報検索室）平日	9：00～21：00
土日祝	9：00～16：00
休館日	年末年始

３．利用方法：（詳細は「図書館利用案内」を参照してください。）

- 図書館の利用には、利用証が必要です。IC カードタイプの学生証が利用証になります。
- 貸出を希望される資料と利用証を持って、カウンターへお越しください。自動貸出機もご利用いただけます。
- 引き続き資料を利用したい場合、貸出期間を延長することが出来ます。My Library もしくはカウンターで延長手続きをしてください。
- 本館・分館間で週に一度、資料の取り寄せを行っています。カウンターで申込手続きを行ってください。
- 本館・分館の資料は、どちらの図書館でも返却できます。

  開館時：カウンターに返却してください。

  閉館時：入り口に設置されたブックポストに返却してください。
- 製本雑誌は自動書庫に保管されています。あらかじめ予約をしてご利用ください。
- 電子ジャーナルは出版社との契約により、学内 LAN からの利用のみになります。
- 本学の資料を著作権の範囲内で複製することができます。コピーはセルフサービスです。図書館に設置されているコピー機をお使いください。現金またはプリペイドカードでお支払いください。料金：モノクロ 1 枚　10 円　カラー1 枚　50 円
- 情報検索室では備付の PC が利用できます。ネットワークの利用にはアカウントとパスワードが必要です。プリンターは情報検索室を出て左手奥に 2 台設置されており、有料となります。
- 館内は無線 LAN 対応です。各自で持ち込まれるパソコンからインターネット、学内 LAN に接続する場合は、アカウントとパスワードが必要となります。印刷は自動書庫傍に印刷専用の PC が設置されています。USB メモリー等によりデータを移し、印刷してください。印刷物は PC 左手のプリンター（有料）から出力されます。
- 利用したい資料が学内（講座・電子ジャーナル含む）になく、他大学や研究機関の図書館で所蔵している場合、複写を申し込む、または図書を取り寄せることができます。複写と貸借のお申込みは、My Library か図書館カウンターで受付けています。
- 他大学の図書館を利用する場合、身分証の他に紹介状が必要です。訪問先で利用したい資料の所在を確認し、カウンターでお申込みください。なお、明治大学の図書館は本学の学生証で利用することができます。
- 館内での飲食は原則禁止です。（本館では、3 階の図書館入口前に、飲食ラウンジがあります。）

４．問い合わせ先：内線　5596　　e-mail: info-serve.lib@ml.tmd.ac.jp

ホームページ: http://www.tmd.ac.jp/lib/guide/top.html

国立美術館キャンパスメンバーズについて

「国立美術館キャンパスメンバーズ」とは、学校教育において美術館を有効に活用することと、学生や教職員の美術に親しむ機会をより豊かにすることを目的とした、大学等を対象とする制度です。本学でもこのキャンパスメンバーズに加入しています。

１．対象：本学の学部学生・大学院生・教職員

２．特典：所蔵作品展の「無料観覧」（所蔵作品を持たない国立新美術館を除く）

特別展・共催展の「割引観覧」（学生は大学生団体料金・教職員は一般団体料金）

３．利用方法：各館の券売所または改札で学生は学生証、教職員は身分証明書を提示し、キャンパスメンバーズの利用の旨を伝え、入館または観覧券を購入してください。学生証、身分証明書を持参していない場合、特典を受けることはできません。なお、詳しい日程は、各館のホームページで確認してください。

４．利用機関：以下の３館

国立西洋美術館、東京国立近代美術館、国立新美術館

５．ホームページ：　http://www.tmd.ac.jp/campuslife/campus_members/index.html

http://www.campusmembers.jp/

１号館西・２号館・７号館の管理、使用について

１．１号館西・2 号館・7 号館の出入口の施錠（平日）について

１号館西出入口

１号館西　正面玄関　　終日出入可（防災センター管理）

１号館西　東側出入口　解錠　6：00　施錠　18：30

２号館出入口

２階正面玄関　　解錠　7：30　施錠　18：00

２階外階段　　解錠　7：30　施錠　18：00

（施錠後はカードリーダーに学生証をタッチすることで外から入ることが可能です。）

２階歯科棟接続口　　終日出入可

７号館出入口

１階聖門側（1 か所）　　解錠　7：30　施錠　18：00

歯科棟北接続口（東側 6 か所）　　解錠　7：30　施錠　18：00

１号館東接続口（2 階、3 階 2 か所）　解錠　7：00　施錠　20：00

消防法の規定により、歯科棟側と 2 階外階段出入口は避難口のため、施錠しても建物内から外へは常に出られます。

ただし、7号館の1号館東接続口（2階、3階）は施錠すると出入りできません。

2．1号館西・2号館・7号館内各室の施錠について

1号館西講義室　　解錠　7：30　施錠　18：00

2号館講義室　　随時（口腔保健工学専攻教員が解・施錠）

7号館講義室　　解錠　7：30　施錠　17：00

2号館学生ロッカー室　　番号ロック制

3．1号館西・2号館・7号館における講義室の目的外使用について

講義室は、原則として目的外使用は許可しません。

4．学生ロッカー室（2号館3階）について

（1）ロッカー室は、更衣のほか、休憩室として使用できます。

（2）各人にロッカーが貸与されるので、丁寧に使用してください。

男子学生は学生ロッカー室1、女子学生は学生ロッカー室2を使用します。

また、各人の責による破損等については、各人の負担により原状回復してください。

（3）ロッカーの使用にあたって、各人で暗証番号を設定し、ロッカーには必ず鍵を閉め、盗難に注意しましょう。ロッカーでの盗難が多発しているので、特に貴重品等の管理は厳重にしてください。

（4）ロッカーの上部に私物を置かないこと。放置された私物は、適宜、予告なしに処分されます。

（5）ロッカーの内外部にシール、ポスター等を貼らないこと。

（6）飲食後の空容器、紙くず等は必ず分別してごみ箱に捨て、ロッカー室に放置しないこと。

（7）ロッカー室でサークルの集会をしたり、マージャン等をしたりしないこと。

5．リフレッシュルーム（2号館）の使用について

（1）リフレッシュルームは、食事、休憩、歯磨きなどの目的で使用します。

（2）口腔保健学科口腔保健工学専攻学生の共用で使用します。

（3）周囲に迷惑がかからぬよう、お互いに協力して、節度をもって使用すること。

（4）リフレッシュルームの棚にある図書、雑誌は、口腔保健工学専攻学生の共用とします。一部の学生が独占的に利用することがないようにしましょう。図書、雑誌の管理は学生に任されています。紛失や破損等については、各人の負担により原状回復してください。

（5）注意事項

・　私物を保管・放置したり、特定の場所を占拠したりしないこと。放置された私物は、適宜、予告なしに処分されます。

・　エアコンの設定温度に留意し、誰もいないときにはエアコンを消すこと。

・　飲食した空容器、紙くず等は放置せず、必ず分別してごみ箱に捨てること。

・　洗面台の排水が詰まるので、食べ物のカス等を流さないこと。

・　全員退出する際には電源を全て消すこと。

・　掲示板およびホワイトボードは全学年共用で、学生間の連絡のほか、教員からの連絡にも使用することがあります。不要になった書き込みや掲示物は、書いたものや掲示したものが責任を持って消し、撤去してください。

（6）リフレッシュルームは平日に使用できますが、長期休暇中は平日も施錠されるので、その期間中に使用したい学生は、口腔保健工学専攻教員に申し出て解・施錠してもらうこと。

6．歯学部リフレッシュルーム（7 号館）の使用について

7 号館 1 階および 6 階には、学生の休息、自己学習等での使用を目的としたリフレッシュスペースが設けられています。この施設では、無線 LAN を利用して学内 LAN への接続も可能になっています。施設を利用する場合は、下記の注意事項を厳守してください。

（1）利用時間

平日　午前 8 時 30 分から午後 7 時 30 分まで

（2）利用する上での注意事項

1）きれいに、清潔に利用すること。

2）一部の学生が独占的に利用する環境を作らないこと。

3）私物や貴重品は極力置かないこと（紛失は本人の責任になります）。

4）禁煙です。

5）本学学生としてあるまじき行為を行った場合、大学の懲戒規定にかかるとともに、他の学生を含め、当施設の利用を全面的に禁止することが有り得ることを念頭に置き、使用してください。

6）他に使用している学生を考慮し、騒がないこと。

7）ごみの始末は各自で行うこと。

7．学生用ホワイトボード（リフレッシュルーム）の使用について

（1）掲示物の内容については関知しないが、良識をもって掲示すること。

（2）掲示期間を過ぎることのないよう、自主的に撤去すること。

8．講義室・実習室の使用について

（1）講義室・実習室における飲食は原則として禁止します。

（2）講義室の机の上に腰をかけないこと。

（3）7 号館 7 階以上は動物実験施設なので、感染予防等のため関係者以外の出入りを禁止します。

（4）講義室・実習室においては、紙くず等を散らさないようにし、必ず分別してごみ箱に捨てること。

（5）参考書・ノート等の私物は講義室の中に放置しないこと。放置された私物は、適宜、予告なしに処分されます。

（6）室内は学生用ホワイトボード・掲示板以外に掲示物の添付を禁じます。

（7）講義室・実習室等においては、下駄ばきを厳禁します。

9．非常時の避難経路について

学内で地震や火災などの非常事態が起こった場合、あわてずに教員の指示に従って行動してください。講義室や実習室等、2 号館

内にいる場合、教員の指示によりいったん 2 号館正面玄関前の駐車場に集合してから、M&D タワー前の避難場所に移動します。詳細は、大規模地震ポケットマニュアルを参照してください。

10. 災害時への対応について

（1）「大規模地震ポケットマニュアル」

本学の学生及び教職員を対象に、大規模地震（震度 5 強以上を想定）が発生した場合の初動対応を掲載した、「大規模地震ポケットマニュアル」を配布しました。

このマニュアルは、常時携行し、大規模地震が発生した場合の安全確保や避難及び安否確認等に役立ててください。なお、マニュアルがお手元に届かない場合、あるいは破損・紛失した場合は、教務課窓口に取りに来てください。

なお、このマニュアルは、ホームページからも確認できます。

（教職員学生向け情報サイト　危機管理に関する情報）

http://www1.tmd.ac.jp/others/soumusoumu/soumu/20110405/index.html

（2）「安否確認システム」の導入

大規模地震、風水害等による本学の学生及び教職員の安否確認のため、携帯電話・スマートフォン・パソコンから安否情報を入力できる安否確認システムを導入しました。

大規模地震や風水害の際には、配布しました「大規模地震ポケットマニュアル」の「安否確認システムによる報告」をご覧いただき、ポケットマニュアルに掲載の QR コード又は URL（https//anpi.tmd.ac.jp/）を直接入力することにより安否確認システムにアクセスし、ID（学籍番号）とパスワード（初期値は ID と同じ）によりログインして自身の安否を入力していただくことになります。大規模地震や風水害の際には、本システムにより大学からの情報を確認し、安否情報の入力をお願いします。

なお、このシステムの操作方法等については、ホームページから確認してください。

（教職員学生向け情報サイト　危機管理に関する情報）

http://www1.tmd.ac.jp/others/soumusoumu/soumu/20110405/index.html

歯学部附属病院の機構

歯学部附属病院は患者の診療を通じて歯学の教育と研究を行う場です。しかし、最近では社会の要請にも答える必要から、歯科医療における模範的診療機関としての使命も課せられています。

１． 診療科

歯科病棟	8階
歯科麻酔外来	7階
インプラント外来	
口腔外科外来	6階
顎顔面外科外来	
顎義歯外来	
言語治療外来	
むし歯外来	5階
歯周病外来	
第一総合診療室	4階
第二総合診療室	
歯科心身医療外来	
顎関節治療部	
快眠歯科（いびき・無呼吸）外来	
義歯外来	3階
歯科アレルギー外来	
スポーツ歯科外来	
クリーンルーム歯科外来	
矯正歯科外来	2階
小児歯科外来	
ペインクリニック	
口腔ケア外来	
歯科総合診療部	1階
スペシャルケア外来（高齢者）	
スペシャルケア外来（障がい者）	
摂食リハビリテーション外来	
息さわやか外来	
セカンドオピニオン外来	
歯科放射線外来	地下１階

クリーンルーム歯科外来（3階）は、院内感染のリスクを分散しないために、血液・唾液・その他を媒体として院内感染を引き起こす可能性のある病原微生物（肝炎ウィルス、HIV、MRSA など）を有する患者のうち、内科主治医等により疾患の管理がなされ、外来診療に耐え得る患者の一般歯科診療を行う施設として設けられています。

第１総合診療室（4階）は歯学科学生臨床実習の場として、一口腔単位の総合歯科診療が行われています。学生は歯科診療用ユニットと技工机（5階）が配当されます。また、第２総合診療室（4階）は臨床研修医の総合研修が行われています。口腔保健学科口腔ケア実習北２診療室（4階）では口腔保健学科口腔保健衛生学専攻学生の臨床実習が行われます。

２．病棟（8階）

入院患者のために、60 床のベッドとそれに必要な処置室、記録室等付帯施設が完備され、基準看護のもとに、日夜にわたる診療体制が敷かれています。

３．中央診療施設

検査部、歯科技工部、医療安全管理室、感染対策室、診療情報管理室、歯科臨床研修センター、地域歯科医療連携センター、歯科医療情報センター、歯科器材・薬品開発センター、中央手術室、中央器材室が設置されています。

歯科技工部は、歯学部附属病院３階にあり、約 30 名の歯科技工士が全診療科で扱う補綴物の製作等の歯科技工業務を行っています。附属歯科技工士学校および口腔保健工学専攻の学生の臨床実習では歯科技工部を通して患者のための歯科技工を実際に行います。

４．薬剤部（1 階）

数名の薬剤師が配置されており、薬剤に関する業務（調剤、製剤、処方、薬品の管理、薬品の情報の収集・伝達など）および歯学科臨床実習を行う学生に対する処方箋の取り扱いその他の教育を行っています。

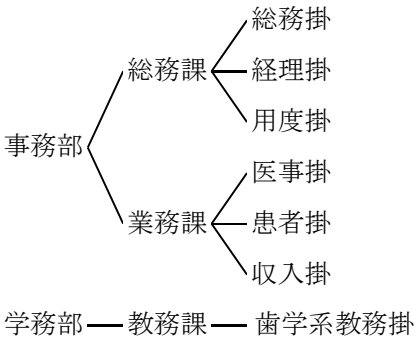
５．看護部

約 80 名の看護師が各診療科や病棟に配置されており、病院の看護業務を行っています。

６．歯科衛生保健部

約 30 名の歯科衛生士が口腔ケア外来や関係診療科に配置されており、歯科診療における歯科健康教育、歯科予防処置、歯科診療補助を行っています。口腔保健学科口腔保健衛生学専攻の学生の教育を行っています。

７．事務部



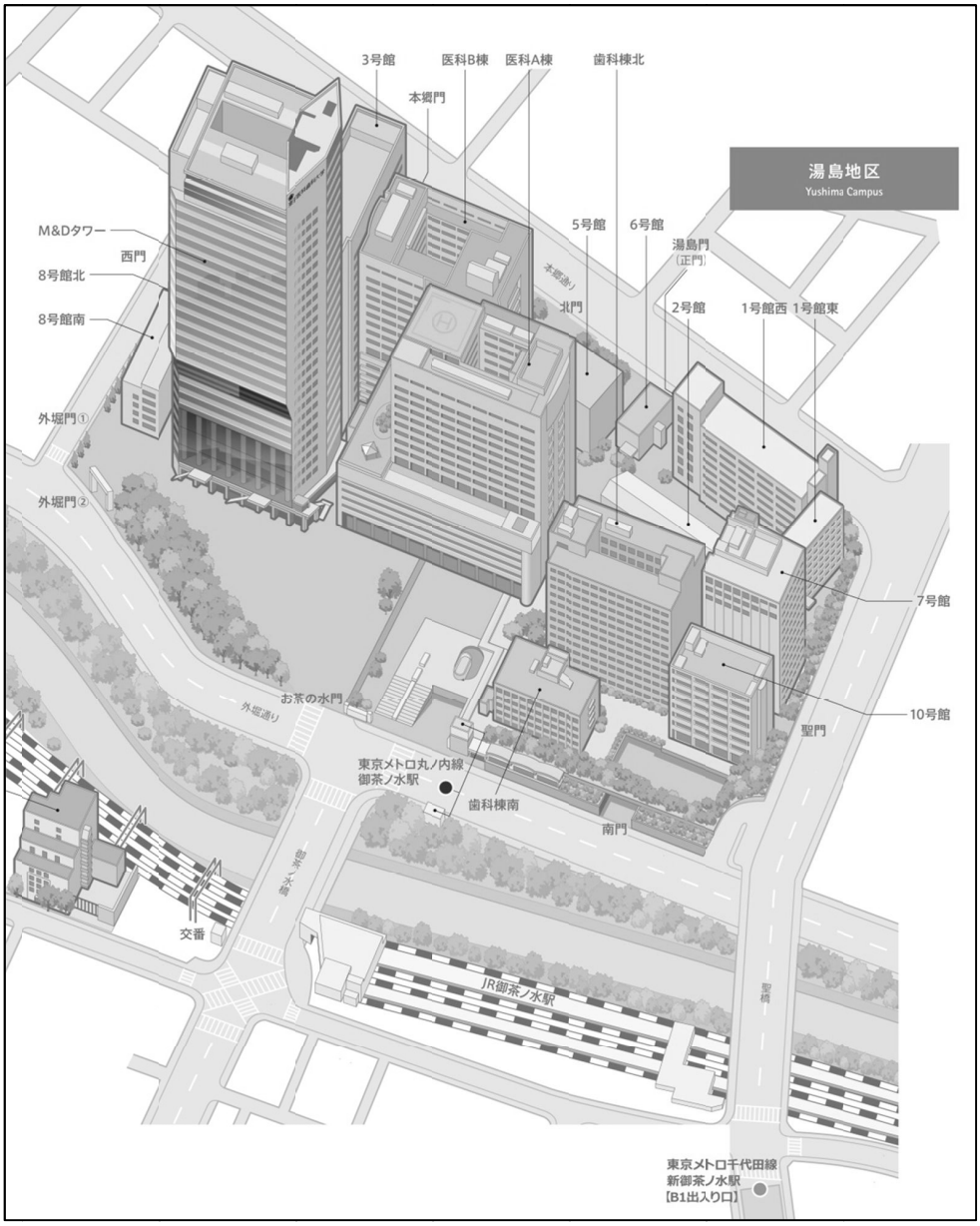
歯学部の事務業務は、総務課と業務課によって行われています。また、学生は学務部教務課歯学系教務掛を通じて病院内で勉学できるようになっています。患者は全て業務課を経て受診するように決められています。

患者の歯科技工に用いる歯科材料は、医事掛材料室から給付されます。

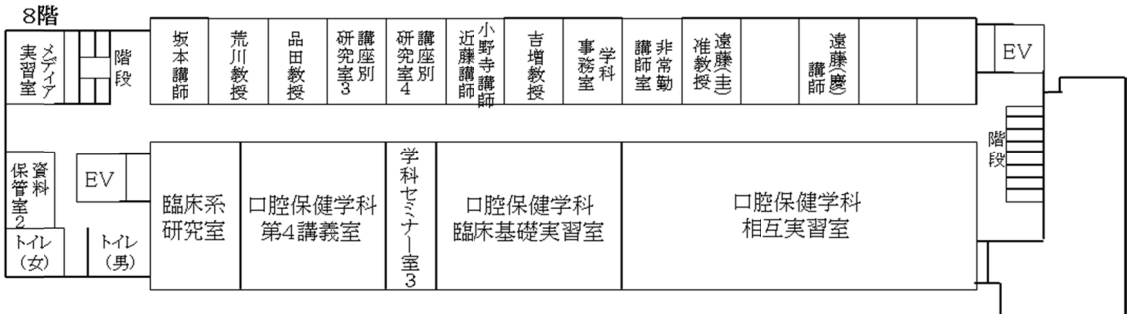
８．病院の管理運営

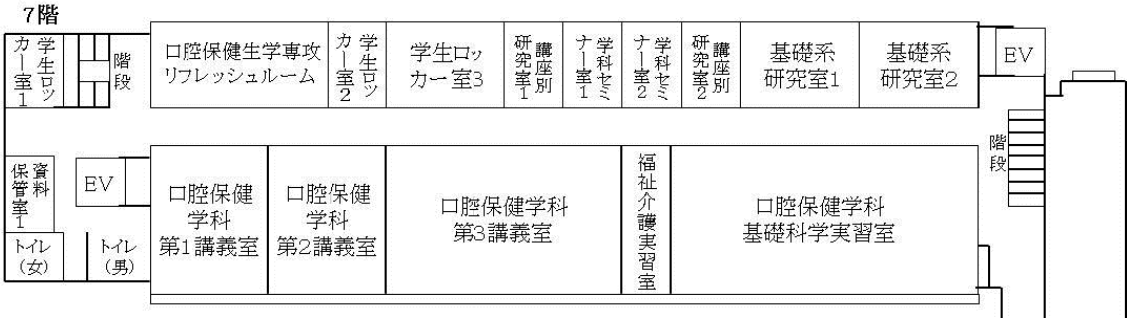
病院長が病院の管理運営を統括します。病院は、病院長、各科長、各部長によって構成される病院運営会議によって運営されます。また、学生の臨床教育については、各臨床教授で構成される臨床教育会議および歯学科、口腔保健学科教育委員会において討議されています。

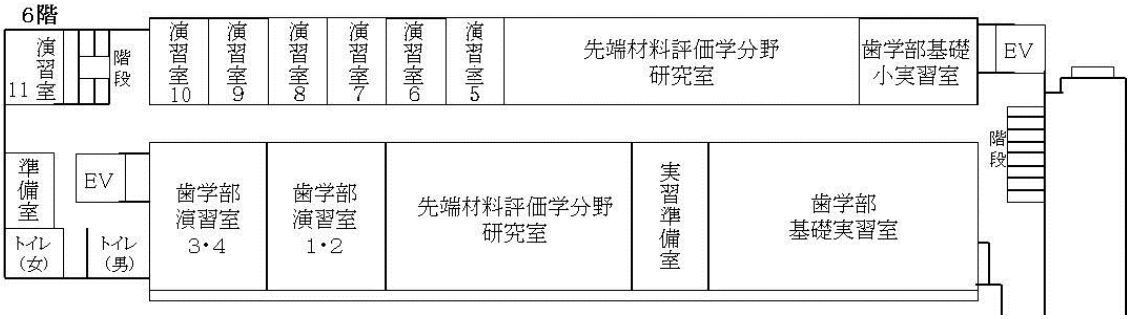
湯島キャンパス案内


湯島地区
Yushima Campus
3号館
医科B棟
医科A棟
歯科棟北
本郷門
M&Dタワー
西門
8号館北
8号館南
外堀門①
外堀門②
5号館
6号館
湯島門
(正門)
本郷通り
北門
2号館
1号館西
1号館東
7号館
10号館
聖門
お茶の水門
外堀通り
東京メトロ丸ノ内線
御茶ノ水駅
歯科棟南
南門
靖国通り
交番
JR御茶ノ水駅
聖橋
東京メトロ千代田線
新御茶ノ水駅
(B1出入り口)

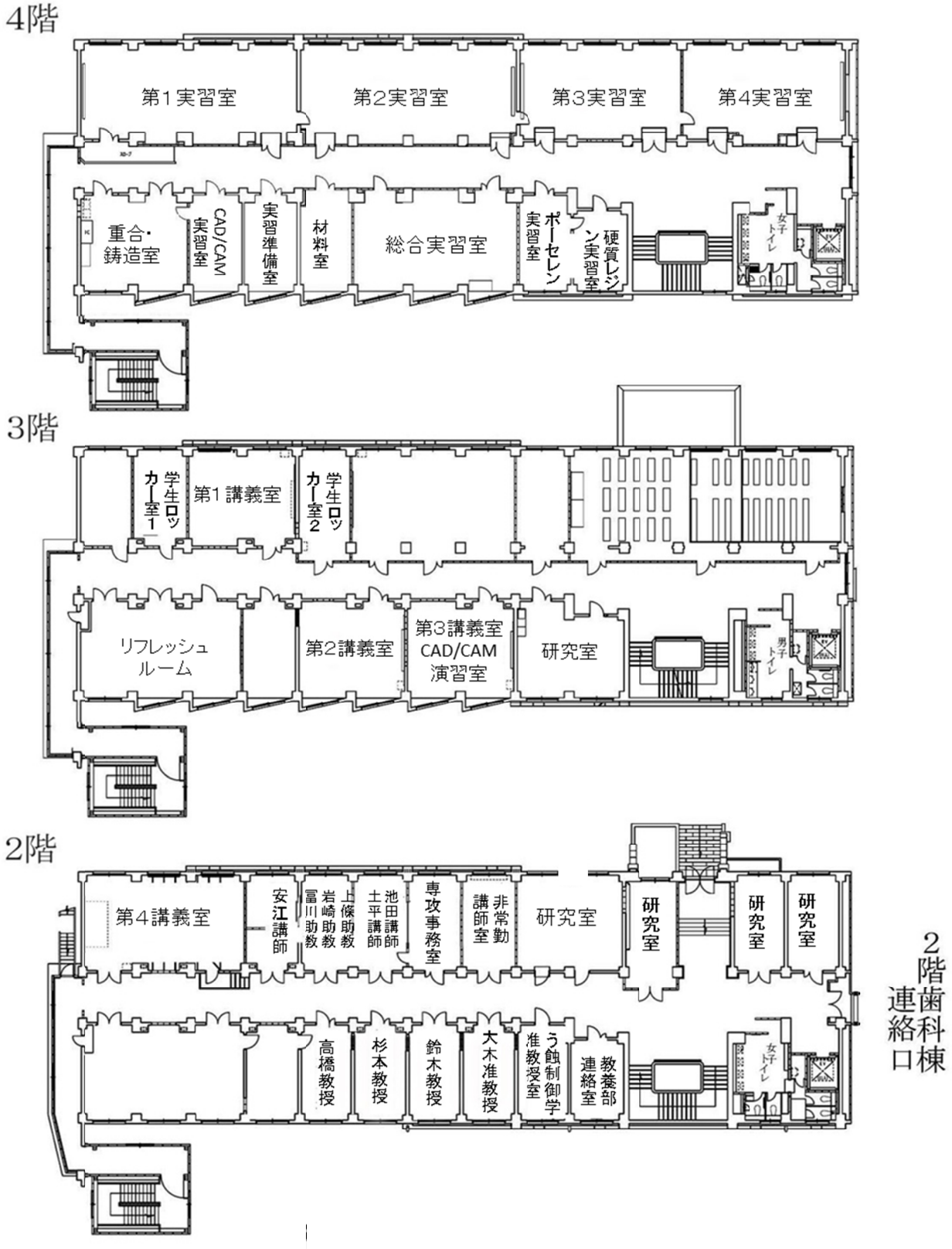
１号館西６～８階平面図


8階
メディア実習室
階段
坂本講師
荒川教授
品田教授
講座別研究室3
講座別研究室4
小野寺講師
近藤講師
吉増教授
学科事務室
非常勤講師室
遠藤(圭)准教授
遠藤(慶)講師
EV
階段
資料保管室2
EV
トイレ(女)
トイレ(男)
臨床系研究室
口腔保健学科第4講義室
学科セミナー室3
口腔保健学科臨床基礎実習室
口腔保健学科相互実習室

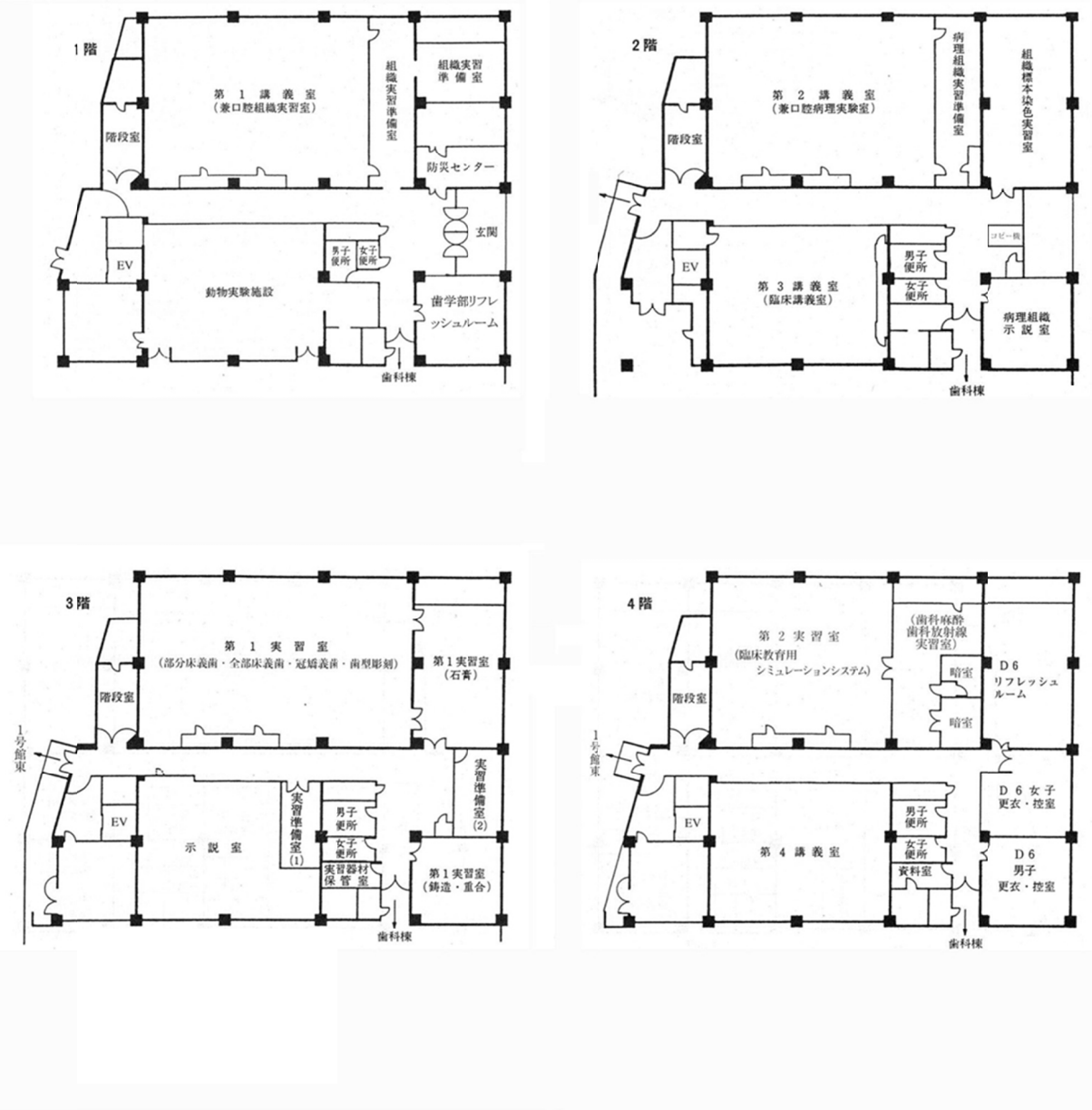

7階
学生ロッカー室1
階段
口腔保健生学専攻リフレッシュルーム
学生ロッカー室2
学生ロッカー室3
講座別研究室1
学科セミナー室1
学科セミナー室2
講座別研究室2
基礎系研究室1
基礎系研究室2
EV
階段
資料保管室1
EV
トイレ(女)
トイレ(男)
口腔保健学科第1講義室
口腔保健学科第2講義室
口腔保健学科第3講義室
福祉介護実習室
口腔保健学科基礎科学実習室


6階
演習室11
階段
演習室10
演習室9
演習室8
演習室7
演習室6
演習室5
先端材料評価学分野研究室
歯学部基礎小実習室
EV
階段
準備室
EV
トイレ(女)
トイレ(男)
歯学部演習室3・4
歯学部演習室1・2
先端材料評価学分野研究室
実習準備室
歯学部基礎実習室

2号館平面図


4階
第1実習室
第2実習室
第3実習室
第4実習室
重合・鋳造室
CAD/CAM実習室
実習準備室
材料室
総合実習室
ポーセレン実習室
硬質レジン実習室
女子トイレ
3階
学生ロッカー室1
第1講義室
学生ロッカー室2
リフレッシュルーム
第2講義室
第3講義室 CAD/CAM演習室
研究室
男子トイレ
2階
第4講義室
安江講師
冨川助教
岩崎助教
上條助教
土平講師
池田講師
専攻事務室
講師室
非常勤
研究室
研究室
研究室
研究室
高橋教授
杉本教授
鈴木教授
大木准教授
う蝕制御学准教授室
教養部連絡室
女子トイレ
2階歯科連絡口

７号館平面図


1階
第１講義室
（兼口腔組織実習室）
組織実習準備室
組織実習準備室
階段室
防災センター
玄関
EV
男子便所
女子便所
動物実験施設
歯学部リフレッシュルーム
歯科棟
2階
第２講義室
（兼口腔病理実験室）
病理組織実習準備室
組織標本染色実習室
階段室
EV
第３講義室
（臨床講義室）
男子便所
女子便所
病理組織示説室
歯科棟
3階
第１実習室
（部分床義歯・全部床義歯・冠婚義歯・歯型彫刻）
第１実習室（石膏）
階段室
1号館東
EV
示説室
実習準備室(1)
男子便所
女子便所
実習器材保管室
実習準備室(2)
第１実習室（鋳造・重合）
歯科棟
4階
第２実習室
（臨床教育用シミュレーションシステム）
（歯科麻酔歯科放射線実習室）
暗室
暗室
D６リフレッシュルーム
階段室
1号館東
EV
第４講義室
男子便所
女子便所
資料室
D６女子更衣・控室
D６男子更衣・控室
歯科棟
5階
第３実習室
（保存・矯正）
第３実習室（保存・矯正）
階段室
1号館東
EV
示説室
実習準備室
男子便所
女子便所
第３実習室廊室
実習器材保管室(3)
実習器材保管室(2)
実習器材保管室(1)
歯科棟
6階
視聴覚スタジオ
視聴覚総合編集室
歯学部リフレッシュルーム
視聴覚研修室
第４ゼミナール室
D３～D５女子更衣・控室
階段室
D３～D５男子更衣・控室
EV
変電室
研究室
男子便所
女子便所
倉庫
D３～D５男子更衣・控室
歯科棟

１号館の配置

階	１号館西				１号館東	
	講義室・実習室	研究室等	教授室等	その他	研究室等	教授室
9	特別講堂			歯科同窓会事務室 特別第１会議室		
8	口腔保健衛生学専攻 第４講義室 臨床基礎実習室 相互実習室 メディア実習室	口腔保健衛生学専攻 学科セミナー室３ 講座別研究室３，４ 臨床系研究室	口腔保健衛生学専攻 教授室 准教授室 講師室	口腔保健衛生学専攻 学科事務室 非常勤講師室 資料保管室２		
7	口腔保健衛生学専攻 第１～３講義室 基礎科学実習室 福祉介護実習室 学生ロッカー室１～３ リフレッシュルーム	口腔保健衛生学専攻 学科セミナー室１，２ 講座別研究室１，２ 基礎系研究室１，２		口腔保健衛生学専攻 資料保管室１	歯学部会議室 第1，2ゼミナール室	
6	歯学部演習室１～11 基礎実習室	先端材料評価学	宇尾		第3ゼミナール室 インプラント・口腔再生医学	
5	スキルスラボⅡ	医歯学教育システム研究センター 生命倫理研究センター	荒木	女性研究者支援室	インプラント・口腔再生医学 口腔病理学	春日井
4				学術国際部 国際交流センター	口腔病理学	山口
3				財務施設部	全部床義歯補綴学 歯学部	水口 下山 石川
2				総務部総務企画課	監査法人室 全部床義歯補綴学	
1				学務企画課 学生支援課 学務課歯学系教務掛 入試課 総務部人事課		

２号館の配置

階	講義室・実習室	研究室等	教授室等	その他
4	第 1~4 実習室			
3	第 1~3 講義室	研究室		学生ロッカー室 1,2 リフレッシュルーム
2	第 4 講義室	研究室	口腔保健工学専攻 教授室 准教授室 講師室 教員室 非常勤講師室 う蝕制御学分野准教授室	歯学部 教養部連絡室 口腔保健工学専攻事務室
1				和同会事務室 実験施設

７号館の配置

階	講義室・実習室	その他
7~11		動物実験施設
6	第 4 ゼミナール室	D 2 ~ D 5 男子更衣・控室 D 2 ~ D 5 女子更衣・控室 リフレッシュルーム 変電室
5	第 3 実習室 示説室	
4	第 4 講義室 第 2 実習室 歯科麻酔歯科放射線実習室	D 6 男子更衣・控室 D 6 女子更衣・控室 D 6 リフレッシュルーム
3	第 1 実習室 示説室	
2	第 2 , 3 講義室	コピー機
1	第 1 講義室	リフレッシュルーム 動物実験施設

10号館の配置

階	研究室	教授室等
7	歯周病学	和泉
6	顎顔面外科学	原田
5	高齢者歯科学 疼痛制御学	嶋田
4	疼痛制御学 麻酔・生体管理学 スポーツ医歯学	深山
3	スポーツ医歯学 障害者歯科学 歯科医療行動科学	上野 篠塚 俣木
2	顎顔面補綴学 歯科心身医学 総合診療歯科学	谷口 豊福

M&Dタワーの配置

	階	研究室	教授室等		階	研究室	教授室等
北側	8	硬組織構造生物学 分子情報伝達学	高野	南側	8	細菌感染制御学	中川
	7	硬組織病態生化学 歯学教育開発学 口腔放射線腫瘍学 硬組織再生学	森尾 三浦（雅） 篠村		7	硬組織薬理学 認知神経生物学	泰羅
	6	分子発生学 ナノメディスン（DNP） 分子細胞機能学	井関 森田		6	医療経済学 顎顔面解剖学 分子免疫学	川渕 柴田 東

階	講堂・図書館	研究室・その他
4	図書館	情報検索室 図書館情報メディア機構
3		
2	鈴木章夫記念講堂	共用講義室1，2

3号館

5階	図書館情報メディア機構・教育メディア開発学	木下

歯科棟の配置

〈歯科棟北〉

階	分野	教授室等	外来等	医局	その他
12	咬合機能矯正学 顎顔面矯正学	小野 森山			歯科衛生保健部
11	部分床義歯補綴学 摂食機能保存学 小児歯科学	若林 三浦(宏)			
10	う蝕制御学 歯髄生物学 健康推進歯学	田上 川口			歯科衛生保健部
9	顎口腔外科学 口腔放射線医学 顎関節咬合学	 倉林 木野			
8			病棟		医員当直室(男)
7			歯科麻酔外来 インプラント外来 手術室	麻酔・生体管理学	医員当直室(女) 滅菌材料室
6	口腔病態診断科学		口腔外科外来 顎顔面外科外来 顎義歯外来 言語治療外来 検査部	顎口腔外科学 顎顔面外科学 検査部	
5			むし歯外来 歯周病外来	う蝕制御学 歯髄生物学 歯周病学	総合技工室
4			第1総合診療室 第2総合診療室 顎関節治療部 歯科心身外来 快眠歯科外来		ヘッドライター室 器材準備室
3			義歯外来 スポーツ歯科外来 歯科アレルギー外来 クリーンルーム歯科外来 技工部	部分床義歯補綴学 全部床義歯補綴学 摂食機能保存学 高齢者歯科学	
2	歯学教育システム 評価学		小児歯科外来 矯正歯科外来 ペインクリニック 口腔ケア外来	小児歯科学 咬合機能矯正学 顎顔面矯正学	
1			歯科総合診療部 スペシャルケア外来 息さわやか外来 薬剤部	歯科総合診療部	電算室 防災センター 器材薬剤センター 和同会売店 研修医控室
B1			歯科放射線外来		低温室 ボイラー室
B2					

〈歯科棟南:外来事務棟〉

4	歯学部特別講堂 演習室 歯科臨床研修センター 材料室 和同会売店
3	大会議室 小会議室 看護部 研修医技工室
2	歯学部総務課 歯学部国際交流室
1	歯学部業務課 患者相談室
B1	談話室
B2	食堂

平成26年度　歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻　専門科目授業計画表

第１学年

	学部専門科目	期　間
前期	「口腔保健工学概論A」	H26.4.15 （火）～ H26..5.27 （火） 5週　毎週火曜日
	「早期臨床体験実習」	H26.9.24 （水）～ H26.9.26 （金）
後期	「早期臨床体験実習」 「技術倫理」 「人体の構造と機能Ⅰ」 「形態認識造形学」 「形態認識造形学実習A」 「メディア情報学基礎」 「口腔保健材料力学A」	H26.9.30 （火）～ H27.1.27 (火) 16週　毎週火曜日
	専門科目試験	H27.2.3(火)

第3学年

	区　分	期　間
前期	春季休業	H26.4.1 （月）～ H26.4.3 （木）
	専門課程ガイダンス	H26.4.4 （金）
	授業 17 週	H26.4.7 （月）～ H26.7.30 （水）
	夏季休業	H26.7.31 （木）～ H26.9.5 （金）
	補講および定期試験	H26.9.8 （月）～ H26.9.26 （金）
後期	授業 13 週	H26.9.29 （月）～ H26.12.22 （月）
	創立記念日	H26.10.12 (日)
	解剖体追悼式	H26.10.23 (木)　午後予定
	お茶の水祭準備のため休講	H26.10.17 (金)
	お茶の水祭	H26.10.18 (土) ～ H26.10.19 （日）
	冬季休業	H26.12.24 (水) ～ H27.1.2 （金）
	授業 6 週	H27.1.5 （月）～ H27.2.13 （金）
	補講および定期試験	H27.2.16 （月）～ H27.2.27 （水）
	授業 3 週	H27.3.2 （月）～ H27.3.20 （金）
	春季休業	H27.3.23 （月）～ H27.3.31 （火）

第2学年

	区　分	期　間
前期	春季休業	H26.4.1 (火) ～ H26.4.3 （木）
	専門課程ガイダンス	H26.4.4 (金)
	入学式（編入学生のみ）	H26.4.7 (月)
	授業 17 週	H26.4.7 (月) ～ H26.7.30 （金）
	夏季休業	H26.7.31 (木) ～ H26.9.5 （金）
	補講および定期試験	H26.9.8 (月) ～ H26.9.26 （金）
後期	授業 13 週	H26.9.29 (月) ～ H26.12.22 （月）
	創立記念日	H26.10.12 (日)
	お茶の水祭準備のため休講	H26.10.17 (金)
	お茶の水祭	H26.10.18 (土) ～ H26.10.19 （日）
	海外特別研修	H26.11.11 (火) ～ H26.11.14 （金）
	冬季休業	H26.12.24 (水) ～ H27.1.2 （金）
	授業 6 週	H27.1.5 (月) ～ H27.2.13 （水）
	補講および定期試験	H27.2.16 (月) ～ H27.3.4 （水）
	春季休業	H27.3.5 (木) ～ H27.3.31 （月）

*特別研修は専門必修科目の一貫として実施する。

第4学年

	区　分	期　間
前期	春季休業	H26.4.1 （月）～ H26.4.3 （木）
	専門課程ガイダンス	H26.4.4 （金）
	授業 16 週	H26.4.7 （月）～ H26.7.24 （木）
	試験および補講	H26.7.25 （金）～ H26.8.1 （金）
	夏期特別臨床実習	H26.8.4 （月）～ H26.8.8 （金）
	夏季休業	H26.8.11 （月）～ H26.8.15 （金）
	夏期特別臨床実習	H26.8.18 （月）～ H26.9.26 （金）
後期	授業 13 週	H26.9.29 （月）～ H26.12.22 （月）
	創立記念日	H26.10.12 (日)
	お茶の水祭準備のため休講	H26.10.17 (金)
	お茶の水祭	H26.10.18 (土) ～ H26.10.19 （日）
	冬季休業	H26.12.24 (水) ～ H27.1.6 （水）
	補講	H27.1.7 （水）～ H27.1.8 （木）
	卒業研究・卒業作品発表会	H27.1.9 （金）
	自己研修および国家試験	H27.1.13 （火）～ H27.2.13 （金）
	キャリアアップ研修	H27.2.16 （火）～ H27.3.6 （金）
	春季休業	H27.3.9 （月）～ H27.3.24 （火）
	卒業式	H27.3.25 （水）

歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻　教員連絡先一覧

講座名	分野名	氏名	メールアドレス
口腔保健基礎工学講座	口腔基礎科学	杉本 久美子	ksugimoto.bohs@tmd.ac.jp
	口腔保健工学統合学	大木 明子	moki.mfoe@tmd.ac.jp
	口腔臨床科学	池田 正臣	ikeda.csoe@tmd.ac.jp
口腔保健機材工学講座	生体材料加工学	高橋 英和	takahashi.bmoe@tmd.ac.jp
		岩崎 直彦	iwasaki.bmoe@tmd.ac.jp
	情報歯科医療工学	上條 真吾	s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp
口腔保健再建工学講座	口腔機能再建技工学	鈴木 哲也	suzuki.peoe@tmd.ac.jp
		土平 和秀	tsuchihira.peoe@tmd.ac.jp
		冨川 紘一	fukawa.peoe@tmd.ac.jp
	歯冠修復技工学	安江 透	yasue.fpoe@tmd.ac.jp

歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻　平成26年度1年次専門科目授業時間割

前期

は湯島地区

日時		8:50～10:20	10:30～12:00	12:50～14:20	14:30～16:00	16:10～17:40
4/15	火	化学基礎ー1 （澤野・宮園） OH第3講義室/歯学科演習室1・2	化学基礎ー2 （澤野・宮園） OH第3講義室/歯学科演習室1・2	12:00～　抗体検査　保健管理センター **13:50～14:20** 口腔保健工学概論A-1 （大木・遠藤） 1号館7階　口腔保健衛生学専攻第3講義室	口腔保健工学概論A-1 （口腔保健学科教員） 1号館6階　歯学部演習室	
4/22	火	化学基礎ー補習 （澤野）第4ゼミ室	化学基礎ー3 （澤野・宮園）OH第3講義室/歯学科演習室1・2	口腔保健工学概論A-2 （口腔保健学科教員）1号館6階　歯学部演習室	口腔保健工学概論A-3 （口腔保健学科教員）1号館6階　歯学部演習室	★4月22日火曜17時から、海外研修報告会を行う。
5/13	火	化学基礎ー補習 （澤野）第4ゼミ室	化学基礎ー4 （澤野・宮園）OH第3講義室/歯学科演習室1・2	口腔保健工学概論A-4 （口腔保健学科教員）1号館6階　歯学部演習室	口腔保健工学概論A-5 （口腔保健学科教員）1号館6階　歯学部演習室	オリエンテーション 16:30～17:30：鈴木章夫記念講堂
5/20	火	化学基礎ー補習 （澤野）第4ゼミ室	化学基礎ー5 （澤野・宮園）OH第3講義室/歯学科演習室1・2	口腔保健工学概論A-6 （口腔保健学科教員）1号館6階　歯学部演習室	口腔保健工学概論A-7 （口腔保健学科教員）1号館6階　歯学部演習室	
日時		9:10～10:40	10:50～12:20	13:10～14:40	14:50～16:20	16:30～18:00
5/27	火	健康診断	健康診断	**13:20～14:30** 口腔保健工学概論A-8 （口腔保健学科教員） 1号館7階　口腔保健衛生学専攻第3講義室	教養総合講座 （全教員）鈴木章夫記念講堂	教養総合講座 （全教員）鈴木章夫記念講堂
6/3	火	化学基礎ー補習（澤野）11	化学基礎ー6 （澤野・勝又）11/10		教養総合講座 （全教員）全教室	教養総合講座 （全教員）全教室
6/10	火	化学基礎ー補習（澤野）11	化学基礎ー7 （澤野・勝又）11/10	教養総合講座 （全教員）全教室	教養総合講座 （全教員）全教室	教養総合講座 （全教員）全教室
6/17	火		化学基礎ー8 （澤野・勝又）8/9		教養総合講座 （全教員）全教室	教養総合講座 （全教員）全教室
6/24	火		化学基礎ー9 （澤野・勝又）8/9		教養総合講座 （全教員）全教室	教養総合講座 （全教員）全教室
7/1	火		化学基礎ー10 （澤野・勝又）8/9		教養総合講座 （全教員）全教室	教養総合講座 （全教員）全教室
7/8	火		化学基礎ー11 （澤野・勝又）8/9		教養総合講座 （全教員）全教室	教養総合講座 （全教員）全教室
7/15	火		化学基礎ー12 （澤野・奈良）8/9		教養総合講座 （全教員）全教室	教養総合講座 （全教員）全教室
7/22	火		化学基礎ー13 （澤野・奈良）8/9		教養総合講座 （全教員）全教室	教養総合講座 （全教員）全教室
7/29	火		化学基礎ー14 （澤野・奈良）8/9		教養総合講座 （全教員）全教室	教養総合講座 （全教員）全教室
7/30	水		化学基礎ー15 （澤野・奈良）8/9		教養総合講座 （全教員）全教室	教養総合講座 （全教員）全教室
夏季休業		平成26年8月1日～9月5日				
前期試験		平成26年9月9日～9月12日				
9/16	火	教養総合講座（全教員）全教室				
9/22	月	教養総合講座（全教員）全教室				
9/24	水	早期臨床体験実習-1～15 （口腔保健学科口腔保健工学専攻教員、大学院医歯学総合研究科歯学系教員等） 歯学部附属病院外来、歯科技工部、学外歯科技工所				
9/25	木					
9/26	金					

後期

日時		8:50～10:20	10:30～12:00	12:50～14:20	14:30～16:00	16:10～17:40
9/30	火	技術倫理-1 （皆吉）口腔保健工学専攻第1講義室	人体の構造と機能Ⅰ-1 （杉本）口腔保健工学専攻第1講義室	早期臨床体験実習-16～18 （口腔保健学科口腔保健工学専攻教員、大学院医歯学総合研究科歯学系教員等） 歯学部附属病院外来、歯科技工部、学外歯科技工所		
10/7	火	技術倫理-2 （皆吉）口腔保健工学専攻第1講義室	人体の構造と機能Ⅰ-2 （田畑）口腔保健工学専攻第1講義室	早期臨床体験実習-19～21 （口腔保健学科口腔保健工学専攻教員、大学院医歯学総合研究科歯学系教員等） 歯学部附属病院外来、歯科技工部、学外歯科技工所		
10/14	火	技術倫理-3 （皆吉）口腔保健工学専攻第1講義室	人体の構造と機能Ⅰ-3 （田畑）口腔保健工学専攻第1講義室	早期臨床体験実習-22～23 （口腔保健学科口腔保健工学専攻教員）口腔保健工学専攻第2講義室		
10/21	火	技術倫理-4 （皆吉）口腔保健工学専攻第1講義室	人体の構造と機能Ⅰ-4 （田畑）口腔保健工学専攻第1講義室	形態認識造形学-1 （伊藤）口腔保健工学専攻第4実習室	形態認識造形学実習A-1 （伊藤）口腔保健工学専攻第4実習室	形態認識造形学実習A-2 （伊藤）口腔保健工学専攻第4実習室
10/28	火	技術倫理-5 （皆吉）口腔保健工学専攻第1講義室	人体の構造と機能Ⅰ-5 （田畑）口腔保健工学専攻第1講義室	形態認識造形学実習A-3 （伊藤）口腔保健工学専攻第4実習室	形態認識造形学-2 （伊藤）口腔保健工学専攻第4実習室	形態認識造形学実習A-4 （伊藤）口腔保健工学専攻第4実習室
11/4	火	技術倫理-6 （皆吉）口腔保健工学専攻第1講義室	人体の構造と機能Ⅰ-6 （杉本）口腔保健工学専攻第1講義室	メディア情報学基礎-1 （木下）口腔保健工学専攻第1講義室	形態認識造形学実習A-5 （伊藤）口腔保健工学専攻第4実習室	形態認識造形学実習A-6 （伊藤）口腔保健工学専攻第4実習室
11/11	火	技術倫理-7 （皆吉）口腔保健工学専攻第1講義室	補講	メディア情報学基礎-2 （木下）口腔保健工学専攻第1講義室	形態認識造形学-3 （伊藤）口腔保健工学専攻第4実習室	形態認識造形学実習A-7 （伊藤）口腔保健工学専攻第4実習室
11/18	火	技術倫理-8 （皆吉）口腔保健工学専攻第1講義室	人体の構造と機能Ⅰ-7 （杉本）口腔保健工学専攻第1講義室	メディア情報学基礎-3 （佐々木）口腔保健工学専攻第1講義室	形態認識造形学実習A-8 （伊藤）口腔保健工学専攻第4実習室	形態認識造形学実習A-9 （伊藤）口腔保健工学専攻第4実習室
11/25	火	口腔保健材料力学A-1 （高橋）口腔保健工学専攻第1講義室	人体の構造と機能Ⅰ-8 （杉本）口腔保健工学専攻第1講義室	メディア情報学基礎-4 （佐々木）口腔保健工学専攻第1講義室	形態認識造形学-4 （伊藤）口腔保健工学専攻第4実習室	形態認識造形学実習A-10 （伊藤）口腔保健工学専攻第4実習室
12/2	火	口腔保健材料力学A-2 （高橋）口腔保健工学専攻第1講義室	人体の構造と機能Ⅰ-9 （杉本）口腔保健工学専攻第1講義室	メディア情報学基礎-5 （木下）口腔保健工学専攻第1講義室	形態認識造形学実習A-11 （伊藤）口腔保健工学専攻第4実習室	形態認識造形学実習A-12 （伊藤）口腔保健工学専攻第4実習室
12/9	火	口腔保健材料力学A-3 （高橋）口腔保健工学専攻第1講義室	人体の構造と機能Ⅰ-10 （杉本）口腔保健工学専攻第1講義室	メディア情報学基礎-6 （木下）口腔保健工学専攻第1講義室	形態認識造形学-5 （伊藤）口腔保健工学専攻第4実習室	形態認識造形学実習A-13 （伊藤）口腔保健工学専攻第4実習室
12/16	火	口腔保健材料力学A-4 （高橋）口腔保健工学専攻第1講義室	人体の構造と機能Ⅰ-11 （杉本）口腔保健工学専攻第1講義室	メディア情報学基礎-7 （佐々木）口腔保健工学専攻第1講義室	形態認識造形学実習A-14 （伊藤）口腔保健工学専攻第4実習室	形態認識造形学実習A-15 （伊藤）口腔保健工学専攻第4実習室
冬季休業		平成26年12月24日～平成27年1月2日				
1/6	火	口腔保健材料力学A-5 （高橋）口腔保健工学専攻第1講義室	人体の構造と機能Ⅰ-12 （杉本）口腔保健工学専攻第1講義室	形態認識造形学-6 （伊藤）口腔保健工学専攻第4実習室	形態認識造形学実習A-16 （伊藤）口腔保健工学専攻第4実習室	メディア情報学基礎-8 （木下）口腔保健工学専攻第1講義室
1/13	火	口腔保健材料力学A-6 （高橋）口腔保健工学専攻第1講義室	人体の構造と機能Ⅰ-13 （杉本）口腔保健工学専攻第1講義室	形態認識造形学実習A-17 （伊藤）口腔保健工学専攻第4実習室	形態認識造形学実習A-18 （伊藤）口腔保健工学専攻第4実習室	形態認識造形学-7 （伊藤）口腔保健工学専攻第4実習室
1/20	火	口腔保健材料力学A-7 （高橋）口腔保健工学専攻第1講義室	人体の構造と機能Ⅰ-14 （杉本）口腔保健工学専攻第1講義室	形態認識造形学実習A-19 （伊藤）口腔保健工学専攻第4実習室	形態認識造形学実習A-20 （伊藤）口腔保健工学専攻第4実習室	形態認識造形学実習A-21 （伊藤）口腔保健工学専攻第4実習室
1/27	火	口腔保健材料力学A-8 （高橋）口腔保健工学専攻第1講義室	人体の構造と機能Ⅰ-15 （杉本）口腔保健工学専攻第1講義室	形態認識造形学-8 （伊藤）口腔保健工学専攻第4実習室	形態認識造形学実習A-22 （伊藤）口腔保健工学専攻第4実習室	形態認識造形学実習A-23 （伊藤）口腔保健工学専攻第4実習室
2/3	火	**専門科目試験**				
後期試験		平成27年2月10日～2月17日				
春季休業		平成27年2月18日～3月31日				

歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻　平成26年度2年次科目授業時間割

1:　9:00～9:50　2:　10:00～10:50　3:　11:00～11:50　4:　13:00～13:50　5:　14:00～14:50　6:　15:00～15:50　7:　16:00～16:50　8:　17:00～17:50

		月曜日								火曜日								水曜日								木曜日								金曜日							
		1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
1	3/31 – 4/4																																	専門課程ガイダンス							
2	4/7 – 4/11	入学式			理工実習					人体Ⅱ		全床講義	全床実習						英Ⅰ		概論B	感染				全床講義	全床実習				咬合			理工講義		理工実習					
3	4/14 – 4/18	人体Ⅱ		理工講義	理工実習					人体Ⅱ		全床講義	全床実習						英Ⅰ		概論B	感染				全床講義	全床実習							理工講義		理工実習					
4	4/21 – 4/25	人体Ⅱ		理工講義			理工実習			人体Ⅱ		全床講義	全床実習 ★						英Ⅰ		概論B	感染				全床講義	全床実習				咬合			理工講義		理工実習					
5	4/28 – 5/2	人体Ⅱ			理工実習					昭和の日									英Ⅰ		概論B	感染				全床講義	全床実習				咬合			鋳造講義		理工実習					
6	5/5 – 5/9	子どもの日								振替休日								補講								補講								補講							
7	5/12 – 5/16	人体Ⅱ		理工講義	理工実習					形態実習		全床講義	全床実習						英Ⅰ		概論B	感染				全床講義	全床実習				咬合			理工実習							
8	5/19 – 5/23	鋳造講義	理工実習			人体Ⅱ		理工実習		形態実習		全床講義	全床実習						英Ⅰ		概論B	ヘルプロ				全床講義	全床実習							理工講義		理工実習					
9	5/26 – 5/30	人体Ⅱ		理工講義	理工実習					形態実習		全床講義	全床実習						英Ⅰ			ヘルプロ				全床講義	全床実習							理工講義		理工実習					
10	6/2 – 6/6	人体Ⅱ		理工講義	理工実習					形態実習		全床講義	全床実習						保存	英Ⅰ		ヘルプロ				全床講義	咬合	全床実習						鋳造講義		鋳造実習(1)					
11	6/9 – 6/13	鋳造実習(2)			鋳造実習(1)					形態実習	鋳造実習(2)	全床講義	全床実習						保存			ヘルプロ				全床講義	咬合	全床実習						鋳造講義		鋳造実習(1)					
12	6/16 – 6/20	人体Ⅱ			鋳造実習(1)					鋳造実習(2)		全床講義	全床実習						保存			ヘルプロ				全床講義	全床実習							鋳造実習(1)							
13	6/23 – 6/27	人体Ⅱ			鋳造実習(1)					鋳造実習(2)		全床講義	全床実習						保存			ヘルプロ				全床実習					部床講義			鋳造講義		理工講義	理工実習			
14	6/30 – 7/4	人体Ⅱ			理工講義			理工実習		鋳造実習(2)		部床講義	全床実習						保存			ヘルプロ				部床講義		全床実習						理工講義		理工実習	理工講義			
15	7/7 – 7/11	人体Ⅱ		理工講義	理工実習					鋳造実習(2)		部床講義	全床実習						保存			ヘルプロ				部床講義	咬合	全床実習						理工講義				理工実習			
16	7/14 – 7/18	人体Ⅱ			理工実習					保存		部床講義	全床実習						鋳造実習(2)			ヘルプロ				部床講義	咬合	部床実習						理工講義		理工実習		鋳造講義			
17	7/21 – 7/25	海の日								保存		部床講義	部床実習						鋳造実習(3)		概論B	ヘルプロ				咬合		部床実習						理工講義		理工実習					
18	7/28 – 8/1	理工講義								補講								全床実習(救命救急実習)				大掃除				オープンキャンパス(未定)															
19	8/4 – 8/8																																								
20	8/11 – 8/15																																								
21	8/18 – 8/22																																								
22	8/25 – 8/29																																								
23	9/1 – 9/5																																								
24	9/8 – 9/12	試験および補講																																							
25	9/15 – 9/19	敬老の日								試験および補講																															
26	9/22 – 9/26	試験および補講								秋分の日								試験および補講																							
27	9/29 – 10/3	人体Ⅱ			冠修実習					形態実習			部床実習					冠修講義			冠修実習					プロデ			部床実習					部床講義	概論B		冠修実習				
28	10/6 – 10/10	人体Ⅱ			冠修実習					形態実習			部床実習					冠修講義			冠修実習					プロデ			部床実習					部床講義	概論B		冠修実習				
29	10/13 – 10/17	体育の日								形態実習			部床実習					冠修講義			冠修実習					プロデ			部床実習					休講　（お茶の水祭準備）							
30	10/20 – 10/24	人体Ⅱ			冠修実習					形態実習			部床実習					冠修講義			冠修実習					プロデ			部床実習					部床講義		概論B		冠修実習			
31	10/27 – 10/31	人体Ⅱ			冠修実習					形態実習			部床実習					冠修講義			冠修実習					プロデ			部床実習					部床講義		概論B		冠修実習			
32	11/3 – 11/7	文化の日								形態実習			部床実習					冠修講義			冠修実習					プロデ			部床実習					部床講義		概論B		冠修実習			
33	11/10 – 11/14	人体Ⅱ			冠修実習					特別研修期間（コミュニケーション論）																															
34	11/17 – 11/21	人体Ⅱ			冠修実習					形態実習			部床実習					冠修講義			冠修実習								補講					部床講義		冠修実習					
35	11/24 – 11/28	勤労感謝の日								形態実習			部床実習					冠修講義			冠修実習					プロデ			部床実習					部床講義		冠修実習					
36	12/1 – 12/5	人体Ⅱ			冠修実習					形態実習			部床実習					冠修講義			冠修実習					プロデ			部床実習					特別研修報告会							
37	12/8 – 12/12	人体Ⅱ			冠修実習					形態実習			部床実習					冠修講義			冠修実習					部床実習			プロデ					部床講義		冠修実習					
38	12/15 – 12/19	人体Ⅱ			冠修実習					形態実習			部床実習					冠修講義			冠修実習					形態実習			部床実習					部床講義		冠修実習					
39	12/22 – 12/26	人体Ⅱ			大掃除					天皇誕生日																															
40	12/29 – 1/2																									元旦															
41	1/5 – 1/9	人体Ⅱ			冠修実習					形態実習			部床実習					冠修講義			冠修実習					プロデ			部床実習					冠修実習(4年卒研発表会参加)							
42	1/12 – 1/16	成人の日								形態実習			部床実習					冠修講義			冠修実習					部床実習				プロデ				部床講義		冠修実習					
43	1/19 – 1/23	人体Ⅱ			冠修実習					形態実習			部床実習					冠修講義			冠修実習					プロデ			部床実習					部床講義		冠修実習					
44	1/26 – 1/30	人体Ⅱ			冠修実習					形態実習			部床実習					冠修講義			冠修実習					プロデ			部床実習					部床講義		冠修実習					
45	2/2 – 2/6	人体Ⅱ			冠修実習					形態実習			咬合実習					冠修実習								プロデ			部床実習					部床講義		冠修実習					
46	2/9 – 2/13	人体Ⅱ			冠修実習					形態実習			咬合実習					建国記念の日								咬合実習								大掃除							
47	2/16 – 2/20	試験および補講																																							
48	2/23 – 2/27	試験および補講																																実習試験							
49	3/2 – 3/6	試験および補講																																							
50	3/9 – 3/13																																								
51	3/16 – 3/20																																								
52	3/23 – 3/27																																								
53	3/30 – 4/3																																								

略称	科目No	正式名称	略称	科目No	正式名称	略称	科目No	正式名称
概論B	1-2	口腔保健工学概論B	理工講義	16	口腔保健理工学	全床講義	22-1	全部床義歯工学
人体Ⅱ	15	人体の構造と機能Ⅱ	理工実習	17	口腔保健理工学実習	部床講義	22-2	部分床義歯工学
形態実習	6-2	形態認識造形学実習B	鋳造講義	18	精密鋳造学	全床実習	23-1	全部床義歯工学実習
ヘルプロ	13	ヘルスプロモーション	鋳造実習(1)	19	精密鋳造学実習	部床実習	23-2	部分床義歯工学実習A
保存	24	保存修復工学	鋳造実習(2)	19	精密鋳造学実習	冠修講義	26-1	歯冠修復工学A
咬合	20	咬合学	英Ⅰ	11	科学英語Ⅰ	冠修実習	27-1	歯冠修復工学実習A
咬合実習	21-1	咬合学実習(1)	感染	4	感染予防	プロデ	28	※プロセスデバイス工学
コミュ	8	コミュニケーション論	救急実習は2，3年一緒に行う。					

★　4月22日火曜17時から、海外研修報告会を行う。
3月に台北医学大学(台湾)からの研修受け入れ予定

※選択科目

歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻　平成26年度3年次科目授業時間割

1:　9:00～9:50　2:　10:00～10:50　3:　11:00～11:50　4:　13:00～13:50　5:　14:00～14:50　6:　15:00～15:50　7:　16:00～16:50　8:　17:00～17:50

		月曜日								火曜日								水曜日								木曜日								金曜日							
		1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
1	3/31 － 4/4																																					専門課程ガイダンス			
2	4/7 － 4/11	部床実習						欠損再建		冠修実習		冠修講義	冠修実習					冠修講義	冠修実習							キャリマネ	冠修実習							英Ⅱ	冠修実習						
3	4/14 － 4/18	部床実習						欠損再建		冠修講義	冠修実習							冠修講義	冠修実習							キャリマネ	冠修実習							英Ⅱ	冠修実習						
4	4/21 － 4/25	部床実習						欠損再建		冠修講義	冠修実習						★	冠修講義	冠修実習							キャリマネ	冠修実習							英Ⅱ	冠修実習						
5	4/28 － 5/2	部床実習								昭和の日								冠修講義	冠修実習							キャリマネ	冠修実習							英Ⅱ	冠修実習						
6	5/5 － 5/9	子どもの日								振替休日								補講								補講								補講							
7	5/12 － 5/16	部床実習				セラ加工				冠修講義	冠修実習							冠修講義	冠修実習							キャリマネ	冠修実習							英Ⅱ	冠修実習						
8	5/19 － 5/23	部床実習				セラ加工				冠修講義	冠修実習							冠修講義	冠修実習							キャリマネ	冠修実習							英Ⅱ	冠修実習						
9	5/26 － 5/30	部床実習				セラ加工				冠修講義	冠修実習							冠修講義	冠修実習							キャリマネ	冠修実習							英Ⅱ	冠修実習						
10	6/2 － 6/6	部床実習				セラ加工				冠修講義	冠修実習							CAD/CAM	先進修復実習							先進修復実習								英Ⅱ	先進修復実習						
11	6/9 － 6/13	部床実習				セラ加工				冠修講義	冠修実習							CAD/CAM	先進修復実習							先進修復実習								英Ⅱ	先進修復実習						
12	6/16 － 6/20	咬合実習								CAD/CAM	先進修復実習							CAD/CAM	先進修復実習							先進修復実習								CAD/CAM実習							
13	6/23 － 6/27	咬合実習								CAD/CAM	CAD/CAM実習							CAD/CAM実習								CAD/CAM実習								英Ⅱ	CAD/CAM実習						
14	6/30 － 7/4	セラ加工	咬合実習							CAD/CAM	CAD/CAM実習							CAD/CAM実習								CAD/CAM実習								英Ⅱ	CAD/CAM実習						
15	7/7 － 7/11	咬合実習								CAD/CAM	セラ加工実習							セラ加工実習								セラ加工実習								英Ⅱ	セラ加工実習						
16	7/14 － 7/18	咬合実習								CAD/CAM	セラ加工実習							セラ加工実習								セラ加工実習								英Ⅱ	セラ加工実習						
17	7/21 － 7/25	海の日									欠損再建							セラ加工		補講						セラ加工実習								補講							
18	7/28 － 8/1	補講									欠損再建		補講					欠損再建（救命救急実習）		大掃除						オープンキャンパス（未定）															
19	8/4 － 8/8																																								
20	8/11 － 8/15																																								
21	8/18 － 8/22																																								
22	8/25 － 8/29																																								
23	9/1 － 9/5																																								
24	9/8 － 9/12	試験および補講																																							
25	9/15 － 9/19	敬老の日								試験および補講																															
26	9/22 － 9/26	試験および補講								秋分の日								試験および補講																							
27	9/29 － 10/3	矯正歯科		発育口腔	矯正歯科実習					顎補		口外			顎補綴実習				小児歯科	小児歯科実習							発育口腔								発育口腔							
28	10/6 － 10/10	矯正歯科		矯正歯科実習						顎補		口外			顎補綴実習				小児歯科	小児歯科実習							人間工デ		臨床実習						顎補綴実習		材料力学（卒論準備）					
29	10/13 － 10/17	体育の日								顎補		口外			顎補綴実習				小児歯科	小児歯科実習							人間工デ	補講	解剖体追悼式						休講　（お茶の水祭準備）							
30	10/20 － 10/24	矯正歯科		矯正歯科実習						顎補		口外			顎補綴実習				小児歯科	小児歯科実習							人間工デ		臨床実習						顎補綴実習		材料力学（卒論準備）					
31	10/27 － 10/31	矯正歯科		矯正歯科実習						顎補		口外			顎補綴実習				小児歯科	小児歯科実習							人間工デ		臨床実習						顎補綴実習		材料力学（卒論準備）					
32	11/3 － 11/7	文化の日								顎補綴実習									小児歯科	小児歯科実習							人間工デ		臨床実習						顎補綴実習		材料力学（卒論準備）					
33	11/10 － 11/14	矯正歯科		補講						補講								小児歯科		小児歯科実習							人間工デ		臨床実習						補講		材料力学（卒論準備）					
34	11/17 － 11/21	臨床実習　（各科ローテーション）																																							
35	11/24 － 11/28	勤労感謝の日								臨床実習　（各科ローテーション）																															
36	12/1 － 12/5	矯正歯科		矯正歯科実習						口腔リハ	顎補綴実習							材料力学実習（卒論）								人間工デ		臨床実習						材料力学実習（卒論）	発育口腔（報告会）		2年の特別研修報告に参加				
37	12/8 － 12/12	矯正歯科		矯正歯科実習						口腔リハ	顎補綴実習							臨床実習								臨床実習								材料力学実習（卒論）							
38	12/15 － 12/19	矯正歯科		矯正歯科実習						口腔リハ	顎補綴実習							臨床実習								臨床実習								材料力学実習（卒論）							
39	12/22 － 12/26	補講			大掃除					天皇誕生日																															
40	12/29 － 1/2																									元旦															
41	1/5 － 1/9	矯正歯科		矯正歯科実習						口腔リハ	小児歯科実習							発育口腔								臨床実習			バイオデ					材料力学実習（卒論）			4年の卒研究発表に参加				
42	1/12 － 1/16	成人の日								口腔リハ	小児歯科実習							臨床実習								臨床実習			バイオデ					材料力学実習（卒論）							
43	1/19 － 1/23	矯正歯科		矯正歯科実習						口腔リハ	小児歯科実習							臨床実習								臨床実習			バイオデ					材料力学実習（卒論）							
44	1/26 － 1/30	矯正歯科実習		臨床実習						口腔リハ	小児歯科実習							臨床実習								臨床実習			バイオデ					材料力学実習（卒論）							
45	2/2 － 2/6	矯正歯科実習		臨床実習						口腔リハ	小児歯科実習							臨床実習								臨床実習			バイオデ					材料力学実習（卒論）							
46	2/9 － 2/13	矯正歯科実習		臨床実習						臨床実習								建国記念の日								臨床実習								大掃除							
47	2/16 － 2/20	試験および補講																																							
48	2/23 － 2/27	試験および補講																																実習試験							
49	3/2 － 3/6	臨床実習								臨床実習								臨床実習								臨床実習								臨床実習							
50	3/9 － 3/13	臨床実習								臨床実習								臨床実習								臨床実習								臨床実習			大掃除・移動				
51	3/16 － 3/20	春期特別臨床実習期間（3/2～3/20まで）																																							
52	3/23 － 3/27																	卒業式																							
53	3/30 － 4/3																																								

略称	科目No	正式名称	略称	科目No	正式名称	略称	科目No	正式名称
材料力学	9-2	口腔保健材料力学B	CAD/CAM	29	CAD/CAMシステム工学	発育口腔	38	発育口腔工学
材料力学実習	10	口腔保健材料力学実習	CAD/CAM実習	30	CAD/CAMシステム工学実習	小児歯科	39	小児歯科工学
英Ⅱ	12	科学英語Ⅱ	先進修復	31	先進修復工学実習	小児歯科実習	40	小児歯科工学実習
咬合実習	21	咬合学実習(2)	セラ加工	32	セラミック加工学	矯正歯科	41	矯正歯科工学
部床実習	23	部分床義歯工学実習B	セラ加工実習	33	セラミック加工学実習	矯正歯科実習	42	矯正歯科工学実習
欠損再建	25	欠損再建工学	口外	34	口腔外科工学	顎補	43	顎補綴工学
冠修講義	26-2	歯冠修復工学B	人間工デ	35	※人間工学デザイン論	顎補綴実習	44	顎補綴工学実習
冠修実習	27	歯冠修復工学実習B	バイオデ	36	※バイオデザイン学	口腔リハ	45	口腔リハビリテーション工学
キャリマネ	50	キャリアマネージメント学	臨床実習	51	再建工学包括臨床実習A			

★　4月22日火曜17時から、海外研修報告会を行う。　※選択科目は2年からの選択科目から合計3単位以上取得すること

臨床実習　フェーズⅠ：オリエンテーション、予備実習Ⅰ（石膏注入を中心に　フェーズⅢ：予備実習Ⅱ

フェーズⅡ：各科ローテーションは、4時間×10日間　4年次にフェーズⅣ：臨床ケースを行う　3月に台北医学大学（台湾）からの研修受け入れ予定

歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻　平成26年度4年次科目授業時間割

1:　9:00～9:50　2:　10:00～10:50　3:　11:00～11:50　4:　13:00～13:50　5:　14:00～14:50　6:　15:00～15:50　7:　16:00～16:50　8:　17:00～17:50

		月曜日								火曜日								水曜日								木曜日								金曜日							
		1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
1	3/31－4/4																																								専門課程ガイダンス
2	4/7－4/11	画像解析			臨床実習					アプライ			臨床実習					臨床実習			画像解析					臨床実習			卒研究					卒研究							
3	4/14－4/18	画像実習			臨床実習					アプライ			臨床実習					臨床実習			画像解析					臨床実習			卒研究					卒研究							
4	4/21－4/25	画像実習			臨床実習					アプライ	臨床実習						★	臨床実習			画像解析					臨床実習			卒研究					卒研究							
5	4/28－5/2	画像実習			臨床実習					昭和の日								臨床実習			画像解析					臨床実習			卒研究					卒研究							
6	5/5－5/9	子どもの日								振替休日								臨床実習								臨床実習(医歯学融合教育)								卒研究							
7	5/12－5/16	画像実習			臨床実習					アプライ			臨床実習					臨床実習								臨床実習			スポーツ					卒研究							
8	5/19－5/23	画像実習			臨床実習					アプライ			臨床実習					臨床実習								臨床実習			スポーツ					卒研究							
9	5/26－5/30	画像実習			臨床実習					アプライ			臨床実習					臨床実習								臨床実習			スポーツ					卒研究							
10	6/2－6/6	画像実習			臨床実習					画像実習			臨床実習					臨床実習					インスト			臨床実習			スポーツ					卒研究							
11	6/9－6/13	臨床実習								画像実習			臨床実習					臨床実習					インスト			臨床実習			スポーツ					卒研究							
12	6/16－6/20	臨床実習								画像実習			臨床実習					臨床実習					インスト			臨床実習			卒研究					卒研究							
13	6/23－6/27	卒研究			臨床実習					画像実習			臨床実習					臨床実習					インスト			臨床実習	卒研究							卒研究							
14	6/30－7/4	卒研究			臨床実習					画像実習			臨床実習					臨床実習					インスト			臨床実習			卒研究					卒研究							
15	7/7－7/11	卒研究			臨床実習					画像実習			臨床実習					臨床実習					インスト			臨床実習			卒研究					卒研究				卒研特別講義			
16	7/14－7/18	卒研究			臨床実習					画像実習			臨床実習					臨床実習					インスト			臨床実習			卒研究					卒研究							
17	7/21－7/25	海の日								画像実習			臨床実習					臨床実習					インスト			臨床実習			卒研究					試験および補講							
18	7/28－8/1	試験および補講																大掃除								試験および補講															
19	8/4－8/8	夏期特別臨床実習期間																																							
20	8/11－8/15																																								
21	8/18－8/22	夏期特別臨床実習期間(～9/26まで)																																							
22	8/25－8/29																																								
23	9/1－9/5																																								
24	9/8－9/12																																								
25	9/15－9/19	敬老の日																																							
26	9/22－9/26									秋分の日																															
27	9/29－10/3	臨床実習								臨床実習								臨床実習								臨床実習			卒作品					卒作品							
28	10/6－10/10	臨床実習								臨床実習								臨床実習								臨床実習			卒作品					卒作品							
29	10/13－10/17	体育の日								臨床実習								臨床実習								臨床実習			卒作品					卒作品	休講 （お茶の水祭準備）						
30	10/20－10/24	臨床実習								臨床実習								臨床実習								臨床実習			卒作品					卒作品							
31	10/27－10/31	臨床実習								臨床実習								臨床実習								臨床実習			卒作品					卒作品							
32	11/3－11/7	文化の日								臨床実習								臨床実習								臨床実習			卒作品					卒作品							
33	11/10－11/14	臨床実習								臨床実習								臨床実習								臨床実習			卒作品					卒作品							
34	11/17－11/21	臨床実習								臨床実習								臨床実習								補講								卒作品							
35	11/24－11/28	勤労感謝の日								臨床実習								臨床実習								臨床実習			卒作品					卒作品							
36	12/1－12/5	臨床実習								臨床実習								臨床実習								臨床実習			卒作品					卒作品							
37	12/8－12/12	臨床実習								臨床実習								臨床実習								臨床実習			卒作品					卒作品							
38	12/15－12/19	臨床実習								臨床実習								臨床実習								臨床実習			卒作品					卒作品							
39	12/22－12/26	大掃除								天皇誕生日																															
40	12/29－1/2																									元旦															
41	1/5－1/9																	補講																卒作品発表会	卒研究　発表会						
42	1/12－1/16	成人の日								自己研修 （国家試験対策）																															
43	1/19－1/23	自己研修 （国家試験対策）																																							
44	1/26－1/30	自己研修 （国家試験対策）																																							
45	2/2－2/6	自己研修 （国家試験対策）																																							
46	2/9－2/13	国家試験？																建国記念の日								国家試験？								国家試験？							
47	2/16－2/20	キャリアアップ研修期間(～3/6)																																							
48	2/23－2/27																																								
49	3/2－3/6																																	大掃除							
50	3/9－3/13																																								
51	3/16－3/20																																								
52	3/23－3/27																	卒業式																							
53	3/30－4/3																																								

略称	科目No	正式名称	略称	科目No	正式名称	略称	科目No	正式名称
インスト	37	※ｵｰﾗﾙｲﾝｽﾄｩﾙﾒﾝﾄ工学	画像解析	47	※画像解析学概論	臨床実習	51	再建工学包括臨床実習B
スポーツ	46	スポーツ歯科工学	画像実習	48	※画像解析学概論実習	卒研究	52	特論Ⅰ（卒業研究）
アプライ	49	オーラルアプライアンス工学				卒作品	53	特論Ⅱ（卒業作品）

★　4月22日火曜17時から、海外研修報告会を行う。　　※選択科目は2年からの選択科目から合計3単位以上取得すること

第１学年
履修科目・ユニット

時間割番号	023002				
ユニット名	口腔保健工学概論 A				
担当教員	鈴木　哲也, 大木　明子, 遠藤　圭子, 口腔保健学科教員				
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1

科目名：口腔保健工学概論
時間数：15時間
授業形態：講義

主な講義場所

口腔保健衛生学専攻第 3 講義室
歯学部演習室

授業の目的、概要等

自学自習とディスカッションに基づく問題基盤型学習（PBL）や演習をとおして、口腔保健の基礎知識、保健・医療・福祉の専門職に共通する職業倫理や実務上の態度・姿勢、多職種連携の重要性を学ぶ。

授業の到達目標(SBOs)

1. 口腔保健の概要を説明する。
2. 保健・医療・福祉の専門職に共通する職業倫理を説明する。
3. 保健・医療・福祉の専門職に共通する実務上の態度・姿勢を説明する。
4. 保健・医療・福祉の専門職による多職種連携の重要性を説明する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/15	13:50-14:20	口腔保健学科第3講義室	オリエンテーション	口腔保健と専門職を学ぶ意義、学習方法（PBL テュートリアル）	遠藤　圭子, 大木　明子, 口腔保健学科教員	SBOs：1-4
2	4/15	14:30-16:00	歯学部演習室	シナリオ1	シナリオ提示、学習項目の検討	遠藤　圭子, 大木　明子, 口腔保健学科教員	SBOs：1-4
3	4/22	12:50-16:00	歯学部演習室	学習項目の発表、シナリオ 2	ディスカッション、シナリオ提示、学習項目の検討	遠藤　圭子, 大木　明子, 口腔保健学科教員	SBOs：1-4
4	5/13	12:50-16:00	歯学部演習室	学習項目の発表、全体発表準備	ディスカッション、全体発表項目、発表法の検討	遠藤　圭子, 大木　明子, 口腔保健学科教員	SBOs：1-4
5	5/20	12:50-16:00	歯学部演習室	全体発表準備	全体発表準備	遠藤　圭子, 大木　明子, 口腔保健学科教員	SBOs：1-4
6	5/27	13:20-14:30	口腔保健学科第3講義室	全体発表	グループ課題発表、討論、まとめ	遠藤　圭子, 大木　明子, 口腔保健学科教員	SBOs：1-4

成績評価の方法

授業内レポート、グループディスカッションの状況、全体発表の内容で総合的に評価する。

成績評価の基準

ユニット「口腔保健工学概論B」（2 年次開講）の成績と合わせて科目「口腔保健工学概論」の判定を行う。

準備学習などについての具体的な指示

PBL テュートリアル形式の講義であるので、各自学習した内容を資料としてまとめて準備してから講義に臨むこと。

試験の受験資格

3 分の 2 以上の出席

履修上の注意事項

事前に資料の配付、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

連絡先 鈴木　哲也:suzuki.peoe@tmd.ac.jp 大木　明子:moki.mfoe@tmd.ac.jp 遠藤　圭子:usagi.pvoh@tmd.ac.jp
オフィスアワー 鈴木　哲也:随時 メールにて日時を相談 大木　明子:メールにて面談の日程を調整すること。2 号館 2 階准教授室 遠藤　圭子:随時

時間割番号	023003				
科目名	早期臨床体験実習				
担当教員	池田　正臣，口腔保健工学専攻教員				
開講時期	通年	対象年次	1	単位数	1

時間数：前期30時間、後期15時間
授業形態：実習

授業の目的、概要等

今後の学習への強い動機を獲得するため、臨床の現場を体験することで歯科医学ならびに歯科医療の現状を認識するとともに、医療人としての基本的態度を修得する。また、歯科技工士に求められる資質は歯科技工物をつくるだけではなく、人の健康の維持・増進に関わる職業であることを認識する。

授業の到達目標(SBOs)

1. 歯科医療従事者に求められる基本的態度を身につける。
2. 歯科医療が人々の健康の維持増進に果たす社会的役割を認識する。
3. 歯科医療のなかでの歯科技工士の役割を認識する。
4. 歯科材料、器械の扱いを学ぶ。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/24	08:50-17:40	第1講義室	オリエンテーション	実習についての講義、課題	池田　正臣，鈴木　哲也，安江 透	SBOs 1-3
2	9/25	08:50-17:40	第1講義室	実習、資料室見学	ミニチュアの入れ歯製作、過去の技工物などの見学	安江　透，冨川　紘一，岩崎 直彦	SBOs 4
3	9/26	08:50-17:40	第1講義室	病院見学、歯科技工部見学	歯学部附属病院における、治療および技工物製作現場の見学	鈴木　哲也，大木 明子	SBOs 1-3
4	9/30	12:50-17:40	第1講義室	歯科技工所見学	外部の歯科技工所における、臨床現場の見学	池田　正臣，土平 和秀	SBOs 3
5	10/7	12:50-17:40	第1講義室	企業見学	歯科材料メーカーにおける体験実習	杉本 久美子，高橋　英和，池田　正臣，土平 和秀	SBOs 3,4
6	10/14	12:50-16:00	第1講義室	学習結果発表	見学、実習を通しての、課題に対する学習結果発表	杉本 久美子，高橋　英和，安江 透，池田　正臣，冨川 紘一	SBOs 1-3

成績評価の方法

出席、実習態度、提出物、学習結果発表、レポート等から総合的に評価する。

準備学習などについての具体的な指示

事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。歯科医院内、外の歯科技工所の違いについて事前に調べておくこと。

連絡先

池田　正臣: ikeda.csoe@tmd.ac.jp

オフィスアワー

池田　正臣:メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023004				
科目名	技術倫理				
担当教員	安江　透, 皆吉　淳平				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

時間数：15時間
授業形態：講義

主な講義場所
第1講義室

授業の目的、概要等
人間の身体・生命にかかわる技術者として求められる「技術倫理」について理解し、洞察を深める。

授業の到達目標(SBOs)
1. 技術倫理の特性についての概要を理解する。
2. 事故の社会的要因と技術との関係性について初歩的な理解を得る。
3. 専門職論における「専門職」の要件について理解する。
4. 専門職にとっての倫理綱領が有する社会的意味について理解する。
5. 医療におけるインフォームド・コンセントの歴史的展開を理解する。
6. 医療におけるインフォームド・コンセントの哲学・倫理学的な議論の概略を理解する。
7. 技術者にもとめられる説明責任の倫理的・社会的な基礎づけを理解する。
8. 製造物責任の考え方、および、製造物責任法（PL 法）の概要を理解する。
9. 健康被害を生じさせた事例から、法と社会・倫理との関係について理解する。
10. 知的財産権の考え方の概要を理解する。
11. 人々の健康・生命がかかわる分野における知的財産権が孕む問題について理解する。
12. エンハンスメントと呼ばれる倫理的問題群について概要を理解する。
13. 医療技術の存在意義について、「願望実現医療」の事例から考察できるようになる。
14. 人間の身体・生命にかかわる技術について、倫理的・社会的に考える視点を習得する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/30	08:50-10:20	第1講義室	技術倫理とは何か、なぜ必要か	チャレンジャー号爆発事故をめぐる技術・社会・倫理	皆吉　淳平	SBOs 1,2
2	10/7	08:50-10:20	第1講義室	プロフェッションとしての倫理	倫理綱領の社会的意味	皆吉　淳平	SBOs 3,4
3	10/14	08:50-10:20	第1講義室	インフォームド・コンセントと説明責任（1）	医療におけるインフォームド・コンセント	皆吉　淳平	SBOs 5,6
4	10/21	08:50-10:20	第1講義室	インフォームド・コンセントと説明責任（2）	技術者にとっての説明責任	皆吉　淳平	SBOs 7
5	10/28	08:50-10:20	第1講義室	製造物責任	カネミ油症事件をめぐる技術・社会・倫理	皆吉　淳平	SBOs 8,9
6	11/4	08:50-10:20	第1講義室	知的財産権と人々の健康	医薬品・医療機器の特許と社会	皆吉　淳平	SBOs 10,11
7	11/11	08:50-10:20	第1講義室	人体改造の技術と倫理	エンハンストメント・願望実現医療と技術・倫理	皆吉　淳平	SBOs 12,13
8	11/18	08:50-10:20	第1講義室	歯科技工と技術倫理	歯科技工士にとっての医療倫理・技術倫理と社会	皆吉　淳平	SBOs 14

成績評価の方法
・レポートに、平常点（コメントペーパーの内容など）を加味して、総合的に評価する。
・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示
Web Class に資料がアップされているときには、事前に確認しておく。

参考書 技術者倫理入門 : JABEE 対応／小出泰士 著,:丸善, 2010 科学技術倫理を学ぶ人のために／新田孝彦, 蔵田伸雄, 石原孝二 編,:世界思想社, 2005 生命倫理とは何か／市野川容孝 編,:平凡社, 2002 命は誰のものか／香川知晶 [著],:ディスカヴァー・トゥエンティワン, 2009 医療技術と器具の社会史 : 聴診器と顕微鏡をめぐる文化／山中浩司 著,:大阪大学出版会, 2009
履修上の注意事項 事前に資料の配布、Web Class へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。
連絡先 安江 透.yasue.fpoe@tmd.ac.jp
オフィスアワー 安江 透.随時

時間割番号	023005				
科目名	形態認識造形学				
担当教員	安江　透, 伊藤　恵夫				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

時間数:15時間
授業形態:講義

主な講義場所

第4実習室

授業の目的、概要等

口腔保健工学の基礎となる形態の認識と造形に関する知識を習得し、「観察力」、「認識力」、「造形力」を養う基盤とする。

授業の到達目標(SBOs)

1. 形態認識造形学で学ぶ内容と、その理由・目的を理解し、説明する。
2. 形態を客観的に見るとはどういうことか、理論的背景を含めて理解する。
3. 形態の意味を読み取る力、すなわち認識力について理解する。
4. 自分の意図した形態を作る力、すなわち造形力について理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/21	12:50-14:20	第4実習室	概論	概論	伊藤　恵夫	SBOs 1
2	10/28	14:30-16:00	第4実習室	観察力	見えるということ	伊藤　恵夫	SBOs 2
3	11/11	14:30-16:00	第4実習室	観察力	「かたち」と「いろ」	伊藤　恵夫	SBOs 2
4	11/25	14:30-16:00	第4実習室	認識力	「かたち」と「しくみ」	伊藤　恵夫	SBOs 3
6	1/6	12:50-14:20	第4実習室	造形力	「線」と「面」	伊藤　恵夫	SBOs 4
7	1/13	16:10-17:40	第4実習室	造形力	「面」と「立体」	伊藤　恵夫	SBOs 4
8	1/27	12:50-14:20	第4実習室	まとめ	まとめ	伊藤　恵夫	SBOs 1
5	12/9	14:30-16:00	第4実習室	認識力	歯と系統進化	伊藤　恵夫	SBOs 3

成績評価の方法

授業への積極的な参加状況、提出物、レポートを総合的に判断し、評価する。

準備学習などについての具体的な指示

Web Class に資料がアップされているときには、事前に確認しておく。

履修上の注意事項

事前に資料の配布、Web Class へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

連絡先

安江　透:yasue.fpoe@tmd.ac.jp

オフィスアワー

安江　透:随時

時間割番号	023007				
ユニット名	形態認識造形学実習 A				
担当教員	安江　透, 冨川　紘一, 伊藤　恵夫				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

科目名：形態認識構造学実習
時間数：45時間
授業形態：実習

主な講義場所

第4実習室

授業の目的、概要等

形態認識造形学で学ぶ理論的背景を基に、口腔保健工学の基本的技術力の基礎となる「観察力」、「認識力」、「造形力」を養い培う。

授業の到達目標(SBOs)

1. 形態認識造形学実習で学ぶ内容と、その理由・目的を理解し、説明する。
2. 現時点での自分の理解力・表現力を知り、ステップアップのための方法を考える。
3. 自分の意図した形態を作ることができるよう、造形力を向上させる。
4. 形態を客観的に見る力、すなわち観察力の向上をはかる。
5. パースペクティブの概要を理解する。
6. 色の三要素の理論を理解し、実際に活用する。
7. その形態に適した色彩を考え、表現する力をつける。
8. これまでに学んだ内容を基礎に、総合的に表現する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/21	14:30-16:00	第4実習室	概論	概論、自画像	伊藤　恵夫, 安江　透, 冨川　紘一	SBOs 1,2
2	10/21	16:10-17:40	第4実習室	表現と構成	幾何形体による構成	伊藤　恵夫, 安江　透, 冨川　紘一	SBOs 3
3	10/28	12:50-17:40	第4実習室	観察と表現(平面)	プロポーション	伊藤　恵夫, 安江　透, 冨川　紘一	SBOs 2,4
4	11/4	14:30-16:00	第4実習室	観察と表現(立体)	幾何形体	伊藤　恵夫, 安江　透, 冨川　紘一	SBOs 2,4
5	11/4	16:10-17:40	第4実習室	観察と表現(立体)	立体の見え方(パース)	伊藤　恵夫, 安江　透, 冨川　紘一	SBOs 2,4,5
6	11/11	16:10-17:40	第4実習室	線の観察	大顔面	伊藤　恵夫, 安江　透, 冨川　紘一	SBOs 2,3
7	11/18	14:30-17:40	第4実習室	面の観察	アグリッパ	伊藤　恵夫, 安江　透, 冨川　紘一	SBOs 2,3
8	11/25	16:10-17:40	第4実習室	面の観察	アグリッパ	伊藤　恵夫, 安江　透, 冨川　紘一	SBOs 2,3
9	12/2	14:30-16:00	第4実習室	色彩	色の三要素	伊藤　恵夫, 安江　透, 冨川　紘一	SBOs 6
10	12/2	16:10-17:40	第4実習室	色彩	色による表現	伊藤　恵夫, 安江　透, 冨川　紘一	SBOs 6,7
11	12/9	16:10-17:40	第4実習室	色彩	色による表現	伊藤　恵夫, 安江　透, 冨川　紘一	SBOs 6,7
12	12/16	14:30-16:00	第4実習室	色彩	色による表現	伊藤　恵夫, 安江　透, 冨川　紘一	SBOs 6,7
13	12/16	16:10-17:40	第4実習室	明度の表現	グレースケールの作成	伊藤　恵夫, 安江　透, 冨川　紘一	SBOs 7
14	1/6	14:30-16:00	第4実習室	造形(平面)	描写(自画像)	伊藤　恵夫, 安江　透, 冨川　紘一	SBOs 8
15	1/13	12:50-16:00	第4実習室	造形(平面)	描写(自画像)	伊藤　恵夫, 安江　透, 冨川　紘一	SBOs 8
16	1/20	12:50-17:40	第4実習室	造形(立体)	粘土による模刻	伊藤　恵夫, 安江　透, 冨川　紘一	SBOs 8
17	1/27	14:30-16:00	第4実習室	造形(立体)	粘土による模刻	伊藤　恵夫, 安江　透, 冨川　紘一	SBOs 8
18	1/27	16:10-17:40	第4実習室	まとめ	まとめ	伊藤　恵夫, 安江　透, 冨川　紘一	SBOs 1

成績評価の方法

・毎回の提出物(作品)を総合的に判断し評価する。
・ユニット「形態認識造形学実習 B」(2 年次開講)と合わせて科目「形態認識造形学実習」の評価を行う。

準備学習などについての具体的な指示

Web Class に資料がアップされているときには、事前に確認しておく。

履修上の注意事項

事前に資料の配布、Web Class へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

連絡先

安江　透:yasue.fpoe@tmd.ac.jp
冨川　紘一:fukawa.peoe@tmd.ac.jp

オフィスアワー

安江　透:随時
冨川　紘一:随時

時間割番号	023008				
科目名	メディア情報学基礎				
担当教員	杉本　久美子, 木下　淳博, 須永　昌代, 佐々木　好幸, 徳永　伸一, メディア情報掛				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

時間数：15時間

授業形態：講義

主な講義場所

口腔保健工学専攻第1講義室

授業の目的、概要等

・コンピューターによるメディア情報処理、コンテンツ作成の基礎を修得する。

・インターネットとコンピューターを利用した口腔保健活動および研究活動に必要な情報検索の方法を修得する。

授業の到達目標(SBOs)

1. 学内無線 LAN に各自持ち込み PC を接続する。
2. インターネットにおけるセキュリティー管理、著作権保護を実践する。
3. PC 上で静止画像・プレゼンテーションファイルを作成する。
4. PC 上で動画像を編集する。
5. インターネットからの情報を適切に収集し、吟味する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	11/4	12:50-14:20	第1講義室	オリエンテーション	コース概説、無線 LAN 概要・扱い、各自持参パソコンの無線 LAN 接続、インターネットとセキュリティー、著作権、e-learning 基礎体験学習ガイダンス	木下　淳博, 徳永　伸一, 須永　昌代, メディア情報掛	SBOs: 1, 2
2	11/11	12:50-14:20	第1講義室	プレゼンテーション入門（Power Point）、メディアコンテンツ作成 1	研究発表に必要なプレゼンテーション実習、静止画像処理訪問歯科診療・高齢者施設見学実習	木下　淳博, 須永　昌代, メディア情報掛	SBOs: 3
3	11/18	12:50-14:20	第1講義室	インターネット情報検索 1	インターネットからの情報の収集と吟味 1	佐々木　好幸	SBOs: 5
4	11/25	12:50-14:20	第1講義室	インターネット情報検索 2	インターネットからの情報の収集と吟味 2	佐々木　好幸	SBOs: 5
5	12/2	12:50-14:20	第1講義室	メディアコンテンツ作成 2	動画像処理	木下　淳博, 須永　昌代, メディア情報掛	SBOs: 4
6	12/9	12:50-14:20	第1講義室	メディアコンテンツ作成 3	動画像処理	木下　淳博, 須永　昌代, メディア情報掛	SBOs: 4
7	12/16	12:50-14:20	第1講義室	インターネット情報検索 3	課題発表	佐々木　好幸	SBOs: 5
8	1/6	16:10-17:40	第1講義室	まとめ	メディアコンテンツ作成（動画像）課題発表、ネットワーク上で試験	木下　淳博, 佐々木　好幸, 須永　昌代, メディア情報掛	SBOs: 1-5

成績評価の方法

提出課題および第 8 回に行うネットワーク上での試験で総括的評価を行う。

履修上の注意事項

・入学時の案内・ガイダンス等で指定した推奨ノートパソコンに指定のソフト（Microsoft 社製 Power Point は必須）をインストールして持参すること。

・1、2、4、6、8 回の授業は、各自、ノート PC、USB フラッシュメモリーおよびステレオイヤホンを持参すること。

連絡先 杉本　久美子:ksugimoto.bohs@tmd.ac.jp 須永　昌代:sunaga.emdv@tmd.ac.jp 佐々木　好幸:sasaki.prev@tmd.ac.jp 木下　淳博:kinoshita.emdv@tmd.ac.jp
オフィスアワー 杉本　久美子:随時 須永　昌代:随時 佐々木　好幸:毎週月曜日・水曜日　17:00-19:00 木下　淳博:毎週金曜日　16：00－17：00　3 号館 5 階　教育メディア開発部

時間割番号	023010				
ユニット名	口腔保健材料力学Ａ				
担当教員	高橋　英和, 岩崎　直彦				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1

科目名：口腔保健材料力学
時間数：１５時間
授業形態：講義

主な講義場所

口腔保健工学専攻　第１講義室

授業の目的、概要等

材料に外部から負荷を加えたときに内部で生じる応力と変形について理解し，歯科で用いられている材料の特徴を説明する.

授業の到達目標(SBOs)

1. 基本単位を説明し，長さを測定する。
2. 材料力学に必要な基礎知識を説明する。
3. 応力ーひずみ線図を説明する。
4. 引張，圧縮応力を受けた時の棒の変形を説明する。
5. 高分子材料の特徴を説明する。
6. 金属材料の特徴を説明する。
7. セラミック材料の特徴を説明する。
8. 複合材料の特徴を説明する。
9. 歯科材料の機械的性質の評価方法を説明する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	11/25	08:50-10:20	第2講義室	基本単位と基本的な測定機器	SI 単位、長さの測定	高橋　英和, 岩崎　直彦	SBOs 1
2	12/2	08:50-10:20	第2講義室	材料力学概説	材料力学を学ぶ目的、力のモーメントのつり合い	高橋　英和	SBOs 2-4
3	12/9	08:50-10:20	第2講義室	材料力学で使う数式	よく使う数学公式、荷重の種類	高橋　英和	SBOs 2,4
4	12/16	08:50-10:20	第2講義室	応力ひずみ線図	応力とひずみの定義、応力ひずみ線図	高橋　英和	SBOs 3,4
5	1/6	08:50-10:20	第2講義室	許容応力と安全率	許容応力と安全率の考え方、 歯科で用いられている高分子材料	高橋　英和, 岩崎　直彦	SBOs 2,4
6	1/13	08:50-10:20	第2講義室	金属材料概論　セラミック材料概論　複合材料概論	歯科で用いられている金属材料概論、歯科で用いられているセラミック材料　歯科で用いられている複合材料	高橋　英和	SBOs 6-9
7	1/20	08:50-10:20	第2講義室	歯科材料の特性比較　歯科材料の基礎的性質	歯質と歯科材料の特性の比較、 歯科材料の機械的性質	高橋　英和	SBOs 5-9
8	1/27	08:50-10:20	第2講義室	機械的性質の評価方法	粘弾性、物理的性質	高橋　英和	SBOs 1,9

成績評価の方法

・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総括的評価を行う。
・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。
・ユニット「口腔保健材料力学Ｂ」(3 年次開講)の成績と合わせて科目「口腔保健材料力学」の評価を行う。

教科書

スタンダード歯科理工学 = STANDARD DENTAL MATERIALS SCIENCE : 生体材料と歯科材料／楳本貢三, 中嶌裕, 西山典宏, 宮崎隆, 米山隆之 編集幹事：学建書院, 2013

履修上の注意事項

事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

連絡先

高橋　英和takahashi.bmoe@tmd.ac.jp
岩崎　直彦:iwasaki.bmoe@tmd.ac.jp

オフィスアワー

高橋　英和:あらかじメールにて面談時間を相談のこと

岩崎　直彦:随時

時間割番号	023011				
科目名	人体の構造と機能Ⅰ				
担当教員	杉本　久美子, 田畑　純				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2

時間数:30時間
授業形態:講義

主な講義場所
口腔保健工学専攻第1講義室

授業の目的、概要等
人体の構造と機能ならびにその分子的基盤を学ぶことにより、生命が営まれるメカニズムを分子レベルから個体レベルに至るまで理解する。さらに、機能の異常と疾患、使用される薬物について概要を理解する。

授業の到達目標(SBOs)
1. 生命の基本単位である細胞の構造、構成要素とその働きを説明する。
2. 人体の構成ならびに構造、機能の概要を理解する。
3. 上皮組織、支持組織、筋組織および神経組織の構成成分、構造および機能の概要を理解する。
4. 骨格系の構成と骨の代謝について理解する。
5. 全身の筋の構造と筋収縮のメカニズムについて理解する。
6. 末梢神経系および中枢神経系の構造と機能、ならびに関連疾患について説明する。
7. 運動器系の構成と機能、およびその疾患について説明する。
8. 循環器系の構造と機能、およびその疾患について理解する。
9. 血液成分と働きおよびその疾患について理解する。
10. 呼吸器系の構造と機能、およびその疾患について説明する。
11. 感覚器系の構造と機能、およびその疾患について説明する。
12. 泌尿器系の構造と機能、尿の生成機序とその疾患について説明する。
13. 生体の恒常性維持機構(体温調節、体液組成および体液量の調節)を概説する。
14. 内分泌系の構造、機能、およびホルモンの作用とその異常について説明する。
15. 様々な疾患に使用される薬物について概要を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/30	10:30-12:00	第1講義室	はじめに、細胞の構造と機能	人体の構成、細胞小器官、細胞の基本的機能	杉本　久美子	SBOs: 1, 2
2	10/7	10:30-12:00	第1講義室	解剖学概論1	骨学、筋学	田畑　純	SBOs: 5
3	10/14	10:30-12:00	第1講義室	解剖学概論2	脈管学、神経学	田畑　純	SBOs: 6, 8
4	10/21	10:30-12:00	第1講義室	組織学概論1	四大組織(上皮組織、結合組織)	田畑　純	SBOs: 3
5	10/28	10:30-12:00	第1講義室	組織学概論2	四大組織(神経組織、筋組織)	田畑　純	SBOs: 3
6	11/4	10:30-12:00	第1講義室	神経系の構成と機能1	神経系の構成、末梢神経系、自律神経系の機能、興奮伝導のメカニズム	杉本　久美子	SBOs: 6
7	11/18	10:30-12:00	第1講義室	神経系の構成と機能2	中枢神経系、神経伝導路、反射のしくみ、神経系の疾患と薬物	杉本　久美子	SBOs: 6
8	11/25	10:30-12:00	第1講義室	筋の機能	筋の種類、筋の収縮と代謝、骨格筋収縮のタイプ、筋電図	杉本　久美子	SBOs: 5, 6
9	12/2	10:30-12:00	第1講義室	運動器系	運動(反射と随意運動)、運動器系の疾患	杉本　久美子	SBOs: 7, 15
10	12/9	10:30-12:00	第1講義室	循環器系の構造と機能	心臓と血管の働き、心電図、心機能の調節、心臓疾患	杉本　久美子	SBOs: 8, 15
11	12/16	10:30-12:00	第1講義室	血液	血液の成分と働き、血液の疾患	杉本　久美子	SBOs: 9, 15
12	1/6	10:30-12:00	第1講義室	呼吸器系	呼吸器の構成、外呼吸と内呼吸、呼吸運動、ガス交換、呼吸の調節、肺の疾患と薬物	杉本　久美子	SBOs: 10, 15

13	1/13	10:30-12:00	第1講義室	感覚器系の構造と機能	感覚器の構造、感覚の基本的性質、体性・内臓感覚、特殊感覚（視覚、聴覚、平衡感覚）	杉本　久美子	SBOs: 11
14	1/20	10:30-12:00	第1講義室	排泄	尿の生成と排尿	杉本　久美子	SBOs:12, 15
15	1/27	10:30-12:00	第1講義室	体温調節、内分泌	体熱の産生と放散、体温調節、発熱と解熱 内分泌器官とホルモン、内分泌異常と薬物	杉本　久美子	SBOs: 13-15

成績評価の方法

・期末の客観試験、論述試験で総括的評価を行う。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

参考書

解剖生理学／高野廣子 著,:南山堂, 2003

標準生理学／小澤瀞司, 福田康一郎 総編集,本間研一, 大森治紀, 大橋俊夫 編,:医学書院, 2009

基礎歯科生理学／森本俊文, 山田好秋 編,:医歯薬出版, 2008

人体の構造と機能／前田健康, 山田好秋 ほか著,:医歯薬出版, 2010

図解生理学／中野昭一 編,中野昭一, 吉岡利忠, 田中越郎 執筆,:医学書院, 2000

新解剖学／加藤征, 福島統, 國府田稔 執筆,加藤征 監修,:日本医事新報社, 2011

新組織学／野上晴雄 編著,野上晴雄, 権五徹 執筆,:日本医事新報社, 2011

連絡先

杉本　久美子:ksugimoto.bohs@tmd.ac.jp

田畑　純:tabatamj.bss@tmd.ac.jp

オフィスアワー

杉本　久美子:随時

田畑　純:随時（メールでの事前連絡がのぞましいが必須ではない。なおメールでの質問等は受け付けない。）

第２学年
履修科目・ユニット

時間割番号	023012				
ユニット名	口腔保健工学概論Ｂ				
担当教員	鈴木　哲也, 池田　正臣, 岩崎　直彦, 上條　真吾, 山下　勘二, 高橋　勝美, Janelle Renee Moross				
開講時期	通年	対象年次	2	単位数	1

科目名：口腔保健工学概論
時間数：15時間
授業形態：講義

主な講義場所

口腔保健工学専攻　第４講義室（前期）、第１･２講義室およびリフレッシュルーム（後期）

授業の目的、概要等

歯科技工士の専門性を考えるための基本的事項に接し、併せて海外の歯科技工関係者との交流を通じて専門課程へのモチベーションを高める。そのために必要とされる英語力の向上に努める。

授業の到達目標(SB0s)

1. 歯科保存学を構成する分野を説明する。
2. 歯科技工士を職業とする団体の活動を知る。
3. 歯科補綴学の意義と診療内容を説明する。
4. 歯科技材料に関する最新のトピックを知る。
5. 歯学部附属病院における歯科技工部の役割と現状を知る。
6. 歯科技工士の可能性について先達の意見を聞く。
7. 海外の歯科技工士について知る。
8. 英語で自分の環境、立場を説明する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/9	13:00-13:50	第4講義室	歯科補綴学概論	歯科補綴学を構成する分野の概要	鈴木　哲也	SBOs 1
2	4/16	13:00-13:50	第4講義室	歯科保存学概論歯科	歯科保存学を構成する分野の概要	池田　正臣	SBOs 2
3	4/23	13:00-13:50	第4講義室	技工士会、同窓会の役割	歯科技工士会、技友会の役割と意義、活動内容	山下　勘二	SBOs 3
4	4/30	13:00-13:50	第4講義室	歯科技工と材料	歯科材料の最新のトピック	岩崎　直彦	SBOs 4
5	5/14	13:00-13:50	第4講義室	歯科技工部の現状	附属病院歯科技工部の役割と現状	上條　真吾	SBOs 5
6	5/21	13:00-13:50	第4講義室	歯科技工士の可能性	資格にとらわれない歯科技工士の可能性	高橋　勝美	SBOs 6, 7
7	7/23	13:00-13:50	第4講義室	Choose presentation topics	Talk about topics and what needs to be done during the summer.	Janelle Renee Moross	SBOs 7, 8
8	10/3	10:00-10:50	第1講義室	English conversation & presentation check	Practice talking about life at TMDU, culture in Japan. Check progress on presentation script, PP slides.	国際交流センター非常勤講師	SBOs 8
9	10/10	10:00-10:50	第1講義室	English conversation & presentation check	Practice talking about life at TMDU, culture in Japan. Check progress on presentation script, PP slides.	国際交流センター非常勤講師	SBOs 8
10	10/24	10:00-11:50	第1講義室	English conversation & presentation check	Practice talking about life at TMDU, culture in Japan. Check progress on presentation script, PP slides.	国際交流センター非常勤講師	SBOs 8
11	10/31	10:00-11:50	第1講義室	Presentation practice	Presentation with critique by instructors and students. Practice Q&A.	国際交流センター非常勤講師	SBOs 8
12	11/7	10:00-11:50	第1講義室	Formal presentation	Presentation with Q&A by audience	国際交流センター非常勤講師	SBOs 8

成績評価の方法

レポートおよび毎回の課題への取り組みに出席状況、授業態度を加味し、総合的に評価を行う。

準備学習などについての具体的な指示 前期の最後に出される課題について、各自調べて英文で資料を準備しておくこと。
試験の受験資格 3 分の 2 以上の出席
科目の単位判定 口腔保健工学概論AおよびBの評価を総合して行う。
履修上の注意事項 事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。
連絡先 鈴木　哲也:suzuki.peoe@tmd.ac.jp 岩崎　直彦:iwasaki.bmoe@tmd.ac.jp 上條　真吾:s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp 池田　正臣:ikeda.csoe@tmd.ac.jp
オフィスアワー 鈴木　哲也:随時 メールにて日時を相談 岩崎　直彦:随時 上條　真吾:メールにて面談の日程を調整すること 池田　正臣:メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023013				
科目名	感染予防				
担当教員	杉本　久美子, 東　みゆき, 齋藤　良一, 加藤　優子, 砂川　光宏, 大野　建州				
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1

時間数:15時間

授業形態:講義

主な講義場所

口腔保健工学専攻第4講義室

授業の目的、概要等

病原微生物による口腔および全身の感染症について学び、病因と感染成立の機序を理解する。さらに、感染に対する対処法、特に、薬剤による消毒・滅菌の実際から感染予防について理解する。

授業の到達目標(SBOs)

1. 細菌、ウィルス等による感染について、微生物の病原性を構造、機能、遺伝的因子から理解する。
2. 感染への生体防御機構を微生物の特性に基づき理解する。
3. 感染の予防と治療の基礎について理解する。
4. 口腔に存在する微生物の特徴と感染症について理解する。
5. 感染予防の方法と限界について理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/9	14:00-14:50	第4講義室	微生物と疾病	微生物の特徴、病原性	齋藤　良一	SBOs: 1
2	4/9	15:00-16:50	第4講義室	病原性微生物	細菌、ウィルス、真菌	齋藤　良一	SBOs: 1
3	4/16	14:00-16:50	第4講義室	病原微生物と感染症	グラム陽性菌・陰性菌と感染症、ウィルス感染症	加藤　優子	SBOs: 1, 2
4	4/23	14:00-16:50	第4講義室	口腔の微生物と感染症	口腔細菌叢、プラーク、う蝕、歯髄炎、歯周病ほか	大野　建州	SBOs: 4
5	4/30	14:00-16:50	第4講義室	感染に対する生体防御機構	宿主防御機構と免疫、化学療法薬	東　みゆき	SBOs: 2, 3
6	5/14	14:00-14:50	第4講義室	滅菌、消毒法	洗浄、消毒、滅菌	砂川　光宏	SBOs: 3, 5
7	5/14	15:00-16:50	第4講義室	感染対策	歯科における感染対策	砂川　光宏	SBOs: 1, 3, 5

成績評価の方法

出席状況、授業態度および筆記試験を総合的に評価し、合否を判定する。

準備学習などについての具体的な指示

事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

参考書

口腔微生物学・免疫学／浜田茂幸, 川端重忠, 西原達次, 菅井基行, 中川一路 編,:医歯薬出版, 2010

微生物学 : 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 2／木村重信 ほか著,:医歯薬出版, 2011

歯科医院の感染管理常識非常識 :Q&A で学ぶ勘所と実践のヒント／柏井伸子 編前田芳信 監修,:クインテッセンス出版, 2009

連絡先

杉本　久美子:ksugimoto.bohs@tmd.ac.jp

東　みゆき:miyuki.mim@tmd.ac.jp

大野　建州:tohno.mim@tmd.ac.jp

齋藤　良一:r-saito.mi@tmd.ac.jp

砂川　光宏:m.sunakawa.endo@tmd.ac.jp

加藤　優子:k.yuko.mi@tmd.ac.jp

オフィスアワー

杉本　久美子:随時

東　みゆき:月～金　PM.16:00–PM.18:00 M&D タワー6 階南　教員・教授室

大野　建州:月一金　16:00　～　18:00

齋藤　良一:随時（必ず事前に連絡を入れること）

砂川　光宏:随時（必ず事前に連絡を入れること）

加藤　優子:随時（必ず事前に連絡を入れること）

時間割番号	023014				
ユニット名	形態認識造形学実習Ｂ				
担当教員	安江　透, 池田　正臣, 冨川　紘一				
開講時期	通年	対象年次	2	単位数	1

科目名：形態認識造形学実習
時間数：45時間
授業形態：実習

主な講義場所

第3実習室

授業の目的、概要等

口腔保健工学の実践に必要な天然歯牙の形態を把握して彫刻再現できる技術力を養い、数々の修復物製作における基本的造形能力を身につける。

授業の到達目標(SBOs)

1. 模刻による歯型彫刻法を習得する。
2. 歯冠から歯根への移行形態の重要性を説明する。
3. 上顎切歯の形態的特徴を理解し、彫刻により再現する。
4. 上下顎犬歯の形態的特徴を理解し、彫刻により再現する。
5. 上下顎小臼歯の形態的特徴を理解し、彫刻により再現する。
6. 天然歯の形態的特徴を記憶し、短時間の彫刻で精密に再現する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	5/13	09:00-10:50	第3実習室	1.2 倍歯模刻	上顎中切歯	安江　透, 冨川　紘一, 岩崎　直彦	SBOs 1-3
2	5/20	09:00-10:50	第3実習室	1.2 倍歯模刻	上顎中切歯	安江　透, 冨川　紘一, 岩崎　直彦	SBOs 1-3
3	5/27	09:00-10:50	第3実習室	1.2 倍歯模刻	上顎側切歯	安江　透, 冨川　紘一, 岩崎　直彦	SBOs 1-3
4	6/3	09:00-10:50	第3実習室	1.2 倍歯模刻	上顎側切歯	安江　透, 冨川　紘一, 岩崎　直彦	SBOs 1-3
5	6/10	09:00-09:50	第3実習室	1.2 倍歯模刻	上顎犬歯	安江　透, 冨川　紘一, 岩崎　直彦	SBOs 1, 2, 4
6	9/30	09:00-10:50	第3実習室	1.2 倍歯模刻	下顎第二小臼歯	安江　透, 冨川　紘一, 岩崎　直彦	SBOs 1, 2, 4
7	10/7	09:00-09:50	第3実習室	1.2 倍歯模刻	下顎第二小臼歯	安江　透, 冨川　紘一, 岩崎　直彦	SBOs 1, 2, 5
8	10/7	10:00-10:50	第3実習室	1.2 倍歯模刻	下顎第一大臼歯	安江　透, 冨川　紘一, 岩崎　直彦	SBOs 1, 2, 5
9	10/14	09:00-10:50	第3実習室	1.2 倍歯模刻	下顎第一大臼歯	安江　透, 冨川　紘一, 岩崎　直彦	SBOs 1, 2, 6
10	10/21	09:00-10:50	第3実習室	天然歯模刻	上顎中切歯	安江　透, 冨川　紘一, 岩崎　直彦	SBOs 1, 2, 6
11	10/28	09:00-10:50	第3実習室	天然歯模刻	上顎側切歯	安江　透, 冨川　紘一, 岩崎　直彦	SBOs 7
12	11/4	09:00-10:50	第3実習室	天然歯模刻	上顎犬歯	安江　透, 冨川　紘一, 岩崎　直彦	SBOs 7
13	11/18	09:00-10:50	第3実習室	天然歯模刻	下顎中切歯	安江　透, 冨川　紘一, 岩崎　直彦	SBOs 7
14	11/25	09:00-10:50	第3実習室	天然歯模刻	下顎側切歯	安江　透, 冨川　紘一, 岩崎　直彦	SBOs 7
15	12/2	09:00-10:50	第3実習室	天然歯模刻	下顎犬歯	安江　透, 冨川　紘一, 岩崎　直彦	SBOs 7
16	12/9	09:00-10:50	第3実習室	天然歯模刻	上顎第一小臼歯	安江　透, 冨川　紘一, 岩崎　直彦	SBOs 7
17	12/16	09:00-10:50	第3実習室	天然歯模刻	上顎第二小臼歯	安江　透, 冨川　紘一, 岩崎　直彦	SBOs 7
18	12/18	09:00-10:50	第3実習室	天然歯模刻	上顎第一大臼歯	安江　透, 冨川　紘一, 岩崎　直彦	SBOs 7
19	1/6	09:00-10:50	第3実習室	天然歯模刻	上顎第二大臼歯	安江　透, 冨川　紘一, 岩崎　直彦	SBOs 7
20	1/13	09:00-10:50	第3実習室	天然歯模刻	下顎第一小臼歯	安江　透, 冨川　紘一, 岩崎　直彦	SBOs 7
21	1/20	09:00-10:50	第3実習室	天然歯模刻	下顎第二小臼歯	安江　透, 冨川　紘一, 岩崎　直彦	SBOs 7
22	1/27	09:00-10:50	第3実習室	天然歯模刻	下顎第一大臼歯	安江　透, 冨川　紘一, 岩崎　直彦	SBOs 7
23	2/3	09:00-10:50	第3実習室	天然歯模刻	下顎第二大臼歯	安江　透, 冨川　紘一, 岩崎　直彦	SBOs 7
24	2/10	09:00-10:50	第3実習室	天然歯模刻	予備日	安江　透, 冨川　紘一, 岩崎　直彦	

成績評価の方法

・彫刻作品、カービングコンテストの成績、出席状況および授業態度によって総括的評価を行う。
・形態認識造形学実習の成績は、ユニット「形態認識造形学実習Ａ」および「形態認識造形学実習Ｂ」を総合して評価する。

準備学習などについての具体的な指示 実習予定表および実習書を事前に確認し、当日行う実習内容を把握しておく。 Web Class に資料がアップされているときには、事前に確認しておく。
参考書 歯の解剖学／藤田　恒太郎／原著,：金原出版, 1995 歯の解剖学／全国歯科技工士教育協議会 編,高橋常男, 小林繁, 副島泰子 著,：医歯薬出版, 2007
履修上の注意事項 事前に資料の配布、Web Class へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。
連絡先 安江　透:yasue.fpoe@tmd.ac.jp 冨川　紘一:fukawa.peoe@tmd.ac.jp 池田　正臣:ikeda.csoe@tmd.ac.jp
オフィスアワー 安江　透:随時 冨川　紘一:随時 池田　正臣:メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023015				
科目名	コミュニケーション論				
担当教員	池田　正臣, 鈴木　哲也, 高橋　英和, 大木　明子, 安江　透, 杉本　久美子				
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	1

時間数:15時間
授業形態:講義

授業の目的、概要等

コミュニケーション学の基礎的な事項を学び、国際社会における多様な分野と関わる際の考え方と対応について修得する。また、医療従事者と患者間のより良い関係を構築するコミュニケーション法を身につける。

授業の到達目標(SBOs)

1. コミュニケーションの構築について説明する。
2. 日本におけるコミュニケーションを説明する。
3. 文化・習慣の違いによるコミュニケーションのあり方について説明する。
4. 意志・情報の伝達に必要なコミュニケーションスキルについて説明する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	11/11	09:00-10:50	第4講義室	コミュニケーション概論	歯科医療とコミュニケーション	安江　透, 鈴木　哲也, 高橋　英和, 杉本　久美子, 大木　明子	SBOs 1-4
2	11/12	09:00-11:50	第4講義室	組織と対人関係	組織の中での対人関係とコミュニケーションの役割	安江　透, 鈴木　哲也, 高橋　英和, 杉本　久美子, 大木　明子	SBOs 1-4
3	11/13	09:00-11:50	第4講義室	国際社会でのコミュニケーション	国内外の文化・習慣の違いによるコミュニケーションのあり方	安江　透, 鈴木　哲也, 高橋　英和, 杉本　久美子, 大木　明子	SBOs 1-4
4	11/14	09:00-11:50	第4講義室	国際社会でのコミュニケーション	国内外の文化・習慣の違いによるコミュニケーションのあり方	安江　透, 鈴木　哲也, 高橋　英和, 杉本　久美子, 大木　明子	SBOs 1-4
5	11/28	09:00-13:50	第4講義室	研修報告会	研修の報告・発表	安江　透, 鈴木　哲也, 高橋　英和, 杉本　久美子, 大木　明子	SBOs 1-4

成績評価の方法

・提出レポート、研修発表で総括的評価を行う。
・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。
・海外特別研修は本授業の 11 時間分として認定する。
・研修の授業に参加できない場合は、放送大学の受講をもって単位を認める。

準備学習などについての具体的な指示

事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

参考書

人を動かす／D・カーネギー［著],山口　博 訳:創元社
歯科医のための医療コーチング入門：スタッフ・患者さんの行動力を引き出す：図解／岸英光 監修,桑田美香 著:砂書房, 2005
伝える力：「話す」「書く」「聞く」能力が仕事を変える！／池上　彰 著:PHP研究所, 2010
特別講義コミュニケーション学／藤巻幸夫 著:実業之日本社, 2010
コミュニケーション100の法則／伊藤守 著:ディスカヴァー21, 1999

連絡先

池田　正臣: ikeda.csoe@tmd.ac.jp

オフィスアワー

池田　正臣: メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023016				
科目名	科学英語Ⅰ				
担当教員	大木　明子, 鶴田　潤				
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1

時間数:15時間
授業形態:講義

主な講義場所

口腔保健工学専攻　第4講義室

授業の目的、概要等

歯科界で使われる英語について、基本的な知識を理解する。日常習っている歯科技工関連の専門用語を、英語で自由に表現する(読む、聞く、書く、話す)ことができるように学習する。義歯などの実例を呈示しながら、日本語、英語の同時記憶を目指す。

授業の到達目標(SBOs)

1. 英語で、歯科診療の概要を説明する。
2. 英語で、歯／口腔の解剖学的な構造を説明する。
3. 英語で、歯科治療に使われる材料を説明する。
4. 英語で、歯科補綴装置を説明する。
5. 英語で、簡単なコミュニケーションを行う。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/9	10:00-11:50	第4講義室	歯科診療と歯科技工	歯科診療、歯科診療チーム、歯科技工の重要性	鶴田　潤	SBOs 1
2	4/16	10:00-11:50	第4講義室	歯科治療の基礎	各科名称、治療法	鶴田　潤	SBOs 1
3	4/23	10:00-11:50	第4講義室	歯科治療の基礎	補綴装置を扱う治療法	鶴田　潤	SBOs 1,4
4	4/30	10:00-11:50	第4講義室	歯科治療の基礎	日常診療他	鶴田　潤	SBOs 1,5
5	5/14	10:00-11:50	第4講義室	歯／口腔解剖の基礎	歯／口腔解剖、名称、方向表現、歯式	鶴田　潤	SBOs 2
6	5/21	10:00-11:50	第4講義室	歯科生体材料	歯科生体材料の名称	鶴田　潤	SBOs 3,4
7	5/28	10:00-11:50	第4講義室	歯科補綴装置	歯科補綴装置の目的、名称、製作方法	鶴田　潤	SBOs 1-5
8	6/4	11:00-11:50	第4講義室	まとめ	コミュニケーション演習、課題レポート	鶴田　潤	SBOs 1-5

成績評価の方法

毎回小テストを実施する(多肢選択問題)。課題レポートを最終回に実施する。単語到達度テストを実施する。授業態度、出席状況を加味して総合的に評価し合否を判定する。

準備学習などについての具体的な指示

事前に配布される英単語の意味を調べ、覚えてくること。

試験の受験資格

3分の2以上の出席

参考書

丸ごと覚える歯科臨床英会話フレーズ集 : 治療内容別フレーズ670と基本用語280／川口陽子 監修・著,鶴田潤 [ほか]著,:クインテッセンス出版, 1997
Dr.佐藤とリチャードの臨床で使える歯科英会話／佐藤尚弘, Richard Foxton 著,:クインテッセンス出版, 2010
歯科英語／全国歯科技工士教育協議会／編集,古地　美佳／〔ほか〕著,:医歯薬出版, 2006

履修上の注意事項

事前に資料の配布、WebClassへのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。

連絡先

大木　明子:moki.mfoe@tmd.ac.jp

オフィスアワー

大木　明子:メールにて面談の日程を調整すること。2号館2階准教授室

時間割番号	023017				
科目名	ヘルスプロモーション				
担当教員	杉本　久美子, 大木　明子, 小野寺　光江, 口腔保健学科教員				
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	2

時間数:30時間

授業形態:講義および PBL チュートリアル

主な講義場所

口腔保健学科 第 3 講義室、歯学部 演習室(PBL チュートリアル)

口腔保健工学専攻 第 2、4 講義室、リフレッシュルーム

授業の目的、概要等

ヘルスプロモーションの変遷を知るとともに、活動のプロセスを学び、口腔保健の専門家のヘルスプロモーションにおける役割を理解する。

授業の到達目標(SBOs)

1. ヘルスプロモーションの概要を説明する。
2. WHO の健康戦略を説明する。
3. ヘルスプロモーションの展開過程(計画・実施・評価)を説明する。
4. 保健行動の理論とモデルを説明する。
5. 健康保健政策におけるヘルスプロモーションの役割を説明する。
6. 人々の健康における問題を自ら発見し、解決する能力を習得する。
7. 健康に関連するデータの集計と統計処理の基本的方法を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	5/21	14:00-14:50	口腔保健学科第3講義室	ヘルスプロモーションの概要、PBL ガイダンス	ヘルスプロモーションの定義、変遷について、PBL の学習方法について	小野寺　光江, 大木　明子	SBOs 1,2,5
2	5/21	15:00-16:50	歯学部演習室	セッション1	シナリオ1	口腔保健学科教員	SBOs 6
3	5/28	14:00-16:50	歯学部演習室	セッション2	シナリオ1の学習結果発表・討論、シナリオ2	口腔保健学科教員	SBOs 6
4	6/4	14:00-16:50	歯学部演習室	セッション3	シナリオ2の学習結果発表・討論、シナリオ3	口腔保健学科教員	SBOs 6
5	6/11	14:00-16:50	歯学部演習室	セッション4	シナリオ3の学習結果発表・討論、全体発表の準備	口腔保健学科教員	SBOs 6
6	6/18	14:00-16:50	口腔保健学科第3講義室	全体発表	全体発表準備、各班の学習結果発表・討論	小野寺　光江, 大木　明子, 口腔保健学科教員	SBOs 6
7	6/25	14:00-16:50	第2講義室, 2号館リフレッシュルーム	セッション5	シナリオ4	大木　明子, 杉本　久美子	SBOs 6
8	7/2	14:00-16:50	第2講義室, 2号館リフレッシュルーム	セッション6	シナリオ4の学習結果発表・討論	大木　明子, 池田　正臣	SBOs 6
9	7/9	14:00-16:50	第4講義室	ヘルスプロモーションのまとめ	ヘルスプロモーションと歯科医療	岸　光男	SBOs 1-5
10	7/16	14:00-16:50	第4講義室	データの入力と集計	MS Excel®を用いた疫学データ・アンケートデータの入力・集計、グラフの作成	大木　明子, 杉本　久美子	SBOs 7
11	7/23	14:00-16:50	第4講義室	データの統計処理	MS Excel®を用いたデータの統計分析、課題	大木　明子, 杉本　久美子	SBOs 7

成績評価の方法

・PBL：セッションごとにテューターによる形成的評価を行う。

・データの入力と集計、統計処理は課題を評価する。

・出席状況、授業態度、発表内容、レポートを総合的に評価し合否を判定する。

準備学習などについての具体的な指示

PBL テュートリアルの回では、各自学習した内容を事前にまとめて準備してから講義に臨むこと。

データの入力と集計、統計処理では事前にだされた課題を行い、WebClass にて提出すること。

試験の受験資格

3 分の 2 以上の出席

参考書

国際保健医療学／日本国際保健医療学会 編,：杏林書院, 2005

Excel による統計入門 : Excel 2007 対応版／縄田和満 著,：朝倉書店, 2007

Excel でかんたん統計分析 :「分析ツール」を使いこなそう!／上田太一郎 監修,近藤宏, 渕上美喜, 末吉正成, 村田真樹 共著,：オーム社, 2007

Excel によるアンケート処理 : やさしく学ぶ統計学／石村貞夫, 加藤千恵子, 劉晨 著,：東京図書, 2009

世界一やさしくわかる医療統計／西内啓 著,：秀和システム, 2011

統計学が最強の学問である : データ社会を生き抜くための武器と教養／西内啓 著,：ダイヤモンド社, 2013

実践ヘルスプロモーション : precede-proceed モデルによる企画と評価／ローレンス・W.グリーン, マーシャル・W.クロイター 著,神馬征峰 訳：医学書院, 2005

履修上の注意事項

・1～15 時間目の授業は口腔保健衛生学専攻と合同授業を行う。（1 号館 7 階 口腔保健学科第 3 講義室および 1 号館 6 階 歯学部演習室） ・PBL テュートリアルブックをよく読んで、グランドルールを厳守すること。

・16～21 時間目は口腔保健工学専攻のみで PBL を行う。（2 号館 3 階 口腔保健工学専攻第 2 講義室、リフレッシュルーム）

・22～24 時間目は講義を行う。

・25～30 時間目はデータ入力、集計、統計を行う。（2 号館 2 階 口腔保健工学専攻第 4 講義室）

・事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。

連絡先

杉本 久美子:ksugimoto.bohs@tmd.ac.jp

大木 明子:moki.mfoe@tmd.ac.jp

小野寺 光江:m.onodera.ocsh@tmd.ac.jp

オフィスアワー

杉本 久美子:随時

大木 明子:メールにて面談の日程を調整すること。2 号館 2 階准教授室

小野寺 光江:随時 1 号館西 8 階 814B 室

時間割番号	023018				
科目名	人体の構造と機能Ⅱ				
担当教員	杉本 久美子, 柴田 俊一, 田畑 純, 寺島 達夫, 坂本 裕次郎, 安江 透, 冨川 紘一, 山中 紗都, 土橋 なつみ				
開講時期	通年	対象年次	2	単位数	5

時間数:前期30時間、後期45時間

授業形態:講義

主な講義場所

前期:口腔保健工学専攻第4講義室

後期:口腔保健工学専攻第1講義室

授業の目的、概要等

顎・顔面・口腔領域の組織、器官の構造と機能およびその発生と成長の過程について学ぶとともに、顎・顔面・口腔領域の疾患について学び、口腔と全身の構造と機能の関連について理解する。

授業の到達目標(SBOs)

1. 歯の形態、構成成分と機能およびその疾患について説明する。
2. 歯の発生、成長過程と関連疾患について理解する。
3. 歯周組織の形態、構成成分と機能およびその疾患について説明する。
4. 歯周組織の発生、成長過程と関連疾患について理解する。
5. 口腔諸器官の構造、構成分子と機能および発生と成長について説明する。
6. 口腔領域の体性感覚に関わる構造と機能、ならびに疾患について理解する。
7. 頭頸部の主要な骨の形態、発生と成長およびその異常について説明する。
8. 頭頸部の主要な筋の形態と機能を説明する。
9. 頭頸部の主な神経とその働きを説明する。
10. 口腔領域に分布する脈管系を理解する。
11. 咀嚼運動のしくみを理解する。
12. 顎反射のしくみとその役割について理解する。
13. 嚥下・吸引・嘔吐のしくみと関連疾患について説明する。
14. 唾液腺の構造と分泌機構および唾液の成分と作用、ならびに関連疾患について理解する。
15. 胃から腸における消化と吸収のメカニズムについて理解する。
16. 味覚・嗅覚に関わる構造と機能、ならびに疾患について説明する。
17. 発声・構音のしくみを説明する。
18. 口腔と全身の構造と機能の関連について理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/8	09:00-10:50	第1講義室	歯の形態1	歯の定義、歯種と名称、表記法など	田畑 純	SBOs: 1
2	4/14	09:00-10:50	第1講義室	歯の形態2	方向用語、部位用語	田畑 純	SBOs: 1
3	4/15	09:00-10:50	第1講義室	歯の形態3	上下左右の鑑別	田畑 純	SBOs: 1
4	4/21	09:00-10:50	第1講義室	永久歯の形態1	切歯、犬歯	寺島 達夫	SBOs: 1
5	4/22	09:00-10:50	第4実習室	永久歯の歯型彫刻1	切歯・犬歯の歯型彫刻	安江 透 冨川 紘一	SBOs: 1
6	4/28	09:00-10:50	第1講義室	永久歯の形態2	小臼歯	寺島 達夫	SBOs: 1
7	5/12	09:00-10:50	第1講義室	永久歯の形態3	大臼歯	寺島 達夫	SBOs: 1
8	5/19	12:50-15:40	解剖学実習室	人体解剖の見学	歯学科人体解剖実習の見学	柴田 俊一, 寺島 達夫	SBOs: 18
9	5/26	09:00-10:50	第1講義室	乳歯の形態1	乳歯の特色、乳切歯	寺島 達夫	SBOs: 2
10	6/2	09:00-10:50	第1講義室	乳歯の形態2	乳犬歯、乳臼歯	寺島 達夫	SBOs: 2
11	6/16	09:00-10:50	第1講義室	歯の発生	歯の発生、歯の異常	田畑 純	SBOs: 2
12	6/23	09:00-10:50	第1講義室	口腔組織1	エナメル質、象牙質	田畑 純	SBOs: 1
13	6/30	09:00-10:50	第1講義室	口腔組織2	セメント質、歯槽骨	田畑 純	SBOs: 3

14	7/7	09:00–10:50	第4実習室	永久歯の歯型彫刻2	小臼歯・大臼歯の歯型彫刻	安江 透 冨川 紘一	SBOs: 1
15	7/14	09:00–09:50	第4実習室	永久歯の歯型彫刻3	切歯・犬歯の歯型彫刻	安江 透 冨川 紘一	SBOs: 1
16	9/29	09:00–11:50	第1講義室	口腔組織3	一般組織学(概略)、歯髄、歯肉、歯根膜の組織	田畑 純	SBOs: 3, 4
17	10/6	09:00–09:50	第1講義室	歯の構成と機能	歯の構成成分と機能	杉本 久美子	SBOs: 1
18	10/6	10:00–11:50	第1講義室	頭蓋の骨	頭蓋骨、口腔を構成する骨、頭蓋の全景	坂本 裕次郎	SBOs: 7
19	10/20	09:00–09:50	第1講義室	歯周組織の構成と機能	歯周組織の構成成分と機能、歯根膜感覚	杉本 久美子	SBOs: 3, 18
20	10/20	10:00–11:50	第1講義室	口腔の感覚	口腔粘膜の感覚と受容器	杉本 久美子	SBOs: 6, 18
21	10/27	09:00–10:50	第1講義室	咬合と咀嚼、吸入(吸綴)	下顎運動、下顎反射、咀嚼運動、咀嚼能力、吸入(吸綴)	杉本 久美子	SBOs: 11, 12, 18
22	10/27	11:00–11:50	第1講義室	咀嚼機能測定	咀嚼筋筋電図測定、ガムによる咀嚼力チェック、咬合バランス測定	杉本 久美子	SBOs: 11, 12, 18
23	11/10	09:00–10:50	第1講義室	頭頸部の筋	顔面筋(表情筋)、咀嚼筋、舌筋、舌骨筋群(舌骨上筋群、舌骨下筋群)、頸部の筋	坂本 裕次郎	SBOs: 8
24	11/10	11:00–11:50	第1講義室	顎関節	顎関節の構造と機能	坂本 裕次郎	SBOs: 7, 8
25	11/17	09:00–11:50	第1講義室	口腔組織4	唾液腺、舌、顎関節の組織	田畑 純	SBOs: 5
26	12/1	09:00–11:50	第1講義室	ヒトの発生および顔面と口腔の発生	ヒトの発生(概略)、鰓弓の発生、骨・軟骨の発生、口腔の発生、舌の発生、口蓋の形成	田畑 純	SBOs: 2, 4, 5, 7
27	12/8	09:00–11:50	第1講義室	頭頸部の骨、筋肉の観察、頭頸部の神経	頭頸部の骨と筋肉の観察、脳神経、頭頸部に分布する脊髄神経、自律神経	坂本 裕次郎	SBOs: 7–9
28	12/15	09:00–10:50	第1講義室	頭頸部の神経	脳神経、頭頸部に分布する脊髄神経、自律神経	坂本 裕次郎	SBOs :9
29	12/15	11:00–11:50	第1講義室	口腔付近に分布する脈管系	動脈系、静脈系、リンパ系	坂本 裕次郎	SBOs: 10
30	12/22	09:00–10:50	第1講義室	嚥下と嘔吐	嚥下のしくみと関連疾患、嘔吐	杉本 久美子, 山中 紗都	SBOs: 13, 18
31	12/22	11:00–11:50	第1講義室	嚥下機能評価	嚥下機能評価の実際:RSST、水飲みテストなど	杉本 久美子, 山中 紗都	SBOs: 13, 18
32	1/5	09:00–10:50	第1講義室	唾液	唾液腺、唾液の分泌機構、唾液の性状および成分と機能、唾液と疾患	杉本 久美子	SBOs: 14, 18
33	1/5	11:00–11:50	セミナー室	唾液測定	唾液を利用した口腔状態の評価	杉本 久美子, 山中 紗都, 土橋 なつみ	SBOs: 14, 18
34	1/19	09:00–11:50	第1講義室	消化と吸収	胃・小腸・大腸における消化と吸収、排便、消化器系の疾患と薬物	杉本 久美子	SBOs: 15
35	1/26	09:00–10:50	第1講義室	味覚	味覚のメカニズム	杉本 久美子	SBOs: 16, 18
36	1/26	11:00–11:50	第1講義室	味覚	味覚検査	杉本 久美子, 土橋 なつみ	SBOs: 16, 18
37	2/2	09:00–09:50	第1講義室	嗅覚	嗅覚のメカニズム、嗅覚検査	杉本 久美子	SBOs: 16, 18
38	2/2	10:00–10:50	第1講義室	発声	発声のしくみ、声の生成、言語音の生成、歯・口腔の病態と発音	杉本 久美子	SBOs: 17, 18
39	2/2	11:00–11:50	第1講義室	まとめ	まとめ	杉本 久美子	SBOs: 1–18

40	2/9	09:00-11:50	解剖学実習室	人体解剖の見学	頭頸部解剖の見学	坂本 裕次郎	SBOs: 5-10, 18	

成績評価の方法

・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総括的評価を行う。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

・前期と後期終了後に行う試験、それぞれに合格しなければならない。

・最終的評価は前期と後期の成績を総合して行う。

準備学習などについての具体的な指示

事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

参考書

基礎歯科生理学／森本俊文, 山田好秋 編,:医歯薬出版, 2008

歯の解剖学／藤田恒太郎 原著,:金原出版, 1996

歯・口腔の構造と機能 : 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学／全国歯科衛生士教育協議会 監修,井出吉信, 山田好秋 ほか著,:医歯薬出版, 2011

口腔組織・発生学／脇田稔, 前田健康, 山下靖雄, 明坂年隆 編,:医歯薬出版, 2006

新解剖学／加藤征, 福島統, 國府田稔 執筆,加藤征 監修,:日本医事新報社, 2011

新組織学／野上晴雄 編著,野上晴雄, 権五徹 執筆,:日本医事新報社, 2011

連絡先

杉本 久美子:ksugimoto.bohs@tmd.ac.jp

田畑 純:tabatamj.bss@tmd.ac.jp

坂本 裕次郎:y.sakamoto.bsoh@tmd.ac.jp

寺島 達夫:t.terashima.mfa@tmd.ac.jp

冨川 紘一:fukawa.peoe@tmd.ac.jp

安江 透:yasue.fpoe@tmd.ac.jp

オフィスアワー

杉本 久美子:随時

田畑 純:随時（メールでの事前連絡がのぞましいが必須ではない。なおメールでの質問等は受け付けない。）

坂本 裕次郎:随時 1号館西8階

寺島 達夫:随時（事前に連絡を取ること）

冨川 紘一:随時

安江 透:随時

時間割番号	023019				
科目名	口腔保健理工学				
担当教員	高橋　英和, 岩崎　直彦, 宇尾　基弘, 本郷　敏雄, 原田　直子, 宮﨑　隆, 中嶌　裕				
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	3

時間数:45時間

授業形態:講義

授業の目的、概要等

歯科技工で必要な歯科材料および器械の知識を修得する。

授業の到達目標(SBOs)

1. 金属の加工法と, それに伴う加工硬化と熱処理を説明する。
2. 歯科用合金の種類と特徴を説明する。
3. 模型用材料の組成と特徴を説明する。
4. 印象材の組成と特徴を説明する。
5. 印象材と模型材の関係を説明する。
6. 歯科用原型材料の種類, 用途, 特徴を説明する。
7. レジン材料の成形法と特徴を説明する。
8. レジンの種類と組成を説明する。
9. レジン重合時の寸法変化と適合性を説明する。
10. 審美修復で必要な色彩に関する知識を説明する。
11. 硬質レジンの特徴を説明する。
12. セラミックスの種類と特徴を説明する。
13. セラミックスの加工法を説明する。
14. 切削と研磨の原理を説明する。
15. 成形修復材料の特徴を説明する。
16. 接着の機序と接着剤の成分を説明する。
17. 歯科用インプラント材料の特徴を説明する。
18. 補綴物の安定性を説明する。
19. 歯科材料の安全性を説明する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/11	09:00-11:50	第4講義室	金属の加工	金属の特徴, 加工硬化, 熱処理	高橋　英和	SBOs　1
2	4/14	11:00-11:50	第4講義室	合金の特徴	歯科用合金の種類, 特徴	高橋　英和	SBOs　2
3	4/18	09:00-10:50	第4講義室	模型材と石膏	模型材の種類, 石膏の種類	高橋　英和	SBOs　3
4	4/21	11:00-13:50	第4講義室	石　膏	石膏の硬化機序, 硬化膨張, 硬化時間	高橋　英和, 岩崎　直彦	SBOs　3
5	4/21	14:00-14:50	第4講義室	石　膏	石膏の圧縮強さ, 硬化に与える因子	高橋　英和	SBOs　3
6	4/25	09:00-09:50	第4講義室	印象材	印象材の種類, 特徴	高橋　英和	SBOs　4
7	4/25	10:00-11:50	第4講義室	印象材	ハイドロコロイド印象材, ゴム質印象材	高橋　英和	SBOs　4
8	5/12	11:00-11:50	第4講義室	印象材	非弾性印象材, 石膏と印象材の相互作用	高橋　英和	SBOs　4
9	5/23	09:00-09:50	第4講義室	接　着	接着の機序と接着剤	高橋　英和	SBOs　16
10	5/23	10:00-11:50	第4講義室	成形修復材料	成形修復材料の種類と特徴	高橋　英和	SBOs　15
11	5/26	11:00-11:50	第4講義室	高分子概論	高分子の特徴, 種類	高橋　英和	SBOs　6, 7, 8
12	5/30	09:00-11:50	第4講義室	加熱重合レジン	加熱重合レジンの成形法と特徴, 寸法変化	高橋　英和, 岩崎　直彦	SBOs　8, 9
13	6/2	11:00-11:50	第4講義室	常温重合レジン	常温重合レジンの成形法と特徴	高橋　英和	SBOs　8, 9
14	6/27	13:00-13:50	第4講義室	研　磨	各種研磨方法、研磨用材料	高橋　英和	SBOs　14
15	6/30	13:00-14:50	第4講義室	セラミックス	セラミック材料の基礎と特徴	宇尾　基弘	SBOs　12,13

16	7/4	09:00-11:50	第4講義室	セラミックス	セラミックスの成型法と特徴	高橋　英和	SBOs　12,13
17	7/7	15:00-16:50	第4講義室	セラミックス	オールセラミックス	高橋　英和, 中嶌　裕	SBOs　12,13
18	7/11	09:00-10:50	第4講義室	CAD/CAM の基礎	歯科用 CAD/CAM の基礎	宮崎　隆	SBOs　1,6,7,13
19	7/11	11:00-14:50	第4講義室	硬質レジン	硬質レジンの組成と特徴，コンポジットレジンとの比較	高橋　英和	SBOs　11
20	7/14	10:00-10:50	第4講義室	インプラント用材料	インプラント用材料の種類と特徴	高橋　英和	SBOs　17
21	7/14	11:00-11:50	第4講義室	色彩に関する知識	表色系，視感比色法	高橋　英和	SBOs　10
22	7/14	13:00-15:50	第4講義室	補綴物の安全性	補綴物の安全性	本郷　敏雄	SBOs　18
23	7/18	09:00-10:50	第4講義室	生体材料の安全性	生体材料の安全性	本郷　敏雄	SBOs　19
24	7/25	09:00-09:50	第4講義室	生体材料の安全性	薬事法と歯科材料	原田　直子	SBOs　19
25	7/25	10:00-10:50	第4講義室	まとめ	口腔保健歯科理工学のまとめ	高橋　英和	SBOs　1-19

成績評価の方法

・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総括的評価を行う。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

連絡先

高橋　英和:takahashi.bmoe@tmd.ac.jp

岩崎　直彦:iwasaki.bmoe@tmd.ac.jp

オフィスアワー

高橋　英和:あらかじメールにて面談時間を相談のこと

本郷　敏雄:随時

岩崎　直彦:随時

時間割番号	023020				
科目名	口腔保健理工学実習				
担当教員	高橋　英和, 岩崎　直彦, 中野　文夫, 竹内　理恵子, 青柳　裕仁				
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	2

時間数:90時間

授業形態:実習

授業の目的、概要等

歯科技工で使用する歯科材料の性質を適切に測定する。

授業の到達目標(SBOs)

1. ワイヤの引張試験を行う。
2. 金属材料の硬さを測定する。
3. 各種材料の熱膨張を測定する。
4. 金属の加工硬化と再結晶, 時効硬化を測定する。
5. 石膏の硬化時間、温度変化、硬化膨張を測定する。
6. 各種印象材で制作した模型の寸法精度と細線再現性を測定する。
7. 成形修復用材料を適切に取り扱う。
8. 旋盤・ボール盤・フライス盤で加工する。
9. 歯科用レジンの重合時の発熱と寸法変化を測定する。
10. 歯科用セラミックスの焼成時の寸法変化と透明性を測定する。
11. 硬質レジンの光照射量と強さの関係を測定する。
12. 歯科材料メーカーを見学し、技工用材料の製造過程を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/7	13:00-17:50	第4実習室	引張試験	ワイヤの引張試験、材料試験での特性値	高橋　英和, 岩崎　直彦	SBOs 1
2	4/11	13:00-16:50	第4実習室	硬さ試験	硬さ測定、加工による硬さの変化	高橋　英和, 岩崎　直彦	SBOs 2
3	4/14	13:00-17:50	第4実習室	熱膨張	石膏の硬化時間, 硬化膨張, 発熱	高橋　英和, 岩崎　直彦	SBOs 3
4	4/18	11:00-16:50	第4実習室	石膏	応力とひずみの定義、応力ひずみ線図	高橋　英和, 岩崎　直彦, 中野　文夫	SBOs 4
5	4/21	15:00-16:50	第4実習室	模型材	エポキシ樹脂の支台歯模型製作	高橋　英和, 岩崎　直彦	SBOs 5
6	4/25	13:00-15:50	第4実習室	石　膏	練和溶液が石膏硬化に及ぼす影響	高橋　英和, 岩崎　直彦, 中野　文夫, 青柳　裕仁	SBOs 4
7	4/25	16:00-16:50	第4実習室	石　膏	圧縮試験片の製作	高橋　英和, 岩崎　直彦	SBOs 4
8	4/28	11:00-16:50	第4実習室	切削加工の基礎	切削機械の種類、使用法	高橋　英和, 岩崎　直彦	SBOs 6
9	5/2	13:00-16:50	第4実習室	印　象	ハイドロコロイド印象材と模型	高橋　英和, 岩崎　直彦, 中野　文夫	SBOs 5
10	5/12	13:00-16:50	第4実習室	切削加工の基礎	曲げ試験片作製用金型の作製 旋盤加工	高橋　英和, 岩崎　直彦	SBOs 6
11	5/16	09:00-11:50	第４実習室, 総合実習室	鍛造	炭素鋼の鍛造、焼入れ、焼戻し	高橋　英和, 岩崎　直彦	SBOs 7

12	5/16	13:00-15:50	第4実習室	印象	ゴム質印象材と模型	高橋 英和, 岩崎 直彦, 中野 文夫	SBOs 5
13	5/16	16:00-16:50	第4実習室	石膏	圧縮試験	高橋 英和, 岩崎 直彦, 中野 文夫	SBOs 4
14	5/19	10:00-11:50	第4実習室	切削加工の基礎	曲げ試験片作製用金型の作製 フライス盤加工	高橋 英和, 岩崎 直彦	SBOs 6
15	5/19	16:00-17:50	第4実習室	切削加工の基礎	曲げ試験片作製用金型の作製 フライス盤加工	高橋 英和, 岩崎 直彦	SBOs 6
16	5/23	13:00-15:50	第4実習室	成形修復材料	成形修復材料の種類と特徴	高橋 英和, 岩崎 直彦, 中野 文夫, 青柳 裕仁	SBOs 7
17	5/23	16:00-16:50	第4実習室	成形修復材料	成形修復材料の種類と特徴	高橋 英和, 岩崎 直彦, 中野 文夫	SBOs 8
18	5/26	13:00-16:50	第４実習室, 総合実習室	加熱重合レジン	餅状期の観察, パターン作製, 埋没	高橋 英和, 岩崎 直彦, 竹内 理恵子	SBOs 9
19	5/30	13:00-16:50	第４実習室, 総合実習室	加熱重合レジン	レジン填入, 重合時の発熱測定	高橋 英和, 岩崎 直彦, 中野 文夫, 竹内 理恵子	SBOs 9
20	6/2	13:00-14:50	第４実習室, 総合実習室	加熱重合レジン	割り出し, 重合体の寸法測定	高橋 英和, 岩崎 直彦, 竹内 理恵子	SBOs 9
21	6/27	14:00-16:50	第4実習室	セラミックス	セラミックスの焼成収縮測定	高橋 英和, 岩崎 直彦, 中野 文夫	SBOs 10
22	6/30	13:00-14:50	第4実習室	セラミックス	セラミックスの焼成収縮測定 曲げ試験片の製作	高橋 英和, 岩崎 直彦	SBOs 10
23	6/30	15:00-16:50	第4実習室	セラミックス	曲げ試験片の研磨	高橋 英和, 岩崎 直彦	SBOs 10
24	7/4	13:00-14:50	第4実習室	研磨	各種歯科材料の研磨	高橋 英和, 岩崎 直彦, 中野 文夫, 青柳 裕仁	SBOs 11
25	7/7	13:00-16:50	第4実習室	硬質レジン	光照射量と硬質レジンの強さ	高橋 英和, 岩崎 直彦	SBOs 12
26	7/11	15:00-16:50	第4実習室	硬質レジン	硬質レジンの曲げ強さ	高橋 英和, 岩崎 直彦, 中野 文夫	SBOs 12
27	7/18	11:00-13:50	第4実習室	研磨	研磨面性状の測定	高橋 英和, 岩崎 直彦, 中野 文夫	SBOs 11
28	7/18	14:00-14:50	第4実習室	色彩	陶材の色調の測定	高橋 英和, 岩崎 直彦	SBOs 10

29	7/25	11:00-16:50	第4実習室	歯科材料の製作	歯科メーカー見学(トクヤマデンタル)	高橋 英和, 岩崎 直彦	SBOs 13	
30	7/28	09:00-13:50	第4実習室	まとめ	口腔保健歯科理工学のまとめ	高橋 英和	SBOs 1-4	

成績評価の方法

・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総括的評価を行う。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

履修上の注意事項

事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

連絡先

高橋 英和:takahashi.bmoe@tmd.ac.jp

岩崎 直彦:iwasaki.bmoe@tmd.ac.jp

オフィスアワー

高橋 英和:あらかじメールにて面談時間を相談のこと

岩崎 直彦:随時

時間割番号	023021				
科目名	精密鋳造学				
担当教員	高橋　英和				
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1

時間数：15時間
授業形態：講義

授業の目的、概要等

歯科精密鋳造の原理と注意点を理解する。

授業の到達目標(SBOs)

1. 鋳造用合金の特徴を説明する。
2. 鋳造用原型の素材と性質を説明する。
3. 埋没材の成分と特徴を説明する。
4. 金属の融解法を説明する。
5. 鋳造機の特徴を説明する。
6. 鋳造欠陥を説明する。
7. 鋳造体の寸法変化を説明する。
8. 金属の接合を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	5/2	09:00-11:50	第4講義室	鋳造概論	鋳造概論，鋳造用合金の特徴	高橋　英和	SBOs 1
2	5/19	09:00-09:50	第4講義室	鋳造用原型材料	歯科用原型材料の種類，ワックスの用途と特徴	高橋　英和	SBOs 2
3	6/6	09:00-11:50	第4講義室	鋳造用埋没材	鋳造用埋没材の組成と特徴	高橋　英和	SBOs 3
4	6/13	09:00-10:50	第4講義室	金属の融解	金属融解の熱源と雰囲気	高橋　英和	SBOs 4
5	6/13	11:00-11:50	第4講義室	鋳造機の特徴	鋳込み方法，融解法との組合せ	高橋　英和	SBOs 5
6	6/27	09:00-09:50	第4講義室	鋳造欠陥	鋳造欠陥の種類と原因，寸法精度に及ぼす因子	高橋　英和	SBOs 6,7
7	6/27	10:00-11:50	第4講義室	接　合	埋没ろう付け，自在ろう付け レーザー溶接、鋳接	高橋　英和	SBOs 8
8	7/18	15:00-16:50	第4講義室	鋳造のまとめ	歯科精密鋳造のまとめ	高橋　英和	SBOs 1-8

成績評価の方法

・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総括的評価を行う。
・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

履修上の注意事項

事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

連絡先

takahashi.bmoe@tmd.ac.jp

オフィスアワー

あらかじメールにて面談時間を相談のこと

時間割番号	023022				
科目名	精密鋳造学実習				
担当教員	高橋　英和, 岩崎　直彦, 安江　透, 冨川　紘一, 中野　文夫, 竹内　理恵子				
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1

時間数:（1）30時間、（2）15時間
授業形態:実習

授業の目的、概要等

（1）歯科精密鋳造で使用する歯科材料を適切に扱え、鋳造手順を習得する。
（2）歯科精密鋳造に必要な石膏、ワックスを用いて所定の形に成形する。

授業の到達目標(SBOs)

（1）
1. 鋳造用原型を製作する。
2. 鋳造用原型の寸法変化を測定する。
3. 埋没材の硬化膨張を測定する。
4. 埋没材の熱膨張を測定する。
5. 歯科用合金を鋳造する。
6. 型ごと埋没法で鋳造する。
7. 鋳造体の寸法変化を測定する。
8. 歯科鋳造用金属材料製作工業を見学して
製造過程を理解する。

－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－

（2）
1. 模刻による歯型彫刻法を習得する。
2. 歯冠から歯根への移行形態の重要性を説明する。
3. 上下顎小臼歯の形態的特徴を理解し、彫刻により再現する。
4. 上下顎大臼歯の形態的特徴を理解し、彫刻により再現する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	6/6	13:00-16:50	第4実習室	ワックスの変形	ワックスの応力緩和による変形測定 冷却による寸法変化測定	高橋　英和, 岩崎　直彦, 中野　文夫	(1)SBOs 2
3	6/9	11:00-14:50	第4実習室	埋没材の硬化膨張	石膏系埋没材硬化時の寸法測定	高橋　英和, 岩崎　直彦	(1)SBOs 3
4	6/9	15:00-16:50	第4実習室	埋没材の硬化膨張	リン酸塩系埋没材硬化時の寸法測定	高橋　英和, 岩崎　直彦	(1)SBOs 3
2	6/9	09:00-10:50	第3実習室	1.2 倍歯模刻	上顎犬歯	安江　透, 岩崎　直彦, 冨川　紘一	(2)SBOs 1-3
5	6/10	10:00-10:50	第3実習室	1.2 倍歯模刻	下顎犬歯	安江　透, 岩崎　直彦, 冨川　紘一	(2)SBOs 1-3
6	6/13	13:00-16:50	第4実習室	工場見学	歯科鋳造用金属材料製作工業を見学して 製造過程を理解する	高橋　英和, 岩崎　直彦	(1)SBOs 8
7	6/16	11:00-13:50	第4実習室	埋没材の熱膨張	石膏系埋没材加熱時の寸法測定	高橋　英和, 岩崎　直彦	(1)SBOs 4
8	6/16	14:00-14:50	第４実習室, 総合実習室	複印象と型ごと埋没	複印象と複模型の製作	高橋　英和, 岩崎　直彦, 竹内　理恵子	(1)SBOs 6

9	6/16	15:00–16:50	第4実習室	埋没材の熱膨張	リン酸塩系埋没材加熱時の寸法測定	高橋 英和, 岩崎 直彦	(1)SBOs 4
10	6/17	09:00–10:50	第3実習室	1.2 倍歯模刻	下顎犬歯	安江 透, 岩崎 直彦, 冨川 紘一	(2)SBOs 1–3
11	6/20	09:00–11:50	第4実習室	ワックスパターン作製	ワックスパターンの製作, 埋没	高橋 英和, 岩崎 直彦, 中野 文夫, 竹内 理恵子	(1)SBOs 1
12	6/20	13:00–14:50	第4実習室	ワックスパターン作製	複模型でのワックスアップ、埋没	高橋 英和, 岩崎 直彦, 中野 文夫, 竹内 理恵子	(1)SBOs 1, 6
13	6/20	15:00–16:50	第４実習室, 総合実習室	鋳 造	インレー鋳造	高橋 英和, 岩崎 直彦, 中野 文夫, 竹内 理恵子	(1)SBOs 5, 7
14	6/23	11:00–13:50	第４実習室, 総合実習室	鋳 造	型ごと埋没での高周波融解鋳造	高橋 英和, 岩崎 直彦, 竹内 理恵子	(1)SBOs 5
15	6/23	14:00–16:50	第4実習室	鋳 造	割り出し、寸法精度の測定	高橋 英和, 岩崎 直彦, 竹内 理恵子	(1)SBOs 6, 7
16	6/24	09:00–10:50	第3実習室	1.2 倍歯模刻	上顎第一小臼歯	安江 透, 岩崎 直彦, 冨川 紘一	(2)SBOs 1,2,4
17	6/24	10:00–10:50	第3実習室	1.2 倍歯模刻	上顎第一小臼歯	安江 透, 岩崎 直彦, 冨川 紘一	(2)SBOs 1,2,4
18	7/1	09:00–10:50	第3実習室	1.2 倍歯模刻	上顎第一小臼歯	安江 透, 岩崎 直彦, 冨川 紘一	(2)SBOs 1,2,4
19	7/8	09:00–09:50	第3実習室	1.2 倍歯模刻	上顎第二小臼歯	安江 透, 岩崎 直彦, 冨川 紘一	(2)SBOs 1,2,4
20	7/8	10:00–10:50	第3実習室	1.2 倍歯模刻	上顎第一大臼歯	安江 透, 岩崎 直彦, 冨川 紘一	(2)SBOs 1,2,5
21	7/16	10:00–10:50	第3実習室	1.2 倍歯模刻	上顎第一大臼歯	安江 透, 岩崎 直彦, 冨川 紘一	(2)SBOs 1,2,5
22	7/16	11:00–11:50	第3実習室	1.2 倍歯模刻	下顎第一小臼歯	安江 透, 岩崎 直彦, 冨川 紘一	(2)SBOs 1,2,4
23	7/23	10:00–11:50	第3実習室	1.2 倍歯模刻	下顎第一小臼歯	安江 透, 岩崎 直彦, 冨川 紘一	(2)SBOs 1,2,4

成績評価の方法

（1）

・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総括的評価を行う。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

（2）

・彫刻作品、および平素の実習態度によって評価を行う。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

精密鋳造学実習の最終成績判定は（1）と（2）の評価を総合して行う

準備学習などについての具体的な指示

事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

連絡先

高橋　英和:takahashi.bmoe@tmd.ac.jp

冨川　紘一:fukawa.peoe@tmd.ac.jp

安江　透:yasue.fpoe@tmd.ac.jp

岩崎　直彦:iwasaki.bmoe@tmd.ac.jp

オフィスアワー

高橋　英和:あらかじメールにて面談時間を相談のこと

冨川　紘一:随時

安江　透:随時

岩崎　直彦:随時

時間割番号	023023				
科目名	咬合学				
担当教員	鈴木　哲也, 加藤　均				
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1

時間数:15時間
授業形態:講義

主な講義場所

口腔保健工学専攻　第4講義室

授業の目的、概要等

顎口腔系の形態と機能の特徴を理解し、それらを適切に回復、維持するための基礎となる咬合に関する学理と技法を習得する。

授業の到達目標(SBOs)

1. 顎口腔系の形態を説明する。
2. 顎口腔系の機能を説明する。
3. 下顎位の定義を説明し、その臨床的意義を理解する。
4. 下顎運動の種類と特徴を理解する。
5. 下顎運動範囲を説明する。
6. 咬頭嵌合位と偏心位における咬合接触を理解する。
7. 咬合干渉の種類と原因を説明する。
8. 咬合器の種類と特徴を理解する。
9. 咬合器の調節方法を理解する。
10. フェイスボウの意義を説明する。
11. 顎機能検査の種類と特徴を列挙する。
12. 顎機能障害の病因と病態を説明する。
13. 高齢者の口腔の特徴を理解する。
14. 口腔機能と全身との関わりを理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/10	16:00-17:50	第4講義室	顎口腔系の形態と機能	顎口腔系の概念、顎口腔系の形態的特徴と機能、基準点と基準面、咬合に関係する平面	加藤　均	SBOs　1, 2
2	4/24	16:00-17:50	第4講義室	下顎位	各下顎位の定義、各下顎位の臨床的意義	加藤　均	SBOs　3, 4
3	5/1	16:00-17:50	第4講義室	下顎運動	下顎運動の種類と特徴、下顎運動範囲、切歯点の運動と顆頭運動の対応	加藤　均	SBOs　4, 5
4	5/15	16:00-17:50	第4講義室	歯の接触様式	咬合干渉の種類と原因、咬合干渉の種類と原因	加藤　均	SBOs　6, 7
5	6/5	11:00-11:50	第4講義室	咬合器1	咬合器の目的、咬合器の種類と特徴	鈴木　哲也	SBOs　8
6	6/12	11:00-11:50	第4講義室	咬合器2	咬合器の調節方法、フェイスボウの意義	鈴木　哲也	SBOs　9, 10
7	7/10	11:00-11:50	第4講義室	咬合検査と顎機能障害1	咬合検査の目的・種類・特徴	鈴木　哲也	SBOs　11
8	7/17	11:00-11:50	第4講義室	咬合検査と顎機能障害2	顎機能障害への対応	鈴木　哲也	SBOs　12
9	7/24	09:00-11:50	第4講義室	口腔と全身	高齢者の口腔の特徴、口腔機能と全身との関わり	鈴木　哲也	SBOs　13, 14

成績評価の方法

・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総括的評価を行う。
・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

参考書

新歯科技工士教本顎口腔機能学／全国歯科技工士教育協議会 編新谷明喜, 志賀博, 荒川一郎, 小泉順一, 市川基 著:医歯薬出版, 2007
咬合学と歯科臨床 : よく噛めて,噛み心地の良い咬合を目指して／中野雅徳, 坂東永一 編:医歯薬出版, 2011

履修上の注意事項

事前に資料の配布、Webclass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。
備考 担当教員のオフィスアワー 鈴木哲也　教授　随時　suzuki.peoe@tmd.ac.jp
連絡先 鈴木　哲也:suzuki.peoe@tmd.ac.jp
オフィスアワー 鈴木　哲也:随時 メールにて日時を相談

時間割番号	023024				
科目名	咬合学実習				
担当教員	鈴木　哲也, 安江　透, 冨川　紘一, 上條　真吾, 得本　佳代				
開講時期	1.5 通年	対象年次	2～3	単位数	1

時間数:(1)15 時間、(2)30 時間
授業形態:実習
咬合学実習は、咬合学実習(1)(2 年次)および咬合学実習(2)(3 年次)により構成される。

主な講義場所

(1)口腔保健工学専攻　第 3 実習室
(2)口腔保健学科　相互実習室（1 号館 8 階)(6 月 16、23 日）
　口腔保健工学専攻　第 1 実習室（7 月以降）

授業の目的、概要等

(1)顎口腔系の形態と機能の特徴を理解し、それらを適切に回復、維持するための基礎となる咬合に関する学理と技法を習得する。
(2)咬合器付着模型を用いた学生相互実習により、下顎運動と歯の咬合接触を中心とした咀嚼と咬合のメカニズムを理解する。

授業の到達目標(SBOs)

(1)
1. 下顎運動範囲を理解する。
2. 下顎位の記録方法を説明する。
3. 下顎位の記録装置を製作する。

(2)
1. 予備印象採得の方法を知る。
2. 研究用模型を製作する。
3. 半調節性咬合器の種類を説明する。
4. フェイスボウトランスファーの方法を理解する。
5. チェックバイトを説明する。
6. 顆路調整を行う。
7. インプラントの埋入手術を擬似体験する。
8. インプラント用個人トレーの特徴を説明する。
9. インプラント模型の製作方法を説明する。
10. 各種 CAD/CAM システムを体験する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	2/3	11:00-17:50	第3実習室	ゴシックアーチトレーサーの製作	模型準備、ブロックアウト、リリーフ、常温重合レジン圧接	鈴木　哲也, 土平　和秀, 冨川　紘一, 安江　透	(1)SBOs 1-3
2	2/10	11:00-17:50	第3実習室	ゴシックアーチトレーサーの製作	基礎床トリミング、下顎ロウ堤製作	鈴木　哲也, 土平　和秀, 冨川　紘一, 安江　透	(1)SBOs 1-3
3	2/12	09:00-11:50	第3実習室	ゴシックアーチトレーサーの製作	描記板・描記針装着、完成	鈴木　哲也, 土平　和秀, 冨川　紘一, 安江　透	(1)SBOs 1-3

成績評価の方法

(1)
・提出物(作品)を総合的に判断し評価する。

(2) ・毎回の提出物（作品）を総合的に判断し、評価する。 ・出席状況、授業態度を評価に加味する。 ・咬合学実習の最終成績判定は咬合学実習(1)および(2)の評価を総合して行う。
準備学習などについての具体的な指示 事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。
参考書 顎口腔機能学／全国歯科技工士教育協議会 編.新谷明喜, 志賀博, 荒川一郎, 小泉順一, 市川基 著：医歯薬出版, 2007 コンプリートデンチャーテクニック／細井紀雄 ほか編：医歯薬出版, 2011 必ず上達歯冠修復(上)／萩原芳幸 著：クインテッセンス出版, 2009 よくわかる口腔インプラント学／赤川安正, 松浦正朗, 矢谷博文, 渡邉文彦 編：医歯薬出版, 2011
連絡先 鈴木　哲也:suzuki.peoe@tmd.ac.jp 上條　真吾:s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp 冨川　紘一:fukawa.peoe@tmd.ac.jp 安江　透:yasue.fpoe@tmd.ac.jp
オフィスアワー 鈴木　哲也:随時 メールにて日時を相談 上條　真吾:メールにて面談の日程を調整すること 冨川　紘一:随時 安江　透:随時

時間割番号	023027				
ユニット名	全部床義歯工学				
担当教員	鈴木　哲也,古屋　純一				
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	2

科目名:有床義歯工学
時間数:30 時間
授業形態:講義

主な講義場所

口腔保健工学専攻　第 4 講義室

授業の目的、概要等

無歯顎という特殊な口腔内状態を理解し、歯の喪失により生じた形態的、機能的変化を全部床義歯により、いかに回復し、維持するかを理解するとともに、全部床義歯製作に必要な知識と技法を習得する。

授業の到達目標(SBOs)

1. 無歯顎の特殊性を理解する。
2. 全部床義歯の製作の流れを診療室と技工室に分けて説明する。
3. 無歯顎の印象採得法とそれに必要な器材を説明する。
4. 無歯顎の咬合採得法とそれに必要な器材を説明する。
5. 人工歯の種類と特徴を列挙する。
6. 無歯顎の咬合理論を理解する。
7. 人工歯排列、歯肉形成法を理解し実施する。
8. 埋没と重合を理解し実施する。
9. 削合と研磨の重要性を理解し実施する。
10. 義歯装着の方法と義歯管理の重要性を理解する。
11. リライン、リベース、修理法を説明する。
12. 金属床義歯の製作法を説明する。
13. 特殊な全部床義歯を列挙する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/8	11:00-11:50	第4講義室	全部床義歯技工学概要	全部床義歯補綴の特徴、全部床義歯の構造、維持と安定,全部床義歯の製作の流れ	鈴木　哲也	SBOs 1, 2
2	4/10	09:00-10:50	第4講義室	無歯顎の印象採得1	印象に必要な解剖学的基礎知識、予備印象採得と研究用模型	鈴木　哲也	SBOs 3
3	4/15	11:00-11:50	第4講義室	無歯顎の印象採得2	個人トレーの製作、精密印象採得、作業用模型	鈴木　哲也	SBOs 3
4	4/17	09:00-10:50	第4講義室	無歯顎の印象採得3	特殊な印象法	鈴木　哲也	SBOs 3
5	4/22	11:00-11:50	第4講義室	無歯顎の咬合採得1	無歯顎の対向関係、咬合床の製作、咬合平面、垂直的顎間関係記録法	鈴木　哲也	SBOs 4
6	4/24	09:00-10:50	第4講義室	無歯顎の咬合採得2	水平的顎間関係記録法、 ゴシックアーチ描記法の意義、 標示線	鈴木　哲也	SBOs 4
7	5/1	09:00-10:50	第4講義室	人工歯排列1	審美的基礎知識、人工歯の種類	鈴木　哲也	SBOs 5
8	5/13	11:00-11:50	第4講義室	人工歯排列2	前歯部人工歯の排列	鈴木　哲也	SBOs 5
9	5/15	09:00-10:50	第1講義室	人工歯排列3	無歯顎の咬合理論	鈴木　哲也	SBOs 5, 6
10	5/20	11:00-11:50	第1講義室	人工歯排列4	臼歯部人工歯の排列	鈴木　哲也	SBOs 6
11	5/22	09:00-10:50	第1講義室	歯肉形成	研磨面形態の意義、歯肉形成法、ろう義歯の試適	鈴木　哲也	SBOs 5-7
12	5/27	11:00-11:50	第1講義室	埋没と重合	埋没、流ろう、重合	鈴木　哲也	SBOs 7
13	5/29	09:00-10:50	第1講義室	削合	義歯の取り出しと咬合器再装着、選択削合の理論と実際、自動削合	鈴木　哲也	SBOs 8

14	6/3	11:00-11:50	第1講義室	研磨	研磨の意義と実際	鈴木　哲也	SBOs 9
15	6/5	09:00-10:50	第1講義室	義歯の装着と管理	患者口腔内への装着、義歯管理の必要性	古屋　純一	SBOs 10
16	6/10	11:00-11:50	第1講義室	リライン、リベース、	使用材料の種類と特徴、リラインとリベース患者口腔内への装着	鈴木　哲也	SBOs 11
17	6/12	09:00-10:50	第1講義室	金属床義歯	金属床の利点と欠点、鋳造金属床義歯の製作	鈴木　哲也	SBOs 12
18	6/17	11:00-11:50	第1講義室	修理	義歯修理法	鈴木　哲也	SBOs 11
19	6/19	09:00-10:50	第1講義室	特殊な義歯	暫間義歯、即時義歯、治療義歯	鈴木　哲也	SBOs 13
20	6/24	11:00-11:50	第1講義室	総括	全部床義歯関連事項のまとめ	鈴木　哲也	SBOs 1-13

成績評価の方法

・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総括的評価を行う。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

教科書

無歯顎補綴治療学　第 2 版／細井紀雄, 平井敏博, 大川周治, 市川哲雄 編：医歯薬出版, 2009

参考書

有床義歯技工学／全国歯科技工士教育協議会 編小正裕, 永井栄一, 杉上圭三, 椎名芳江 著：医歯薬出版, 2007

バウチャー無歯顎患者の補綴治療／バウチャー [原著]Zarb, Bolender, Eckert, Jacob, Fenton, Mericske-Stern 編著,田中久敏, 古谷野潔, 市川哲雄 監訳：医歯薬出版, 2008

よい義歯だめな義歯 ： 鈴木哲也のコンプリートデンチャー17 のルール／鈴木哲也 著：クインテッセンス出版, 2011

コンプリートデンチャーの理論と臨床 ： 総義歯をイメージする／早川巌 著：クインテッセンス出版, 1995

連絡先

鈴木　哲也: suzuki.peoe@tmd.ac.jp

オフィスアワー

鈴木　哲也:随時 メールにて日時を相談

時間割番号	023028				
ユニット名	部分床義歯工学				
担当教員	鈴木　哲也, 若林　則幸, 笛木　賢治, 渡邊　竜登美, 二川　浩樹, 大泉　誠, 織田　展輔, 佐藤　雅之				
開講時期	通年	対象年次	2	単位数	2

科目名:有床義歯工学
時間数:30 時間
授業形態:講義

主な講義場所

口腔保健工学専攻　第 4 講義室(前期)　第 1 講義室(後期)

授業の目的、概要等

部分欠損患者の病因、病態を理解しその機能回復の手段となる部分床義歯の学理と技法を修得する。

授業の到達目標(SBOs)

1. 部分的な歯の欠損とその治療の目的と意義について理解する。
2. 歯の欠損に伴う顎口腔系の変化と治療への影響を理解する。
3. 欠損歯列の様々な分類法と臨床的意義を理解する。
4. 部分床義歯の構成要素を説明する。
5. 部分床義歯に加わる力への対応を理解する。義歯の構成要素を理解する。
6. 部分床義歯の支持の考え方を理解する。
7. 部分床義歯の把持の考え方を理解する。
8. 部分床義歯の維持の考え方を理解し、維持装置の種類、構造、機能などを修得する。
9. 部分床義歯の連結子と義歯床が果たす役割を理解する。
10. 部分床義歯の装着後の変化を生体と義歯に分けて説明する。
11. 部分床義歯製作のための前処置を列挙する。
12. 歯と粘膜により支持される部分床義歯の印象採得を理解する。
13. 部分床義歯の設計の基本原則と順序を理解する。
14. 部分床義歯の咬合採得の特徴を知り、術式を理解する。
15. 金属フレームワークの特徴と製作方法を理解する。
16. 人工歯排列の基本原則とろう義歯の試適時の診査項目を理解する。
17. 部分床義歯の埋没、重合方法を説明する。
18. 部分床義歯の破損や不適合と，それらに対応する修理とリラインの技法を理解する。
19. 種々の状況における部分床義歯の役割について知り、治療法を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	6/26	16:00-17:50	第4講義室	有床義歯特論	有床義歯に関わる基礎研究	二川　浩樹	SBOs 1-19
2	7/1	11:00-11:50	第4講義室	欠損に由来する口腔の変化	歯の欠損による顎口腔系組織の障害	鈴木　哲也	SBOs 1,2
3	7/3	09:00-10:50	第4講義室	歯の欠損様式と義歯の分類,部分床義歯に加わる力	分類の必要性と臨床的意義、さまざまな分類法、部分床義歯の構成要素、義歯に加わる力、支台歯と顎堤の負担能力	鈴木　哲也	SBOs 3-5
4	7/8	11:00-11:50	第4講義室	支持	支持に関与する構成要素、レストの種類と機能、義歯床による支持	鈴木　哲也	SBOs 6
5	7/10	09:00-10:50	第4講義室	把持、維持	把持に関与する構成要素、誘導面と隣接面板、部分床義歯の維持、支台装置の一般的所要条件、支台装置の種類、特徴	鈴木　哲也	SBOs 7,8
6	7/15	11:00-11:50	第4講義室	維持 2	クラスプ、アタッチメント	鈴木　哲也	SBOs 8
7	7/17	09:00-10:50	第4講義室	連結子と義歯床	連結装置の役割と所要条件、大連結子の種類、特徴、義歯床の役割と要件	鈴木　哲也	SBOs 9

8	7/22	11:00-11:50	第4講義室	部分床義歯の装着後の変化	部分床義歯装着後の生体の変化と義歯の変化	渡邊　竜登美	SBOs 10
9	10/3	09:00-09:50	第1講義室	前処置と印象採得	広義の前処置と狭義の前処置、印象法の種類と特徴、印象材料、印象用トレー	鈴木　哲也	SBOs 10, 16
10	10/10	09:00-09:50	第1講義室	義歯の設計1	義歯設計の原則	渡邊　竜登美	SBOs 11
11	10/24	09:00-09:50	第1講義室	義歯の設計2	サベイングの目的と技法、支台歯選択と鉤間線	鈴木　哲也	SBOs 12
12	10/31	09:00-09:50	第1講義室	有床義歯特論	部分床義歯の臨床症例	大泉　誠	SBOs 13
13	11/7	09:00-09:50	第1講義室	フレームワーク	フレームワークの構造と製作	鈴木　哲也	SBOs 14, 15
14	11/21	09:00-09:50	第1講義室	咬合採得、咬合器、人工歯排列	歯列対向関係の違いと咬合採得の術式、咬合床の種類、咬合器装着、人工歯の選択、人工歯排列	鈴木　哲也	SBOs 10, 20
15	12/5	09:00-09:50	第1講義室	義歯の重合・研磨	埋没、流ろう、重合	鈴木　哲也	SBOs 16
16	12/12	09:00-10:50	第1講義室	義歯装着後の変化と対応	義歯装着後の口腔内の変化、人工歯の摩耗と対処法、義歯床の破損と対処法	織田　展輔	SBOs 17
17	12/19	09:00-09:50	第1講義室	義歯装着後の変化と対応2	リラインの適応と技法	鈴木　哲也	SBOs 18
18	1/16	09:00-10:50	第1講義室	様々な部分床義歯の治療法とその特徴1	コーヌスクローネ義歯	若林　則幸	SBOs 19
19	1/23	09:00-10:50	第1講義室	様々な部分床義歯の治療法とその特徴2	アタッチメント義歯、ノンクラスプデンチャー	笛木　賢治	SBOs 19
20	1/30	09:00-10:50	第1講義室	様々な部分床義歯の治療法とその特徴3	多様な設計による部分床義歯症例	佐藤　雅之	SBOs 19
21	2/6	09:00-10:50	第1講義室	総括	部分床義歯補綴学を総括する	鈴木　哲也	SBOs 1-19

成績評価の方法

・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総括的評価を行う。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

教科書

スタンダード部分床義歯補綴学／藍稔, 五十嵐順正　編集・執筆：学建書院, 2010

参考書

有床義歯技工学／全国歯科技工士教育協議会　編小正裕, 永井栄一, 杉上圭三, 椎名芳江　著：医歯薬出版, 2007

パーシャルデンチャーアトラス ： デザイン理論と臨床/遊離端義歯を中心に／大山喬史　編著：医歯薬出版, 2005

連絡先

鈴木　哲也:suzuki.peoe@tmd.ac.jp

若林　則幸:wakabayashi.rpyo@tmd.ac.jp

笛木　賢治:kunfu.rpro@tmd.ac.jp

オフィスアワー

鈴木　哲也:随時 メールにて日時を相談

若林　則幸:随時（メールにて面談の日程を調整すること）

笛木　賢治:メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023030				
ユニット名	全部床義歯工学実習				
担当教員	鈴木　哲也, 土平　和秀, 冨川　紘一, 上條　真吾, 大泉　誠, 得本　佳代, 救命救急センター教員				
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	3

科目名:有床義歯工学実習
時間数:135 時間
授業形態:実習

主な講義場所

口腔保健工学専攻　第 3 実習室

授業の目的、概要等

無歯顎の特徴を理解し、その損なわれた機能と審美を回復するために用いる全部床義歯の製作方法を理解し、技工室での製作を実施する。

授業の到達目標(SBOs)

1. スタディモデルからランドマークを読み取る。
2. リリーフとブロックアウトの意義を理解し実施する。
3. 印象採得の手順を説明し、そのための個人トレーを製作する。
4. ハンドピース・エンジンを使って切削作業を実施する。
5. 咬合採得の手順を説明し、咬合床を製作する。
6. 丁寧で正確なワックス操作を行う。
7. 模型を適切に咬合器に装着する。
8. 適切な人工歯配列をする。
9. 自然感と清掃性を考慮した歯肉形成を施すことができる。
10. 全部床義歯における咬合理論を理解し、適切な咬合を与えることができる。
11. 蝋義歯の埋没、流蝋、レジン填入および重合を適切に行うことができる。
12. 選択削合・自動削合を行う。
13. 義歯の形態修正、研磨を行う。
14. 救急救命について理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/8	13:00-17:50	第3実習室	全部床義歯製作の概説、個人トレー製作 1	全部床義歯実習の概要説明、個人トレー外形線記入、ブロックアウト、リリーフ	鈴木　哲也, 土平　和秀, 冨川　紘一, 大泉　誠	SBOs 1, 2
2	4/10	11:00-15:50	第3実習室	個人トレー製作 2	オストロン圧接	鈴木　哲也, 土平　和秀, 冨川　紘一, 大泉　誠	SBOs 3
3	4/15	13:00-17:50	第3実習室	個人トレー製作 3	トリミング、柄・フィンガーレスト付与	鈴木　哲也, 土平　和秀, 冨川　紘一, 大泉　誠	SBOs 3, 4
4	4/17	11:00-17:50	第3実習室	個人トレー製作 4	コンパウンド付与、完成	鈴木　哲也, 土平　和秀, 冨川　紘一, 大泉　誠	SBOs 3
5	4/22	13:00-17:50	第3実習室	咬合床製作 1	外形線記入、ブロックアウト、リリーフ	鈴木　哲也, 土平　和秀, 冨川　紘一, 大泉　誠	SBOs 5

6	4/24	11:00-15:50	第3実習室	咬合床製作2	基礎床製作	鈴木　哲也, 土平　和秀, 冨川　紘一, 大泉　誠	SBOs 5
7	5/1	11:00-15:50	第3実習室	咬合床製作3	ロウ堤形成、完成	鈴木　哲也, 土平　和秀, 冨川　紘一, 大泉　誠	SBOs 5, 6
8	5/13	13:00-17:50	第3実習室	咬合器装着	スピリットキャストの形成、咬合器装着	鈴木　哲也, 土平　和秀, 冨川　紘一, 大泉　誠	SBOs 7
9	5/15	11:00-15:50	第3実習室	前歯部人工歯排列1	前歯部人工歯排列(上顎①)	鈴木　哲也, 土平　和秀, 冨川　紘一, 大泉　誠	SBOs 8
10	5/20	13:00-17:50	第3実習室	前歯部人工歯排列2	前歯部人工歯排列(上顎②)	鈴木　哲也, 土平　和秀, 冨川　紘一, 大泉　誠	SBOs 8
11	5/22	11:00-17:50	第3実習室	前歯部人工歯排列3	前歯部人工歯排列(下顎)	鈴木　哲也, 土平　和秀, 冨川　紘一, 大泉　誠	SBOs 8
12	5/27	13:00-17:50	第3実習室	臼歯部人工歯排列1	臼歯部人工歯排列(下顎①)	鈴木　哲也, 土平　和秀, 冨川　紘一, 大泉　誠	SBOs 8, 9
13	5/29	11:00-17:50	第3実習室	臼歯部人工歯排列2	臼歯部人工歯排列(下顎②)	鈴木　哲也, 土平　和秀, 冨川　紘一, 大泉　誠	SBOs 8, 10
14	6/3	13:00-17:50	第3実習室	臼歯部人工歯排列3	臼歯部人工歯排列(上顎)	鈴木　哲也, 土平　和秀, 冨川　紘一, 大泉　誠	SBOs 8, 10
15	6/5	13:00-17:50	第3実習室	歯肉形成1	歯肉形成(上顎)	鈴木　哲也, 土平　和秀, 冨川　紘一, 大泉　誠	SBOs 9
16	6/10	13:00-17:50	第3実習室	歯肉形成2	歯肉形成(下顎)	鈴木　哲也, 土平　和秀, 冨川　紘一, 大泉　誠	SBOs 9
17	6/12	13:00-17:50	第3実習室	蝋義歯埋没	一次埋没、二次埋没、三次埋没	鈴木　哲也, 土平　和秀, 冨川　紘一, 大泉　誠	SBOs 11

18	6/17	13:00-17:50	第3実習室	レジン填入・重合 1	流ろう・填入	鈴木　哲也, 土平　和秀, 冨川　紘一, 大泉　誠 得本　佳代	SBOs 11
19	6/19	11:00-17:50	第3実習室	レジン填入・重合 2	重合	鈴木　哲也, 土平　和秀, 冨川　紘一, 大泉　誠 得本　佳代	SBOs 11
20	6/24	13:00-17:50	第3実習室	模型の割り出し	模型の割り出し	鈴木　哲也, 土平　和秀, 冨川　紘一, 大泉　誠 得本　佳代	SBOs 11
21	6/26	09:00-15:50	第3実習室	咬合器再装着	咬合器再装着	鈴木　哲也, 土平　和秀, 冨川　紘一, 大泉　誠	SBOs 7
22	7/1	13:00-17:50	第3実習室	削合 1	選択削合	鈴木　哲也, 土平　和秀, 冨川　紘一, 大泉　誠	SBOs 12
23	7/3	11:00-17:50	第3実習室	削合 2	自動削合	鈴木　哲也, 土平　和秀, 冨川　紘一, 大泉　誠	SBOs 12
24	7/8	13:00-17:50	第3実習室	形態修正・研磨	形態修正、荒研磨	鈴木　哲也, 土平　和秀, 冨川　紘一, 大泉　誠	SBOs 13
25	7/10	13:00-17:50	第3実習室	形態修正・研磨	レーズ研磨、艶出し完成	鈴木　哲也, 土平　和秀, 冨川　紘一, 大泉　誠	SBOs 13
26	7/15	13:00-17:50	第3実習室	総括	全部床義歯製作過程を総括	鈴木　哲也, 土平　和秀, 冨川　紘一, 大泉　誠	SBOs 1-13
27	7/30	09:00-11:50	スキルスラボⅠ	救急救命実習	救急救命の必要性と対応	救命救急センター教員	SBOs 14

成績評価の方法

・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。

・出席状況、実習態度を総括的評価に加味する。

・科目「有床義歯工学実習」の最終成績判定は、ユニット「全部床義歯工学実習」、「部分床義歯工学実習 A」および「部分床義歯工学実習 B」の評価を総合して行う。

準備学習などについての具体的な指示

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

参考書 有床義歯技工学／全国歯科技工士教育協議会 編,小正裕, 永井栄一, 杉上圭三, 椎名芳江 著:医歯薬出版, 2007 よい義歯だめな義歯 : 鈴木哲也のコンプリートデンチャー17 のルール／鈴木哲也 著:クインテッセンス出版, 2011 コンプリートデンチャーテクニック(第 6 版)／細井紀雄 ほか編:医歯薬出版, 2011
連絡先 鈴木　哲也: suzuki.peoe@tmd.ac.jp 土平　和秀: tsuchihira..peoe@tmd.ac.jp 冨川　紘一: fukawa.peoe@tmd.ac.jp 上條　真吾: s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp
オフィスアワー 鈴木　哲也: 随時 メールにて日時を相談 土平　和秀: 随時 冨川　紘一: 随時 上條　真吾: メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023031				
ユニット名	部分床義歯工学実習 A				
担当教員	鈴木　哲也, 安江　透, 冨川　紘一, 土平　和秀, 岩崎　直彦				
開講時期	通年	対象年次	2	単位数	4

科目名:有床義歯工学実習
時間数:180 時間
授業形態:実習

主な講義場所

第3実習室、重合・鋳造室

授業の目的、概要等

部分的歯牙欠損患者の口腔機能回復のための理論、および各種構成要素に用いる材料の諸性質を理解し、個々の臨床ケースに対応できる部分床義歯製作のための技法および技術を身につける。

授業の到達目標(SB0s)

1. 義歯の着脱方向を正確に設定して、的確にブロックアウトする。
2. 常温重合レジンの理工学的性質を理解して、的確に圧接する。
3. 歯科用エンジンおよびレーズを使用して、常温重合レジンを変形させることなく加工する。
4. 個人トレーが具備すべき形態および口腔内操作を考慮して、外形を形成する。
5. パラフィンワックスの理工学的特性を理解し、最適なろう堤を形成する。
6. スプリットキャストの意味を理解し、顎位を保持して正確に咬合器装着する。
7. 支台歯および粘膜を含む口腔内状況を考慮し、最適な支台装置の設計をする。
8. 外形線に沿って正確なワイヤークラスプの屈曲をする。
9. 直接法用光重合レジンパターンおよび鋳造用即時重合レジンで精密なパターンを採得する。
10. リン酸塩系埋没材の理工学的性質を理解し、気泡を混入しない埋没をする。
11. リン酸塩系埋没材の理工学的性質を理解し、的確な温度管理でリング焼却する。
12. 高周波鋳造機の特性を理解し、欠陥のない鋳造体を製作する。
13. 作業用模型への適合方法を理解し、的確なトリミングおよび研磨をする。
14. 正確な位置で仮着し、ろう付け用埋没材の理工学的特性を理解して正確に埋没する。
15. ろう付け用埋没材の理工学的特性を理解して、的確に加熱する。
16. ろう付けの基本原理を理解し、的確な炎管理でろう付けする。
17. 副印象用材料の理工学的特性および副印象システムの特徴を理解し、精密に印象採得する。
18. 副印象システムおよび耐火埋没材の理工学的特徴を理解し、精密な副模型を製作する。
19. クラスプ用ワックスパターンを用いて、正確なワックスアップをする。
20. 使用金属の理工学的特性を理解して、それぞれの支台装置に合った維持力を調整する。
21. 審美性に配慮して人工歯排列する。
22. 機能性に配慮して人工歯排列する。
23. 機能性および生体親和性に配慮して歯肉形成する。
24. パラフィンワックスを的確に操作し、滑沢な表面に仕上げる。
25. 支台装置の位置および人工歯排列状態を考慮して、的確なフラスコ埋没を立案し作業する。
26. 一次埋没した石膏表面を滑沢にし、強固な分離皮膜を生成する。
27. 気泡を入れることなく埋没する。
28. 埋没したフラスコの状態を考慮して、的確な温度管理で流ろうする。
29. 必要な範囲に十分な分離材を的確に塗布する。
30. 加熱重合レジンの理工学的特性を理解して、適正な混液比で予備重合する。
31. 加熱重合レジンの理工学的特性を理解して、予備重合したレジンを適正な圧力で填入する。
32. 適正な温度管理で加熱重合する。
33. 重合体および作業用模型に必要以上の外力を加えることなく、掘り出しする。
34. 早期接触部位を的確に判断して削合する。
35. 義歯を変形させることなく、作業用模型から取り外す。
36. 外形線に沿って的確に形態修正する。

37. 形態修正による切削傷を効率よく荒研磨する。
38. レーズ研磨の仕組みを理解し、効率よく艶出し研磨する。
39. バフを使用して鏡面研磨する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	7/17	13:00-17:50	第3実習室	部分床義歯製作の概説、個人トレー製作	部分床義歯実習の概要説明、個人トレー外形線記入、ブロックアウト、リリーフ	安江 透 土平 和秀, 岩崎 直彦, 冨川 紘一	SBOs 1
2	7/22	13:00-17:50	第3実習室	個人トレー製作	常温重合レジン圧接	安江 透 土平 和秀, 岩崎 直彦, 冨川 紘一	SBOs 2
3	7/24	13:00-17:50	第3実習室	個人トレー製作	常温重合レジン圧接、トリミング	安江 透 土平 和秀, 岩崎 直彦, 冨川 紘一	SBOs 2,3
4	9/30	11:00-17:50	第3実習室	個人トレー製作	柄・フィンガーレスト付与、コンパウンド操作	安江 透 土平 和秀, 岩崎 直彦	SBOs 4
5	10/2	11:00-17:50	第3実習室	咬合床製作	外形線記入、ブロックアウト、リリーフ、常温重合レジン圧接	安江 透 土平 和秀, 岩崎 直彦, 冨川 紘一	SBOs 1,2
6	10/7	11:00-17:50	第3実習室	咬合床製作	基礎床トリミング、ろう堤形成、咬合器装着	安江 透 土平 和秀, 岩崎 直彦	SBOs 3,5,6
7	10/9	11:00-17:50	第3実習室	支台装置製作（上顎）	サベイング、支台装置設計、ブロックアウト、ワイヤークラスプ屈曲	安江 透 土平 和秀, 岩崎 直彦, 冨川 紘一	SBOs 1,7,8
8	10/14	11:00-17:50	第3実習室	支台装置製作（上顎）	ワイヤークラスプ屈曲	安江 透 土平 和秀, 岩崎 直彦	SBOs 8
9	10/16	11:00-17:50	第3実習室	支台装置製作（上顎）	鋳造レストパターン採得、埋没	安江 透 土平 和秀, 岩崎 直彦, 冨川 紘一	SBOs 9,10
10	10/21	11:00-17:50	第3実習室	支台装置製作（上顎）	鋳造、研磨、ろう付け用埋没	安江 透 土平 和秀, 岩崎 直彦	SBOs 11-14
11	10/23	11:00-17:50	第3実習室	支台装置製作（上顎）	ろう付け、研磨	安江 透 土平 和秀, 岩崎 直彦, 冨川 紘一	SBOs 13,15,16
12	10/28	11:00-17:50	第3実習室	支台装置製作（上顎）	予備日	安江 透 土平 和秀, 岩崎 直彦	

13	10/30	11:00–17:50	第3実習室	支台装置製作（下顎）	サベイング、支台装置設計、ブロックアウト、副印象準備	安江 透, 土平 和秀, 岩崎 直彦, 冨川 紘一	SBOs 1,7,17,18	
14	11/4	11:00–17:50	第3実習室	支台装置製作（下顎）	副印象、耐火模型製作	安江 透, 土平 和秀, 岩崎 直彦	SBOs 17,18	
15	11/6	11:00–17:50	第3実習室	支台装置製作（下顎）	支台装置ワックスアップ	安江 透, 土平 和秀, 岩崎 直彦, 冨川 紘一	SBOs 19	
16	11/18	11:00–17:50	第3実習室	支台装置製作（下顎）	埋没	安江 透, 土平 和秀, 岩崎 直彦	SBOs 10	
17	11/25	11:00–17:50	第3実習室	支台装置製作（下顎）	鋳造	安江 透, 土平 和秀, 岩崎 直彦, 冨川 紘一	SBOs 11,12	
18	11/27	11:00–17:50	第3実習室	支台装置製作（下顎）	形態修正、適合、維持力調整	安江 透, 土平 和秀, 岩崎 直彦	SBOs 13,20	
19	12/2	11:00–17:50	第3実習室	支台装置製作（下顎）	研磨	安江 透, 土平 和秀, 岩崎 直彦	SBOs 13	
20	12/4	11:00–17:50	第3実習室	支台装置製作（下顎）	予備日	安江 透, 土平 和秀, 岩崎 直彦, 冨川 紘一		
21	12/9	11:00–17:50	第3実習室	人工歯排列	前歯部人工歯排列	安江 透, 土平 和秀, 岩崎 直彦	SBOs 21,22	
22	12/11	09:00–13:50	第3実習室	人工歯排列	臼歯部人工歯排列	安江 透, 土平 和秀, 岩崎 直彦, 冨川 紘一	SBOs 22	
23	12/16	11:00–17:50	第3実習室	人工歯排列	臼歯部人工歯排列	安江 透, 土平 和秀, 岩崎 直彦	SBOs 22	
24	12/18	11:00–16:50	第3実習室	歯肉形成	歯肉形成	安江 透, 土平 和秀, 岩崎 直彦, 冨川 紘一	SBOs 23,24	
25	1/6	11:00–17:50	第3実習室	埋没・重合	一次埋没	安江 透, 土平 和秀, 岩崎 直彦	SBOs 25,26	
26	1/8	11:00–16:50	第3実習室	埋没・重合	二次・三次埋没、流ろう	安江 透, 土平 和秀, 岩崎 直彦, 冨川 紘一	SBOs 27–29	

27	1/13	11:00–17:50	第3実習室	埋没・重合	填入、重合	安江 透, 土平 和秀, 岩崎 直彦	SBOs 30–32
28	1/15	09:00–13:50	第3実習室	咬合器再装着	掘り出し、咬合器再装着	安江 透, 土平 和秀, 岩崎 直彦, 冨川 紘一	SBOs 33
29	1/20	11:00–17:50	第3実習室	削合	削合	安江 透, 土平 和秀, 岩崎 直彦	SBOs 34
30	1/22	11:00–16:50	第3実習室	研磨	形態修正、荒研磨	安江 透, 土平 和秀, 岩崎 直彦, 冨川 紘一	SBOs 35–37
31	1/27	11:00–17:50	第3実習室	研磨	レーズ研磨	安江 透, 土平 和秀, 岩崎 直彦	SBOs 38
32	1/29	11:00–16:50	第3実習室	研磨	レーズ研磨、艶出し完成	安江 透, 土平 和秀, 岩崎 直彦, 冨川 紘一	SBOs 38,39
33	2/5	11:00–15:50	第3実習室	研磨	予備日	安江 透, 土平 和秀, 岩崎 直彦, 冨川 紘一	

成績評価の方法

・有床義歯工学実習は、2 年前期に全部床義歯工学実習を、後期に部分床義歯工学実習 A を、3 年前期に部分床義歯工学実習 B を、それぞれ別の課題を行い、全ての課題に合格しなければならない。

・各製作ステップにおいてチェックを行い、進捗状況を評価する。また採点項目を設定し、完成した製作物を評価する。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

・科目「有床義歯工学実習」の最終成績判定は、ユニット「全部床義歯工学実習」、「部分床義歯工学実習 A」および「部分床義歯工学実習 B」の評価を総合して行う。

準備学習などについての具体的な指示

実習予定表および実習書を事前に確認し、当日行う実習内容を把握しておく。

Web Class に資料がアップされているときには、事前に確認しておく。

参考書

有床義歯技工学／全国歯科技工士教育協議会 編,小正裕, 永井栄一, 杉上圭三, 椎名芳江 著:医歯薬出版, 2007

パーシャルデンチャーテクニック = Partial Denture Technique／五十嵐順正, 石上友彦, 大久保力廣, 岡崎定司, 馬場一美, 横山敦郎 編:医歯薬出版, 2012

パーシャルデンチャーアトラス : デザイン理論と臨床/遊離端義歯を中心に／大山喬史 編著:医歯薬出版, 2005

現代のパーシャルデンチャー : 欠損補綴の臨床指針／野首孝祠, 五十嵐順正 著:クインテッセンス出版, 2000

履修上の注意事項

事前に資料の配布、Web Class へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

連絡先

鈴木 哲也:suzuki.peoe@tmd.ac.jp

岩崎 直彦:iwasaki.bmoe@tmd.ac.jp

土平 和秀:tsuchihira.peoe@tmd.ac.jp

冨川 紘一:fukawa.peoe@tmd.ac.jp

安江 透:yasue.fpoe@tmd.ac.jp

オフィスアワー

鈴木　哲也:随時 メールにて日時を相談

岩崎　直彦:随時

土平　和秀:随時

冨川　紘一:随時

安江　透:随時

時間割番号	023032				
科目名	保存修復工学				
担当教員	池田　正臣, 二階堂　徹, 竹内　康雄, 青木　章				
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1

時間数：15時間

授業形態：講義

授業の目的、概要等

う蝕と歯の実質欠損病態およびその治療法、また、歯周病の原因、病態、治療法の概要について理解する。

授業の到達目標(SBOs)

1. 保存修復の全体像を説明する。
2. う蝕の診断と処置が技工操作に与える影響について説明する。
3. 接着材料と技術について説明する。
4. 審美修復材料について説明する。
5. 修復物の予後と2次う蝕の予防について説明する。
6. 歯周病の全体像を説明する。
7. 歯周病の診断と処置と歯科技工物との関係について説明する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	6/4	10:00-10:50	第4講義室	保存修復概論	硬組織疾患とその対応	二階堂　徹	SBOs 1
2	6/11	10:00-11:50	第4講義室	う蝕	う蝕の診断と処置	二階堂　徹	SBOs 1
3	6/18	10:00-11:50	第4講義室	保存修復と技工	レジンインレー、ポーセレンインレー、CAD/CAM、ラミネートベニア、前装冠	池田　正臣	SBOs 2
4	6/25	10:00-11:50	第4講義室	接着性コンポジットレジン修復	接着の基礎(歯質との接着)、臨床術式	二階堂　徹	SBOs 3,4
5	7/2	10:00-11:50	第4講義室	審美的間接修復	接着の基礎(材料との接着)、臨床術式	二階堂　徹	SBOs 3,4
6	7/9	10:00-11:50	第4講義室	メインテナンス	ホワイトニング、修復物の予後	二階堂　徹	SBOs 3-5
7	7/15	09:00-10:50	第4講義室	歯周病学概論	歯周病の病因と病態	竹内　康雄	SBOs 6
8	7/22	09:00-10:50	第4講義室	歯周病	歯周病の治療法	青木　章	SBOs 7

成績評価の方法

・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総括的評価を行う。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

参考書

歯冠修復技工学／全国歯科技工士教育協議会 編,末瀬一彦, 松村英雄, 丸茂義二, 雲野泰史, 下江宰司 著：医歯薬出版, 2007

接着歯学 ：Minimal intervention を求めて／日本接着歯学会 編：医歯薬出版, 2002

連絡先

池田　正臣:ikeda.csoe@tmd.ac.jp

青木　章:aoperi@tmd.ac.jp

竹内　康雄:takeuchi.peri@tmd.ac.jp

二階堂　徹:nikaido.ope@tmd.ac.jp

オフィスアワー

池田　正臣:メールにて面談の日程を調整すること

青木　章:月～金　17:00-18:00

竹内　康雄:月～金　17:00-19:00

二階堂　徹:月、火、金 16：30－18：30

時間割番号	023034				
ユニット名	歯冠修復工学Ａ				
担当教員	池田　正臣, 池田　英治, 岡田　大蔵				
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	2

科目名:：歯冠修復工学
時間数:30時間
授業形態:講義

授業の目的、概要等

各種の歯冠修復及び架工義歯に関する知識を修得する。

授業の到達目標(SB0s)

1. 歯冠修復の適応、および意義を理解する。
2. う蝕治療の流れを理解する。
3. 歯冠修復物の特徴を理解する。
4. 築造の目的を説明する。
5. 仮封冠の目的を説明する。
6. 直接法と比較した間接法の特徴を理解する。
7. 歯冠修復に用いられる印象材について説明する。
8. 咬合採得の意義について説明する。
9. 作業用模型の種類と取り扱い方を理解する。
10. ろう型採得の方法について理解する。
11. 埋没、および鋳造の流れを説明する。
12. 研磨の手法を理解する。
13. 試適の手順を理解する。
14. 合着に用いるセメントについて理解する。
15. ブリッジの特徴とポンティック形態を説明する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/1	09:00-10:50	第1講義室	歯冠修復工学総論	歯冠修復物の種類と目的	岡田　大蔵	SBOs 1-3
2	10/8	09:00-10:50	第1講義室	全部鋳造冠	全部鋳造冠の特徴、支台形態	岡田　大蔵	SBOs 3
3	10/15	09:00-10:50	第1講義室	歯内療法学概論1	歯内療法学における病因、病態	池田　英治	SBOs 2
4	10/22	09:00-10:50	第1講義室	歯内療法学概論2	歯内療法学における基本的な治療	池田　英治	SBOs 2
5	10/29	09:00-10:50	第1講義室	築造、仮封冠	築造の目的、仮封冠の目的	岡田　大蔵	SBOs 4,5
6	11/5	09:00-10:50	第1講義室	間接法、印象法	間接法の寸法精度、補償理論、印象に用いられる材料、必要性度、特徴	岡田　大蔵	SBOs 6,7
7	11/19	09:00-10:50	第1講義室	咬合採得、作業用模型	咬合採得に用いる材料と方法、注意点、各種模型の特質	岡田　大蔵	SBOs 8,9
8	11/26	09:00-10:50	第1講義室	ろう型採得	内面の適合精度、外面形態:咬合面、隣接面、頬舌面	岡田　大蔵	SBOs 10
9	12/3	09:00-10:50	第1講義室	埋没、鋳造	スプルー線の植立、埋没操作、埋没材の変化、ワックスの焼却、鋳造用合金、鋳造体の熱処理	岡田　大蔵	SBOs 11
10	12/10	09:00-10:50	第1講義室	研磨	研磨の目的、研磨器具の種類と特徴	岡田　大蔵	SBOs 12
11	12/17	09:00-10:50	第1講義室	試適、合着	接触点の調整、咬合調整、セメントの種類、浮き上がり防止策	岡田　大蔵	SBOs 13,14
12	1/7	09:00-10:50	第1講義室	前装鋳造冠	前装冠の特徴、支台形態	岡田　大蔵	SBOs 2
13	1/14	09:00-10:50	第1講義室	ポストクラウン、陶材ジャケット冠	ポストクラウンの特徴、陶材ジャケット冠の特徴、支台形態	岡田　大蔵	SBOs2
14	1/21	09:00-10:50	第1講義室	部分被覆冠	部分被覆冠の特徴、支台形態	岡田　大蔵	SBOs 2

15	1/28	09:00-10:50	第1講義室	ブリッジ	ブリッジの構造と分類、特徴、ポンティックの形態、適応	岡田　大蔵	SBOs 2,15	

成績評価の方法

・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総括的評価を行う。
・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。
・歯冠修復工学Ａは２年後期に、歯冠修復工学Ｂは３年前期にそれぞれの試験を行い、全ての試験に合格しなければならない。
・「歯冠修復工学」の最終成績判定はユニット「歯冠修復工学Ａ」と「歯冠修復工学Ｂ」の評価を総合して行う。

準備学習などについての具体的な指示

事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

教科書

クラウンブリッジ補綴学／川和忠治 [ほか]編：医歯薬出版, 2009

参考書

歯冠修復技工学／全国歯科技工士教育協議会 編,末瀬一彦, 松村英雄, 丸茂義二, 雲野泰史, 下江宰司 著：医歯薬出版, 2007
保存修復学 21／田上順次, 千田彰, 奈良陽一郎, 桃井保子 監修：永末書店, 2011

連絡先

池田　正臣:ikeda.csoe@tmd.ac.jp
岡田　大蔵:d.okada.fpro@tmd.ac.jp
池田　英治:hms-ikeda.endo@tmd.ac.jp

オフィスアワー

池田　正臣:メールにて面談の日程を調整すること
岡田　大蔵:随時
池田　英治:月～金　PM4:30-6:00　歯科棟 10 階歯髄生物学分野講師室

時間割番号	023036				
科目名	歯冠修復工学実習 A				
担当教員	池田　正臣, 安江　透, 冨川　紘一, 上條　真吾				
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	5

科目名：歯冠修復工学実習
時間数：225時間
授業形態：実習

授業の目的、概要等

各種の歯冠修復および架工義歯に関する知識及び技術について修得する。

授業の到達目標(SB0s)

1. 歯冠修復における治療の流れを理解し、技工作業を行う。
2. 技工器具を正しく使用する。
3. 模型の扱いを理解し、正確な操作を行う。
4. 最終補綴物の特徴を理解したうえで、コアを製作する。
5. 各種鋳造操作を行う。
6. 各種レジンの扱いを修得する。
7. 個歯トレーの利点を説明する。
8. 暫間被覆冠の特徴を説明する。
9. 適合精度の高いワックスパターンを製作する。
10. 辺縁形態、隣接面接触、咬合接触について適切な処理を行う。
11. 鏡面研磨を行う。
12. メタルインレーの特徴を理解する。
13. レジン前装冠の窓開けを行う。
14. 前装用レジンを操作する。
15. シェードテイキングについて説明する。
16. CR インレーを製作する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/29	13:00–17:50	第3実習室	実習の進め方	実習の進め方、実習室の使い方、技工器具・器機の使い方	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 1, 2
2	10/1	11:00–16:50	第3実習室	模型製作練習 1	印象への石膏注入、模型トリミング、ダウエルピン植立、二次石膏、三次石膏	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 3
3	10/3	11:00–17:50	第3実習室	模型製作練習 2	模型分割、歯型のマージン出し	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 3
4	10/6	13:00–16:50	第3実習室	模型製作	印象への石膏注入、模型トリミング、ダウエルピン植立、二次石膏、三次石膏	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 3
5	10/8	11:00–16:50	第3実習室	咬合器装着	咬合器装着、模型分割、歯型のマージン出し	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 3
6	10/10	11:00–17:50	第3実習室	メタルコアのワックスアップ	ワックスアップ	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 4
7	10/15	11:00–16:50	第3実習室	メタルコアの埋没	ワックスアップ、スプルーイング、埋没	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 4, 5
8	10/20	13:00–16:50	第3実習室	メタルコアの鋳造	鋳造	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 4, 5
9	10/22	11:00–16:50	第3実習室	メタルコアの研磨	形態修正、研磨、完成	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 4
10	10/24	13:00–17:50	第3実習室	個歯トレー製作	個歯トレー製作	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 6, 7

11	10/27	13:00-16:50	第3実習室	暫間被覆冠の歯冠形態回復	暫間被覆冠製作、歯冠形態回復	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 6, 8
12	10/29	11:00-16:50	第3実習室	暫間被覆冠の研磨	暫間被覆冠製作、形態修正、接触点調整、咬合調整、研磨、完成	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 6, 8
13	10/31	13:00-17:50	第3実習室	予備日	予備日	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 6, 8
14	11/5	11:00-16:50	第3実習室	クラウンのワックスアップ	ワックスアップ　概形製作	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 9
15	11/7	13:00-17:50	第3実習室	クラウンのワックスアップ	ワックスアップ　歯冠形態完成	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 9
16	11/10	13:00-16:50	第3実習室	クラウンのワックスアップ	ワックスアップ　マージンのしめ直し	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 9
17	11/17	13:00-16:50	第3実習室	クラウンの埋没	スプルーイング、埋没	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 5, 9
18	11/19	11:00-16:50	第3実習室	クラウンの鋳造	鋳造	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 5, 9
19	11/21	10:00-17:50	第3実習室	クラウンの調整	内面調整	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 5, 9
20	11/26	11:00-16:50	第3実習室	クラウンの調整	接触点、咬合調整、形態修正	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 10
21	11/28	10:00-17:50	第3実習室	クラウンの研磨	研磨、完成	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 10, 11
22	12/1	13:00-16:50	第3実習室	予備日	予備日	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 10, 11
23	12/3	11:00-16:50	第3実習室	メタルインレーの模型製作	模型製作、咬合器装着	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 9, 12
24	12/8	13:00-16:50	第3実習室	メタルインレーのワックスアップ	ワックスアップ　概形製作、歯冠形態完成	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 9, 12
25	12/10	11:00-16:50	第3実習室	メタルインレーの埋没	スプルーイング、埋没	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 3, 5, 9, 12
26	12/12	11:00-17:50	第3実習室	メタルインレーの鋳造	鋳造	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 3, 5, 9, 12
27	12/15	13:00-16:50	第3実習室	メタルインレーの調整	適合確認、内面調整、接触点調整	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 10, 11
28	12/17	11:00-16:50	第3実習室	メタルインレーの研磨	咬合調整、研磨、完成	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 10, 11
29	12/19	10:00-17:50	第3実習室	予備日	予備日	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 10, 11
30	1/5	13:00-16:50	第3実習室	レジン前装冠の模型製作	模型製作、咬合器装着	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 9,13,14
31	1/7	11:00-16:50	第3実習室	レジン前装冠のワックスアップ	ワックスアップ　歯冠形態回復	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 9,13,14
32	1/9	09:00-17:50	第3実習室	卒業研究発表会	発表見学	池田　正臣, 上條　真吾	
33	1/14	11:00-16:50	第3実習室	レジン前装冠の窓開け	窓開け	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 9,13,14
34	1/16	11:00-17:50	第3実習室	レジン前装冠のワックスパターン完成	リテンションビーズ付与	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 9,13,14

35	1/19	13:00-16:50	第3実習室	レジン前装冠の埋没	スプルーイング、埋没	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 5
36	1/21	11:00-16:50	第3実習室	レジン前装冠の鋳造	鋳造	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 5
37	1/23	11:00-17:50	第3実習室	レジン前装冠の調整	適合確認、内面調整、接触点調整、咬合調整	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 10
38	1/26	13:00-16:50	第3実習室	レジン前装冠の荒研磨	荒研磨	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 10
39	1/28	11:00-16:50	第3実習室	前装レジン築盛	デンティン築盛	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 13-15
40	1/30	11:00-17:50	第3実習室	前装レジン築盛	エナメル築盛	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 13-15
41	2/2	13:00-16:50	第3実習室	レジン前装冠の形態修正、研磨	前装レジン築盛、形態修正、研磨、完成	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 13-15
42	2/4	09:00-16:50	第3実習室	CR インレーの築盛	ボディー、エナメル築盛	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 15,16
43	2/6	11:00-17:50	第3実習室	CR インレーの完成	調整、研磨、完成	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 15,16
44	2/9	13:00-16:50	第3実習室	予備日	予備日	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 15,16

成績評価の方法

・歯冠修復工学実習は、2 年後期に歯冠修復工学実習 A を、3 年前期に歯冠修復工学実習 B を、それぞれ別の課題で評価し、全ての課題に合格しなければならない。

・出席状況、実習態度を総括的評価に加味する。

・科目「歯冠修復工学実習」の最終成績判定は、ユニット「歯冠修復工学実習 A」および「歯冠修復工学実習 B」の評価を総合して行う。

準備学習などについての具体的な指示

事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

参考書

歯冠修復技工学／全国歯科技工士教育協議会 編,末瀬一彦, 松村英雄, 丸茂義二, 雲野泰史, 下江宰司 著：医歯薬出版, 2007

保存修復学 21／田上順次, 千田彰, 奈良陽一郎, 桃井保子 監修：永末書店, 2011

クラウンブリッジ補綴学／川和忠治 [ほか]編：医歯薬出版, 2009

連絡先

池田　正臣:ikeda.csoe@tmd.ac.jp

冨川　紘一:fukawa.peoe@tmd.ac.jp

安江　透:yasue.fpoe@tmd.ac.jp

上條　真吾:s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp

オフィスアワー

池田　正臣:メールにて面談の日程を調整すること

冨川　紘一:随時

安江　透:随時

上條　真吾:メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023037				
科目名	プロセスデバイス工学				
担当教員	高橋　英和, 大木　明子, 岩崎　直彦, 髙久田　和夫, 堀田　康弘, 中口　悦史, 藤田　忠寛				
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	2

時間数：30時間
授業形態：講義
選択

主な講義場所

口腔保健工学専攻　第１講義室、第４実習室

授業の目的、概要等

機械加工の原理を理解し、CAD/CAM/CAE の基礎的な知識を修得する。

授業の到達目標(SBOs)

1. 機械加工の概念を説明する。
2. 3 次元デジタルデータの収集方法ならびにその構造を説明する（計測機の種類や計測方法、その問題点について）。
3. 3 次元デジタルデータの抽出、設計、加工の仕組みを説明する。
4. マシニング・センターについて説明する。
5. 3 次元造形法について説明する。
6. 数値解析法の概要と有限要素法について説明する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/2	09:00-10:50	第1講義室	オリエンテーション CAD/CAM/CAE 総論	プロセスデバイス概論、CAD/CAM/CAE とは	大木　明子	SBOs 1-6
2	10/9	09:00-10:50	第1講義室	機械加工総論	構造物の造り方、安全の考え方	髙久田　和夫	SBOs 1
3	10/16	09:00-10:50	第4実習室	切削加工実習 1	切削加工実習 1	高橋　英和, 岩崎　直彦	SBOs 1
4	10/23	09:00-10:50	第4実習室	切削加工実習 2	切削加工実習 2	高橋　英和, 岩崎　直彦	SBOs 1
5	10/30	09:00-10:50	第1講義室	スキャニング	スキャニング法（接触・非接触）	堀田　康弘	SBOs 2
6	11/6	09:00-10:50	第1講義室	デジタルデータの抽出・設計・加工	3 次元デジタルデータの抽出・設計・加工	堀田　康弘	SBOs 3
7	11/27	09:00-10:50	第1講義室	データの転送、マシニング・センター	加工データの転送、マシニング・センター	堀田　康弘	SBOs 3,4
8	12/4	09:00-10:50	第4実習室	切削加工実習 3	ミリングマシーンによる切削加工	藤田　忠寛, 高橋　英和	SBOs 2-4
9	12/11	14:00-16:50	松浦機械製作所	企業見学1	マシニング・センター見学	高橋　英和, 大木　明子	SBOs 4
10	1/8	09:00-10:50	第1講義室	3 次元造形法	3 次元造形法の種類、材料と方法、製造業・医療における応用	大木　明子	SBOs 5
11	1/15	14:00-16:50	豊通マシナリー	企業見学2	CAD/CAM ショールーム見学	高橋　英和, 大木　明子	SBOs 5
12	1/22	09:00-10:50	第1講義室	CAE・数値解析法概論	CAE・数値解析法概論	中口　悦史	SBOs 6
13	1/29	09:00-10:50	第1講義室	数値解析法演習 1	有限要素法の概要と演習 1	中口　悦史	SBOs 6
14	2/5	09:00-10:50	第1講義室	数値解析法演習 2	有限要素法の概要と演習 2	中口　悦史	SBOs 6

成績評価の方法

・提出レポート、製作作品、筆記試験で総括的評価を行う。
・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。

連絡先

高橋　英和:takahashi.bmoe@tmd.ac.jp
岩崎　直彦:iwasaki.bmoe@tmd.ac.ip
大木　明子:moki.mfoe@tmd.ac.jp
中口　悦史:nakaguti.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

高橋　英和:あらかじメールにて面談時間を相談のこと
岩崎　直彦:随時
大木　明子:メールにて面談の日程を調整すること。2 号館 2 階准教授室
中口　悦史:[国府台・ヒポ4階研究室]（前期）水・木 12:00～13:00（後期）月・水 12:00～13:00／[湯島・2号館2階教養部連絡室]（11/27～2/5のみ）木 11:45～12:45, 16:00～17:00／電子メールによる質問等は随時受け付ける。

第３学年
履修科目・ユニット

時間割番号	023038				
ユニット名	口腔保健材料力学Ｂ				
担当教員	高橋　英和, 杉本　久美子, 口腔保健工学専攻教員				
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	1

科目名：口腔保健材料力学
時間数：１５時間
授業形態：講義

主な講義場所

口腔保健工学専攻第4講義室

授業の目的、概要等

各学生の知的興味、将来の方向性に沿った歯科技工領域の研究のテーマを検討し、実施に向けて、基本的な研究の進め方および先行研究の検索方法を理解する。

授業の到達目標(SBOs)

1. 研究の進め方を理解する。
2. EBM の概念を説明する。
3. 論文の構成を理解する。
4. 歯科技工領域の研究の概要を把握する。
5. 自己の興味に基づいた論文の検索と科学的吟味を行い、今日までの知見を整理、発表する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/10	13:00-15:50	第4講義室	卒業研究オリエンテーション	卒業研究の概要、Evidence-based Medicine (EBM)とは、研究テーマの設定と研究デザイン、データ処理の方法、研究計画書について	杉本　久美子	SBOs: 1, 2, 4
2	10/24	13:00-15:50	第4講義室	文献検索と EBM	論文の基本的構成、文献の検索方法と批判的吟味について、文献検索の実施と論文読解	杉本　久美子	SBOs: 3, 4
3	10/31	13:00-15:50	第4講義室	文献検索 1	文献検索の実施と論文読解 1	杉本　久美子	SBOs: 3-5
4	11/7	13:00-15:50	第4講義室	文献検索 2	文献検索の実施と論文読解 2	杉本　久美子	SBOs: 3-5
5	11/14	13:00-15:50	第4講義室	論文紹介	グループにおける論文紹介、全体発表	杉本　久美子 口腔保健工学専攻教員	SBOs: 3-5

成績評価の方法

・出席状況、授業態度、レポート課題および発表の内容から総合的評価を行う。
・ユニット「口腔保健材料力学 A」(1 年次)の成績と合わせて、科目「口腔保健材料力学」の評価を行う。

準備学習などについての具体的な指示

・事前の資料配付および e-learning 上へのアップロードがあった場合には、予習をして授業に臨むこと。

参考書

保健・医療のための研究法入門 : 発想から発表まで／Diana M.Bailey 著,朝倉隆司 監訳,朝倉京子 [ほか]訳,：協同医書出版社, 2001
Excel による統計入門 : Excel 2007 対応版／縄田和満 著,：朝倉書店, 2007
歯科衛生研究の進め方・論文の書き方／金澤紀子, 武井典子, 合場千佳子, 岩久正明 編,：医歯薬出版, 2007
SPSS によるやさしい統計学／岸学 著,オーム社開発局 企画編集,：オーム社, 2012
SPSS によるやさしいアンケート分析／小木曽道夫 著,オーム社開発局 企画編集,：オーム社, 2012

履修上の注意事項

・事前の資料配付および e-learning 上へのアップロードがあった場合には、予習をして授業に臨むこと。
・主体的に卒業研究に取り組み、英語論文も積極的に検索するよう心掛けること。

連絡先

高橋　英和:takahashi.bmoe@tmd.ac.jp
杉本　久美子:ksugimoto.bohs@tmd.ac.jp

オフィスアワー

高橋　英和:あらかじメールにて面談時間を相談のこと

杉本　久美子:随時

時間割番号	023039				
科目名	口腔保健材料力学実習				
担当教員	杉本　久美子, 大木　明子, 口腔保健工学専攻教員				
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	1

時間数:45時間

授業形態:実習

主な講義場所

口腔保健工学専攻第4講義室

授業の目的、概要等

各学生の知的興味、将来の方向性ならびに海外研修を通して見いだした課題に沿ってテーマを選択し、研究の計画・立案を行い、実施する。研究結果を論文にまとめるまでの過程を通して、研究への理解と意欲を培う。

授業の到達目標(SBOs)

1. 各人の知的興味、将来の方向性に沿って研究テーマを設定する。
2. 研究実施にあたって必要となる倫理的配慮、個人情報保護を理解し、実践する。
3. 研究テーマに関連した論文の検索と科学的吟味を行い、今日までの知見を整理する。
4. 研究テーマ、目的に基づいた研究の計画を作成する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	12/3	09:00-10:50	第4講義室	研究実施の流れ	研究計画の立て方、倫理的配慮・個人情報の管理等の留意点等について	杉本　久美子	SBOs: 1-4
2	12/3	11:00-15:50	第4講義室	研究テーマの検討	研究テーマの検討、関連文献検索	杉本　久美子	SBOs: 1-4
3	12/5	09:00-10:50	第4講義室	特別研修	2年生海外研修報告会参加	大木　明子, 口腔保健工学専攻教員	SBOs: 1
4	12/12	09:00-15:50	第4講義室	研究テーマの絞り込み	研究テーマの検討、文献検索	杉本　久美子	SBOs: 1-4
5	12/19	09:00-15:50	第4講義室	研究テーマの決定、研究計画の検討	研究計指導者・研究テーマの決定、研究計画の検討	口腔保健工学専攻教員	SBOs: 1-4
6	1/9	10:00-15:50	第4講義室	研究計画に関する情報収集	4 年生卒業研究発表会に参加	口腔保健工学専攻教員	SBOs: 1-4
7	1/16	09:00-14:50	第4講義室	研究計画の検討	研究計画の検討、テーマ関連文献の網羅的検索	口腔保健工学専攻教員	SBOs: 1-4
8	1/23	09:00-14:50	第4講義室	研究計画の決定	研究計画の決定、研究計画書の作成	口腔保健工学専攻教員	SBOs: 1-4
9	1/30	09:00-14:50	第4講義室	研究計画書作成、発表会準備	研究計画書完成、発表会のスライド作成	口腔保健工学専攻教員	SBOs: 1-4
10	2/6	09:00-14:50	第4講義室	研究計画報告	研究計画発表会	口腔保健工学専攻教員	SBOs: 1-4

成績評価の方法

・文献報告、研究計画書、研究計画発表の内容から総合的評価を行う。

準備学習などについての具体的な指示

・e-learning(Web Class)を連絡等に利用するので、チェックを怠らないこと。

参考書

保健・医療のための研究法入門 : 発想から発表まで／Diana M.Bailey 著,朝倉隆司 監訳,朝倉京子 [ほか]訳,:協同医書出版社, 2001

Excel による統計入門 : Excel 2007 対応版／縄田和満 著,:朝倉書店, 2007

歯科衛生研究の進め方・論文の書き方／金澤紀子, 武井典子, 合場千佳子, 岩久正明 編,:医歯薬出版, 2007

SPSS によるやさしい統計学／岸学 著,オーム社開発局 企画編集,:オーム社, 2012

SPSS によるやさしいアンケート分析／小木曽道夫 著,オーム社開発局 企画編集,:オーム社, 2012

SPSS による医学・歯学・薬学のための統計解析／石村貞夫, 謝承泰, 久保田基夫 著,:東京図書, 2011

履修上の注意事項
・e-learning（Web Class）を連絡等に利用するので、チェックを怠らないこと。 ・常に研究指導教員と密接な連絡をとり、助言を得ながら研究を進め、研究進行表に認印をもらうこと。
連絡先
ksugimoto.bohs@tmd.ac.jp
オフィスアワー
随時

時間割番号	023040				
科目名	科学英語Ⅱ				
担当教員	大木　明子				
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1

時間数：15時間

授業形態：講義

主な講義場所

口腔保健工学専攻　第１講義室

授業の目的、概要等

歯科で使われる英語について、英論文を読みながら基本的な知識を理解する。

授業の到達目標(SBOs)

1. 歯学系英語の教科書や研究英論文を読んで内容を理解する。
2. 英論文の要点をまとめ、わかりやすい日本語抄録を作成する。
3. 英語で抄録を作成する。
4. 英論文を読み、抄録を作成し、論文の内容をわかりやすく説明する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/11	09:00-09:50	第1講義室	英語の教科書１	概説、教科書(義歯)	大木　明子	SBOs　1
2	4/18	09:00-09:50	第1講義室	英語の教科書２	教科書(義歯)	大木　明子	SBOs　1
3	4/25	09:00-09:50	第1講義室	英語の教科書３	教科書(義歯)	大木　明子	SBOs　1
4	5/2	09:00-09:50	第1講義室	英語の教科書４	教科書(顎顔面補綴)	大木　明子	SBOs　1
5	5/16	09:00-09:50	第1講義室	英語の教科書５	教科書(顎顔面補綴)	大木　明子	SBOs　1
6	5/23	09:00-09:50	第1講義室	英論文を読む１	概説、科学論文の構成、抄録	大木　明子	SBOs　1,2
7	5/30	09:00-09:50	第1講義室	英論文を読む２	論文１	大木　明子	SBOs　1,2
8	6/6	09:00-09:50	第1講義室	英論文を読む３	論文２	大木　明子	SBOs　1,2
9	6/13	09:00-09:50	第1講義室	英論文を読む４	論文３	大木　明子	SBOs　1,2
10	6/27	09:00-09:50	第1講義室	英論文を読む５	論文４	大木　明子	SBOs　1,2
11	7/4	09:00-09:50	第1講義室	単語到達度テスト、抄録の作成	英単語到達度テスト、英文抄録の作成	大木　明子	SBOs　1-3
12	7/11	09:00-10:50	第1講義室	抄読会１	抄読会、プレゼンテーション	大木　明子	SBOs　4
13	7/18	09:00-10:50	第1講義室	抄読会２	抄読会、プレゼンテーション	大木　明子	SBOs　4

成績評価の方法

出席状況、授業態度、課題レポート、単語到達度テスト等を総合的に評価し、合否を判定する。

準備学習などについての具体的な指示

事前に発表される英論文を読み、課題を WebClass にて提出すること。抄読会については発表準備を行うこと。

試験の受験資格

3 分の 2 以上の出席

参考書

日本人のための医学英語論文執筆ガイド：thinking in English でネイティブレベルの paper を書く／Amanda Tompson, 相川直樹 著,：医学書院, 2008

MaCracken's Removable Partial Prosthodontics 11th Ed.／AB Carr, GP McGivney, DT Brown：Elsevier Mosby, 2005

Maxillofacial Rehabilitation 3rd Edition／J Beumer Ⅲ, MT Marunick, SJ Esposito：Quintessence, 2011

履修上の注意事項

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。事前に出される課題を行い、WebClass にて提出すること。

連絡先

大木　明子: moki.mfoe@tmd.ac.jp

オフィスアワー

大木　明子:メールにて面談の日程を調整すること。2 号館 2 階准教授室

時間割番号	023024				
科目名	咬合学実習				
担当教員	鈴木　哲也, 大木　明子, 安江　透, 冨川　紘一, 上條　真吾, 得本　佳代				
開講時期	1.5 通年	対象年次	2～3	単位数	1

時間数:(1)15 時間、(2)30 時間
授業形態:実習
咬合学実習は、咬合学実習(1)(2 年次)および咬合学実習(2)(3 年次)により構成される。

主な講義場所

(1)口腔保健工学専攻　第 3 実習室
(2)口腔保健学科　相互実習室（1 号館 8 階)(6 月 16、23 日）
　口腔保健工学専攻　第 1 実習室（7 月以降）

授業の目的、概要等

(1)顎口腔系の形態と機能の特徴を理解し、それらを適切に回復、維持するための基礎となる咬合に関する学理と技法を習得する。
(2)咬合器付着模型を用いた学生相互実習により、下顎運動と歯の咬合接触を中心とした咀嚼と咬合のメカニズムを理解する。

授業の到達目標(SBOs)

(1)
1. 下顎運動範囲を理解する。
2. 下顎位の記録方法を説明する。
3. 下顎位の記録装置を製作する。

(2)
1. 予備印象採得の方法を知る。
2. 研究用模型を製作する。
3. 半調節性咬合器の種類を説明する。
4. フェイスボウトランスファーの方法を理解する。
5. チェックバイトを説明する。
6. 顆路調整を行う。
7. インプラントの埋入手術を擬似体験する。
8. インプラント用個人トレーの特徴を説明する。
9. インプラント模型の製作方法を説明する。
10. 各種 CAD/CAM システムを体験する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	6/16	09:00-15:50	第1実習室	予備印象採得と研究用模型	アルジネート印象材による予備印象採得、研究用模型の製作、歯科用ユニットの使用法	鈴木　哲也, 大木　明子, 得本　佳代	(2)SBOs 1, 2
2	6/23	09:00-15:50	第1実習室	フェイスボウトランスファー	半調節性咬合器の種類と取り扱い、フェイスボウトランスファー、咬合器装着、チェックバイト法、顆路調整	鈴木　哲也, 大木　明子, 得本　佳代, 安 江　透, 上條　真吾	(2)SBOs 3、4
3	6/30	11:00-17:50	第1実習室	顆路調節	チェックバイト法、顆路調整	鈴木　哲也, 安 江　透, 上條　真吾, 冨川　紘一	(2)SBOs 5、6
4	7/7	09:00-15:50	第1実習室	インプラントの埋入	模型によるインプラント埋入術式の体験、オープントレーの製作	安 江　透, 上條　真吾	(2)SBOs 7-9
5	7/14	09:00-15:50	第1実習室	インプラント作業用模型	インプラント作業用模型の製作	安 江　透, 上條　真吾	(2)SBOs 7-9

成績評価の方法

(1)

・提出物(作品)を総合的に判断し評価する。

(2)

・毎回の提出物(作品)を総合的に判断し、評価する。

・出席状況、授業態度を評価に加味する。

・咬合学実習の最終成績判定は咬合学実習(1)および(2)の評価を総合して行う。

準備学習などについての具体的な指示

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

参考書

顎口腔機能学／全国歯科技工士教育協議会 編.新谷明喜, 志賀博, 荒川一郎, 小泉順一, 市川基 著:医歯薬出版, 2007

コンプリートデンチャーテクニック／細井紀雄 ほか編:医歯薬出版, 2011

必ず上達歯冠修復(上)／萩原芳幸 著:クインテッセンス出版, 2009

よくわかる口腔インプラント学／赤川安正, 松浦正朗, 矢谷博文, 渡邉文彦 編:医歯薬出版, 2011

連絡先

鈴木 哲也: suzuki.peoe@tmd.ac.jp

大木 明子: moki.mtoe@tmd.ac.jp

上條 真吾: s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp

冨川 紘一: fukawa.peoe@tmd.ac.jp

安江 透: yasue.fpoe@tmd.ac.jp

オフィスアワー

鈴木 哲也: 随時 メールにて日時を相談

大木 明子: メールにて面談の日程を調整すること

上條 真吾: メールにて面談の日程を調整すること

冨川 紘一: 随時

安江 透: 随時

時間割番号	023042				
ユニット名	部分床義歯工学実習Ｂ				
担当教員	鈴木　哲也, 安江　透, 冨川　紘一, 沖本　祐真				
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1

科目名：有床義歯工学実習
時間数：45時間
授業形態：実習

主な講義場所

第1実習室、重合・鋳造室

授業の目的、概要等

部分的歯牙欠損患者の口腔機能回復のための理論と、各種構成要素に用いる材料の諸性質を理解、および補綴装置の構造力学的安定を考慮し、個々の臨床ケースに対応できる部分義歯製作のための技法および技術を身につける。

授業の到達目標(SB0s)

1. 構造力学的安定と、適合精度向上を考慮した設計をする。
2. 各支台歯に適切な維持力と維持装置を設計する。
3. 義歯の着脱方向を正確に設定して、的確にブロックアウトする。
4. 鋳造床製作上不要な部分は後の複印象の精度を考慮してブロックアウトする。
5. リリーフ部のワックス表面に必要な外形線を再描記する。
6. シリコーン印象材の理工学的特性および複印象システムの特徴を理解し、精密に印象 採得する。
7. シリコーンモールドに変形を伴うような外力を与えないよう留意しながら作業、保管する。
8. 複印象システムおよび耐火埋没材の理工学的特徴を理解し、精密な複模型を製作する。
9. 耐火模型を作業し易い適切な大きさにトリミングし、表面処理を行う。
10. 耐火模型へ傷を付けないように設計した外形線を再描記する。
11. 力学的安定を考慮し、構造設計を行う。
12. ワックスパターンは、厚み、デザインの変形を避け、切削、追加、加熱コントロールを行う。
13. フィニッシングラインは人工歯との位置、歯肉形成を考慮した形態にする。
14. 耐火模型からワックスが剥離しないように圧接、固定する。
15. 鋳造機の特性を理解し、適切な位置、形状のスプルーイングを行う。
16. リン酸塩系埋没材の理工学的性質を理解し、気泡を混入しない埋没をする。
17. リン酸塩系埋没材の理工学的性質を理解し、適切な環境で焼却時まで保管する。
18. リン酸塩系埋没材の理工学的性質を理解し、的確な温度管理でリング焼却する。
19. 高周波鋳造機の特性を理解し、欠陥のない鋳造体を製作する。
20. 外形線に沿って正確なワイヤークラスプを屈曲する。
21. 高速レーズの仕組みを理解し、鋳造体の加熱を避け安全にスプルーカットする。
22. 作業用模型への適合方法を理解し、的確なトリミングおよび研磨をする。
23. 各工程における研削材の性質を理解し、工程終了毎に表面荒さを確認しながら研磨をする。
24. ハンドピースの回転数、加重をコントロールし鋳造体の加熱を避けながら研磨する。
25. 使用金属の理工学的特性を理解して、それぞれの支台装置に合った維持力を調整する。
26. パラフィンワックスの理工学的特性を理解し、最適なろう堤を形成する。
27. 審美性に配慮して人工歯排列する。
28. 機能性に配慮して人工歯排列する。
29. 機能性および生体親和性に配慮して歯肉形成する。
30. パラフィンワックスを的確に操作し、滑沢な表面に仕上げる。
31. 流し込みレジンの特性を理解し、気泡を混入しないスプルーイングをする。
32. シリコーン印象材の理工学的特性を理解し、精密に印象採得する。
33. マスターモデルの状態を考慮して、的確な条件、温度管理で流ロウする。
34. 分離材の特性を理解し、必要な範囲に的確に塗布する。
35. 即時重合レジンの理工学的特性を理解し、適正な時間で完了するように注入する。
36. 適正な温度管理で加熱重合する。

37. 重合体および作業用模型に必要以上の外力を加えることなく、掘り出しする。
38. 義歯、維持装置を変形させることなく、作業用模型から取り外す。
39. 外形線に沿って的確に形態修正する。
40. 形態修正による切削傷を効率よく荒研磨する。
41. レーズ研磨の仕組みを理解し、効率よく艶出し研磨する。
42. バフを使用して鏡面研磨する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/7	09:00-10:50	第1実習室	義歯の設計、サベイイング、ブロックアウト・リリーフ	支台装置の概略と構成要素、金属床外形線の記入、ブロックアウトおよびリリーフ	安江　透,冨川　紘一,沖本　祐真	SBOs 1-5
2	4/7	11:00-14:50	第1実習室	耐火模型の製作	複印象採得、鋳造床製作術式の講義	安江　透,冨川　紘一,沖本　祐真	SBOs 6,7
3	4/14	09:00-10:50	第1実習室	耐火模型の製作	耐火模型材注入、耐火模型の表面処理	安江　透,冨川　紘一,沖本　祐真	SBOs 8,9
4	4/14	11:00-14:50	第1実習室	ワックスアップ	力学的構造設計、ワックスアップ	安江　透,冨川　紘一,沖本　祐真	SBOs 10-12
5	4/21	09:00-14:50	第1実習室	ワックスアップ	力学的構造設計、ワックスアップ	安江　透,冨川　紘一,沖本　祐真	SBOs 12-14
6	4/28	09:00-14:50	第1実習室	埋没	スプルーイング、埋没	安江　透,冨川　紘一,沖本　祐真	SBOs 15-17
7	5/12	09:00-10:50	第1実習室	鋳造	鋳造、スプルーカット	安江　透,冨川　紘一,沖本　祐真	SBOs 17-19
8	5/12	11:00-14:50	第1実習室	形態修正、研磨	形態修正、内面研磨	安江　透,冨川　紘一,沖本　祐真	SBOs 20-24
9	5/19	09:00-14:50	第1実習室	研磨・適合	クラスプの維持力調整、仕上げ研磨、作業用模型への適合	安江　透,冨川　紘一,沖本　祐真	SBOs 23-25
10	5/26	09:00-11:50	第1実習室	人工歯排列	臼歯部人工歯排列	安江　透,冨川　紘一,沖本　祐真	SBOs 26-28
11	5/26	13:00-14:50	第1実習室	歯肉形成	歯肉形成	安江　透,冨川　紘一,沖本　祐真	SBOs 29,30
12	6/2	09:00-11:50	第1実習室	レジン重合	コア採得、流し込みレジン重合	安江　透,冨川　紘一,沖本　祐真	SBOs 31-36
13	6/2	13:00-14:50	第1実習室	形態修正	咬合調整、形態修正	安江　透,冨川　紘一,沖本　祐真	SBOs 37-39
14	6/9	09:00-14:50	第1実習室	研磨	レジン研磨、完成	安江　透,冨川　紘一,沖本　祐真	SBOs 40-42

成績評価の方法

・有床義歯工学実習は、2 年前期に全部床義歯工学実習を、後期に部分床義歯工学実習Ａを、3 年前期に部分床義歯工学実習Ｂを、それぞれ別の課題を行い、全ての課題に合格しなければならない。
・各製作ステップにおいてチェックを行い、進捗状況を評価する。また採点項目を設定し、完成した製作物を評価する。
・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。
・科目「有床義歯工学実習」の最終成績判定は、ユニット「全部床義歯工学実習」、「部分床義歯工学実習 A」および「部分床義歯工学実習 B」の評価を総合して行う。

準備学習などについての具体的な指示

実習予定表および実習書を事前に確認し、当日行う実習内容を把握しておく。
Web Class に資料がアップされているときには、事前に確認しておく。

参考書
新 1 週間でマスターするキャストパーシャル／川島哲 著：医歯薬出版, 2012
T.K.M.キャストデンチャーのすべて : bio-mimetic cast denture／川島哲 著：医歯薬出版, 2005
履修上の注意事項
事前に資料の配付、Web Class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。
連絡先
鈴木 哲也:suzuki.peoe@tmd.ac.jp
冨川 紘一:fukawa.peoe@tmd.ac.jp
安江 透:yasue.fpoe@tmd.ac.jp
オフィスアワー
鈴木 哲也:suzuki.peoe@tmd.ac.jp
冨川 紘一:fukawa.peoe@tmd.ac.jp
安江 透:yasue.fpoe@tmd.ac.jp

時間割番号	023043				
科目名	欠損再建工学				
担当教員	鈴木　哲也, 塩田　真, 大木　明子, 救命救急センター教員				
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1

時間数:15 時間

授業形態:講義

主な講義場所

口腔保健工学専攻　第 4 講義室

授業の目的、概要等

歯および口腔周囲組織の欠損の病態およびその治療法について、インプラント義歯および可撤性義歯を中心に理解する。

授業の到達目標(SBOs)

1. 口腔インプラントの発展とオッセオインテグレーションについて説明する。
2. インプラント治療に必要な診察と検査項目を列挙する。
3. インプラント体の生体力学的特異性を説明する。
4. インプラントの外科手術の流れを説明する。
5. インプラントの補綴治療の流れを説明する。
6. 上部構造の製作法を説明する。
7. 3D 造形の基礎を知る。
8. 救急救命について理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/7	16:00-17:50	第4講義室	口腔インプラントのための基礎科学	現代の口腔インプラントシステム、インプラントに対する生体反応	塩田　真	SBOs 1
2	4/14	16:00-17:50	第4講義室	口腔インプラントの診断と治療学	生体力学と補綴デザインの原則、治療計画の立案	塩田　真	SBOs 2-4
3	4/21	16:00-17:50	第4講義室	口腔インプラントの外科手術と補綴術式、	インプラント埋入手術とその関連手術、作業用模型の製作、アバットメントの選択と調整、上部構造の製作	塩田　真	SBOs 5、6
4	7/22	10:00-14:50	第4講義室	3D 造形 1	3D プリンターの使用法	鈴木　哲也, 大木　明子	SBOs 7
5	7/29	10:00-11:50	第4講義室	3D 造形 2	3D プリンターの試用	鈴木　哲也, 大木　明子	SBOs 7
6	7/30	09:00-11:50	スキルスラボⅠ	救急救命	救急救命の必要性と対応	救命救急センター教員	SBOs 8

成績評価の方法

・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総括的評価を行う。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。

参考書

必ず上達歯冠修復(上)／萩原芳幸　著:クインテッセンス出版, 2009

よくわかる口腔インプラント学／赤川安正, 松浦正朗, 矢谷博文, 渡邉文彦　編:医歯薬出版, 2011

写真でマスターする顎関節症治療のためのスプリントのつくり方・つかい方／鱒見進一, 皆木省吾　編著:ヒョーロン・パブリッシャーズ, 2011

連絡先

鈴木　哲也:suzuki.peoe@tmd.ac.jp

塩田　真:mshiota.impl@tmd.ac.jp

大木　明子:moki.mfoe@tmd.ac.jp

オフィスアワー

鈴木　哲也:随時 メールにて日時を相談

塩田　真:メールにて面談の日程を調整すること
大木　明子:メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023044				
ユニット名	歯冠修復工学Ｂ				
担当教員	池田　正臣, 岡田　大蔵, 駒田　亘				
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	2

科目名：歯冠修復工学
時間数：30時間
授業形態：講義

授業の目的、概要等

各種の歯冠修復及び架工義歯に関する知識を修得する。

授業の到達目標(SB0s)

1. 生体と間接法による模型の咬合接触の違いを理解する。
2. 術前のテンポラリークラウンの製作方法について理解する
3. ブリッジの構造と支台歯形成および印象について理解する。
4. ブリッジワックスアップについて理解する。
5. 術前のテンポラリークラウンの調整について理解する。
6. 各種修復物の支台歯・窩洞形態を理解する。
7. 各種修復物のマージン形態を理解する。
8. ファイバーコアとメタルコアの違いを理解する。
9. 歯根破折の原因を説明する。
10. ファイバーコアの製作方法を理解する。
11. 分割コア製作方法を理解する。
12. CR インレーとメタルインレーの違いを説明する
13. CR インレーの製作方法を理解する。
14. 間接法用コンポジットレジンについて説明する
15. 硬質レジンジャケットクラウンの製作方法を理解する。
16. ファイバーブリッジの製作方法を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/8	13:00-14:50	第1講義室	間接法と生体	顎骨の歪みや歯の微小変位が間接法に与える影響	岡田　大蔵	SBOs 1
2	4/9	09:00-10:50	第1講義室	ブリッジ	術前 Tek 製作方法(デモ)	池田　正臣	SBOs 2
3	4/15	09:00-10:50	第1講義室	ブリッジ	ブリッジの構造、支台歯形成と印象	岡田　大蔵	SBOs 3
4	4/16	09:00-10:50	第1講義室	ブリッジ	ブリッジのワックスアップ(デモ)	池田　正臣	SBOs 4
5	4/22	09:00-10:50	第1講義室	ブリッジ	術前 Tek 調整、ブリッジの調整とセット	岡田　大蔵	SBOs 5
6	4/23	09:00-10:50	第1講義室	支台歯・窩洞形態	各種修復物の支台歯・窩洞形態	駒田　亘	SBOs 6
7	4/30	09:00-10:50	第1講義室	マージン形態	各種修復物のマージン形態	駒田　亘	SBOs 7
8	5/13	09:00-10:50	第1講義室	ファイバーコア	ファイバーコアの特徴、歯根破折	駒田　亘	SBOs 8, 9
9	5/14	09:00-10:50	第1講義室	ファイバーコア	間接法ファイバーコア製作方法(デモ)	池田　正臣	SBOs 10
10	5/20	09:00-10:50	第1講義室	分割コア	分割コアの製作方法(デモ)	池田　正臣	SBOs 11
11	5/21	09:00-10:50	第1講義室	CR インレー	CR インレーの形態と製作方法(デモ)	池田　正臣	SBOs 12, 13
12	5/27	09:00-10:50	第1講義室	硬質レジン	間接法の材料と接着操作	池田　正臣	SBOs 14
13	5/28	09:00-10:50	第1講義室	レジンジャケットクラウン	レジンジャケットクラウン製作方法(デモ)	池田　正臣	SBOs 15
14	6/3	09:00-10:50	第1講義室	ファイバーブリッジ	ファイバーブリッジ製作方法	池田　正臣	SBOs 15
15	6/10	09:00-10:50	第1講義室	ファイバーブリッジ	ファイバーブリッジ製作方法	池田　正臣	SBOs 16

成績評価の方法

・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総括的評価を行う。
・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。
・歯冠修復工学Ａは 2 年後期に、歯冠修復工学Ｂは 3 年前期にそれぞれ試験を行い、全ての試験に合格しなければならない。

・歯冠修復工学の最終成績判定はユニット「歯冠修復工学Ａ」と「歯冠修復工学Ｂ」の評価を総合して行う。
準備学習などについての具体的な指示 事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。
教科書 クラウンブリッジ補綴学／川和忠治 [ほか]編：医歯薬出版，2009
参考書 歯冠修復技工学／全国歯科技工士教育協議会 編,末瀬一彦，松村英雄，丸茂義二，雲野泰史，下江宰司 著：医歯薬出版，2007 保存修復学 21／田上順次，千田彰，奈良陽一郎，桃井保子 監修：永末書店，2011 接着歯学 : Minimal intervention を求めて／日本接着歯学会 編：医歯薬出版，2002
連絡先 池田　正臣:ikeda.csoe@tmd.ac.jp 岡田　大蔵:d.okada.fpro@tmd.ac.jp 駒田　亘:w.komada.fpro@tmd.ac.jp
オフィスアワー 池田　正臣:メールにて面談の日程を調整すること 岡田　大蔵:随時 駒田　亘:随時

時間割番号	023045				
科目名	歯冠修復工学実習 B				
担当教員	池田　正臣, 上條　真吾				
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	3

科目名:歯冠修復工学実習
時間数:150時間
授業形態:講義

授業の目的、概要等

各種の歯冠修復及び架工義歯に関する知識及び技術について修得する。

授業の到達目標(SBOs)

1. ブリッジ模型の扱いを理解し、正確に模型を製作する。
2. 術前のテンポラリーブリッジ(Br-Tek)を製作する。
3. ブリッジ模型の扱いを理解し、分割、トリミングする。
4. 適合精度の高いワックスパターンを製作する。
5. ポンティックの基底面形態を理解する。
6. ポンティックを窓開けする理由を理解する。
7. 単冠とブリッジのスプルーイング・鋳造の違いについて理解する。
8. 適切な辺縁形態、隣接面接触、咬合接触を付与する。
9. 鏡面研磨する。
10. ファイバーコアを製作する。
11. 分割コアをワックスアップする。
12. CR インレーを製作する。
13. 硬質レジンジャケットクラウンを製作する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/8	09:00-11:50	第1実習室	模型製作	ブリッジ Tek、メタルブリッジ、CR インレー、レジンコア、レジンジャケットクラウンに使用する模型の製作	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 1
2	4/8	15:00-16:50	第1実習室	模型製作	ブリッジ Tek、メタルブリッジ、CR インレー、レジンコア、レジンジャケットクラウンに使用する模型の製作	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 1
3	4/9	11:00-15:50	第1実習室	模型製作	ブリッジ Tek、メタルブリッジ、CR インレー、レジンコア、レジンジャケットクラウンに使用する模型の製作	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 1
4	4/10	11:00-16:50	第1実習室	ブリッジ Tek 完成	常温重合レジン注入、調整、研磨、完成	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 2
5	4/11	10:00-15:50	第1実習室	咬合器装着	咬合器装着、模型分割、歯型のマージン出し	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 3
6	4/15	11:00-16:50	第1実習室	ブリッジのワックスアップ	支台歯のワックスアップ	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 4
7	4/16	11:00-15:50	第1実習室	ブリッジのワックスアップ	支台歯のワックスアップ	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 4
8	4/17	11:00-16:50	第1実習室	ブリッジのワックスアップ	ポンティックのワックスアップ	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 5, 6
9	4/18	10:00-15:50	第1実習室	ブリッジのワックスアップ	ワックスパターンの連結	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 5, 6
10	4/22	11:00-16:50	第1実習室	ポンティック粘膜面形態付与	粘膜面形態付与	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 5, 6

11	4/23	11:00-15:50	第1実習室	ポンティック窓開け	窓開け、リテンションビーズ付与	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 5, 6
12	4/24	11:00-16:50	第1実習室	スプルーイング	スプルーイング、埋没	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 7
13	4/25	10:00-15:50	第1実習室	鋳造	鋳造	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 7
14	4/30	11:00-15:50	第1実習室	内面調整	適合確認、内面調整	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 8
15	5/1	11:00-16:50	第1実習室	調整	接触点調整、咬合調整、荒研磨、窓開け部辺縁調整	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 8
16	5/2	10:00-15:50	第1実習室	メタルブリッジの完成	前装レジン築盛、最終研磨、完成	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 9
17	5/13	11:00-16:50	第1実習室	予備日	予備日	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 9
18	5/14	11:00-15:50	第1実習室	ファイバーコアの築盛、完成	ファイバーポストの調整、レジン築盛、形態修正、完成	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 10
19	5/15	11:00-16:50	第1実習室	分割コア	ワックスアップ	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 11
20	5/16	10:00-15:50	第1実習室	予備日	予備日	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 10, 11
21	5/20	11:00-16:50	第1実習室	CR インレーの築盛	ボディー築盛	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 12
22	5/21	11:00-15:50	第1実習室	CR インレーの築盛	エナメル築盛	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 12
23	5/22	11:00-16:50	第1実習室	CR インレーの完成	調整、研磨、完成	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 12
24	5/23	10:00-15:50	第1実習室	予備日	予備日	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 12
25	5/27	11:00-16:50	第1実習室	硬質レジンジャケットクラウンの築盛	ボディー築盛	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 13
26	5/28	11:00-15:50	第1実習室	硬質レジンジャケットクラウンの築盛	エナメル築盛	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 13
27	5/29	13:00-16:50	第1実習室	硬質レジンジャケットクラウンの調整	形態修正	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 13
28	5/30	10:00-15:50	第1実習室	硬質レジンジャケットクラウンの調整	接触点調整、咬合調整	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 13
29	6/3	11:00-15:50	第1実習室	硬質レジンジャケットクラウンの完成	研磨、完成	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 13
30	6/10	11:00-15:50	第1実習室	予備日	予備日	池田　正臣, 上條　真吾	SBOs 13

成績評価の方法

・歯冠修復工学実習は、2 年後期に歯冠修復工学実習 A を、3 年前期に歯冠修復工学実習 B を、それぞれ別の課題で評価し、全ての課題に合格しなければならない。

・出席状況、実習態度を総括的評価に加味する。

・科目「歯冠修復工学実習」の最終成績判定は、ユニット「歯冠修復工学実習 A」および「歯冠修復工学実習 B」の評価を総合して行う。

準備学習などについての具体的な指示

事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

参考書

歯冠修復技工学／全国歯科技工士教育協議会 編,末瀬一彦, 松村英雄, 丸茂義二, 雲野泰史, 下江宰司 著:医歯薬出版, 2007

保存修復学21／田上順次，千田彰，奈良陽一郎，桃井保子 監修：永末書店，2011 クラウンブリッジ補綴学／川和忠治 [ほか]編：医歯薬出版，2009 接着ここが知りたい／日本接着歯学会 編：口腔保健協会，2008
連絡先 池田　正臣:ikeda.csoe@tmd.ac.jp 上條　真吾:s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp
オフィスアワー 池田　正臣:メールにて面談の日程を調整すること 上條　真吾:メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023046				
科目名	CAD/CAM システム工学				
担当教員	安江　透, 上條　真吾, 三浦　宏之				
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1

時間数:15時間
授業形態:講義

主な講義場所
第1講義室

授業の目的、概要等
歯科用陶材を応用した審美修復物、とりわけ金属冠およびジルコニアに焼き付けて製作する陶材焼付金属冠およびオールセラミックスの理工学的特徴ならびにその製作法を習得する。

授業の到達目標(SBOs)
1. 陶材焼付金属冠の臨床的意義を説明する。
2. 陶材焼付金属冠の適応症を説明する。
3. 陶材と金属の接合について説明する。
4. 陶材焼付金属冠の製作法を説明する。
5. 陶材焼付を応用したブリッジの製作法を説明する。
6. 陶材を応用した修復物の特徴ならびに製作法を説明する。
7. 歯科用 CAD/CAM を用いたスキャニングの特徴ならびに注意点を説明する。
8. ジルコニアの理工学的特徴を説明する。
9. ジルコニアを臨床応用する際の注意点について説明する。
10. 歯科用陶材の種類および特徴について説明する。
11. 歯科用陶材を用いた各種築盛方法を説明する。
12. 天然歯の光学的特徴について説明する。
13. シェードガイドの取り扱い方について説明する。
14. シェードマッチングの方法ならびに使用する機器に関する注意点を説明する。
15. 歯科に応用されている CAD/CAM システムの特徴を説明する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	6/4	09:00-10:50	第1講義室	陶材焼付金属冠の基礎	陶材焼付金属冠の特徴、製作法	安江　透 上條　真吾	SBOs 1-4
2	6/11	09:00-09:50	第1講義室	陶材を応用した修復物	インプラント上部構造、オールセラミックス	安江　透 上條　真吾	SBOs 6
3	6/17	09:00-10:50	第1講義室	陶材焼付金属冠の製作	単冠、ブリッジの製作法、臨床例	安江　透 上條　真吾	SBOs 4,5
4	6/18	09:00-10:50	第1講義室	CAD/CAM の操作	LAVA SCAN ST でのダブルスキャニング法	安江　透 上條　真吾	SBOs 7
5	6/24	09:00-10:50	第1講義室	ジルコニア修復	歯科用ジルコニアの基本的性質と臨床応用	三浦　宏之	SBOs 8,9
6	7/1	09:00-10:50	第1講義室	歯科用陶材	歯科用陶材の種類、築盛用陶材の種類と操作法	安江　透 上條　真吾	SBOs 10,11
7	7/8	09:00-10:50	第1講義室	シェードマッチング	天然歯の光学的要素、シェードの基礎、シェードマッチング法	安江　透 上條　真吾	SBOs 12-14
8	7/15	09:00-10:50	第1講義室	歯科用 CAD/CAM	各種歯科用 CAD/CAM の特徴	安江　透 上條　真吾	SBOs 15

成績評価の方法
出席状況、授業態度、筆記試験を総合的に評価し合否を判定する。

準備学習などについての具体的な指示
Web Class に資料がアップされているときには、事前に確認しておく。

参考書
CAD/CAM デンタルテクノロジー／日本歯科 CAD CAM 学会, 全国歯科技工士教育協議会 監修,末瀬一彦, 宮崎隆 編,:医歯薬出版, 2012
ザ・メタルセラミックス : カラーアトラス／山本真 著,:クインテッセンス出版, 1982
メタルセラミックス築盛の基礎 : カラーアトラス／山本真 著,:クインテッセンス出版, 1989
最新 CAD/CAM レストレーション／三浦宏之, 宮崎隆 編:補綴臨床別冊 医歯薬出版, 2008
メタルフリーレストレーションと CAD/CAM 技工の最前線／細川隆司,, 山下恒彦 編:歯科技工別冊 医歯薬出版, 2007
履修上の注意事項
事前に資料の配布、WEB Class へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。
連絡先
安江 透:yasue.fpoe@tmd.ac.jp
上條 真吾:s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp
三浦 宏之:h.miura.fpro@tmd.ac.jp
オフィスアワー
安江 透:随時
上條 真吾:メールにて面談の日程を調整すること
三浦 宏之:水 10:30 ? 12:00

時間割番号	023047				
科目名	CAD/CAM システム工学実習				
担当教員	安江　透, 冨川　紘一, 上條　真吾				
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1

時間数:45時間
授業形態:実習

主な講義場所
第1実習室、重合・鋳造室、CAD/CAM 実習室

授業の目的、概要等
・審美歯冠修復に用いられるメタルセラミックスのフレームおよびオールセラミックスのジルコニアフレームが備えるべき理工学的条件および形態的特徴を理解し、後に行う陶材築盛作業を踏まえたフレーム形態を製作できる技術を習得する。
・歯科用セラミック材料の特性と築盛原理、色調表現と築盛技術の理論を理解した上で、歯冠用セラミック材料の築盛操作工程を実習し、色調表現法や形態修正による天然歯の質感表現の実際を習得する。

授業の到達目標(SBOs)
1. CAD を使用し理想的なフレームワークを設計する。
2. ジルコニアコーピングを製作する際の歯科用 CAM の特性を説明する。
3. 鋳造体を支台歯模型に正確に適合させる。
4. サポートエリアを十分確保した陶材築盛面を調整および形成する。
5. ジルコニアフレームを支台歯模型に正確に適合させる。
6. 歯科用陶材の特性を説明する。
7. 歯科用陶材の特徴を理解し、それぞれ製品別の色調再現法を説明し実践する。
8. 複数の陶材を混ぜることなく、且つ緻密に積層する。
9. 陶材を盛り上げることによって歯冠形態を再現する。
10. ステインによる色調表現法を理解し、説明し実践する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	6/20	09:00-11:50	第1実習室	CAD 操作	下顎大臼歯フレームオーダー	安江　透, 冨川　紘一, 上條　真吾	SBOs 1
2	6/20	13:00-15:50	第1実習室	CAM 見学	LAVA　（白鵬 D.T.I）	安江　透, 冨川　紘一, 上條　真吾	SBOs 2
3	6/24	11:00-15:50	第1実習室	フレーム調整	上顎中切歯　メタルフレーム調整	安江　透, 冨川　紘一, 上條　真吾	SBOs 3,4
4	6/25	09:00-14:50	第1実習室	フレーム調整	下顎大臼歯　ジルコニアフレーム調整(LAVA)	安江　透, 冨川　紘一, 上條　真吾	SBOs 4,5
5	6/26	09:00-15:50	第1実習室	フレーム調整	予備日	安江　透, 冨川　紘一, 上條　真吾	
6	6/27	10:00-11:50	第1実習室	フレーム調整	ジルコニアフレーム調整	安江　透, 冨川　紘一, 上條　真吾	SBOs 4,5
7	6/27	11:00-14:50	第1実習室	CAM 見学	Aadva　（GC R&D Center）	安江　透, 冨川　紘一, 上條　真吾	SBOs 2
8	7/1	11:00-15:50	第1実習室	陶材築盛	パウダーの種類、水分コントロール、コンデンス	安江　透, 冨川　紘一, 上條　真吾	SBOs 6-8
9	7/2	09:00-14:50	第1実習室	陶材築盛	築盛練習 ① 前歯部	安江　透, 冨川　紘一, 上條　真吾	SBOs 7-9
10	7/3	09:00-15:50	第1実習室	陶材築盛	築盛練習 ② 臼歯部	安江　透, 冨川　紘一, 上條　真吾	SBOs 7-9
11	7/4	10:00-15:50	第1実習室	陶材築盛	色調表現練習（内部ステイン法）	安江　透, 冨川　紘一, 上條　真吾	SBOs 8-10

成績評価の方法 製作作品、出席状況、実習態度により総括的評価を行う。
準備学習などについての具体的な指示 実習予定表および実習書を事前に確認し、当日行う実習内容を把握しておく。 Web Class に資料がアップされているときには、事前に確認しておく。
参考書 歯冠修復技工学／全国歯科技工士教育協議会 編,末瀬一彦, 松村英雄, 丸茂義二, 雲野泰史, 下江宰司 著,:医歯薬出版, 2007 CAD/CAM デンタルテクノロジー／日本歯科 CAD CAM 学会, 全国歯科技工士教育協議会 監修,末瀬一彦, 宮﨑隆 編,:医歯薬出版, 2012 ザ・メタルセラミックス : カラーアトラス／山本真 著,:クインテッセンス出版, 1982 メタルセラミックス築盛の基礎 : カラーアトラス／山本真 著,:クインテッセンス出版, 1989 最新 CAD/CAM レストレーション／三浦宏之, 宮崎隆 編:補綴臨床別冊 医歯薬出版, 2008 メタルフリーレストレーションと CAD/CAM 技工の最前線／細川隆司,, 山下恒彦 編:歯科技工別冊 医歯薬出版, 2007
履修上の注意事項 事前に資料の配付、Web Class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。
連絡先 安江 透:yasue.fpoe@tmd.ac.jp 冨川 紘一:fukawa.peoe@tmd.ac.jp 上條 真吾:s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp
オフィスアワー 安江 透:随時 冨川 紘一:随時 上條 真吾:メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023048				
科目名	先進修復工学実習				
担当教員	安江　透, 冨川　紘一, 上條　真吾				
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1

時間数:45時間
授業形態:実習

主な講義場所
第1実習室、重合・鋳造室、CAD/CAM ルーム

授業の目的、概要等
・歯科医療に多く取り入れられてきている CAD/CAM システムの概要と利点を把握し、歯冠修復や咬合学の基礎知識を基に、自ら CAD システムを設定して修復物をデザイン・製作する基本的な技術力を養う。
・審美歯冠修復に用いられるメタルセラミックスのフレームおよびオールセラミックスのジルコニアフレームが備えるべき理工学的条件および形態的特徴を理解し、後に行う陶材築盛作業を踏まえたフレーム形態を製作できる技術を習得する。

授業の到達目標(SBOs)
1. 審美歯冠修復に関する概要を説明する。
2. 高精度な歯冠修復物を製作するための精密な作業用模型が製作する。
3. 正確なマージンラインを明瞭に形成する。
4. 審美的および機能的に考慮された歯冠回復をする。
5. サポートエリアおよび陶材築盛量を考慮したフィニッシングライン設計および窓開けをする。
6. 変形がない精密なワックスパターンを採得する。
7. リン酸塩系埋没材の特徴を理解し、気泡を混入しない埋没操作をする。
8. 理工学的欠陥がないメタルフレームを鋳造する。
9. CAD を使用し理想的なフレームワークを設計する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	6/4	11:00-11:50	第1実習室	審美修復実習の概要	実習内容説明	安江　透, 冨川　紘一, 上條　真吾	SBOs 1
2	6/4	13:00-15:50	第1実習室	作業用模型製作	トリミング、ダウエルピン植立、2 次石膏	安江　透, 冨川　紘一, 上條　真吾	SBOs 2
3	6/5	09:00-11:50	第1実習室	作業用模型製作	3 次石膏、スプリットキャスト付与、歯型分割	安江　透, 冨川　紘一, 上條　真吾	SBOs 2
4	6/5	13:00-15:50	第1実習室	咬合器装着	咬合器装着、マージントリミング	安江　透, 冨川　紘一, 上條　真吾	SBOs 3
5	6/6	10:00-15:50	第1実習室	ワックスアップ	上顎中切歯、メタルセラミックス(歯冠回復→フィニッシュライン設計)	安江　透, 冨川　紘一, 上條　真吾	SBOs 4
6	6/11	10:00-15:50	第1実習室	ワックスアップ	下顎大臼歯、オールセラミックス(歯冠回復→フィニッシュライン設計)	安江　透, 冨川　紘一, 上條　真吾	SBOs 4
7	6/12	09:00-15:50	第1実習室	ワックスアップ	上顎中切歯、メタルセラミックス(カットバック)、下顎大臼歯、オールセラミックス(カットバック)	安江　透, 冨川　紘一, 上條　真吾	SBOs 5,6
8	6/13	10:00-15:50	第1実習室	埋没	上顎中切歯、メタルセラミックス(埋没)	安江　透, 冨川　紘一, 上條　真吾	SBOs 7
9	6/17	11:00-15:50	第1実習室	鋳造	上顎中切歯、メタルセラミックス(鋳造)	安江　透, 冨川　紘一, 上條　真吾	SBOs 8
10	6/18	09:00-15:50	第1実習室	CAD 操作	Lava scan ST 概要説明、下顎大臼歯フレームオーダー	安江　透, 冨川　紘一, 上條　真吾	SBOs 9
11	6/19	11:00-15:50	第1実習室	CAD 操作	下顎大臼歯フレームオーダー	安江　透, 冨川　紘一, 上條　真吾	SBOs 9

成績評価の方法 出席状況、実習態度、製作作品により総括的評価を行う。
準備学習などについての具体的な指示 実習予定表および実習書を事前に確認し、当日行う実習内容を把握しておく。 Web Class に資料がアップされているときには、事前に確認しておく。
参考書 歯冠修復技工学／全国歯科技工士教育協議会 編,末瀬一彦, 松村英雄, 丸茂義二, 雲野泰史, 下江宰司 著,:医歯薬出版, 2007 CAD/CAM デンタルテクノロジー／日本歯科 CAD CAM 学会, 全国歯科技工士教育協議会 監修,末瀬一彦, 宮﨑隆 編,:医歯薬出版, 2012 ザ・メタルセラミックス : カラーアトラス／山本真 著,:クインテッセンス出版, 1982 メタルセラミックス築盛の基礎 : カラーアトラス／山本真 著,:クインテッセンス出版, 1989 最新 CAD/CAM レストレーション／三浦宏之, 宮崎隆 編:補綴臨床別冊 医歯薬出版, 2008 メタルフリーレストレーションと CAD/CAM 技工の最前線／細川隆司,, 山下恒彦 編:歯科技工別冊 医歯薬出版, 2007
履修上の注意事項 ・事前に資料の配付、Web Class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。
連絡先 安江 透:yasue.fpoe@tmd.ac.jp 冨川 紘一:fukawa.peoe@tmd.ac.jp 上條 真吾:s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp
オフィスアワー 安江 透:随時 冨川 紘一:随時 上條 真吾:メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023049				
科目名	セラミック加工学				
担当教員	鈴木　哲也, 樋口　鎮央, 橋本　典也, 青木　智彦, 別部　尚司, 飛田　滋, 髙橋　勇治, 小林　明子				
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1

時間数：15時間
授業形態：講義

主な講義場所

口腔保健工学専攻　第4講義室

授業の目的、概要等

セラミックを用いた最新の歯科補綴装置に接し、それに関わる材料、機器、歯科技工技術について理解し、歯科技工士としての習得すべき技術と将来性を考える。

授業の到達目標(SBOs)

1. 補綴装置の審美性に関わる要因を列挙する。
2. 各種セラミック材料の特性を説明する。
3. 補綴装置のデザインを決定する要素を列挙する。
4. 各種 CAD/CAD 機器の相違を説明する。
5. CDA/CAD への歯科技工士の関わり方について考える。
6. 補綴治療が全身の健康に及ぼす影響について知る。
7. セラミック材料の歯科技工上の扱い方、基本原則を説明する。
8. 歯科技工士に求められる多職種連携に必要な事項を列挙する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/28	15:00-16:50	第1講義室	CDA/CAD 最新技工技術	最新の CAD/CAD 機器の相違と将来性、レーザーシンタリング	樋口　鎮央	SBOs 4、5
2	5/12	15:00-16:50	第1講義室	セラミック材料の特性	各種セラミック材料の特性、セラミック材料の最新トピック	橋本　典也	SBOs 2
3	5/19	15:00-16:50	第1講義室	補綴装置のデザイン	機能性と審美性から考える補綴装置のデザイン	青木　智彦	SBOs 3
4	5/26	15:00-16:50	第1講義室	補綴治療と生体反応	補綴治療が全身の健康に及ぼす影響	別部　尚司	SBOs 6
5	6/9	15:00-16:50	第1講義室	セラミック技工技術の原則	セラミックを用いた技工技術の原則	飛田　滋	SBOs 7
6	6/30	09:00-10:50	第1講義室	補綴装置の審美性	セラミックを用いた補綴装置の審美性	髙橋　勇治	SBOs 1
7	7/23	09:00-11:50	第1講義室	多職種の連携	歯科技工士に求められる多職種連携に必要な事項	鈴木　哲也, 小林　明子	SBOs 8

成績評価の方法

・レポートおよび筆記試験を総合的に評価し合否を判定する。
・出席状況、授業態度を評価に加味する。

参考書

CAD/CAM デンタルテクノロジー／日本歯科 CAD CAM 学会, 全国歯科技工士教育協議会 監修,末瀬一彦, 宮﨑隆 編：医歯薬出版, 2012

履修上の注意事項

事前に資料の配布、Webclass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。

連絡先

鈴木　哲也:suzuki.peoe@tmd.ac.jp

オフィスアワー

鈴木　哲也:随時 メールにて日時を相談

時間割番号	023050				
科目名	セラミック加工学実習				
担当教員	安江　透, 冨川　紘一, 上條　真吾				
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1

時間数:45時間

授業形態:実習

主な講義場所

第1実習室、ポーセレン実習室

授業の目的、概要等

歯科用セラミック材料の特性と築盛原理、色調表現と築盛技術の理論を理解した上で、歯冠用セラミック材料の築盛操作工程を実習し、色調表現法や形態修正による天然歯の質感表現の実際を習得する。

授業の到達目標(SBOs)

1. 複数の陶材を混ぜることなく、且つ緻密に積層する。
2. 陶材を盛り上げることによって歯冠形態を再現する。
3. ステインによる色調表現法を理解し、説明実践する。
4. 天然歯の複雑な色調を正確に判断し、多種類の陶材を的確に積層することにより色調再現する。
5. 天然歯の持つ質感を、形態修正および艶出しによって表現する。
6. シェードガイドの仕組みを理解して、口腔内で正確なシェードマッチングをする。
7. 光学式測色器の特徴を理解して、口腔内測色をする。
8. 修復物製作に重要な資料となる口腔内写真を撮影する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	7/8	11:00-15:50	第1実習室	シェードマッチング、口腔内撮影	シェードガイド、クリスタルアイ、口腔内カメラ撮影	安江　透, 冨川　紘一, 上條　真吾	SBOs 6-8
2	7/9	09:00-14:50	第1実習室	陶材築盛	色調表現練習(多色築盛法)	安江　透, 冨川　紘一, 上條　真吾	SBOs 1,2,4
3	7/10	09:00-15:50	第1実習室	陶材築盛	上顎中切歯、メタルセラミックス AAA (内部ステイン法)築盛	安江　透, 冨川　紘一, 上條　真吾	SBOs 1-3
4	7/11	11:00-16:50	第1実習室	陶材築盛	上顎中切歯、メタルセラミックス AAA (内部ステイン法)築盛	安江　透, 冨川　紘一, 上條　真吾	SBOs 1-3
5	7/15	11:00-14:50	第1実習室	陶材築盛	下顎大臼歯、オールセラミックス ヴィンテージ ZR 築盛	安江　透, 冨川　紘一, 上條　真吾	SBOs 1,2,4
6	7/16	09:00-14:50	第1実習室	陶材築盛	下顎大臼歯、オールセラミックス ヴィンテージ ZR 築盛	安江　透, 冨川　紘一, 上條　真吾	SBOs 1,2,4
7	7/17	09:00-15:50	第1実習室	形態修正	上顎中切歯、下顎大臼歯の形態修正	安江　透, 冨川　紘一, 上條　真吾	SBOs 5
8	7/18	11:00-16:50	第1実習室	形態修正、艶出し	形態修正、ステイン、グレーズ、機械研磨	安江　透, 冨川　紘一, 上條　真吾	SBOs 5
9	7/24	09:00-15:50	第1実習室	形態修正、艶出し	予備日	安江　透, 冨川　紘一, 上條　真吾	SBOs 5

成績評価の方法

製作作品、出席状況、実習態度により総括的評価を行う。

準備学習などについての具体的な指示

実習予定表および実習書を事前に確認し、当日行う実習内容を把握しておく。

Web Class に資料がアップされているときには、事前に確認しておく。

参考書

歯冠修復技工学／全国歯科技工士教育協議会 編,末瀬一彦, 松村英雄, 丸茂義二, 雲野泰史, 下江宰司 著,:医歯薬出版, 2007

CAD/CAM デンタルテクノロジー／日本歯科 CAD CAM 学会, 全国歯科技工士教育協議会 監修,末瀬一彦, 宮崎隆 編,:医歯薬出版, 2012

ザ・メタルセラミックス : カラーアトラス／山本真 著,:クインテッセンス出版, 1982

メタルセラミックス築盛の基礎 : カラーアトラス／山本真 著,:クインテッセンス出版, 1989 最新 CAD/CAM レストレーション／三浦宏之, 宮崎隆 編:補綴臨床別冊 医歯薬出版, 2008 メタルフリーレストレーションと CAD/CAM 技工の最前線／細川隆司,, 山下恒彦 編:歯科技工別冊 医歯薬出版, 2007
履修上の注意事項 事前に資料の配付、Web Class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。
連絡先 安江 透:yasue.fpoe@tmd.ac.jp 冨川 紘一:fukawa.peoe@tmd.ac.jp 上條 真吾:s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp
オフィスアワー 安江 透:随時 冨川 紘一:随時 上條 真吾:メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023051				
科目名	口腔外科工学				
担当教員	杉本　久美子, 吉増　秀實, 木野　孔司				
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	1

時間数:15時間
授業形態:講義

主な講義場所

口腔保健工学専攻第 4 講義室

授業の目的、概要等

口腔外科領域の疾患と診断、治療法の基礎的知識を修得する。

授業の到達目標(SBOs)

1. 口腔外科の概要、口腔外科疾患の種類と診断法について理解する。
2. 顎顔面口腔に症状を現す先天異常と発育異常を列挙し、その治療法を理解する。
3. 顎口腔領域の損傷の診断と治療法を理解する。
4. 顎口腔領域の炎症の診断と治療法を理解する。
5. 顎口腔領域の嚢胞の診断と治療法を理解する。
6. 顎口腔領域の腫瘍の診断と治療法を理解する。
7. 口腔粘膜疾患の診断と治療法を理解する。
8. 口腔顎顔面領域の神経疾患の診断および治療法を理解する。
9. 唾液腺疾患の診断と治療について理解する。
10. 顎口腔領域に症状を現す血液疾患、出血性素因について理解する。
11. 代謝性疾患の口腔症状、口腔顎顔面領域に関連した疾患について理解する。
12. 口腔外科疾患に関連する補綴治療について説明する。
13. 顎関節疾患の病因、病態、診断および治療法を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/30	13:00-13:50	第4講義室	口腔外科概説	口腔外科とは、口腔外科疾患の種類、口腔外科診断法	吉増　秀實	SBOs: 1
2	9/30	14:00-14:50	第4講義室	先天異常	顎口腔領域の先天異常	吉増　秀實	SBOs: 2
3	9/30	15:00-15:50	第4講義室	発育異常	顎口腔領域の発育異常	吉増　秀實	SBOs: 2
4	10/7	13:00-13:50	第4講義室	外傷	顎口腔領域の外傷	吉増　秀實	SBOs: 3
5	10/7	14:00-14:50	第4講義室	炎症	顎口腔領域の炎症、歯性炎症	吉増　秀實	SBOs: 4
6	10/7	15:00-15:50	第4講義室	嚢胞	顎口腔領域の嚢胞:軟組織の嚢胞、顎骨の嚢胞、歯原性嚢胞	吉増　秀實	SBOs: 5
7	10/14	13:00-13:50	第4講義室	顎関節疾患	顎関節症	木野　孔司	SBOs: 13
8	10/14	14:00-14:50	第4講義室	顎関節疾患	顎関節症以外の疾患	木野　孔司	SBOs: 13
9	10/14	15:00-15:50	第4講義室	良性腫瘍・腫瘍類似疾患	歯原性腫瘍、非歯原性腫瘍、エプーリス	吉増　秀實	SBOs: 6
10	10/21	13:00-13:50	第4講義室	悪性腫瘍	癌、肉腫、再建手術	吉増　秀實	SBOs: 6
11	10/21	14:00-14:50	第4講義室	口腔粘膜疾患	口腔粘膜疾患の診断と治療	吉増　秀實	SBOs: 7
12	10/21	15:00-15:50	第4講義室	口腔顎顔面の神経疾患、唾液腺疾患	口腔顎顔面の神経疾患、唾液腺疾患	吉増　秀實	SBOs: 8, 9
13	10/28	13:00-13:50	第4講義室	血液疾患、出血性素因	顎口腔領域の出血性疾患	吉増　秀實	SBOs: 10
14	10/28	14:00-14:50	第4講義室	代謝性疾患の口腔症状、症候群	代謝性疾患の口腔症状、口腔顎顔面領域に関連した症候群および疾患	吉増　秀實	SBOs: 11
15	10/28	15:00-15:50	第4講義室	口腔外科と補綴治療	口腔外科疾患術後患者に対する補綴治療、補綴に関連した口腔外科手術	吉増　秀實	SBOs: 12

成績評価の方法

筆記試験および出席状況、授業態度により総合的に評価する。
準備学習などについての具体的な指示 事前に資料の配布および e-learning 上へのアップロードがあった場合は、各自予習して授業に臨むこと。
参考書 顎・口腔粘膜疾患口腔外科・歯科麻酔／全国歯科衛生士教育協議会 監修,山根源之 ほか著,:医歯薬出版, 2011 歯科衛生士のための口腔外科学／古森孝英 編著,:永末書店, 2011 臨床病態学／北村聖 総編集,:ヌーヴェルヒロカワ, 2013 口腔外科疾患 : 医療従事者のためのカラーアトラス／道健一 編,:永末書店, 2005 最新口腔外科学／塩田重利, 富田喜内 監修,榎本昭二 [ほか]編,:医歯薬出版, 1999
連絡先 杉本　久美子:ksugimoto.bohs@tmd.ac.jp 吉増　秀實:h-yoshimasu.ocsh@tmd.ac.jp
オフィスアワー 杉本　久美子:随時 吉増　秀實:随時

時間割番号	023052				
科目名	人間工学デザイン論				
担当教員	池田　正臣, 品田　佳世子, 田中　茂, 日高　豊彦				
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	1

時間数:１５時間

授業形態:講義

授業の目的、概要等

作業環境の健康に及ぼす影響および作業環境の改善方法について学ぶ。

授業の到達目標(SBOs)

1. 作業環境の健康に及ぼす影響を説明できる。
2. 作業環境の測定方法について説明できる。
3. 粉じん、アスベスト、その他の有害物質について説明できる。
4. 作業環境の改善方法について説明できる。
5. 安全対策について説明できる。
6. チェアサイド、ラボサイドの作業環境について説明できる。
7. 歯科技工所の設備構造について説明できる。
8. 歯科技工物の安全性、トレーサビリティーについて説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/9	09:00-11:50	第4講義室	作業環境が健康に及ぼす影響、作業環境の測定	作業環境が健康に及ぼす影響と作業環境測定	品田　佳世子	SBOs 1, 2
2	10/16	09:00-10:50	第4講義室	粉じんとアスベスト及び有害物質について	粉じんとアスベスト及び有害物質について	田中　茂	SBOs 3
3	10/23	09:00-10:50	第4講義室	ラボサイドでの作業環境	歯科技工材料の取り扱いと保管方法	池田　正臣	SBOs 4, 6
4	10/30	09:00-10:50	第4講義室	安全対策について	安全対策の計画(グループワーク)	品田　佳世子	SBOs 5
5	11/6	09:00-10:50	第4講義室	保護具および排気装置について	保護具および排気装置について	田中　茂	SBOs 4, 6
6	11/13	09:00-10:50	第4講義室	歯科技工所の設備構造基準と歯科技工物の安全性およびトレーサビリティー	歯科技工所の設備構造基準、歯科技工指示書とトレーサビリティー	池田　正臣	SBOs 7, 8
7	12/4	09:00-10:50	第4講義室	チェアサイドでの作業環境	印象材・石膏の取り扱いと保管方法	池田　正臣 日高　豊彦	SBOs 6

成績評価の方法

筆記試験およびレポートで総括的に評価する。

準備学習などについての具体的な指示

事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

参考書

労働衛生のしおり = General Guidebook on Industrial Health／中央労働災害防止協会 編:中央労働災害防止協会, 2013

GP のための金属アレルギー臨床／井上昌幸 監修,中山秀夫, 松村光明 編:デンタルダイヤモンド社, 2003

連絡先

池田　正臣:ikeda.csoe@tmd.ac.jp

品田　佳世子:shinada.pvoh@tmd.ac.jp

日高　豊彦:hdc@pf7.so-net.ne.jp

オフィスアワー

池田　正臣:メールにて面談の日程を調整すること

品田　佳世子:随時

日高　豊彦:メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023053				
科目名	バイオデザイン学				
担当教員	高橋　英和, 杉本　久美子, 鈴木　哲也				
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	1

時間数：15時間
授業形態：講義
選択

主な講義場所
2 号館　第4講義室

授業の目的、概要等
生体と調和した歯科医療機器の開発・研究に必要の知識を修得する。

授業の到達目標(SBOs)
1. 生体組織の力学に関する研究について説明する。
2. 細胞の力学に関する研究について説明する。
3. レギュラトリーサイエンスの必要性について説明する。
4. 医療機器の安全性について説明する。
5. 医療機器の有効性について説明する。
6. 歯科用医療機器の特徴を説明する。
7. 医療機器の認証・承認について説明する。
8. 実際の歯科医療機器製作現場を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	1/8	14:00-16:50	第4講義室	生体と細胞の力学	生体と細胞の材料学的定数, 生体と細胞の力学に関する文献的検索	高橋　英和	SBOs　1,2
2	1/15	14:00-16:50	第4講義室	生体と細胞の力学	生体と細胞の力学に関する文献調査の報告	高橋　英和	SBOs　1,2
3	1/22	14:00-16:50	第4講義室	医療機器の安全性と有効性	レギュラトリーサイエンスとは何か 医療機器の安全性　医療機器の有効性　歯科用医療機器の特徴	杉本　久美子	SBOs　3-6
4	1/29	14:00-16:50	第4講義室	医療機器の認証と承認	医療機器のクラス別分類　医療機器の認証のために手続　医療機器の承認のために手続　リスクの定量的評価	高橋　英和	SBOs　7
5	2/5	14:00-16:50	第4講義室	歯科医療機器製作の実際	歯科医療機器製作工場の見学	鈴木　哲也	SBOs　8

成績評価の方法
・提出レポート、期末の客観試験で総括的評価を行う。
・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

履修上の注意事項
事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

連絡先
高橋　英和:takahashi.bmoe@tmd.ac.jp
鈴木　哲也:suzuki.peoe@tmd.ac.jp
杉本　久美子:ksugimoto.bohs@tmd.ac.jp

オフィスアワー
高橋　英和:あらかじメールにて面談時間を相談のこと
鈴木　哲也:随時　メールにて日時を相談
杉本　久美子:随時

時間割番号	023054				
科目名	発育口腔工学				
担当教員	杉本　久美子, 大木　明子, 今井　俊行				
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	1

時間数：15時間
授業形態：講義

授業の目的、概要等

訪問歯科診療、高齢者施設および障害者口腔保健センターの見学を通して、患者の口腔内状況、治療内容と口腔内装置の実際を理解する。

授業の到達目標(SBOs)

1. 訪問歯科診療に同行し、在宅患者の口腔内と装着装置の実際を理解する。
2. 高齢者施設を訪問し、利用者の口腔内と装着装置の実際を理解する。
3. 障害者に対する歯科治療と口腔内装置の実際を理解する。
4. 見学実習を通して歯科技工のニーズを把握する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/29	13:00-13:50	第4講義室	ガイダンス	体験学習ガイダンス	今井　俊行	SBOs: 1, 2, 4
2	10/2	10:00-14:50		高齢者関連施設見学実習	訪問歯科診療・高齢者施設見学実習		SBOs: 1, 2, 4
3	10/3	10:00-14:50		高齢者関連施設見学実習	訪問歯科診療・高齢者施設見学実習		SBOs: 1, 2, 4
4	12/5	11:00-13:50	第4講義室	見学実習報告会	高齢者関連施設見学実習報告会		SBOs: 3, 4
5	1/7	09:00-13:50		障害者歯科見学	心身障害者口腔保健センター見学実習	杉本　久美子, 大木　明子	SBOs: 1-4

成績評価の方法

出席状況、授業態度、発表内容およびレポートにより総括的評価を行う。

準備学習などについての具体的な指示

事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。

教科書

高齢者歯科／森戸光彦　ほか著,：医歯薬出版, 2003
障害者歯科／向井美惠　ほか　著,：医歯薬出版, 2013

連絡先

杉本　久美子:ksugimoto.bohs@tmd.ac.jp
大木　明子:moki.mfoe@tmd.ac.jp

オフィスアワー

杉本　久美子:随時
大木　明子:メールにて面談の日程を調整すること。2 号館 2 階准教授室

時間割番号	023055				
科目名	小児歯科工学				
担当教員	杉本　久美子, 石川　雅章, 三輪　全三, 小野　芳明, 遠藤　圭子				
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	1

時間数:15時間
授業形態:講義

主な講義場所
口腔保健学科第3講義室(1号館7階)

授業の目的、概要等
小児の心身の成長・発達をふまえ、発達期口腔保健の意義および発達期口腔疾患の特徴、予防・治療法を理解する。

授業の到達目標(SBOs)
1. 出生から青少年期までの心身の成長・発達を理解する。
2. 小児の情緒と社会性の発達を理解する。
3. 小児の健康を育む食生活と支援の重要性を理解する。
4. 歯の萌出と乳歯・幼若永久歯の特徴を理解する。
5. 顎・顔面頭蓋の成長過程を理解する。
6. 歯列咬合の発育過程を理解する。
7. 小児期の口腔疾患とその治療法、チーム医療を理解する。
8. 歯科治療時の小児の行動への対応法を理解する。
9. 小児に特有な心身の問題とその解決策を概説する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/1	10:00-11:50	口腔保健学科第3講義室	小児の成長発育、機能の発達、情緒・社会性の発達	成長発育の特徴、身体の発育とその評価、器官の発育、運動・感覚機能の発達、情緒・社会性の発達	石川　雅章	SBOs: 1, 2
2	10/8	10:00-11:50	口腔保健学科第3講義室	小児の生理的特徴、摂食機能と言語の発達	原始反射、哺乳に関する反射、小児の生理的特徴、栄養摂取と摂食機能の発達、哺乳期、離乳期、幼児期、児童・生徒期、発達期の食の問題、言語の基礎知識、言語の発達、発達期にみられる構音障害	石川　雅章	SBOs: 1, 3
3	10/15	10:00-11:50	口腔保健学科第3講義室	顎・顔面頭蓋、歯列・咬合の発育	頭蓋の構成要素と相対的発育、頭蓋発育の機構と評価法、側貌頭部エックス線規格写真計測による日本人小児の平均身長、歯列咬合の発育(無歯期、乳歯萌出期、乳歯列期、混合歯列前期、混合歯列後期、永久歯列期)、歯列発育の評価法	石川　雅章	SBOs: 4-6
4	10/22	10:00-11:50	口腔保健学科第3講義室	歯科治療時の小児行動への対応法	小児の歯科診療時の留意事項(診療環境の整備、小児歯科治療三角、コミュニケーションの確立)、小児の情動の特徴、行動変容法、強制的な行動抑制	小野　芳明	SBOs: 7-9
5	10/29	10:00-11:50	口腔保健学科第3講義室	小児歯科の症例紹介	小児歯科の症例紹介(酸蝕、外傷を含む)、治療における歯科医療従事者の役割・チーム医療	小野　芳明	SBOs: 7, 8
6	11/5	10:00-11:50	口腔保健学科第3講義室	発達期の口腔疾患と歯科的対応1	乳歯・幼弱永久歯の特徴、歯・歯数・萌出の異常、乳歯う蝕の特徴、小児う蝕の実態、重症乳歯う蝕の為害作用、青少年期のう蝕	三輪　全三	SBOs: 4-7
7	11/12	09:00-10:50	口腔保健学科第3講義室	発達期の口腔疾患と歯科的対応2	発達期の歯周疾患、不正咬合、口腔軟組織疾患の原因と予防、不良習癖、咬合誘導	三輪　全三	SBOs: 5-7

8	11/12	11:00-11:50	口腔保健学科 第3講義室	発達期の口腔保健 まとめ	全体のまとめ	遠藤　圭子	SBOs: 1-9	

成績評価の方法

筆記試験および授業態度により総合的に評価する。

準備学習などについての具体的な指示

事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

参考書

小児歯科技工学／全国歯科技工士教育協議会／編集,河野　寿一／〔ほか〕著,：医歯薬出版, 2006

小児歯科／大嶋隆　ほか著,：医歯薬出版, 2009

備考

本科目は口腔保健衛生学専攻2年生と合同で授業を実施する。

連絡先

杉本　久美子:ksugimoto.bohs@tmd.ac.jp

小野　芳明:y-ono.dohs@tmd.ac.jp

三輪　全三:miwa.dohs@tmd.ac.jp

石川　雅章:ishikawa.pohc@tmd.ac.jp

遠藤　圭子:usagi.pvoh@tmd.ac.jp

オフィスアワー

杉本　久美子:随時

小野　芳明:随時（必ず事前に連絡すること）

三輪　全三:月・水・木 16:30- 18:00 歯科棟 11F 助講師室または 2F 検査室

石川　雅章:随時（必ず事前に連絡すること）

遠藤　圭子:随時

時間割番号	023056				
科目名	小児歯科工学実習				
担当教員	杉本　久美子, 大木　明子, 小野　芳明, 藤田　晴子, 冨川　紘一				
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	1

時間数:(1)20時間、(2)25時間

授業形態:実習

主な講義場所

口腔保健工学専攻　第1実習室

授業の目的、概要等

(1)小児歯科治療に用いられる修復物、保隙装置およびスペースリゲイナー等の製作に関する知識と技術を修得する。

(2)顎口腔および顔面の欠損に適用される治療用装置の構造と製作法を理解する。

授業の到達目標(SBOs)

(1)

1. 小児歯科治療の概要を理解する。
2. 小児歯科治療に用いる装置の目的および構成を説明する。
3. 小児歯科治療に用いる装置の製作法を理解し製作する。

ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー

(2)

1. エピテーゼに用いられる材料について説明する。
2. エピテーゼを製作する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/1	13:00-13:50	第1実習室	小児の治療	治療の目的、乳歯う蝕の特徴とその処置	小野　芳明, 藤田　晴子	(1)SBOs: 1
2	10/1	14:00-14:50	第1実習室	小児の歯冠修復	歯冠修復の特徴と種類(成形修復・インレー・被覆冠)	小野　芳明, 藤田　晴子	(1)SBOs: 1, 2
3	10/1	15:00-15:50	第1実習室	咬合誘導装置	咬合誘導の概念と装置の種類(保隙装置、スペースリゲーナー、口腔習癖除去装置)	小野　芳明, 藤田　晴子	(1)SBOs: 1, 2
4	10/8	13:00-15:50	第1実習室	保隙装置・スペースリゲーナー	保隙の意義と目的、保隙装置の種類と分類(ディスタルシュー、舌側弧線型保隙装置、クラウンループ)、スペースリゲーナーの目的、装置の構成	小野　芳明, 藤田　晴子	(1)SBOs: 1, 2
5	10/15	13:00-15:50	第1実習室	保隙装置・スペースリゲーナーの製作	クラウンループ・スペースリゲーナー装置の製作法	小野　芳明, 藤田　晴子	(1)SBOs: 3
6	10/22	13:00-13:50	第1実習室	動的咬合誘導	動的咬合誘導の意義と目的、口腔習癖除去装置の目的・構造・製作法	小野　芳明, 藤田　晴子	(1)SBOs: 1-3
7	10/22	14:00-15:50	第1実習室	動的咬合誘導装置の製作	動的咬合誘導装置の製作法	小野　芳明, 藤田　晴子	(1)SBOs: 3
8	10/29	13:00-15:50	第1実習室	口腔習癖除去装置の製作	口腔習癖除去装置の製作法	小野　芳明, 藤田　晴子	(1)SBOs: 2
9	11/5	13:00-13:50	第1実習室	動的咬合誘導床	誘導床の目的、装置の構造	小野　芳明, 藤田　晴子	(1)SBOs: 1, 2
10	11/5	14:00-15:50	第1実習室	動的咬合誘導床の製作	誘導床の製作	小野　芳明, 藤田　晴子	(1)SBOs: 3
11	11/12	13:00-14:50	第1実習室	咬合誘導装置に用いる維持装置	咬合誘導装置に用いる維持装置の種類と製作法	小野　芳明, 藤田　晴子	(1)SBOs: 2, 3
12	1/6	13:00-16:50	第1実習室	個人トレー、義眼	個人トレー製作、義眼準備	大木　明子, 冨川　紘一	(2)SBOs: 1,2

13	1/13	11:00-16:50	第1実習室	ワックスアップ	エピテーゼワックスアップ	大木　明子, 冨川　紘一	(2)SBOs: 1,2
14	1/20	10:00-16:50	第1実習室	ワックスアップ、埋没	ワックスアップ完成、埋没	大木　明子, 冨川　紘一	(2)SBOs: 1,2
15	1/27	11:00-16:50	第1実習室	流ろう、内部彩色	流ろう、内部彩色、シリコーン填入、重合	大木　明子, 冨川　紘一	(2)SBOs: 1,2
16	2/5	11:00-16:50	第1実習室	外部彩色、まつ毛付与	形態修正、外部彩色、まつ毛付与、完成	大木　明子, 冨川　紘一	(2)SBOs: 1,2

成績評価の方法

(1)提出作品および授業態度により総合的に評価する。

(2)出席状況、授業態度、製作作品を総合的に評価し、合否を判定する。

・小児歯科工学実習の成績判定は、小児歯科工学実習(1)および(2)の評価を総合して行う。

準備学習などについての具体的な指示

・実習書をあらかじめよく読んで予習してから実習にのぞむこと。

・事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

4 分の 3 以上の出席

教科書

小児歯科技工学／全国歯科技工士教育協議会／編集,河野　寿一／〔ほか〕著,：医歯薬出版, 2006

参考書

顎顔面補綴の臨床 ： 咀嚼・嚥下・発音の機能回復のために／大山喬史, 谷口尚 編：医学情報社, 2006

Maxillofacial Rehabilitation　3rd Edition／J. Beumer Ⅲ, MT Maunick, SJ Esposito：Quintessence, 2011

Fundamentals of Facial Prosthetics／R. E. McKinstry：ABI Professional Publications, 1995

連絡先

杉本　久美子:ksugimoto.bohs@tmd.ac.jp

小野　芳明:y-ono.dohs@tmd.ac.jp

藤田　晴子:fujita.dohs@tmd.ac.jp

大木　明子:moki.mfoe@tmd.ac.jp

冨川　紘一:fukawa.peoe@tmd.ac.jp

オフィスアワー

杉本　久美子:随時

小野　芳明:随時（必ず事前に連絡すること）

藤田　晴子: 随時（必ず事前に連絡すること）

大木　明子:メールにて面談の日程を調整すること。2 号館 2 階准教授室

冨川　紘一:随時

時間割番号	023057				
科目名	矯正歯科工学				
担当教員	杉本　久美子, 松本　芳郎				
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	2

時間数:30時間
授業形態:講義

授業の目的、概要等

顎顔面頭蓋の成長発育ならびに不正咬合の原因・診断・治療について理解し、矯正歯科治療に必要な装置製作に関する知識と基本的技能を修得する。

授業の到達目標(SBOs)

1. 顎顔面の成長発育と正常な歯列咬合の状態を理解する。
2. 不正咬合の分類・種類・原因とその影響を理解する。
3. 矯正歯科の診断・治療法を概説する。
4. 矯正歯科装置の必要条件・分類・種類と使用法を説明する。
5. 矯正歯科装置の製作法を理解し、製作する。
6. 歯科矯正治療におけるチーム医療を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/29	09:00-09:50	第4講義室	矯正歯科工学序論	1,歯科矯正学の歩み 2. 不正咬合による障害と矯正歯科治療の意義 3. 矯正歯科治療における矯正歯科技工の意義	松本　芳郎	SBOs: 1-6
2	9/29	10:00-10:50	第4講義室	成長発育	1. 成長発育概論 2. 顎顔面頭蓋の成長発育 3. 歯列・咬合の成長発育	松本　芳郎	SBOs: 1
3	9/29	11:00-11:50	第4講義室	正常咬合と不正咬合	1.正常咬合 2.不正咬合とその分類	松本　芳郎	SBOs: 1, 2
4	10/6	09:00-09:50	第4講義室	不正咬合の原因・予防と生物学的背景	1. 不正咬合の原因 2. 不正咬合の予防 3.矯正力に伴う生体反応	松本　芳郎	SBOs: 2, 3
5	10/6	10:00-10:50	第4講義室	矯正歯科治療の進め方	1.矯正歯科治療の流れと歯科技工の関わり 2. 形態分析・機能分析 矯正用口腔模型、口腔内写真、顔面規格写真、各種X線写真、頭部X線規格写真(セファログラム)、各種機能検査、各種検査の分析 3.矯正診断 4.矯正力と固定 5.後戻り・再発と保定	松本　芳郎	SBOs: 3
6	10/6	11:00-11:50	第4講義室	矯正装置の必要条件と分類	1.矯正装置の必要条件 2.矯正装置の分類	松本　芳郎	SBOs: 4
7	10/20	09:00-09:50	第1実習室	矯正用口腔模型の製作法	矯正用口腔模型(平行模型・顎態模型・セットアップモデル)	松本　芳郎	SBOs: 5, 6
8	10/20	10:00-11:50	第1実習室	矯正用口腔模型の製作	印象採得、石膏注入(模型、セットアップ、保定装置)	松本　芳郎	SBOs: 5
9	10/27	09:00-09:50	第1実習室	矯正技工用器具と材料	矯正技工用器具と材料	松本　芳郎	SBOs: 4
10	10/27	10:00-11:50	第1実習室	歯科技工の基本的手技1	ワイヤーベンディング	松本　芳郎	SBOs: 5

11	11/10	09:00–09:50	第1実習室	各種固定式矯正装置の使用法、製作法	舌側弧線装置、顎間固定装置、リップバンパー、ナンスのホールディングアーチ、側方拡大装置	松本　芳郎	SBOs: 5, 6
12	11/10	10:00–11:50	第1実習室	矯正技工の基本的手技2、舌側弧線装置(リンガルアーチ)の製作1	自在ろう着、ST ロック維持管ろう着	松本　芳郎	SBOs: 5
13	12/1	09:00–11:50	第1実習室	舌側弧線装置の製作2	ST ロック維持管ろう着、ST ロック脚部屈曲	松本　芳郎	SBOs: 5
14	12/8	09:00–11:50	第1実習室	舌側弧線装置の製作3	ST ロック脚部屈曲、主線屈曲、ろう着	松本　芳郎	SBOs: 5
15	12/15	09:00–09:50	第1実習室	各種床矯正装置、保定装置の使用法、製作法	咬合挙上板、咬合斜面板、スライディングプレート、ホーレーの保定装置、トゥースポジショナー、ラップアラウンドリテーナー、犬歯間リテーナー、FSW リテーナー	松本　芳郎	SBOs: 5, 6
16	12/15	10:00–11:50	第1実習室	保定装置の製作1	ワイヤー屈曲	松本　芳郎	SBOs: 5
17	1/5	09:00–11:50	第1実習室	保定装置の製作2	ワイヤー屈曲・ろう着、即重レジン重合	松本　芳郎	SBOs: 5
18	1/19	09:00–11:50	第1実習室	保定装置の製作3	即重レジン重合、研磨	松本　芳郎	SBOs: 5

成績評価の方法

筆記試験、製作作品および授業態度により総合的に評価する。

準備学習などについての具体的な指示

事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

参考書

矯正歯科技工学／飯塚哲夫, 横井欣弘 著,: 医歯薬出版, 1995

歯科矯正学／相馬邦道, 飯田順一郎, 山本照子, 葛西一貴, 後藤滋巳 編,: 医歯薬出版, 2008

連絡先

杉本　久美子:ksugimoto.bohs@tmd.ac.jp

松本　芳郎:y.matsumoto.orts@tmd.ac.jp

オフィスアワー

杉本　久美子:随時

松本　芳郎:随時

時間割番号	023058				
科目名	矯正歯科工学実習				
担当教員	杉本 久美子, 安江 透, 松本 芳郎, 安江 透, 林 政利				
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	1

時間数:(1)9時間、(2)36時間

授業形態:実習

主な講義場所

口腔保健工学専攻 第1実習室、ポーセレン室

授業の目的、概要等

(1)顎口腔と歯列の形態異常の矯正的治療法について理解し、治療に必要な装置の製作法の知識と技術を修得する。

(2)歯科用 CAD/CAM システムを応用してインプラントアバットメントおよび上部構造の設計製作を行うことにより、インプラント治療の基礎および生体親和性に優れた修復物を製作する基本的な技術力を養う。また、インプラントシステムに数多くある技工パーツの、それぞれの使用目的と使用法および材料特性を理解する。

授業の到達目標(SBOs)

(1)

1. 矯正歯科装置の必要条件・分類・種類と使用法を説明する。
2. 矯正歯科装置の製作法を理解する。
3. 歯科矯正治療におけるチーム医療を理解する。

――――――――――――――――――――

(2)

1. インプラント修復物製作に必要な高精度の作業用模型を製作する。
2. インプラント修復物に与えるべき咬合関係を説明する。
3. インプラント修復物に与えるべき歯冠形態を再現する。
4. 上部構造体の形態を考慮したアバットメントを設計する。
5. サポートエリアおよび陶材築盛量を考慮したフィニッシングライン設計および窓開けをする。
6. 歯科用 CAD システムを用いて、ダブルスキャンによるコーピングを設計する。
7. ジルコニアを加工する際の切削用ポイントを適切に選択し使用する。
8. ジルコニアコーピングをカスタムアバットメントに精密に調整適合させる。
9. サポートエリアを十分確保した陶材築盛面を調整および形成する。
10. 修復物の最終歯冠形態をイメージして、陶材を築盛する。
11. 異なる種類の陶材を混ぜあうことなく積層する。
12. 陶材の特徴を理解して、目標とする色調を表現する。
13. 隣接面コンタクト調整および咬合調整を行い歯列模型に正確に適合させる。
14. インプラント上部構造に与えるべき歯冠形態を形態修正で表現する。
15. 生体親和性を考慮した表面性状を艶出し操作によって与える。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/29	14:00-17:50	第1実習室	作業用模型製作	ダウエルピン植立、二次石膏・三次石膏操作	安江 透 林 政利	(2)SBOs 1
2	10/6	13:00-16:50	第1実習室	咬合器装着、歯冠回復	作業用模型調整、咬合器装着、歯型分割、歯冠回復	安江 透 林 政利	(2)SBOs 2,3
3	10/20	13:00-16:50	第1実習室	カスタムアバットメント形成	カスタムアバットメント形状の完成	安江 透 林 政利	(2)SBOs 4
4	10/27	13:00-16:50	第1実習室	上部構造体フレーム形成	ジルコニアアバットメント上での歯冠回復、窓開け	安江 透 林 政利	(2)SBOs 2,3,5
5	12/1	13:00-16:50	第1実習室	CAD 操作	Aadva システムによるスキャニング、フレームオーダー	安江 透	(2)SBOs 6
6	12/8	13:00-16:50	第1実習室	ジルコニアフレーム調整	ジルコニアアバットメントへの適合確認・調整、フレーム形状の調整・研磨	安江 透	(2)SBOs 7-9

7	12/15	13:00-16:50	第1実習室	陶材築盛	イニシャル築盛(単色築盛法)	安江 透	(2)SBOs 10-12
8	1/5	13:00-16:50	第1実習室	陶材築盛	イニシャル築盛(単色築盛法)	安江 透	(2)SBOs 10-12
9	1/19	13:00-16:50	第1実習室	形態修正、艶出し・研磨	形態修正、ステイニング、グレーズ、機械研磨	安江 透	(2)SBOs 13-15
10	1/26	09:00-10:50	第1実習室	各種機能的装置の使用法、製作法	アクチバトール、バイオネーター、ビムラーのアダプター、フレンケルの装置他	松本 芳郎	(1)SBOs: 1, 2
11	1/26	11:00-11:50	第1実習室	FKO(アクチバトール)の製作1	構成咬合器装着	松本 芳郎	(1)SBOs: 2
12	2/2	09:00-11:50	第1実習室	FKO の製作2	誘導線屈曲、ワックス床形成	松本 芳郎	(1)SBOs: 2
13	2/9	09:00-10:50	第1実習室	FKO の製作3	即重レジン重合、研磨	松本 芳郎	(1)SBOs: 2
14	2/9	11:00-11:50	第1実習室	まとめ	矯正歯科工学のまとめ	松本 芳郎	(1)SBOs: 1-3

成績評価の方法

(1)製作作品および授業態度により総合的評価を行う。

(2)出席状況、授業態度、レポート、筆記試験を総合的に評価し合否を判定する。

・矯正歯科工学実習の成績判定は矯正歯科工学実習(1)および(2)の評価を総合して行う。

準備学習などについての具体的な指示

実習予定表および実習書を事前に確認し、当日行う実習内容を把握しておくこと。

WebClass に資料がアップされたときは、事前に確認しておくこと。

参考書

矯正歯科技工学／飯塚哲夫, 横井欣弘 著,:医歯薬出版, 1995

歯科矯正学／相馬邦道, 飯田順一郎, 山本照子, 葛西一貴, 後藤滋巳 編:医歯薬出版, 2008

備考

本科目は矯正歯科工学実習(1)および(2)より構成され、矯正歯科工学実習(2)はインプラント実習に割り当てる。

連絡先

杉本 久美子:ksugimoto.bohs@tmd.ac.jp

松本 芳郎:y.matsumoto.orts@tmd.ac.jp

安江 透:yasue.fpoe@tmd.ac.jp

オフィスアワー

杉本 久美子:随時

松本 芳郎:随時

安江 透:随時

時間割番号	023059				
科目名	顎補綴工学				
担当教員	大木　明子, 吉岡　文				
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	1

時間数:15時間
授業形態:講義

主な講義場所

口腔保健工学専攻　第4講義室

授業の目的、概要等

顎口腔および顔面の欠損の病態と治療法、特に治療用装置の構造と製作法を理解する。

授業の到達目標(SBOs)

1. 顎顔面補綴の治療範囲、原因、分類を説明する。
2. 上顎欠損症例の特徴と欠損の病態、治療法、治療用装置について説明する。
3. 上顎欠損に用いられる補綴装置の構造と製作過程を説明する。
4. 下顎欠損症例の特徴と欠損の病態、治療法、治療用装置について説明する。
5. 舌欠損症例の特徴と欠損の病態、治療法、治療用装置について説明する。
6. 放射線治療補助装置の種類と放射線治療法について説明する。
7. 唇顎口蓋裂の病態と特徴、治療用装置について説明する。
8. 言語治療補助装置と治療法を説明する。
9. 外傷後の補綴と小口症、開口障害への対応について説明する。
10. 外科治療補助装置について説明する。
11. その他の補助装置について説明する。
12. 顔面、体幹欠損症例の欠損の病態、材料、治療用装置について説明する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/30	09:00-09:50	第4講義室	顎顔面補綴学とは	定義、分類、歴史	大木　明子	SBOs 1
2	9/30	10:00-11:50	第4講義室	上顎欠損と上顎顎義歯	上顎欠損の特徴、症例	大木　明子	SBOs 2,3
3	10/7	09:00-11:50	第4講義室	下顎欠損と舌欠損、放射線治療と補綴	下顎欠損、舌欠損の特徴、症例、口腔咽頭腫瘍に対する放射線治療、放射線治療補助装置、放射線治療後の補綴	大木　明子	SBOs 4-6
4	10/14	09:00-11:50	第4講義室	唇顎口蓋裂と補綴、言語治療用補助装置、構音障害と構音訓練	唇顎口蓋裂の特徴、チームアプローチと補綴、スピーチエイド、軟口蓋挙上床と症例、口腔腫瘍や口蓋裂に対する構音障害と訓練	大木　明子	SBOs 7,8
5	10/21	09:00-11:50	第4講義室	外傷後の補綴、小口症、開口障害の補綴、補助装置	顎顔面部外傷後特徴、小口症・開口障害の特徴、印象採得・技工の工夫について、開口訓練補助装置、外科治療用補助装置、身体障害者用装置	大木　明子	SBOs 9-11
6	10/28	09:00-10:50	第4講義室	顔面・体幹補綴	顔面補綴治療、体幹補綴、頭蓋・顔面インプラント、エピテーゼ材料	大木　明子	SBOs 12
7	10/28	11:00-11:50	第4講義室	顔面補綴	顔面補綴の症例	吉岡　文	SBOs 12

成績評価の方法

出席状況、授業態度、筆記試験を総合的に評価し合否を判定する。

準備学習などについての具体的な指示

事前にWebClassに資料がアップロードされた場合は予習をしてから講義にのぞむこと。

試験の受験資格

3分の2以上の出席

参考書
顎顔面補綴の臨床 : 咀嚼・嚥下・発音の機能回復のために／大山喬史, 谷口尚 編,:医学情報社, 2006
口唇裂口蓋裂の補綴治療／大山喬史 編著,:医歯薬出版, 1997
口唇口蓋裂のチーム医療／高戸毅 監修,須佐美隆史, 米原啓之 編,:金原出版, 2005
構音障害の臨床 : 基礎知識と実践マニュアル／阿部雅子 著,:金原出版, 2008
顎口腔外傷のチーム医療／高戸毅 監修,米原啓之, 須佐美隆史 編,:金原出版, 2005
口腔・中咽頭がんのリハビリテーション : 構音障害,摂食・嚥下障害／溝尻源太郎, 熊倉勇美 編著,:医歯薬出版, 2000
履修上の注意事項
事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。
連絡先
大木　明子:moki.mfoe@tmd.ac.jp
オフィスアワー
大木　明子:メールにて面談の日程を調整すること。2 号館 2 階准教授室

時間割番号	023060				
科目名	顎補綴工学実習				
担当教員	大木　明子, 冨川　紘一				
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	1

時間数:45時間

授業形態:実習

主な講義場所

口腔保健工学専攻　第 1 実習室

授業の目的、概要等

顎口腔および顔面の欠損に適用される治療用装置の構造と製作法を理解する。

授業の到達目標(SBOs)

1. 上顎顎義歯の構造について説明する。
2. 栓塞部の製作法を理解して上顎顎義歯を製作する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/30	16:00–16:50	第1実習室	顎補綴工学実習概説	顎補綴工学実習内容説明	大木　明子	SBOs 1,2
2	9/30	17:00–17:50	第1実習室	個人トレー1	模型調整、概形線記入、ブロックアウト、リリーフ	大木　明子, 冨川　紘一	SBOs 1,2
3	10/7	16:00–17:50	第1実習室	個人トレー2	常温重合レジン圧接、トリミング、柄	大木　明子, 冨川　紘一	SBOs 1,2
4	10/10	09:00–11:50	第1実習室	咬合床 1	作業用模型調整、サベイング、ブロックアウト、リリーフ、ワイヤークラスプ屈曲	大木　明子, 冨川　紘一	SBOs 1,2
5	10/14	16:00–17:50	第1実習室	咬合床 2	ワイヤークラスプ屈曲、常温重合レジン圧接、トリミング	大木　明子, 冨川　紘一	SBOs 1,2
6	10/21	16:00–17:50	第1実習室	咬合床 3、咬合器装着	ワックスリム追加、咬合採得、咬合器装着	大木　明子, 冨川　紘一	SBOs 1,2
7	10/24	09:00–11:50	第1実習室	支台装置 1	外形線記入、サベイング、ブロックアウト、リリーフ	大木　明子, 冨川　紘一	SBOs 1,2
8	10/28	16:00–17:50	第1実習室	支台装置 2	ワイヤークラスプ屈曲、副印象	大木　明子, 冨川　紘一	SBOs 1,2
9	10/31	09:00–11:50	第1実習室	支台装置 3	耐火模型製作、ワックスアップ、埋没	大木　明子, 冨川　紘一	SBOs 1,2
10	11/4	09:00–15:50	第1実習室	支台装置 4	鋳造、研磨	大木　明子, 冨川　紘一	SBOs 1,2
11	11/7	09:00–11:50	第1実習室	人工歯排列 1	人工歯排列、支台装置付与	大木　明子, 冨川　紘一	SBOs 1,2
12	12/2	10:00–16:50	第1実習室	人工歯排列 2、埋没	歯肉形成、ろう義歯完成、埋没	大木　明子, 冨川　紘一	SBOs 1,2
13	12/9	10:00–16:50	第1実習室	欠損部修正、重合	流ろう、欠損部修正・石膏コア製作、レジン填入、重合	大木　明子, 冨川　紘一	SBOs 1,2
14	12/16	13:00–17:50	第1実習室	研磨	割り出し、削合、研磨	大木　明子, 冨川　紘一	SBOs 1,2

成績評価の方法

出席状況、授業態度、製作作品を総合的に評価し合否を判定する。

準備学習などについての具体的な指示

実習書をよく読んで予習しておくこと。

試験の受験資格

4 分の 3 以上の出席

参考書

顎顔面補綴の臨床 : 咀嚼・嚥下・発音の機能回復のために／大山喬史, 谷口尚 編 : 医学情報社, 2006 Maxillofacial Rehabilitation／J. Beumer Ⅲ, MT Maunick, SJ Esposito : Quintessence, 2011
履修上の注意事項 事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。
連絡先 大木　明子:moki.mfoe@tmd.ac.jp 冨川　紘一fukawa.peoe@tmd.ac.jp
オフィスアワー 大木　明子:メールにて面談の日程を調整すること。2 号館 2 階准教授室 冨川　紘一随時

時間割番号	023061				
科目名	口腔リハビリテーション工学				
担当教員	大木　明子, 杉本　久美子, 岩佐　康行, 猪原　健				
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	1

時間数:15時間
授業形態:講義

主な講義場所

口腔保健工学専攻　第4講義室

授業の目的、概要等

摂食・嚥下障害など口腔機能障害の病態と、その機能訓練・回復治療法について理解する。

授業の到達目標(SBOs)

1. 摂食・嚥下障害の病因、病態、障害を説明する。
2. 摂食・嚥下障害に対するリハビリテーションの流れを説明する。
3. 摂食・嚥下障害に対する補綴的対応を説明する。
4. 誤嚥性肺炎と口腔ケア、口腔ケア用品について説明する。
5. 摂食・嚥下障害に対するチーム医療を説明する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	12/2	09:00-09:50	第4講義室	摂食・嚥下のメカニズム	摂食・嚥下の解剖・生理とその障害	杉本　久美子	SBOs 1
2	12/9	09:00-09:50	第4講義室	摂食・嚥下障害とは	摂食・嚥下障害の概要、背景、原因	大木　明子	SBOs 1
3	12/16	09:00-11:50	第4講義室	摂食・嚥下障害の評価法、摂食・嚥下障害の治療の流れ、摂食・嚥下訓練	問診、観察、スクリーニングテスト、検査、摂食・嚥下リハビリテーション、摂食・嚥下訓練(間接訓練、直接訓練)	岩佐　康行	SBOs 2
4	1/6	09:00-11:50	第4講義室	脳血管疾患、介護と摂食・嚥下障害、摂食・嚥下障害と栄養管理	脳血管障害と摂食・嚥下リハビリテーション、介護保険、在宅・施設における摂食・嚥下障害の対応、摂食・嚥下障害の患者の食事の考え方	猪原　健	SBOs 1-3
5	1/13	09:00-10:50	第4講義室	口腔腫瘍と摂食・嚥下障害、上顎・軟口蓋欠損・舌欠損への補綴的対応	口腔腫瘍と摂食・嚥下リハビリテーション、上顎顎義歯、軟口蓋挙上装置、舌接触補助床の製作法	大木　明子	SBOs 3
6	1/20	09:00-09:50	第4講義室	言語障害	言語障害と言語訓練	大木　明子	SBOs 1-3
7	1/27	09:00-10:50	第4講義室	誤嚥性肺炎と口腔ケア	口腔細菌と誤嚥性肺炎、誤嚥性肺炎の予防、誤嚥性肺炎の治療法、口腔ケア、口腔ケア用品	大木　明子	SBOs 4
8	2/3	09:00-10:50	第4講義室	チームアプローチ、まとめ	摂食・嚥下障害に対するチームアプローチ、栄養サポートチームや呼吸サポートチームにおける歯科の果たす役割、まとめ	大木　明子	SBOs 5

成績評価の方法

出席状況、授業態度、筆記試験を総合的に評価し、合否を判定する。

準備学習などについての具体的な指示

人体の構造と機能で学習した頭頸部の解剖と生理について復習しておくこと。
事前に資料が WebClass にアップロードされた場合はよく読んでから講義に出席すること。

試験の受験資格

3分の2以上の出席

参考書

摂食・嚥下リハビリテーション／才藤栄一, 向井美恵 監修,鎌倉やよい, 熊倉勇美, 藤島一郎, 山田好秋 編:医歯薬出版, 2007

歯学生のための摂食･嚥下リハビリテーション学／向井美惠, 山田好秋 編,:医歯薬出版, 2008 評価法と対処法／植松宏 監修,:医歯薬出版, 2005 誤嚥性肺炎の予防と対処法／植松宏 監修,:医歯薬出版, 2005 栄養管理と障害へのアプローチ／植松宏 監修,:医歯薬出版, 2006 医師･歯科医師のための摂食･嚥下障害ハンドブック／本多知行, 溝尻源太郎 編著,:医歯薬出版, 2002 摂食･嚥下リハビリテーション : 動画でわかる／藤島 一郎／監修,柴本 勇／監修,:中山書店, 2004 口腔ケア基礎知識 : 口腔ケア 4 級･5 級認定資格基準準拠／日本口腔ケア学会 編,:永末書店, 2008 口腔ケア基礎知識 : 口腔ケア 4 級･5 級認定資格基準準拠／日本口腔ケア学会 編,:永末書店, 2008 顎顔面補綴の臨床 : 咀嚼･嚥下･発音の機能回復のために／大山喬史, 谷口尚 編,:医学情報社, 2006 口腔･中咽頭がんのリハビリテーション : 構音障害,摂食･嚥下障害／溝尻源太郎, 熊倉勇美 編著,:医歯薬出版, 2000
履修上の注意事項 事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。
連絡先 大木 明子:moki.mfoe@tmd.ac.jp 杉本 久美子:ksugimoto.bohs@tmd.ac.jp
オフィスアワー 大木 明子:メールにて面談の日程を調整すること。2 号館 2 階准教授室 杉本 久美子:随時

時間割番号	023062				
科目名	キャリアマネージメント学				
担当教員	池田　正臣				
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1

時間数：15時間

授業形態：講義

授業の目的、概要等

衛生行政の概要と歯科技工士法を理解し、歯科技工士免許の位置づけを学ぶ。

授業の到達目標(SBOs)

1. 衛生行政の概要を把握し、法律と厚生労働省を中心とした国の仕組みを説明する。
2. 歯科技工士免許について説明する。
3. 歯科技工士試験について説明する。
4. 歯科技工士業務について説明する。
5. 歯科技工所の開設について説明する。
6. 雑則、罰則、附則について説明する。
7. 医療法、歯科医師法、歯科衛生士法との係りについて説明する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/10	09:00-10:50	第1講義室	衛生行政の概要	衛生行政の概要	池田　正臣	SBOs 1
2	4/17	09:00-10:50	第1講義室	歯科技工士法 1	総則と歯科技工士免許	池田　正臣	SBOs 2
3	4/24	09:00-10:50	第1講義室	歯科技工士法 2	歯科技工士試験	池田　正臣	SBOs 3
4	5/1	09:00-10:50	第1講義室	歯科技工士法 3	歯科技工士試験	池田　正臣	SBOs 3
5	5/15	09:00-10:50	第1講義室	歯科技工士法 4	歯科技工士業務	池田　正臣	SBOs 4
6	5/22	09:00-10:50	第1講義室	歯科技工士法 5	歯科技工士業務	池田　正臣	SBOs 4
7	5/29	09:00-11:50	第1講義室	歯科技工士法とその他の関係法規	歯科技工所について、歯科技工士法の雑則、罰則、附則、医療法、歯科医師法、歯科衛生士法	池田　正臣	SBOs 5-7

成績評価の方法

筆記試験およびレポートで総括的に評価する。

準備学習などについての具体的な指示

事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

教科書

歯科技工士関係法規／全国歯科技工士教育協議会 編石井拓男, 岡田眞人, 平田創一郎 著：医歯薬出版, 2007

連絡先

池田　正臣:ikeda.csoe@tmd.ac.jp

オフィスアワー

池田　正臣:メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023064				
ユニット名	再建工学包括臨床実習 A				
担当教員	鈴木　哲也, 口腔保健工学専攻教員, 歯学科教員				
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	4

科目名:再建工学包括臨床実習
時間数:180時間
授業形態:実習

主な講義場所

口腔保健工学専攻　第1実習室

授業の目的、概要等

歯科医療チームの一員として診療参加型臨床実習を円滑に実践、遂行するための準備段階として必要な基本的態度・知識・技能を習得する。

授業の到達目標(SBOs)

1. 医療人としての倫理観を身につける。
2. 多職種との連携に必要な事項を列挙する。
3. 臨床模型による歯科技工操作の留意点を説明する。
4. 臨床実習に必要となる基本的歯科技工技術を確実にする。
5. 歯学部附属病院における各診療科の特徴を理解する。
6. 製作上に必要な情報を取得し、整理する。
7. 症例に応じた補綴デザインを選択する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/9	13:00-16:50	第1実習室,総合実習室	再建工学包括臨床実習　オリエンテーション	オリエンテーション、臨床実習	鈴木　哲也 口腔保健工学専攻教員	SBOs 1-3
2	10/23	11:00-16:50	第1実習室,総合実習室	再建工学包括臨床実習 Phase Ⅰ	臨床実習に必要となる基本的歯科技工技術の確認	鈴木　哲也 口腔保健工学専攻教員	SBOs 3, 4
3	10/30	11:00-16:50	第1実習室,総合実習室	再建工学包括臨床実習 Phase Ⅰ	臨床実習に必要となる基本的歯科技工技術の確認	鈴木　哲也 口腔保健工学専攻教員	SBOs 3, 4
4	11/6	11:00-16:50	第1実習室,総合実習室	再建工学包括臨床実習 Phase Ⅰ	臨床実習に必要となる基本的歯科技工技術の確認	鈴木　哲也 口腔保健工学専攻教員	SBOs 3, 4
5	11/13	11:00-15:50	第1実習室,総合実習室	再建工学包括臨床実習 Phase Ⅰ	臨床実習に必要となる基本的歯科技工技術の確認	鈴木　哲也 口腔保健工学専攻教員	SBOs 3, 4
6	11/17	09:00-13:50	歯学部附属病院各診療室	再建工学包括臨床実習 Phase Ⅱ	歯学部附属病院の各診療科での臨床実習	鈴木　哲也 歯学科教員	SBOs 1-5
7	11/18	09:00-13:50	歯学部附属病院各診療室	再建工学包括臨床実習 Phase Ⅱ	歯学部附属病院の各診療科での臨床実習	鈴木　哲也 歯学科教員	SBOs 1-5
8	11/19	09:00-13:50	歯学部附属病院各診療室	再建工学包括臨床実習 Phase Ⅱ	歯学部附属病院の各診療科での臨床実習	鈴木　哲也 歯学科教員	SBOs 1-5
9	11/20	09:00-13:50	歯学部附属病院各診療室	再建工学包括臨床実習 Phase Ⅱ	歯学部附属病院の各診療科での臨床実習	鈴木　哲也 歯学科教員	SBOs 1-5
10	11/21	09:00-14:50	歯学部附属病院各診療室	再建工学包括臨床実習 Phase Ⅱ	歯学部附属病院の各診療科での臨床実習	鈴木　哲也 歯学科教員	SBOs 1-5
11	11/25	09:00-14:50	歯学部附属病院各診療室	再建工学包括臨床実習 Phase Ⅱ	歯学部附属病院の各診療科での臨床実習	鈴木　哲也 歯学科教員	SBOs 1-5

12	11/26	09:00-14:50	歯学部附属病院各診療室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅡ	歯学部附属病院の各診療科での臨床実習	鈴木 哲也 歯学科教員	SBOs 1-5
13	11/27	09:00-14:50	歯学部附属病院各診療室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅡ	歯学部附属病院の各診療科での臨床実習	鈴木 哲也 歯学科教員	SBOs 1-5
14	11/28	09:00-14:50	歯学部附属病院各診療室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅡ	歯学部附属病院の各診療科での臨床実習	鈴木 哲也 歯学科教員	SBOs 1-5
15	12/4	11:00-15:50	第1実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術の習得	口腔保健工学専攻教員	SBOs 3, 4, 6, 7
16	12/10	09:00-15:50	第1実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術の習得	口腔保健工学専攻教員	SBOs 3, 4, 6, 7
17	12/11	09:00-15:50	第1実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術の習得	口腔保健工学専攻教員	SBOs 3, 4, 6, 7
18	12/17	09:00-15:50	第1実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術の習得	口腔保健工学専攻教員	SBOs 3, 4, 6, 7
19	12/18	09:00-15:50	第1実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術の習得	口腔保健工学専攻教員	SBOs 3, 4, 6, 7
20	1/8	09:00-13:50	第1実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術の習得	口腔保健工学専攻教員	SBOs 3, 4, 6, 7
21	1/14	09:00-13:50	第1実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術の習得	口腔保健工学専攻教員	SBOs 3, 4, 6, 7
22	1/15	09:00-13:50	第1実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術の習得	口腔保健工学専攻教員	SBOs 3, 4, 6, 7
23	1/21	09:00-14:50	第1実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術の習得	口腔保健工学専攻教員	SBOs 3, 4, 6, 7
24	1/22	09:00-13:50	第1実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術の習得	口腔保健工学専攻教員	SBOs 3, 4, 6, 7
25	1/26	13:00-16:50	第1実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術の習得	口腔保健工学専攻教員	SBOs 3, 4, 6, 7
26	1/28	09:00-14:50	第1実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術の習得	口腔保健工学専攻教員	SBOs 3, 4, 6, 7
27	1/29	09:00-13:50	第1実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術の習得	口腔保健工学専攻教員	SBOs 3, 4, 6, 7
28	2/2	13:00-16:50	第1実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術の習得	口腔保健工学専攻教員	SBOs 3, 4, 6, 7
29	2/4	09:00-14:50	第1実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術の習得	口腔保健工学専攻教員	SBOs 3, 4, 6, 7
30	2/5	09:00-13:50	第1実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術の習得	口腔保健工学専攻教員	SBOs 3, 4, 6, 7
31	2/9	13:00-16:50	第1実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術の習得	口腔保健工学専攻教員	SBOs 3, 4, 6, 7
32	2/10	09:00-14:50	第1実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術の習得	口腔保健工学専攻教員	SBOs 3, 4, 6, 7
33	2/12	09:00-11:50	第1実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術の習得	口腔保健工学専攻教員	SBOs 3, 4, 6, 7
34	3/2	09:00-11:50	第1実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術の習得	口腔保健工学専攻教員	SBOs 3, 4, 6, 7
35	3/3	09:00-11:50	第1実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術の習得	口腔保健工学専攻教員	SBOs 3, 4, 6, 7
36	3/4	09:00-11:50	第1実習室,	再建工学包括臨	臨床模型を使った歯科技工技術	口腔保健工学	SBOs 3, 4, 6, 7

			総合実習室	床実習 PhaseⅢ	の習得	専攻教員	
37	3/5	09:00-11:50	第1実習室, 総合実習室	再建工学包括臨 床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	口腔保健工学 専攻教員	SBOs 3, 4, 6, 7
38	3/6	09:00-11:50	第1実習室, 総合実習室	再建工学包括臨 床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	口腔保健工学 専攻教員	SBOs 3, 4, 6, 7
39	3/9	09:00-11:50	第1実習室, 総合実習室	再建工学包括臨 床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	口腔保健工学 専攻教員	SBOs 3, 4, 6, 7
40	3/10	09:00-11:50	第1実習室, 総合実習室	再建工学包括臨 床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	口腔保健工学 専攻教員	SBOs 3, 4, 6, 7
41	3/11	09:00-11:50	第1実習室, 総合実習室	再建工学包括臨 床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	口腔保健工学 専攻教員	SBOs 3, 4, 6, 7
42	3/12	09:00-11:50	第1実習室, 総合実習室	再建工学包括臨 床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	口腔保健工学 専攻教員	SBOs 3, 4, 6, 7
43	3/13	09:00-11:50	第1実習室, 総合実習室	再建工学包括臨 床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	口腔保健工学 専攻教員	SBOs 3, 4, 6, 7

成績評価の方法

・毎回の課題への取り組み、提出物を総合的に評価する。
・必要に応じて指導教員が適宜口頭試問を行う。
・出席状況、授業態度を評価に加味する。
・再建工学包括臨床実習の最終成績判定はユニット「再建工学包括臨床実習 A」および「再建工学包括臨床実習 B」の評価を総合して行う。
・本学海外研修奨励制度に基づく奨学生の海外研修は本科目の 45 時間分の履修として認定する。

履修上の注意事項

・事前に資料の配布、Webclass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。 ・再建工学包括臨床実習 PhaseⅡの具体的な班分け、詳細な日程は別に定める。

連絡先

鈴木 哲也: suzuki.peoe@tmd.ac.jp

オフィスアワー

鈴木 哲也: 随時 メールにて日時を相談

第４学年
履修科目・ユニット

時間割番号	023065				
科目名	画像解析学概論				
担当教員	高橋　英和, 鈴木　哲也, 吉野　教夫				
開講時期	前期	対象年次	4	単位数	1

時間数:15時間
授業形態:講義
選択

主な講義場所

2 号館　第2講義室

授業の目的、概要等

放射線の性質や、顎顔面口腔領域で利用される画像検査法の種類、特徴および適応を理解する。

授業の到達目標(SBOs)

1. 顔面頭蓋部撮影画像を基に PC 上で加工ができる。
2. 放射線の種類、性質、測定法、単位を説明できる。
3. エックス線の発生と画像形成の原理を説明できる。
4. エックス線フィルムおよび増感紙の構造と性質を説明できる。
5. エックス線写真処理の原理と方法を説明できる。
6. デジタルラジオグラフィーの原理および特徴を説明できる。
7. 口内法エックス線撮影の種類を列挙し、それぞれの方法および適応を説明できる。
8. パノラマエックス線撮影の原理、方法および適応を説明できる。
9. 顔面頭蓋部撮影の種類を列挙し、それぞれの方法および適応を説明できる。
10. 歯科用コーンビーム CT、CT、MRI、超音波検査の原理と顎顔面口腔領域における適応を説明できる。
11. 歯科用インプラントのためのステント作成とそのステントを用いる CT について説明できる。
12. 各種画像に見られる顎顔面口腔領域の正常像について説明できる。
13. 各種画像に見られる顎顔面口腔領域の異常所見を指摘できる。
14. 放射線の人体に対する影響を説明できる。
15. がんの放射線治療とその補助装置を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/7	09:00-11:50	第3講義室	オリエンテーション CAD/CAM/CAE 総論	プロセスデバイス概論、CAD/CAM/CAE とは	鈴木　哲也, 高橋　英和	SBOs 1
2	4/9	13:00-15:50	第2講義室	エックス線写真の原理	放射線の種類と性質 エックス線画像形成の原理エックス線写真処理の原理 デジタルラジオグラフィーの原理	吉野　教夫	SBOs 2-6
3	4/16	13:00-15:50	第2講義室	歯科用エックス線撮影の種類と原理	口内法エックス線撮影の種類 パノラマエックス線撮影の原理 顔面頭蓋部撮影の種類 歯科用コーンビームCTほか インプラントのためのステントと CT	吉野　教夫	SBOs 7-11
4	4/23	13:00-15:50	第2講義室	顎顔面口腔領域の正常像と異常像	画像診断 正常像と異常所見	吉野　教夫	SBOs 12-13
5	4/30	13:00-15:50	第2講義室	放射線の人体への影響と放射線治療	放射線の人体に対する影響 がんの放射線治療とその補助装置	吉野　教夫	SBOs 14-15

成績評価の方法

・提出レポート、期末の客観試験で総括的評価を行う。
・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

参考書

歯科放射線学／岡野友宏, 小林馨, 有地榮一郎 編集.:医歯薬出版, 2013

歯科臨床における画像診断アトラス／日本歯科放射線学会 編：医歯薬出版，2008
連絡先 高橋　英和:takahashi.bmoe@tmd.ac.jp 鈴木　哲也:suzuki.peoe@tmd.ac.jp
オフィスアワー 高橋　英和:あらかじメールにて面談時間を相談のこと 鈴木　哲也:随時 メールにて日時を相談

時間割番号	023066				
科目名	画像解析学概論実習				
担当教員	高橋　英和, 口腔保健工学専攻教員				
開講時期	前期	対象年次	4	単位数	1

時間数:45時間
授業形態:実習
選択

授業の目的、概要等

CAD/CAM 機器による補綴装置製作の流れを理解し、オーダー作成から実際の補綴装置製作までを実施する。

授業の到達目標(SBOs)

1. CAD 機器の設定を行う。
2. オーダーの作成を行う。
3. 模型のスキャンニングを行う。
4. マージン部の設定を行う。
5. クランブリッジの形状構築と変更を行う。
6. STL データの出力を行う。
7. CAM 工程の基本操作を説明する。
8. パーシャルデンチャーのメタルフレームを設計する。
9. コンプリートデンチャーへの適応を試みる。
10. CAD/CAM 操作の一連の操作を実施する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/14	09:00-11:50	第3講義室	オーダー	DW の基本　新規オーダーの作成	鈴木　哲也, 高橋　英和	SBOs 1,2
2	4/21	09:00-11:50	第3講義室	スキャンニング	アーチモデルのスキャンニング、スキャン設定、支台歯のスキャン、対合歯のスキャン	口腔保健工学専攻教員	SBOs 3
3	4/28	09:00-11:50	第3講義室	マージン部の設定	マージンラインと着脱方向の設定	口腔保健工学専攻教員	SBOs 4
4	5/12	09:00-11:50	第3講義室	CAD 工程 1	クラウンの CAD 工程、クラウン形状の構築・変更、クリニカルハンドル、コンタクトポイント	口腔保健工学専攻教員	SBOs 5
5	5/19	09:00-11:50	第3講義室	CAD 工程 2	ブリッジの CAD 工程、ブリッジ形状の構築・変更	口腔保健工学専攻教員	SBOs 5
6	5/26	09:00-11:50	第3講義室	STL データ	STL データの出力	口腔保健工学専攻教員	SBOs 6
7	6/2	09:00-11:50	第3講義室	CAM 工程 1	CAD ソフトの習得	口腔保健工学専攻教員	SBOs 7
8	6/3	09:00-11:50	第3講義室	CAM 工程 2	補綴装置の研削加工	口腔保健工学専攻教員	SBOs 7
9	6/10	09:00-11:50	第3講義室	PD メタルフレーム 1	PD 模型のスキャン　前処理	口腔保健工学専攻教員	SBOs 8
10	6/17	09:00-11:50	第3講義室	PD メタルフレーム 2	メタルフレームの形状の構築・変更	口腔保健工学専攻教員	SBOs 8
11	6/24	09:00-11:50	第3講義室	FD の形態	FD 模型のスキャン、形状の把握	口腔保健工学専攻教員	SBOs 9
12	7/1	09:00-11:50	第3講義室	自由製作課題 1	製作テーマの設定　CAD/CAM 操作の実施	口腔保健工学専攻教員	SBOs 1-10
13	7/8	09:00-11:50	第3講義室	自由製作課題 2	製作テーマの設定　CAD/CAM 操作の実施	口腔保健工学専攻教員	SBOs 1-10

14	7/15	09:00-11:50	第3講義室	自由製作課題3	製作テーマの設定　CAD/CAM 操作の実施	口腔保健工学専攻教員	SBOs 1-10
15	7/22	09:00-11:50	第3講義室	自由製作課題4	作品の完成	口腔保健工学専攻教員	SBOs 1-10

成績評価の方法

・レポートおよび製作作品を総合的に評価し合否を判定する。

・出席状況、授業態度を評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。

参考書

CAD/CAM デンタルテクノロジー／日本歯科 CAD CAM 学会, 全国歯科技工士教育協議会 監修,末瀬一彦, 宮崎隆 編,:医歯薬出版, 2012

連絡先

takahashi.bmoe@tmd.ac.jp

オフィスアワー

あらかじメールにて面談時間を相談のこと

時間割番号	023067				
科目名	オーラルインストゥルメント工学				
担当教員	池田　正臣				
開講時期	前期	対象年次	4	単位数	1

時間数：15時間
授業形態：講義

授業の目的、概要等

歯科医療機器（歯科器械・歯科材料）の研究開発から製造・実用化までの流れを知り、そのために必要な薬事法等の基礎知識について学ぶ。

授業の到達目標(SBOs)

1. 歯科医療機器の開発プロセスの全体像を説明できる。
2. 歯科医療機器の研究開発に関係する評価基準を説明できる。
3. 歯科医療機器に関係する薬事法の基礎を説明できる。
4. 歯科医療機器の許認可の仕組みについて説明できる。
5. 歯科医療機器の許認可取得に必要なデータについて説明できる。
6. 利益相反について説明できる。
7. 倫理審査のための手続きについて説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	6/4	15:00-15:50	第2講義室	歯科医療機器（歯科器械・歯科材料）総論	歯科医療を支える歯科医療機器、歯科技工物	池田　正臣	SBOs 1
2	6/11	14:00-15:50	第2講義室	歯科医療機器の開発プロセス	シーズ、マーケティング（国内外）、研究開発・試作、データ取得（有効性・安全性）（非臨床・臨床）、許認可（申請・審査）、実用化	池田　正臣	SBOs 2
3	6/18	14:00-15:50	第2講義室	歯科医療機器の研究開発・評価	原材料（PL法）、国際評価基準・国内評価基準（ISO・JIS）、歯科バイオマテリアル	池田　正臣	SBOs 3
4	6/25	14:00-15:50	第2講義室	歯科医療機器の許認可1	薬事法（法令・通知）、認証・承認、有効性・安全性データ	池田　正臣	SBOs 4
5	7/2	14:00-15:50	第2講義室	歯科医療機器の許認可2	臨床研究・治験、歯科医療倫理（ヘルシンキ宣言、再生医療）、リスク評価、歯科再生医工学	池田　正臣	SBOs 4
6	7/9	14:00-15:50	第2講義室	歯科医療機器産業	品質、改良・改善、保険収載、産学連携	池田　正臣	SBOs 4
7	7/16	14:00-15:50	第2講義室	歯科医療機器の現状	国内外の歯科医療機器開発・実用化、デバイスラグ、新製品・新材料、材料の安全性	池田　正臣	SBOs 5
8	7/23	14:00-15:50	第2講義室	利益相反と倫理審査	利益相反の実例と対応策、倫理審査の手続き	池田　正臣	SBOs 6,7

成績評価の方法

筆記試験およびレポートで総括的に評価する。

準備学習などについての具体的な指示

事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

参考書

医療機器製造販売申請の手引／日本医療機器産業連合会 編：薬事日報社, 2010

連絡先

池田　正臣:ikeda.csoe@tmd.ac.jp

オフィスアワー

池田　正臣:メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023068				
科目名	スポーツ歯科工学				
担当教員	大木　明子, 上野　俊明, 中禮　宏				
開講時期	前期	対象年次	4	単位数	1

授業形態：講義
時間数：15 時間

主な講義場所

口腔保健工学専攻　第 2 講義室および第 2 実習室

授業の目的、概要等

スポーツと歯科保健医療、特にマウスガードの構造と製作法を理解する。

授業の到達目標(SBOs)

1. 顎口腔領域のスポーツ外傷とその特徴を説明する。
2. 顎口腔領域のスポーツ外傷の予防について説明する。
3. マウスガードの目的、種類、特徴について説明する。
4. マウスガードの材料について説明する。
5. マウスガードの構造と製作法について説明する。
6. フェイスガードの構造と製作法について説明する。
7. 顎口腔系機能と身体運動機能の関連について説明する。
8. スポーツ選手のおける顎口腔系の状態とその健康管理について説明する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	5/15	13:00-15:50	第2講義室	スポーツ外傷	スポーツ外傷の特徴と予防	上野　俊明, 中禮　宏	SBOs 1,2
2	5/22	13:00-15:50	第2講義室	マウスガード、フェイスガード	マウスガードの目的、種類、材料、製作法、フェイスガードの構造、製作法	上野　俊明, 中禮　宏	SBOs 3-6
3	5/29	13:00-15:50	第2講義室	スポーツと歯科医療	顎口腔系機能と身体運動機能の関連、スポーツ選手の健康管理	上野　俊明, 中禮　宏	SBOs 7,8
4	6/5	13:00-15:50	第2講義室, 第2実習室	マウスガードの製作 1	模型調整、	上野　俊明, 中禮　宏	SBOs 4,5
5	6/12	13:00-15:50	第2講義室, 第2実習室	マウスガードの製作 2	マウスガード完成	上野　俊明, 中禮　宏	SBOs 4-6

成績評価の方法

出席状況、授業態度、筆記試験を総合的に評価し合否を判定する。

準備学習などについての具体的な指示

事前に資料が配布または WebClass にアップされた場合は予習してから講義に出席すること。10～15 回はマウスガード製作について実習を行うので、参考書1のスポーツマウスガードハンドブックをよく読んでから出席すること。

試験の受験資格

3 分の 2 以上の出席

参考書

スポーツマウスガードハンドブック：医学情報社, 2004
スポーツ歯科臨床マニュアル／日本スポーツ歯科医学会 編,：医学情報社, 2007
スポーツ歯科入門ハンドブック ： 健康スポーツ歯科をめざして／安井利一, 杉山義祥 編著,姫野かつよ [ほか]著,：医学情報社, 2009

履修上の注意事項

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。 10～15 回には実習も行うので、インスツルメント器材を準備しておくこと。

連絡先

大木　明子:moki.mfoe@tmd.ac.jp
上野　俊明:t.ueno.spmd@tmd.ac.jp

オフィスアワー

大木　明子:メールにて面談の日程を調整すること。2 号館 2 階准教授室

上野　俊明:月・木 16:00–17:00

時間割番号	023069				
科目名	オーラルアプライアンス工学				
担当教員	鈴木　哲也, 秀島　雅之, 高橋　英和, 船登　雅彦				
開講時期	前期	対象年次	4	単位数	1

時間数：15時間

授業形態：講義

主な講義場所

口腔保健工学専攻　第2講義室

授業の目的、概要等

顎関節症、睡眠時無呼吸症などの治療に用いるスプリントの意義と製作法を修得する。

授業の到達目標(SBOs)

1. 睡眠時無呼吸症候群(Sleep Apnea Syndrome：SAS)の症状について説明する。
2. SAS の治療法について説明する。
3. SAS に用いるスリープスプリント（Oral Appliance: OA）の製作法について説明する。
4. 顎関節症の症状について説明する。
5. 顎関節症の治療法について説明する。
6. 顎関節症に用いるスプリントの製作法について説明する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/8	09:00-11:50	第2講義室	睡眠時無呼吸症候群(SAS)とは	SAS の医学的背景 医科との連携と歯科での対応	鈴木　哲也, 秀島　雅之	SBOs 1
2	4/15	09:00-11:50	第2講義室	SAS の治療法	SAS の治療法 SAS 用スプリント（OA）の種類と材料, 設計	秀島　雅之	SBOs 2
3	4/22	09:00-10:50	第2講義室	SAS 用 OA の製作法	OA 作製に用いる模型 OA の印象, 咬合採得 OA の設計と作製・調整法	秀島　雅之	SBOs 3
4	5/13	09:00-10:50	第2講義室	顎関節症の症状	顎関節症の臨床症状 顎関節症の原因	船登　雅彦	SBOs 4
5	5/20	09:00-10:50	第2講義室	顎関節症の治療法	顎関節症の治療法 スタビライゼイションスプリント その他のスプリント	船登　雅彦	SBOs 5
6	5/27	09:00-11:50	第2講義室	顎関節症に用いるスプリントの製作法	スタビライゼイションスプリントの作製 スタビライゼイションスプリントの調整	高橋　英和, 船登　雅彦	SBOs 6

成績評価の方法

・提出レポート、期末の客観試験で総括的評価を行う。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

参考書

写真でマスターする顎関節症治療のためのスプリントのつくり方・つかい方／鱒見進一, 皆木省吾 編著：ヒョーロン・パブリッシャーズ, 2011

履修上の注意事項

事前に資料の配付、Webclass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

連絡先

鈴木　哲也:suzuki.peoe@tmd.ac.jp

高橋　英和:takahashi.bmoe@tmd.ac.jp

秀島　雅之:m.hideshima.rpro@tmd.ac.jp

オフィスアワー

鈴木　哲也:随時 メールにて日時を相談

高橋　英和:あらかじメールにて面談時間を相談のこと

秀島　雅之:水　17：00－18：00

時間割番号	023070				
科目名	特論Ⅰ（卒業研究）				
担当教員	杉本　久美子，木場　秀夫，口腔保健工学専攻教員				
開講時期	通年	対象年次	4	単位数	3

主な講義場所

口腔保健工学専攻　第 2 講義室、第 4 講義室

授業の目的、概要等

各学生の科学的興味、将来の方向性に沿ってテーマを選択し、計画・立案に基づいて研究を実施する。さらに結果を口頭発表し、論文にまとめることにより、研究への理解と意欲を培う。

授業の到達目標(SBOs)

1. 自分の科学的興味、将来の方向性に沿って研究テーマを設定する。
2. 研究テーマに対応した論文の検索と科学的吟味を行い、これまでの知見を整理する。
3. EBM・EBHC の概念を説明する。
4. 知見や問題点に基づいた研究の計画・立案をする。
5. 研究計画に基づき研究を実施する。
6. 実験・調査などのデータを分析整理し、統計学的に解析する。
7. 結果に基づき、新たな問題点と課題を抽出、提起する。
8. 一連の研究成果を論文にまとめ、発表する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/10	13:00-16:50	第2講義室	研究計画検討	研究計画書作成	大木　明子 口腔保健工学専攻教員	SBOs: 1-4
2	4/11	09:00-14:50	第2講義室	研究計画決定	研究計画書完成	口腔保健工学専攻教員	SBOs: 1-4
3	4/17	13:00-16:50	第2講義室	研究計画発表準備	研究計画発表会のスライド作成	口腔保健工学専攻教員	SBOs: 1-4
4	4/18	09:00-14:50	第2講義室	研究計画報告	研究計画発表会	口腔保健工学専攻教員	SBOs: 1-4
5	4/24	13:00-16:50	第2講義室	研究計画の見直しと確定、研究実施	研究計画の見直しと確定、研究計画に基づく研究の実施	口腔保健工学専攻教員	SBOs: 4, 5
6	4/25	09:00-14:50	第2講義室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施	口腔保健工学専攻教員	SBOs: 5
7	5/1	13:00-16:50	第2講義室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施	口腔保健工学専攻教員	SBOs: 5
8	5/2	09:00-14:50	第2講義室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、研究データの整理・分析	口腔保健工学専攻教員	SBOs: 5, 6
9	5/9	09:00-14:50	第2講義室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、研究データの整理・分析	口腔保健工学専攻教員	SBOs: 5, 6
10	5/16	09:00-14:50	第2講義室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、研究データの整理・分析	口腔保健工学専攻教員	SBOs: 5, 6
11	5/23	09:00-14:50	第2講義室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、研究データの整理・分析	口腔保健工学専攻教員	SBOs: 5, 6
12	5/30	09:00-15:50	第2講義室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、研究データの整理・分析	口腔保健工学専攻教員	SBOs: 5, 6
13	6/6	09:00-15:50	第2講義室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、研究データの整理・分析	口腔保健工学専攻教員	SBOs: 5, 6
14	6/13	09:00-15:50	第2講義室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、研究データの整理・分析	口腔保健工学専攻教員	SBOs: 5, 6
15	6/19	13:00-16:50	第2講義室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、研究データの整理・分析	口腔保健工学専攻教員	SBOs: 5, 6
16	6/20	09:00-15:50	第2講義室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、研究データの整理・分析	口腔保健工学専攻教員	SBOs: 5, 6

17	6/23	09:00-11:50	第2講義室	中間発表会準備	中間発表会プレゼンテーションの作成	口腔保健工学専攻教員	SBOs: 5-7
18	6/26	13:00-16:50	第4講義室	研究結果中間発表会	研究結果の中間発表と討論、研究進捗状況の確認	口腔保健工学専攻教員	SBOs: 5-7
19	6/27	09:00-15:50	第2講義室	研究の進め方の確認・再検討	中間評価に基づく研究の進め方の確認と再検討	口腔保健工学専攻教員	SBOs: 5-7
20	6/30	09:00-09:50	第2講義室	研究論文作成ガイダンス	研究論文のまとめ方についてのガイダンス、論文集書式、学会発表	杉本 久美子	SBOs: 8
21	6/30	10:00-11:50	第2講義室	研究実施	研究の実施、研究データの整理・分析	口腔保健工学専攻教員	SBOs: 5, 6
22	7/3	13:00-16:50	第2講義室	研究実施	研究の実施、研究データの整理・分析	口腔保健工学専攻教員	SBOs: 5, 6
23	7/4	09:00-15:50	第2講義室	研究実施	研究の実施、研究データの整理・分析	口腔保健工学専攻教員	SBOs: 5, 6
24	7/7	09:00-11:50	第2講義室	研究実施	研究の実施、研究データの整理・分析	口腔保健工学専攻教員	SBOs: 5, 6
25	7/10	13:00-16:50	第2講義室	研究実施	研究の実施、研究データの整理・分析	口腔保健工学専攻教員	SBOs: 5, 6
26	7/11	09:00-13:50	第2講義室	研究実施	研究の実施、研究データの整理・分析	口腔保健工学専攻教員	SBOs: 5, 6
27	7/11	14:00-15:50	第4講義室	卒研特別講義	動物歯科医療と歯科技工	木場 秀夫	SBOs: 2, 3
28	7/14	09:00-11:50	第2講義室	研究論文の作成	研究のまとめ、論文作成	口腔保健工学専攻教員	SBOs: 6-8
29	7/17	13:00-16:50	第2講義室	研究論文の作成	研究のまとめ、論文作成	口腔保健工学専攻教員	SBOs: 6-8
30	7/18	09:00-15:50	第2講義室	研究論文の作成、研究成果報告会準備	研究のまとめ、論文作成 研究成果報告会プレゼンテーションの作成	口腔保健工学専攻教員	SBOs: 6-8
31	7/24	13:00-16:50	第4講義室	研究成果報告	研究成果報告会	口腔保健工学専攻教員	SBOs: 6-8
32	1/9	10:00-15:50	特別講堂	卒業研究成果発表会	卒業研究成果発表会	口腔保健工学専攻教員	SBOs: 8

成績評価の方法

・卒業研究中間報告会での発表により中間評価を行う。

・平成 27 年 1 月 9 日に開催する卒業研究発表会での発表により、口腔保健工学専攻全教員による総括的評価を行う。

・単位認定(3 単位)は、研究計画書、中間発表会プレゼンテーション、研究成果報告会プレゼンテーション、卒業研究論文により行う。

・各課題の WebClass 等への提出状況を評価に加味する。

参考書

保健・医療のための研究法入門 : 発想から発表まで／Diana M.Bailey 著,朝倉隆司 監訳,朝倉京子 [ほか]訳,:協同医書出版社, 2001

Excel による統計入門 : Excel 2007 対応版／縄田和満 著,:朝倉書店, 2007

歯科衛生研究の進め方・論文の書き方／金澤紀子, 武井典子, 合場千佳子, 岩久正明 編,:医歯薬出版, 2007

SPSS によるやさしい統計学／岸学 著,オーム社開発局 企画編集,:オーム社, 2012

SPSS によるやさしいアンケート分析／小木曽道夫 著,オーム社開発局 企画編集,:オーム社, 2012

履修上の注意事項

・常に指導教官と密接な連絡をとり、助言を得ながら研究を進め、研究進行表の各月欄に認印をもらうこと。 ・平成 26 年 12 月末日までに卒業研究論文(A4/6 枚)を WebClass 上で提出すること。 ・研究論文を協力いただいた方に配布すること。

連絡先

杉本 久美子:ksugimoto.bohs@tmd.ac.jp

オフィスアワー

杉本 久美子:随時

時間割番号	023071				
科目名	特論Ⅱ（卒業作品）				
担当教員	上條　真吾，口腔保健工学専攻教員				
開講時期	通年	対象年次	4	単位数	3

時間数　　:135 時間
授業形態　:実習
ユニット番号:53

主な講義場所

口腔保健工学専攻　第 2 実習室

授業の目的、概要等

各学生が歯科技工物に関するテーマを設定し、これまで習得した知識および技術を応用して、歯科技工を適切に行う能力を養成する。

授業の到達目標(SBOs)

1.製作上に必要な情報を取得し、整理する。
2.症例に応じた設計および補綴デザインを選択する。
3.歯科技工に関する基本的な知識および技術を確実にする。
4.歯科技工の基礎技術を応用する能力を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/2	13:00-17:50	第2実習室	特論2(卒業作品)概要	実習内容説明	上條　真吾 口腔保健工学専攻教員	SBOs 1
2	10/3	09:00-16:50	第2実習室	作品テーマの検討	症例検討、情報の収集、製作計画	上條　真吾 口腔保健工学専攻教員	SBOs 1.2
3	10/9	13:00-17:50	第2実習室	卒業作品製作実習	補綴デザイン、設計	上條　真吾 口腔保健工学専攻教員	SBOs 1-4
4	10/10	09:00-16:50	第2実習室	卒業作品製作実習	製作実習	上條　真吾 口腔保健工学専攻教員	SBOs 1-4
5	10/16	13:00-17:50	第2実習室	卒業作品製作実習	製作実習	上條　真吾 口腔保健工学専攻教員	SBOs 1-4
6	10/17	09:00-11:50	第2実習室	卒業作品製作実習	製作実習	上條　真吾 口腔保健工学専攻教員	SBOs 1-4
7	10/23	13:00-17:50	第2実習室	卒業作品製作実習	製作実習	上條　真吾 口腔保健工学専攻教員	SBOs 1-4
8	10/24	09:00-16:50	第2実習室	卒業作品製作実習	製作実習	上條　真吾 口腔保健工学専攻教員	SBOs 1-4
9	10/30	13:00-17:50	第2実習室	卒業作品製作実習	製作実習	上條　真吾 口腔保健工学専攻教員	SBOs 1-4
10	10/31	09:00-16:50	第2実習室	卒業作品製作実習	製作実習	上條　真吾 口腔保健工学専攻教員	SBOs 1-4
11	11/6	13:00-17:50	第2実習室	卒業作品製作実習	製作実習	上條　真吾 口腔保健工学専攻教員	SBOs 1-4
12	11/7	09:00-16:50	第2実習室	卒業作品製作実習	製作実習	上條　真吾 口腔保健工学専攻教員	SBOs 1-4
13	11/13	13:00-17:50	第2実習室	卒業作品製作実習	製作実習	上條　真吾 口腔保健工学専攻教員	SBOs 1-4
14	11/14	09:00-16:50	第2実習室	卒業作品製作実習	製作実習	上條　真吾 口腔保健工学専攻教員	SBOs 1-4
15	11/21	09:00-16:50	第2実習室	卒業作品製作実習	製作実習	上條　真吾 口腔保健工学専攻教員	SBOs 1-4

16	11/27	13:00-17:50	第2実習室	卒業作品製作実習	製作実習	上條 真吾 口腔保健工学専攻教員	SBOs 1-4
17	11/28	09:00-16:50	第2実習室	卒業作品製作実習	製作実習	上條 真吾 口腔保健工学専攻教員	SBOs 1-4
18	12/4	13:00-17:50	第2実習室	卒業作品製作実習	製作実習	上條 真吾 口腔保健工学専攻教員	SBOs 1-4
19	12/5	09:00-16:50	第2実習室	卒業作品製作実習	製作実習	上條 真吾 口腔保健工学専攻教員	SBOs 1-4
20	12/11	13:00-17:50	第2実習室	卒業作品製作実習	製作実習	上條 真吾 口腔保健工学専攻教員	SBOs 1-4
21	12/12	09:00-16:50	第2実習室	卒業作品製作実習	製作実習	上條 真吾 口腔保健工学専攻教員	SBOs 1-4
22	12/18	13:00-17:50	第2実習室	卒業作品製作実習	製作実習	上條 真吾 口腔保健工学専攻教員	SBOs 1-4
23	12/19	09:00-16:50	第2実習室	卒業作品の完成	完成	上條 真吾 口腔保健工学専攻教員	SBOs 1-4

成績評価の方法

・提出物(作品)を総合的に判断し評価する。

・出席状況、授業態度を評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

・各自のテーマに必要な知識および技術を十分に理解して製作に臨むこと。

・製作計画および製作工程に不十分な点がある場合には、各自入念に準備しておくこと。

・事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

連絡先

s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp

オフィスアワー

メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023072				
ユニット名	再建工学包括臨床実習Ｂ				
担当教員	安江　透, 冨川　紘一, 池田　正臣, 上條　真吾				
開講時期	通年	対象年次	4	単位数	10

科目名:再建工学包括臨床実習
時間数:450時間
授業形態:実習

主な講義場所

第2実習室、総合実習室、ポーセレン実習室、硬質レジン実習室

授業の目的、概要等

患者本位の歯科医療を実施するうえで必要となる、各種補綴装置および矯正装置等の製作、ならびに修理に関する知識・技能を習得する。

授業の到達目標(SBOs)

1. 医療人としての倫理観を身につける。
2. 多職種医療スタッフとの連携に必要な事項を列挙する。
3. 臨床実習に必要となる基本的歯科技工技術を確実に身につける。
4. 歯学部附属病院の診療システムおよび各診療科の特徴を理解する。
5. 歯学部附属病院各診療科の担当医の診療スタンスを理解する。
6. 当該実習日における最も効率的な作業計画を立案する。
7. 使用する材料の理工学的特長を理解し、効率的かつ確実性が高い技工作業を行う。
8. 症例に応じた補綴デザインを選択し、高品質な補綴物を製作する。
9. 医療人としての多職種連携の重要性および必要性について理解し、実践する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/7	13:00-15:50	第２実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ　オリエンテーション	臨床実習オリエンテーション	安江　透, 冨川　紘一, 口腔保健工学専攻教員、 歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1,2,4
2	4/7	16:00-16:50	第２実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	ケース配当、 臨床実習	安江　透, 冨川　紘一, 口腔保健工学専攻教員、 歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
3	4/8	13:00-16:50	第２実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江　透, 冨川　紘一, 口腔保健工学専攻教員、 歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
4	4/9	09:00-11:50	第２実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江　透, 冨川　紘一, 口腔保健工学専攻教員、 歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
5	4/10	09:00-11:50	第２実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江　透, 冨川　紘一, 口腔保健工学専攻教員、 歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
6	4/14	13:00-16:50	第２実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江　透, 冨川　紘一, 口腔保健工学専攻教員、 歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
7	4/15	13:00-16:50	第２実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江　透, 冨川　紘一, 口腔保健工学専攻教員、 歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
8	4/16	09:00-11:50	第２実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江　透, 冨川　紘一, 口腔保健工学専攻教員、 歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
9	4/17	09:00-11:50	第２実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江　透, 冨川　紘一, 口腔保健工学専攻教員、	SBOs 1-8

						歯学科教員、歯科技工部職員	
10	4/21	13:00-16:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 冨川 紘一，口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
11	4/22	11:00-16:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 冨川 紘一，口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
12	4/23	09:00-11:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 冨川 紘一，口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
13	4/24	09:00-11:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 冨川 紘一，口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
14	4/28	13:00-16:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 冨川 紘一，口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
15	4/30	09:00-11:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 冨川 紘一，口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
16	5/1	09:00-11:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 冨川 紘一，口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
17	5/7	09:00-17:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 冨川 紘一，口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
18	5/8	09:00-17:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	医歯学融合教育	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員	SBOs 9
19	5/12	13:00-16:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 冨川 紘一，口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
20	5/13	11:00-15:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 冨川 紘一，口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
21	5/14	09:00-15:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 冨川 紘一，口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
22	5/15	09:00-11:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 冨川 紘一，口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
23	5/19	13:00-16:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 冨川 紘一，口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
24	5/20	11:00-15:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 冨川 紘一，口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
25	5/21	09:00-15:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 冨川 紘一，口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8

26	5/22	09:00-11:50	第２実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透, 冨川 紘一, 口腔保健工学専攻教員、 歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
27	5/26	13:00-16:50	第２実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透, 冨川 紘一, 口腔保健工学専攻教員、 歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
28	5/27	13:00-15:50	第２実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透, 冨川 紘一, 口腔保健工学専攻教員、 歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
29	5/28	09:00-15:50	第２実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透, 冨川 紘一, 口腔保健工学専攻教員、 歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
30	5/29	09:00-11:50	第２実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透, 冨川 紘一, 口腔保健工学専攻教員、 歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
31	6/2	13:00-16:50	第２実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透, 冨川 紘一, 口腔保健工学専攻教員、 歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
32	6/3	13:00-16:50	第２実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透, 冨川 紘一, 口腔保健工学専攻教員、 歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
33	6/4	09:00-14:50	第２実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣, 上條 真吾、 口腔保健工学専攻教員、 歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
34	6/5	09:00-11:50	第２実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣, 上條 真吾、 口腔保健工学専攻教員、 歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
35	6/9	09:00-16:50	第２実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣, 上條 真吾、 口腔保健工学専攻教員、 歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
36	6/10	13:00-16:50	第２実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣, 上條 真吾、 口腔保健工学専攻教員、 歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
37	6/11	09:00-13:50	第２実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣, 上條 真吾、 口腔保健工学専攻教員、 歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
38	6/12	09:00-11:50	第２実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣, 上條 真吾、 口腔保健工学専攻教員、 歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
39	6/16	09:00-16:50	第２実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣, 上條 真吾、 口腔保健工学専攻教員、 歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
40	6/17	13:00-16:50	第２実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣, 上條 真吾、 口腔保健工学専攻教員、 歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
41	6/18	09:00-13:50	第２実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣, 上條 真吾、 口腔保健工学専攻教員、 歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
42	6/19	09:00-11:50	第２実習室,	再建工学包括臨床実習	臨床実習	池田 正臣, 上條 真吾、	SBOs 1-8

			総合実習室	PhaseⅣ		口腔保健工学専攻教員、 歯学科教員、歯科技工部職員	
43	6/23	13:00-16:50	第２実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣, 上條 真吾、 口腔保健工学専攻教員、 歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
44	6/24	13:00-16:50	第２実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣, 上條 真吾、 口腔保健工学専攻教員、 歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
45	6/25	09:00-13:50	第２実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣, 上條 真吾、 口腔保健工学専攻教員、 歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
46	6/26	09:00-10:50	第２実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣, 上條 真吾、 口腔保健工学専攻教員、 歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
47	6/30	13:00-16:50	第２実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣, 上條 真吾、 口腔保健工学専攻教員、 歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
48	7/1	13:00-16:50	第２実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣, 上條 真吾、 口腔保健工学専攻教員、 歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
49	7/2	09:00-13:50	第２実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣, 上條 真吾、 口腔保健工学専攻教員、 歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
50	7/3	09:00-11:50	第２実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣, 上條 真吾、 口腔保健工学専攻教員、 歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
51	7/7	13:00-16:50	第２実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣, 上條 真吾、 口腔保健工学専攻教員、 歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
52	7/8	13:00-16:50	第２実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣, 上條 真吾、 口腔保健工学専攻教員、 歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
53	7/9	09:00-13:50	第２実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣, 上條 真吾、 口腔保健工学専攻教員、 歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
54	7/10	09:00-11:50	第２実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣, 上條 真吾、 口腔保健工学専攻教員、 歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
55	7/14	13:00-16:50	第２実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣, 上條 真吾、 口腔保健工学専攻教員、 歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
56	7/15	13:00-16:50	第２実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣, 上條 真吾、 口腔保健工学専攻教員、 歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
57	7/16	09:00-13:50	第２実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣, 上條 真吾、 口腔保健工学専攻教員、 歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
58	7/17	09:00-11:50	第２実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣, 上條 真吾、 口腔保健工学専攻教員、	SBOs 1-8

						歯学科教員、歯科技工部職員	
59	7/22	13:00-16:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣, 上條 真吾、口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
60	7/23	09:00-13:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣, 上條 真吾、口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
61	7/24	09:00-11:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣, 上條 真吾、口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
62	9/29	09:00-15:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
63	9/30	09:00-14:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
64	10/1	09:00-14:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
65	10/2	09:00-11:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
66	10/6	09:00-15:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
67	10/7	09:00-14:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
68	10/8	09:00-14:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
69	10/9	09:00-11:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
70	10/14	09:00-14:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
71	10/15	09:00-14:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
72	10/16	09:00-11:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
73	10/20	09:00-15:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
74	10/21	09:00-14:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学	SBOs 1-8

						科教員、歯科技工部職員	
75	10/22	09:00-14:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
76	10/23	09:00-11:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
77	10/27	09:00-15:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
78	10/28	09:00-14:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
79	10/29	09:00-14:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
80	10/30	09:00-11:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
81	11/4	09:00-14:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
82	11/5	09:00-14:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
83	11/6	09:00-11:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
84	11/10	09:00-15:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
85	11/11	09:00-15:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
86	11/12	09:00-14:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
87	11/13	09:00-11:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
88	11/17	09:00-15:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
89	11/18	09:00-15:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
90	11/19	09:00-14:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8

91	11/25	09:00-15:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
92	11/26	09:00-14:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
93	11/27	09:00-11:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
94	12/1	09:00-15:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
95	12/2	09:00-15:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
96	12/3	09:00-14:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
97	12/4	09:00-11:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
98	12/8	09:00-15:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
99	12/9	09:00-15:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
100	12/10	09:00-14:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
101	12/11	09:00-11:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
102	12/15	09:00-15:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
103	12/16	09:00-15:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
104	12/17	09:00-14:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8
105	12/18	09:00-11:50	第２実習室，総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	安江 透 口腔保健工学専攻教員、歯学科教員、歯科技工部職員	SBOs 1-8

成績評価の方法

・配当された臨床ケースへの取り組み、提出物を総合的に評価する。

・出席状況、授業態度を評価に加味する。

・再建工学包括臨床実習の最終成績判定は、ユニット「再建工学包括臨床実習 A」および「再建工学包括臨床実習 B」の評価を総合して行う。

準備学習などについての具体的な指示 実習予定表および実習書を事前に確認し、当日行う実習内容を把握しておく。 Web Class に資料がアップされているときには、事前に確認しておく。
履修上の注意事項 ・事前に資料の配付、Web Class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。
連絡先 安江　透:yasue.fpoe@tmd.ac.jp 池田　正臣:ikeda.csoe@tmd.ac.jp 冨川　紘一:fukawa.peoe@tmd.ac.jp 上條　真吾:s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp
オフィスアワー 安江　透:随時 池田　正臣:メールにて面談の日程を調整すること 冨川　紘一:随時 上條　真吾:メールにて面談の日程を調整すること